令和8年度

北中城村の教育



北中城村教育委員会

〒901-2392 北中城村字喜舎場 426 番地 2

電話　(098)-935-3773

FAX　(098)-935-5144

「人と文化を育み時代を担う人づくり」

北中城村は、村の将来像に「絆をつむぎ躍動する田園文化村」を掲げ、教育目標に「個性の尊重を基本とし、郷土の自然と文化に誇りをもち、主体性・創造性に富む人材の育成と生涯学習の振興」と設定し、北中城村の教育を推進しております。

学校教育では、幼小中学校での連続した学びを支援するために、幼小中連携研究部会（①学習指導部会②道徳教育部会③生徒指導・教育相談部会④特別支援教育部会⑤特別活動・キャリア教育部会⑥教育ＤＸ部会）を組織し、「多様な児童生徒の自立に向けた学びをつなぐ魅力ある学校づくり」を目指しております。

また「多様な児童生徒に『新しい時代を創るために必要とされる資質・能力』の育成」をテーマに、学校教育部会と家庭地域教育部会を両輪とした学力向上を推進しております。さらに、グッジョブ連絡協議会を中心とした官民一体となってキャリア教育に取り組み、小中高校において自立した子どもたちの育成を村全体で支援しております。

ＮＥＸＴ・ＧＩＧＡスクール施策に関しては、令和８年１月に端末の更新を行い、情報社会に対応する教育の展開を目指した事業を推進しています。また、情報機器の整備により児童生徒の情報活用能力の向上及び「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した授業改善を図っております。

中・高校生を対象にしたワシントン州立大学への「海外短期留学派遣事業」及び小・中学生を対象にワシントン州立大学の教員を招聘した「ＥＳＬ英語キャンプ」を実施し、児童生徒の国際理解や英語力の向上を図り国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

姉妹町村の岩手県葛巻町との中学生交流事業は、沖縄と異なる自然や文化をもつ東北地方の中学生との交流を通して、社会的視野を広め、協調性や連帯意識を高め、自己啓発を図り、自立の心を育てて社会参加活動を積極的に行うリーダーの育成をめざして実施しています。

社会教育では、「第１次生涯学習推進計画」に基づき、村民一人一人が「主体的に学び、人と地域が輝く村　北中城」の基本理念の達成に向けて尽力して参ります。

本村の特徴的な取り組みの一つとして、地域人材と連携した地域学校協働活動があります。これは、「わった～わらば～た～わった～学校」（北中城村関り宣言）として、学校・保護者・地域の三者が連携して実践を推進しております。また、学校運営協議会（コミュニティースクール）による地域に開かれた学校、地域と共に子どもたちの未来を創り上げる学校づくりをさらに充実していきます。

生涯学習の拠点である中央公民館やあやかりの杜においては、多様化する村民の学習へのニーズは高く、各種講座等や多くのサークルが開設され、学習活動及びサークル活動が活発に行われています。村立体育館やスポーツクラブ施設では、誰もが健康増進とスポーツライフを楽しむことができる環境づくりに努めております。

また、北中城村伝統芸能振興基金を活用し、村の伝統芸能の後継者育成を支援し、村民の一人一人が生涯にわたり、生きがいとゆとりを持ち豊かな生活を送れるように支援を行っています。

結びになりますが、本誌が本村の教育関係者はもとより多くの方々に活用され、教育施策に基づく事業への一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和８年６月吉日　北中城村教育委員会

教　育　の　目　標

平成 16 年　2 月 4 日
北中城村教育委員会決定

北中城村教育委員会は、個性の尊重を基本とし、郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

自ら学ぶ意欲を育て学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。

平和で安らぎと活力のある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し国際化・情報化社会で活躍する心身共に健全な村民を育成する。

家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追及し、生涯学習社会を推進する。

北中城村のあらまし

○位置・地勢

北中城村は那覇市から北東に16km、沖縄本島の中部地区に位置し、東は中城湾に面し、南側は中城村・宜野湾市に、西側は北谷町に、北側は沖縄市にと、2市2町村と隣り合っています。

地形は、東海岸の一部を除く大部分が丘陵台地で、この台地を更に2つの稜線が走り、それぞれが南北への緩斜を形成し起伏が多くまとまった平地はありません。

○ 村章

『北』『中』を図案化したもので、円は村の平和と協調そして団結を表し、左右の北と中の文字は、村民の英知を結集して、未来に向かって飛躍発展する姿を象徴しています。

昭和55年5月20日制定

○ 村民憲章

一、自然を愛しよき環境を維持し
住みよい村をつくります

一、たがいに助け合い心を合わせて
平和な村をつくります

一、歴史を重んじ教養を高め文化の
かおり高い村をつくります

一、つねに健康で勤労に励み
豊かな村をつくります

一、きまりを守り秩序正しい
明るい村をつくります



まーい・ぺーちん・ゆくりん
村のキャラクター

○姉妹町村

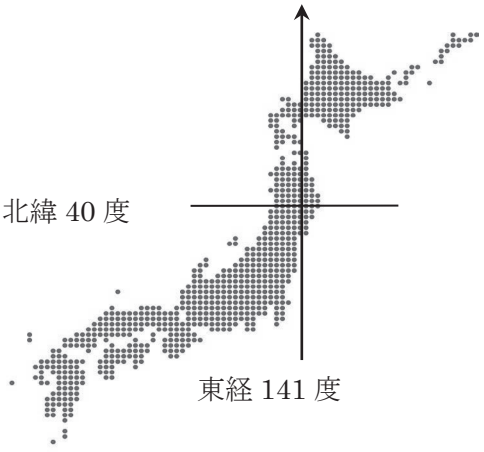
岩手県 葛巻町（くずまきまち）

～ミルクとワインとクリーンエネルギーのまち～

■位置

役場所在地

岩手県岩手郡葛巻町 16-1-1



○ 沿革

―――――――――― 北中城村のあゆみ

先史時代

北中城村で最も古い遺跡は、荻道にある国指定史跡「荻堂貝塚」です。今から約3500年前の貝塚で、当時の人々は土器や石器を使い、狩猟・漁労・採集などを生業としていました。

古琉球～近世

喜舎場や仲順には、ムラの創始者とされる喜舎場公や仲順大主（ちゅんじゅんうふしゅ）、舜天王統（しゅんてん）3代目の義本王などの古琉球の人物に関連する文化財が残されています。エイサー曲で有名な「仲順流り」は、仲順大主の伝承を題材にしています。

安谷屋や大城周辺には、中城若松や護佐丸にゆかりのある史跡が所在しており、これら先人にまつわる説話は沖縄を代表する組踊「執心鐘入（しゅうしんかねいり）」、「二童敵討（にどうてきうち）」のモチーフとなっています。この他に、琉球王府によって編集された歌集「おもろさうし」には、「安谷屋の若松」（中城若松）のことが「一 安谷屋の若松 あはれ若松 枝差ちへ 浦襲う若松 又 肝（ちむ）あぐみの若松（村人から敬愛され、待ち望まれている、心根のやさしい少年）」と詠われています。

世界遺産「中城城跡」は、先中城按司（さちなかぐすくあじ）により築かれたとされています。1440年頃には、中山王の命により護佐丸が城主となり、勝連城主阿麻和利を牽制するため城郭の増築などが行われました。

琉球王国時代の北中城の村域は、当時の行政区画である「中城間切」に属していました。17世紀頃の「中城間切」に関する史料によると、現在の北中城村、中城村、宜野湾市の一部及び沖縄市の一部にわたる27のムラを確認することができます。

琉球王国末期には、那覇・首里から移り住んできた人々によって、屋宜原や石平などの屋取（やーどぅい）集落が形成されていきました。国指定重要文化財「中村家住宅」も、この頃に首里から大城に移築されたといわれています。

近代沖縄～立村まで

明治12年、廃藩置県によって琉球王国が廃止され沖縄県が設置されました。明治41年には町村制が敷かれ、「中城間切」は「中城村」に改められました。この頃には馬車軌道やトロッコ軌道などの社会資本が整備された他、海外への移民や県外へ出稼ぎに行く人も出てきます。

沖縄戦では、昭和20年4月に米軍が沖縄本島に上陸し、進攻を開始しました。北中城の住民は他の地域に避難する時間的余裕がなく、多くは北中城に留まり米軍に捕らえられました。島袋などの収容所で米軍政の管理下に置かれた後、本島北部などの収容所へ強制的に移されます。同年10月、軍政府より帰村許可がおりると、人々は戦災に遭った故郷に戻り戦後復興が進められました。

沖縄戦直後、旧中城村久場～安谷屋一帯にかけて米軍基地が建設され、村内南北間の交通が遮断された状態になりました。中城城跡に置かれていた村役場も焼失し再建不能になるなど、統一的な村行政が困難であるとして、村の南北地域の住民で分村の協議が進められます。そして、昭和21年5月20日、沖縄民政府指令第2号をもって、旧中城村北部地域の12の行政区が旧中城村から分離、北中城村が誕生しました。

○北中城村の公立学校のあゆみ

小・中学校の変遷

我が国では明治5年に学制が導入されましたが、中城地域においては、明治15年中城城跡にあった中城間切番所に中城尋常小学校が設置されたのが最初です。

その後明治28年に中城小学校喜舎場分校が喜舎場に設置され、明治35年に喜舎場尋常小学校として独立校となりました。そして高等科設置により喜舎場尋常高等小学校へ、国民学校令の実施により喜舎場国民学校へと変遷していきました。

戦後、昭和21年分村により北中城初等学校と改称し、昭和23年には学制改革により北中城中学校が創立されました。

平成元年、北中城村立島袋小学校が32年にわたって教育委託をしていた沖縄市島袋小学校より分離独立しました。沖縄市へ教育委託をしていた島袋地区の中学1年生が北中城中学校へ進級し、平成4年には沖縄市への中学生の教育委託を解消、全学年が北中城中学校へ通学することになりました。

幼稚園のあゆみ

昭和25年頃から字喜舎場、熱田、安谷屋、大城・荻道など各字立の幼稚園が設立されはじめました。昭和43年4月に字立安谷屋幼稚園が北中城教育区立安谷屋幼稚園となり、昭和46年に北中城幼稚園と園名を変更、さらに昭和50年、仲順に上記五字の統合幼稚園が2年保育（4・5歳児）の制度とともに開設されました。同時に通園バスを配置しました。

平成21年度に園舎の耐力度調査結果により移転改築を決定し、平成22年度に北中城小学校プールを解体撤去して同敷地に移転改築しました。園舎建築と併行して防音・空調設備、地下駐車場の設置、屋上に北中城小学校プール、太陽光発電設備を設置しました。

令和7年3月末で閉園し、令和7年4月より「北中城村立北中城こども園」へ移行しました。

行政区別面積（総面積1154ha）



北中城村行政区別人口及び世帯数　　令和8年6月末現在

	男	女	計	世帯数	備考
喜舎場	886	946	1,832	784	
仲順	725	785	1,510	679	
熱田	636	656	1,292	544	
県営団地	130	165	295	127	
和仁屋	366	378	744	339	
渡口	339	339	678	325	
島袋	2,389	2,646	5,035	2,292	
屋宜原	388	420	808	362	
瑞慶覧	125	141	266	133	
石平	167	160	327	175	
安谷屋	880	937	1,817	791	
荻道	299	290	589	256	
大城	183	208	391	173	
比嘉	92	114	206	126	
軍施設内	20	51	71	34	
美崎	431	481	912	405	
ライカム	553	619	1,172	513	
(外国人)	291	188	479	138	（外国人）の数字は全体に含まれる
合計	8,609	9,336	17,945	8,058	

注：外国人とは、大使、公使、総領事及びその家族、大使館の職員、
外交官とその家族、地位協定該当者を除いた者です。

教育委員会

北中城村教育委員会の沿革 …… 1
教育委員ならびに教育長 …… 19
教育委員会機構図 …… 20
歴代教育委員 …… 21
教育予算 …… 24
教育総務課・生涯学習課事務分掌 …… 25

北中城村教育委員会の沿革

昭和２７年

５月１１日　軍布令による教育法に基づく区教育委員会及び会計係の選挙の結果、初代教育委員に与嶺永喜、伊佐常喜、与儀繁雄が当選。村長（比嘉秀盛）は布令による有職委員、婦人委員に立候補者なく、中村信が任命され、会計係には喜屋武松助が選任された

昭和３２年

３月　教育公布に伴い旧委員全員失格

３月１８日　新しい教育法により、比嘉秀盛、安里栄繁、中村栄俊、名幸正期、仲本善徳が就任する

３月２８日　会計係喜屋武松助死亡退職により、会計係宮城盛輝が任命され就任する

昭和３３年

１２月２７日　教育委員比嘉秀盛が退任し、仲村栄春が就任する

昭和３４年

３月　８日　教育委員選挙　名幸正期、安里栄繁、中村栄俊、仲本善徳が無投票で当選
委員長　中村栄俊、副委員長　安里栄繁

５月　１日　北中城中学校用務員に久場シゲを採用

昭和３５年

１１月　１日北中城小学校用務員に仲泊苗を採用

昭和３６年

３月　５日　教育委員選挙　名幸正期、中村栄俊が無投票で当選

１１月１５日 中学校用務員久場シゲが退職

１１月１６日 中学校用務員に饒辺カマドを採用

昭和３８年

３月　３日　教育委員選挙　安里栄繁、中村栄俊、仲本善徳が無投票で当選　委員長　中村栄俊、副委員長　安里栄繁

１１月　１日　小学校用務員に久場シゲを採用

昭和４０年

３月１４日　教育委員選挙　名幸正期、中村栄俊が無投票で当選

昭和４１年

７月　１日　小学校書記に安里レイ子を採用

昭和４２年

３月　５日　教育委員選挙　仲本善徳、安里栄繁、比嘉浩が無投票で当選　中村栄俊退任
委員長　仲本善徳、副委員長　安里栄繁

６月１５日　小学校書記安里レイ子が退任

７月　１日　小学校書記に仲本幸江、委員会書記に宮城シズエを採用

９月３０日　北中城村学校給食共同調理場完成

１２月　３日　会計係宮城盛輝が退職

昭和４３年

１月　１日　会計係に稲嶺盛時を採用

２月　２日　小・中学校完全給食実施

３月　１日　安谷屋幼稚園（字立）が公立安谷屋幼稚園となる

４月　１日　教諭に大田信子、助教諭に堀川康子を採用

昭和４４年

３月　９日　教育委員選挙　新垣進市、名幸正期が無投票で当選し、中村栄俊が退任

９月　１日　中学校書記に与儀香代子を採用

９月３０日　小学校書記仲本幸江が退職

１０月　１日　小学校書記に山内達子を採用

１１月１６日　社会教育主任に城間貞雄を採用

昭和４６年

３月　７日　教育委員選挙　比嘉功助、比嘉武繁、城間徳盛が就任　安里栄繁、仲本善徳、比嘉浩が退任委員長　新垣進市、副委員長　比嘉功助

３月３１日　園名変更により安谷屋幼稚園から北中城幼稚園となる
北中城幼稚園、熱田学級２学級を増設する
教諭に名幸千代、仲本照江を採用

７月２０日　委員会書記に大城正広を採用

昭和４７年

５月１５日　日本復帰
日本復帰により北中城村教育委員会と改称する教育長に新垣進市が就任　委員長比嘉武繁、副委員長　比嘉功助

６月１０日　小学校司書補に喜納俊子、中学校司書補に玉城美智子を採用

昭和４８年

３月３１日　教育委員　比嘉功助、比嘉武繁、城間徳盛、名幸正期が退任

４月　１日　教育委員任命制により新しい教育委員として、比嘉永俊（４）、新垣進市（４）、垣花良香（３）、安里要江（２）、安里永吉（１）が任命された　委員長　比嘉永俊、委員長職務代行　垣花良香、教育長　新垣進市委員会書記に喜納春美を採用

昭和４９年

３月３１日　幼稚園助教諭堀川康子、小学校司書補喜納俊子が退職

４月　１日　教育委員　安里永吉再任　幼稚園教諭に宮城輝子、小学校司書補に村吉智江子を採用

４月３０日　教育課長　稲嶺盛時が退職

５月　１日　教育課長に真栄城守見、委員会書記に比嘉英順を採用

１０月　５日　通学バス沖縄日野自動車株式会社

１１月２７日　中学校屋内運動場及びプール施設用地造成

工事完了
２月１５日　幼稚園々舎新増築工事完了

昭和５０年度

４月　１日　教育委員　安里要江再任（４年）委員会書記山田春美を幼稚園教諭に配置換え　幼稚園教諭に米須敬子、安里ヨシエ、安里悦子、大城律子、摩文仁純子を採用
北中城村字仲順３７６番地に北中城幼稚園開園（統合第１回入園式を行う）４歳児１３２人、５歳児１７９人、計３１１人　９学級、教諭１０人
８月２９日　給食センター貯水槽、高架そう工事完了
１２月　３日　北中城小学校新増築工事完了（１階・２階既設＜８教室＞の火災報知器及び消火栓を含む）
３月３１日　幼稚園教諭名幸千代退職

昭和５１年度

４月　１日　幼稚園教諭に石川信子採用
教育委員垣花良香再任（４年）
１月３１日　北中城中学校屋内運動場新改築工事完了
３月　３日　文化財保護審議会委員に安里永太郎（２）、中村栄俊（２）、安里永隆（２）、比嘉浩（２）、大城盛光（２）を委嘱
会長　安里永太郎、副会長　中村栄俊

昭和５２年度

４月　１日　教育委員　比嘉永俊（４）、新垣進市（４）再任。委員長　比嘉永俊、委員長職務代行垣花良香、教育長　新垣進市
幼稚園教諭に稲福和子、稲嶺径子を採用
北中城幼稚園、島袋学級２学級を開園（学級増）４歳児２９人
１月３０日　北中城中学校校舎新増築工事完了（管理棟）
１月３１日　幼稚園教諭摩文仁純子が退職
２月　１日　幼稚園教諭に金城典子を採用

昭和５３年度

４月　１日　教育委員安里永吉再任（４年）
幼稚園教諭に城間美智子、金城啓子を採用
５月１０日　北中城村中央公民館及び社会体育施設用地９，７５３坪購入
７月３０日　北中城小学校不適格建物解体工事
１０月２５日　北中城中学校運動場照明施設工事完了
３月　２日　文化財保護審議会委員に安里永太郎、中村栄俊、安里永隆、比嘉浩、大城盛光を再委嘱　会長安里永太郎、副会長中村栄俊
３月２０日　北中城小学校々舎新増築及び不適格建物改築工事完了
３月３１日　教育委員　安里要江が退任

昭和５４年度

４月　１日　教育委員に仲村栄春を任命
１月３１日　北中城小学校々舎新増築工事及び北中城幼稚園々舎新増築工事完了
３月１１日　熱田の「南島」を村指定無形民俗文化財に指定
３月２８日　北中城幼稚園（島袋学級）の島袋公民館借用を解除
３月３１日　北中城村立中央公民館建設実施完了　北中城中学校移転用地 35,751 ㎡を購入

昭和５５年度

４月　１日　島袋学級を本園に統合
教育委員　垣花良香を再任（４年）　委員長比嘉永俊、委員長職務代理者　仲村栄春
８月３０日　北中城中学校々舎増改築工事基本計画、基本設計完了
１１月３０日　北中城中学校移転用地調査、測量造成設計完了　コミュニティ供用施設造成工事完了
２月　１日　コミュニティ供用施設建築工事着手（３ヶ年継続）
３月　５日　教育委員長　比嘉永俊死亡退任
３月　９日　北中城幼稚園辷り調査
３月１８日　文化財保護審議委員に安里永太郎（２）、安里永隆（２）、大城盛光（２）を再委嘱、安里永誠（２）、屋我嗣良（２）を新たに委嘱
会長　安里永太郎　副会長　安里永隆
３月３１日　北中城幼稚園辷り調査完了
幼稚園教諭大田信子が退職

昭和５６年度

４月　１日　教育委員　新垣進市を再任、新垣良英を新たに任命。委員長仲村栄春、教育長新垣進市
幼稚園教諭に新垣直美を採用
６月３０日　北中城中学校移転用地造成工事完了
９月１４日　文化財保護審議会副会長安里永隆死亡退任
１月　１日　与那覇盛勇、大城正広　村長部局へ出向
事務局に中村長健を採用
１月　７日　文化財保護審議会委員に渡久地政厚が委嘱
１月３１日　北中城中学校運動場等整備工事完了
３月１８日　喜舎場　「獅子舞い」、「棒術」を村指定無形民俗文化財に指定、「中城若松の墓」を村指定史跡に指定
３月３１日　北中城小学校用務員仲泊苗、北中城中学校用務員饒辺カマド、学校給食共同調理場調理員久場シゲが退職教育委員　安里栄吉が退任

昭和５７年度

４月　１日　教育委員に大田よし子が任命（４年）
宮城シズエ、与儀香代子　村長部局へ出向
小学校事務主事喜納達子は中学校事務主事に配置換、事務主事中村長健は公民館主事。経理係長に安里トシ子、事務主事に仲泊兼裕、小学校事務主事に崎原みつ江、学校給食共同調理場調理員に城間為宏を採用

４月２０日　給食運搬用自動車を新沖縄いすず自動車（株）と売買契約を締結する
５月　１日　公民館運営審議会委員並びに社会教育委員に安里常太郎、仲村栄勇、安里永吉、城間期一、比嘉昭枠、喜屋武馨、新屋朝太郎、大嶺実義、比嘉孝則、比嘉八重子を委嘱。公民館運営審議会委員長に安里常太郎、副委員長城間期一。社会教育委員議長　安里常太郎、副議長城間期一。社会体育指導員に饒辺永太郎、與儀真一、安里昌次郎、宮平守次、喜納一巳を任命
５月３１日　北中城中学校々舎増改築工事完了
６月２８日　北中城中学校移転開校
８月２０日　北中城小学校々舎改装等工事完了
９月　１日　旧中学校々舎及び運動場を小学校が使用
２月１５日　コミュニティ供用施設（中央公民館）が竣工
３月１２日　中央公民館落成式典を挙行
３月１９日　教育委員会事務局中央公民館へ移転
３月３１日　教育委員長　仲村栄春が退任コミュニティ供用施設の進入路等アスファルト舗装工事を完了北中城中学校植栽委託業務完了

昭和５８年度

４月　１日　教育委員に安里永誠が任命　委員長安里永誠、委員長職務代理者垣花良香、局事務主事兼公民館司書に中村貴世子、社会教育主事補兼公民館事務職に大城博、学校給食共同調理場調理員に仲宗根ミエ子を採用　体育指導委員に喜納芳實が任命　次の教育委員会事務局職員が兼公民館職員に任命　館長補佐真栄城守見、公民館事務職　城間貞雄、安里トシ子、比嘉英順、仲泊兼裕
５月　９日　教育長新垣進市が兼公民館長に任命
７月　６日　文化財保護審議委員に安里永太郎、大城盛光、屋我嗣良が委嘱
８月３１日　学校給食共同調理場調理員森田ヨシ子が退職
１１月２２日　北中城小学校小運動場を村長部局へ財産配置換
１１月２４日　学校給食共同調理場調理員に楚南兼二を採用
３月２０日　北中城小学校植栽委託業務完了
３月２４日　北中城中学校々庭整備工事完了
３月２６日　北中城村立学校管理規則の全部改正（昭和５９年４月１日から適用）
３月３１日　教育委員　垣花良香が退任

昭和５９年度

４月　１日　教育委員に比嘉照男が任命。委員長安里永誠、委員長職務代理者新垣良英
５月　１日　社会教育委員並びに公民館運営審議委員に安里常太郎外９人が委嘱　体育指導委員に安里昌次郎外４人が任命
１２月２５日　北中城小学校プール完成
２月２４日　北中城小学校創立８５周年記念式典挙行
３月２６日　北中城小学校々庭整備工事（継続事業）完了
３月３１日　教育長　新垣進市が退任

昭和６０年度

４月　１日　教育委員に喜屋武馨、比嘉盛徳が任命。委員長　安里永誠、委員長職務代理者　比嘉照男、教育長　喜屋武馨を選任
４月１１日　教育長喜屋武馨が兼公民館長に任命
４月３０日　海邦国体県民運動推進員委嘱状伝達式及び国体ＰＲ用Ｔシャツ贈呈式
８月２３日　北中城村少年野球チーム（安谷屋ライオンズ）葛巻町を訪問（～２６日）
１０月１５日　北中城村心身障害児童生徒適正就学指導委員会設置
１０月１９日　第４０回国民体育大会わかとり国体視察（鳥取県岩美町）
１１月１３日　小学校々庭整備工事竣工
１１月１４日　第41回国民体育大会山梨県かいじ国体リハーサル大会視察：韮崎市（～19日）
１１月２０日　島袋地域学校問題協議会
１２月　１日　村こども祭り
１２月１１日　第４０回国民体育大会サッカー競技会（鳥取県岩美町）より国体旗等の引継
１２月１２日　故安里昌真氏叙勲伝達式
１月１０日　葛巻町少年野球チーム交流のため来村
３月　１日　第１回村心身障害児童生徒適正就学指導委員会
３月２０日　北中城小学校用地確定測量委託業務完了

昭和６１年度

４月　１日　教育委員に大城トヨが就任。嘱託員喜納英和、安座間尚国体実行委員会へ採用。比嘉ヨシエ兼主査、高江洲啓子兼主事で事務局へ。学校教育指導主事に新屋孝一を採用
４月　４日　中学校体育館落成式
５月１２日　外国人教師　スーザンと契約
５月２０日　立村４０周年記念式典
５月２２日　国民体育大会、常任委員会
５月２４日　第１回文化講演会「沖縄の歴史と文化」講演者：法政大学教授　外間守善氏
６月１４日　国民体育大会、実行委員会総会
７月　１日　機構改革及び人事異動　真栄城守見、安里トシ子、城間貞雄、安里成徳　村長部局へ出向。学務課に喜納徳一郎、伊佐常治、社会教育課に大城武、学校給食共同調理場に大城盛次郎を採用
８月２１日　巡回ラジオ体操（国体関連事業）
８月３１日　子どもまつり
９月１８日　基礎学力向上対策研修会

１０月１１日　かいじ国体視察（山梨県）～１４日
１１月　５日　国体リハーサル大会、実行委員会発足
１１月１５日　国民体育大会、常任委員会発足
１１月１６日　県知事選挙
１２月１２日　第42回国民体育大会(海邦国体)サッカーリハーサル大会の実施（～26日）
１月２６日　中村家住宅防火訓練
２月　２日　韮崎市より国体旗引継式
２月　４日　まつり太鼓サークル開始式
３月　１日　教委文部大臣表彰受賞（教育行政調査）
３月３１日　スクールバス入魂式。村営テニスコート完成

昭和６２年度

４月　１日　教育委員及び教育委員長として安里永誠が再任される。委員長　安里永誠、委員長職務代理者　比嘉照男
北中城村立小学校及び中学校の体育施設の開放に関する規則の施行
４月　２日　教職員辞令交付伝達式
４月　６日　校務研究会発足
４月１８日　外国人教師　パトレシヤと契約
４月２５日　民泊家庭のつどい
５月１１日　中学校職員室、特別教室の一部扇風機取付工事完了
５月１９日　文部大臣より昭和６１年度地方教育費及び地方教育行政調査の実施について努力が認められ、表彰伝達される
６月２０日　和仁屋間のテラ、御披露目式
６月２７日　叙勲受賞者等合同祝賀会
７月　１日　国体実施本部設置
７月　２日　教育委員会他校視察（南星中、高江洲小）
７月　５日　仮称　島袋小学校用地契約（村土地開発公社）
７月１０日　北中城小学校擁壁工事　村政土建
７月１８日　国体１００日前記念式典及びパレード
７月２２日　北中城村立島袋小学校（仮称）の位置を島袋１２３４番地に決定
７月３０日　育英会基金増額委員会
８月　５日　炬火リレーリハーサル
８月　７日　沖縄市教育委員会へ学校名について地域の要望書を添えて要請書を提出
８月２０日　学力向上対策委員会
９月１２日　サッカー正規視察
９月２６日　民泊家庭のつどい
１０月１８日　第４２回国民体育大会模擬国体
１０月２１日　大会旗、炬火リレー（中城村～北中城村～北谷町）
１０月２５日　第４２回国民体育大会秋季大会開会式
～２６日　サッカー競技開会式（北中城高等学校）～３０日　秋季大会閉会式
１１月１８日　第４２回国民体育大会村実施本部解散式
１２月　５日　第２回文化講演会　講師　北島角子
１２月１３日　父さん母さんバレー、耐力測定
１２月１７日　島袋小学校（仮称）造成工事、中山土建
１月１８日　島袋小学校（仮称）校舎設計監理：ブランド研究所、体育館設計監理：新垣建築設計事務所
２月　５日　沖縄市教育委員会と北中城村教育委員会と新設校の問題で意見交換
２月２７日　第４２回国民体育大会村実行委員会解散総会
３月１５日　島袋小学校（仮称）について説明会（島袋全区民対象）経過報告、学校名、通学区域について説明
３月２０日　村子ども会育成連絡協議会結成大会

昭和６３年度

４月　１日　人事異動　喜納達子　村長部局へ出向、学務課に玉城千代子を採用崎原みつ江　小学校から事務局へ。比嘉ヨシエ、高江洲啓子兼職をとく　北中城幼稚園へ。山田春美兼主査で学務課へ。仲座照江兼主査で北中城中学校へ
教育委員の比嘉照男が任期満了、後任に安里一三が就任。学校教育指導主事新屋孝一異動、後任に喜納徳次が着任
４月　９日　仲順公民館落成式
４月１１日　国体記念植樹式
４月２７日　島袋小学校校名、村教育委員会で正式に決定
５月　２日　議会で島袋小学校に関する学校設置条例の一部改正。村教育委員会で通学区域の規則の一部改正可決
島袋小学校事業認可申請
５月　９日　沖縄市教育委員会へ北中城村の義務教育学校開校に伴う当教育委員会の基本的な考え方について文書で届ける
５月３０日　外国人青年就業規則決定
６月２７日　島袋小学校建設工事
校舎建築：旭建設、比嘉工務店建設共同企業体　電気設備：那覇電工　給排設備：不二宮工業　屋体設備：金城キク開発　電気設備：崎原電気　給排設備：大信設備
７月　８日　北中城村学力向上対策委員会へ教育長より「児童・生徒の基礎学力を高めるための方策について」諮問
７月２５日　学校給食共同調理場増築工事（株）玉城鉄鋼と契約
７月２６日　島袋小学校運動場整備測量設計　沖縄土木設計コンサルタント
８月　６日　外国人青年招致事業の外国語指導助手ビンガム・キター着任
９月１６日　北中城村教友会結成大会
１１月　１日　島袋小学校開校準備設置。校長伊礼精得、教頭比嘉誉、事務又吉トミ子

１１月　３日　第３回文化講演会「今、親と子に何が欠けているか」　講師：高橋敷
１１月　５日　学力向上対策地域懇談会（県と共催）
１１月　７日　島袋小学校防音工事
建築：旭建設、比嘉工務店建設共同企業体除湿換気：協伸設備　電気：那覇電工
１１月２９日　北中城小学校ランチルーム完了
１２月　９日　北中城村学力向上対策委員会より答申をうける島袋小学校用地土地開発公社と売買契約
１２月１６日　島袋小学校備品購入
管理備品：総合事務機社　教材備品：ノリマサ教育機器 放送設備：山内商事
１２月１９日　島袋小学校用地登記完了
１月１１日　葛巻町と中学校バレーボール親善試合及び歓迎会
１月２０日　島袋小学校分離式、開校落成祝賀会の日程４月５日と沖縄市と協議の上決定
１月２１日　みんなで考える学力向上シンポジウム
比嘉美崎（小６）大山順子（中３）美嘉里見（高２）安次嶺艶子（大学）安里高治村長、石川秀夫校長が発表
１月２３日　大型スクールバス沖縄日野自動車
２月　２日　北中城中学校「学年、学級経営」研究発表
３月　６日　島袋小学校校章（岸本一夫氏考案）決定

平成元年度

４月　１日　北中城村教育委員会の辞令交付　喜屋武馨
比嘉盛徳。中村貴世子、大城博、仲泊兼裕、城間智江子　村長部局へ出向。参事に大城武、社会教育課に比嘉英順、喜納一巳、大田宏好、学務課に大田繁を採用。山田春美兼主査で島袋小学校へ、仲座照江兼主査で北中城中学校へ。派遣社会教育主事長浜宗賢着任
４月　３日　教職員異動辞令交付伝達式
４月　５日　島袋小学校分離式、パレード、開校式及び落成祝賀会
４月　７日　島袋小学校へ県より木のイスの譲渡式
県道２２号線横断歩道の信号機点灯式
５月１２日　教育委員、村三役、学校長との懇談会
５月１８日　副読本編集委員の委嘱
５月２４日　中学校扇風機取り付け完了
５月２７日　学力向上推進協議会結成大会及び教育講演会「子ども達を勉強嫌いにさせないために」
講師　志良堂茂子先生
６月１６日　上原清善氏より島袋小学校へ図書（５０万円）の贈呈式
６月３０日　重要文化財中村家住宅全修理工事終了
７月２７日　第４回文化講演会　君原健二　演題「マラソン大会で学んだもの」
８月　１日　大城盛光、備瀬ヒロ子、比嘉昭、比嘉和男を文化財保護審議会委員に委嘱
８月　５日　外国青年招致事業の英語指導助手　クリス・ポストン着任
８月２２日　教頭、教務宿泊研修会（白雲荘）～２３日
葛巻町との生徒交流（バレーボール）～２５日
８月３１日　大城武参事退職
９月　４日　北中城中学校屋上土撤去完了
９月　９日　教育講演会「いかに子どもの能力を家庭で伸ばすか」講師　島田堅松先生
１０月１０日　第１回北中城村長杯県選抜少年サッカー大会開催
１１月　９日　島袋小学校校歌選定委員会
作詞　喜屋武真栄氏に決まる
１２月２３日　カラオケボックス反対住民大会　島袋公民館
１月１５日　成人式典
１月１９日　教育委員会で北中城中学校防音工事導入
２月　２日　島袋小学校校歌制定委員会
作曲　我那覇隆三氏の曲に決まる
２月２４日　学力向上実践事例発表会
３月１１日　村民コンサート
３月　島袋小学校々庭整備工事完了
島袋小学校照明工事完了
３月３０日　副読本印刷完了

平成　２年度

４月　１日　教育委員に大城トヨが再任
崎原みつ江、中村長健村長部局へ出向
学務課に仲泊瑠美子、社会教育課に真栄城守明、名幸芳徳を採用
社会教育指導員の設置（城間敏子）体育指導委員に又吉ふじよ、比嘉勝を任命
４月　３日　村教育委員会で委員長安里永誠、職務代理者比嘉盛徳を再任
５月１６日　北中城中学校増築設計委託業務でアスカ建築設計事務所と契約
６月　２日　生涯学習講演会　山梨県韮崎市教育委員会真壁静夫氏「生涯学習時代の生き方」
６月　４日　村議会文教社会常任委員会、学校施設調査
６月　９日　北中城中学校において村植樹祭開催
７月２２日　北中城村青少年交流事業で葛巻町訪問へ出発
北中城小学校２名、島袋小学校２名、北中城中学校２名、随行の教員４名、教育委員会１名
８月　７日　外国青年招致事業の外国語指導助手
パトリック着任
８月１１日　文化財保護審議会委員に仲田栄二を委嘱
８月１３日　村教育委員会主催情報教育研究会（北中城高等学校のコンピュータ教室）～１６日　各学校より募集　２０名が受講
９月２５日　北中城中学校工事請負契約　建築工事：前原

建設　電気設備工事：那覇電工　給排水工事：南部水道工事社

１０月　１日　社会教育委員会（兼公民館運営審議委員）伊礼精得、中村昌信、大城永章、諸見里幸子、新垣博之、安里史子、仲本哲、安里淑子、稲福英二郎、藤原生子を任命

１０月１０日　第２回北中城村長杯県選抜少年サッカー大会開催

１０月２５日　北中城中学校夜間照明工事　三協電設株式会社

１０月２６日　村育英会基金増額委員会解散総会　募金活動 2,503 万円突破　記念誌発刊、功労者及び高額寄付者への感謝状の贈呈

１１月１０日　第５回文化講演会丸山浩路氏がボディーランゲージ「人生のパスポートそれは感動！」で講演

１２月１７日　岩手県葛巻町の婦人団体が来村

１２月２０日　北中城中学校防音事業実施設計業務でアスカ建築設計事務所と契約

１月　村学力向上実践事例発表会　北中城小学校体育館において開催

２月２１日　村教育委員会において学校給食調理場の建築方針決定

３月１７日　第３回村民コンサート開催

３月２５日　北中城中学校増築工事及び併行防音工事竣工

平成　３年度

４月　１日　人事異動　伊佐常治、大城盛次郎　村長部局へ出向　学務課に比嘉俊雄を採用
委員長に安里永誠、職務代理者に比嘉盛徳を再任

６月　１日　若松公園開きにおいて、執心鐘入、獅子舞、南島が上演される

６月　８日　喜舎場公民館落成式典と祝賀会

６月１５日　島袋小学校において、村植樹祭が行われる

６月２１日　幼稚園の事務室に冷房が設置される

６月２６日　北中城村学力向上推進協議会総会が開催される

７月２９日　葛巻町の青少年交流団が来村

８月　２日　外国青年招致事業の外国語指導助手
ジェニファー着任

８月１５日　教頭、教務主任研修会が中央公民館において開催

８月１７日　北中城中学校女子ソフトボール全国制覇

１０月１９日　学力向上講演会「これからの教育を考える」を演題に琉球大学教育学部教授玉城政光氏が講演

１０月２８日　学対県外視察、福岡県を調査研修する（１０名）

１１月　６日　平成３年度中部地区公民館研究大会が本村で開催される（～７日）

１１月２３日　第６回文化講演会　「勝負と人生」講師：大山康晴

１１月３０日　教育長　喜屋武馨退職

１２月　１日　村教育委員として伊佐眞治が任命され、教育長、公民館長として任命される

１２月　６日　第２１回沖縄県公民館研究大会が本村で開催される

１２月１１日　幼稚園防水工事

２月　６日　学力向上推進第一年次研究実践発表会が北中城小学校において開催される

２月２３日　村民コンサートが行われる

２月２９日　中学校にコンピュータ室が設置される

３月２４日　中学校防音改造工事　普通教室棟完了

３月３１日　国指定史跡「中城城跡」の管理権が公有化される

平成　４年度

４月　１日　教育委員　安里一三任期満了　後任に比嘉昭が就任　委員長に安里永誠、職務代理者に比嘉盛徳を再任

４月２３日　陶三人展（山内米一、比嘉富男、迎里正光）公民館ロビーで開催

５月２０日　国頭村学力向上推進研修で来村

５月２３日　村植樹祭、給食調理場用地において屋宜原公民館落成式

６月１０日　中学校コンピュータ室　開講式

６月１９日　伊平屋村学力向上推進研修で来村

６月２５日　学校給食共同調理場用地購入　熱田２０７０番地の８　2,143 ㎡

６月２６日　幼稚園フェンス工事　比嘉工務店

６月３０日　島袋地域通学バス（6,300,000 円補助）安全祈願祭

７月２８日　島袋小学校観察地　沖縄ガーデン

８月３１日　給食運搬車　いすず３トン車入庫

９月１２日　学校週５日制始まる　毎月第２土曜日

９月１４日　学校給食共同調理場安全祈願祭

１０月１９日　排水処理施設工事　沖縄共和加工

１０月２６日　厨房施設：中島商事

１１月　７日　第７回文化講演会　「子育て奮闘記」講師：武田イク

１１月２０日　葛巻町校長会研修で来村

１１月２４日　中学校防音改造工事
仮設校舎：ワコー建設　改造工事：前原建設

１２月　４日　調理場食器　丸屋厨房

１月３０日　給食展中央公民館ロビー

２月２１日　村民コンサート　中央公民館

２月２４日　宮古平良市学力向上推進研修で来村

３月　２日　調理場環境整備工事　町田組

３月２５日　給食運搬車　いすず３トン車

３月３１日　教育長　伊佐眞治　任期満了

平成　５年度

４月　１日　比嘉英順、仲真静枝、安座間尚　村長部局へ出向　社会教育課に城間貞雄を採用　社会教育主事に安慶田昌宏を採用
５月１０日　幼稚園ホール冷房工事　三球電設備
５月１４日　宜野座村学対研修で来村
６月　１日　島袋小学校プール設計　大城英信建築設計事務所　教育相談員に仲村喜正を任命
６月１６日　北中城小学校基本設計　新垣秀雄建築設計事務所
７月　１日　教育委員比嘉盛徳の後任に新垣盛孝が就任
喜納一巳　村長部局へ出向社会教育課に
仲本善通を採用
７月２６日　岩手県葛巻町青少年交流団が来村（～３０日）
８月　１日　教育長として比嘉勲が就任
８月　３日　外国青年招致事業の外国語指導助手　ローズ・マイケル着任
９月１７日　島袋小学校プール建設工事
建築：光南建設　設備：喜納設備
９月２０日　安谷屋公民館建設工事
建築：比嘉工務店 電気：丸幸電建　設備：北中水道工事社　付帯：比嘉工務店　備品：オーシャン事務用品　植栽：園芸楽園
１１月　３日　第８回文化講演会　「人の心に花一輪」講師：桂小金治
１２月　１日　北中城中学校防音工事
建築：太名嘉組　設備：アゲダ空調　電気：三球電設備
１月２２日　家庭教育親子パネルフォーラム　村学推協　北中城小学校体育館
２月　６日　中部広域キジムナーフェスタ（～１３日）
２月１６日　沖縄県教育委員会指定　学力向上推進事業平成５年第３次（最終）研究実践発表会　中学校で
３月３１日　教育相談員仲村喜正　任期満了

平成　６年度

４月　１日　人事異動　大田繁、玉城千代子、宮城和子
村長部局へ出向。学務課に山田英夫、
安座間良江（島袋小学校勤務）を採用。
石川信子兼職をとく北中城幼稚園へ大城敬子兼主査で北中城小学校へ
教育委員大城トヨの後任に安里史子が就任委員長に安里永誠、職務代理者に新垣盛孝を選出。学校教育指導主事石川敬介異動退職　山内小学校長へ。学校教育指導主事に比嘉幸吉を採用
教育相談員に豊原佐内が就任
４月１６日　島袋小学校プール開き
６月　５日　安谷屋公民館落成式
６月２６日　文化協会設立総会
７月１２日　中学校プール実施設計　大城、親泊建築設計事務所
８月１７日　夢海渡太鼓　アルゼンチン派遣（～２６日）
９月１９日　中学校プール建設
建築工事：八興建設　機械設備：島設備　電気設備：三球電設
１０月　１日　中城城跡共同管理協議会の発足
１１月　２日　北中城小学校　沖縄開発庁から現地調査
１１月　３日　第９回文化講演会「歌は世につれ、世は歌につれ」講師：小林亜星
１１月１７日　北中城小学校　文部省から現地調査
１１月１８日　北中城小学校々舎実施設計　新垣・アゲナ建築設計共同企業
１月　４日　中学校生徒リーダー１５人　葛巻町へ派遣（～８日）
２月　３日　村学対実践発表会　会場　北中城小学校

平成　７年度

４月　１日　城間貞雄、名幸芳徳、仲泊瑠美子　村長部局へ出向。社会教育課に平田嗣憲、与儀光敏、学務課に大泊スエ子を採用
教育委員安里永誠の後任に仲村和子が就任。委員長に新垣盛孝、職務代理者に比嘉昭を選出
４月２７日　北中城小学校屋内運動場設計監理　有限会社朗設計
５月１７日　沖縄県市町村教育長協会総会及び研修会　本村で開催。アトラクションに子ども三線、子ども獅子舞、夢童太鼓出演
６月１５日　北中城小学校仮設教室工事　三善建設株式会社
６月１６日　「喜舎場の龕屋」「喜舎場の石獅子」を村指定有形民俗文化財、「ナスの御嶽」を村指定史跡に指定する
６月３０日　北中城小学校全面改築工事施工監理
新垣・アゲナ建築設計事務所共同企業体
７月１５日　青少年深夜徘徊防止一斉行動村内大会開催
７月２５日　葛巻町青少年交流団来村（～２９日）
８月　１日　外国青年招致事業の外国語指導助手
スコット・コフイン着任
８月１７日　北中城小学校々舎改築工事
建築：福地組、与勝建設共同企業体　給排：ヤマウチ設備　電気：三協電設株式会社
９月　２日　北中城小学校仮設校舎へ移動
１１月　１日　機構改革に伴い課名変更　学務課から教育総務課へ、社会教育課から生涯学習課へ
１１月　２日　北中城小学校屋内運動場建設工事
建設：（株）前原建設　電気：大協電気工事株式会社 給排：（有）喜納設備
１１月　３日　第１０回文化講演会「増田明美のスポーツ人生」

１１月２４日　北中城小学校屋内運動場起工式
１１月２８日　中学校図書館研究発表会
１２月１７日　幼稚園統合２０周年記念式典及び祝賀会
１月１６日　防音工事実施設計委託
新垣、アゲナ建築設計事務所共同企業体
２月　２日　北中城村学力向上研究発表会　会場　島袋小学校
３月２２日　北中城小学校併行防音工事
建築：（有）福地組、与勝建設（株）共同企業体 電気：三協電設株式会社　除湿：金秀工業　監理：資）新垣、アゲナ建築設計事務所

平成　８年度

４月　１日　人事異動　真栄城守明、島袋輝子村長部局へ出向。生涯学習課に米須清俊を採用
宮里悦子兼主査で教育総務課へ。委員長に新垣盛孝、職務代理者に比嘉昭を選出
７月２２日　北中城小学校屋内運動場周辺環境整備工事
（株）前原建設　北中城小学校屋内運動場建設竣工
７月３１日　屋外整備工事　（有）福地組、与勝建設
（株）共同企業体
１月　６日　併行防音工事
除湿機器：アゲダ空調食品設備（株）電気設備：三協電設（株）施工監理：（資）新垣、アゲナ建築設計事務所共同企業体
１月１０日　除湿機器設備契約議会承認
２月２８日　北中城小学校校舎改築工事竣工
３月　１日　新校舎へ移動（～２日）
３月３１日　仮設校舎解体完了
生涯学習課　課長平田嗣憲退職

平成　９年度

４月　１日　人事異動　喜納徳一郎、比嘉俊雄　村長部局へ出向。教育総務課に安里光雄、仲泊兼徳、生涯学習課に安里成徳、比嘉正成を採用
安里律子兼主査で生涯学習課へ教育相談員に新垣綾子が就任。社会教育指導委員に
大城美佐江が就任
委員長に新垣盛孝、職務代理者に比嘉昭を選出
４月２２日　北中城小学校プール塗装工事　琉球ゴーレックス（株）
５月　８日　島袋小学校コンピュータ教室設計業務　大城・親泊建築設計事務所
５月１０日　北中城小学校全面改築落成式典及び祝賀会
７月　１日　教育委員長新垣盛孝が再任
７月１４日　北中城小学校運動場設計業務（有）東洋設計
７月１６日　北中城中学校校庭整備設計業務（有）東洋設計
７月２５日　葛巻町児童交流団受入
７月２８日　外国青年招致事業の外国語指導助手
ロジャーズ・ダロー着任
８月　１日　教育長として比嘉勲が再任
８月１５日　島袋小学校体育暗幕取付工事（有）文正堂
１０月２９日　北中城小学校屋外運動場建設工事　運動場工事：有）清盛建設 子供広場工事：（有）知花組 スタンド工事：（株）南星
１１月２０日　中学校体育館緞帳工事　大伸商事
１２月　５日　中学校校庭整備工事（株）小橋川技建
１月１２日　島袋小学校コンピュータ教室建設工事　建築工事：誠和建設（株）電気・除湿設備工事：（有）ダイデン工事
３月３１日　学校給食共同調理場調理員　名幸律子退職
指導主事安里盛栄移動退職　北谷町立北玉小学校教頭へ

平成１０年度

４月　１日　人事異動　山田英夫、安座間良江　村長部局へ出向　学校教育指導主事に宮城盛雄を採用
教育総務課に仲村健二、宮城さよ子を採用
山城和子、宮里悦子兼職をとく　北中城幼稚園へ高江洲啓子兼主査で北中城中学校へ
教育委員安里史子再任
７月２７日　外国語指導助手　ロジャーズ・ダロー離任
外国青年招致事業の外国語指導助手
アギュラ・シャリー着任
９月　１日　学校パソコン賃貸借契約
（資）近江商事　小学校１校当　384,930 円／月（資）近江商事　中学校１校当
519,000 円／月
１０月　１日　中学校に「心の教室相談員」設置
１１月２５日　北中城小学校「体力づくり」研究指定発表会（県・村指定）
１１月３０日　北中城中学校センターホール屋根防水工事
（株）オキナワ技研
１月　５日　葛巻町へ訪問研修団派遣
１月３０日　北中城中学校センターホール屋根防水工事竣工

平成１１年度

４月　１日　人事異動　外間裕、比嘉正成、仲座照江　村長部局へ出向。生涯学習課参事に新垣敏光、生涯学習課に喜納一巳、教育総務課（北中城小学校勤務）に安里春美を採用　島袋小学校へ仲村健二　就任　仲地直美兼主査で生涯学習課へ。安里律子兼職をとく　北中城幼稚園へ。
教育委員仲村和子再任。委員長に新垣盛孝、職務代理者に仲村和子選任
５月２５日　北中城中学校柔剣道場実施設計委託　アゲナ建築設計事務所
６月２７日　島袋公民館落成式及び祝賀会

７月２３日　北中城小学校児童用机・腰掛買い換え２８２セット（株）丸仁
７月２５日　葛巻町生徒会リーダー訪問団受入（ホームステイ）
７月２７日　北中城小学校下水道接続及び浄化槽解体工事（有）屋宜原工務店
８月２３日　北中城小学校下水道接続及び浄化槽解体工事完了
９月１３日　北中城中学校柔剣道場建築工事　建築工事：（株）前原建設電気工事：（有）ダイデン工業　水道工事：（有）日光工業工事監理：アゲナ建築設計事務所
１２月　１日　北中城中学校部室新築工事（株）大田建設
北中城中学校屋内運動場照明取付工事（有）嘉電設
１２月　９日　北中城村内小学校遊具設置工事（株）沖縄工設
２月１４日　北中城中学校進入路工事　（有）勝南
２月１５日　北中城中学校屋内運動場照明施設設置工事竣工
３月　３日　北中城中学校柔剣道場新築工事竣工
３月１８日　北中城中学校部室新築工事竣工
３月２２日　北中城村内小学校遊具設置工事竣工
３月３０日　北中城中学校進入路工事竣工
３月３１日　教育委員比嘉昭任期満了。
指導主事宮城盛雄離任　嘉手納小学校校長へ
学校給食共同調理場調理員安里光雄、
宮城和子　勧奨退職

平成１２年度

４月　１日　人事異動
古堅トシ子、大泊スエ子　村長部局へ出向
学校教育指導主事に島袋恭治を採用。教育総務課に内間雅美を採用
教育委員に仲宗根鈴子が就任。委員長に
新垣盛孝、職務代理者に仲村和子を選任
４月１９日　北中城中学校柔剣道場（武道場）落成式典及び祝賀会
１月　９日　北中城中学校生徒会リーダー葛巻町訪問研修（～１３日）
２月　８日　北中城村学力向上実践研究発表会　島袋小学校

平成１３年度

４月　１日　人事異動　与儀光敏　村長部局へ出向
生涯学習課に比嘉直也を採用、具志堅径子兼主査で教育総務課へ
６月３０日　教育委員新垣盛孝　任期満了
７月　１日　教育委員に比嘉幸吉が就任
委員長に仲村和子、職務代理者に仲宗根鈴子を選任
７月２７日　外国青年招致事業の外国語指導助手
アギュラ・シャリー離任
北中城中学校運動場等整備事業　設計監理業務：（有）嘉陽測量設計
島袋小学校会議室整備事業
設計監理業務：大城・親泊建築設計事務所
７月３０日　葛巻町生徒訪問研修団受入
８月　１日　教育長として比嘉勲が再任
８月　８日　外国青年招致事業の外国語指導助手
クリンガー・エリック着任
１０月２９日　島袋小学校会議室建築工事：（株）前原建設　電気・空調設備：（有）テクノ技建
機械設備：（有）日光工業
１１月２６日　島袋小学校体育備品庫整備事業
設計監理業務：大城・親泊建築設計事務所
建築工事：（株）丸新建設
１２月　６日　北中城中学校運動場等整備事業
防球ネット工事：大賀開発（株）散水施設工事：（有）日光工業電気設備工事：三協電設（株）
３月２２日　島袋小学校体育備品庫建築工事竣工
３月２５日　島袋小学校会議室建築工事竣工
３月２８日　北中城中学校運動場（防球ネット、散水施設）整備工事竣工

平成１４年度

４月　１日　人事異動　安里光雄　村長部局へ出向
教育総務課に比嘉英順を採用。学校教育指導主事島袋恭治　沖縄市教育委員会へ。学校教育指導主事に久志栄徳を採用
教育委員に安里史子が再任。委員長に
仲村和子、職務代理者に比嘉幸吉を選任
村内小中学校に総合的な学習の一環としてｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰを配置
体育指導委員に安里昌次郎、大田宏三、
城間正雄、真栄城守彦、安慶名スミ子、
喜納芳實、玉那覇栄司、天久清子、比嘉邦子再任　新垣剛を任命
４月２２日　村内小学校へ英語指導助手クリス・ハンター着任
７月１１日　しおさい公苑開苑式
７月２５日　第１回北中城村中学生、高校生海外短期留学生を米国ミネソタ州へ派遣（～８月１５日）
８月　１日　人事異動　仲泊兼徳、米須清俊　村長部局へ出向、教育総務課に城間理文、生涯学習課に安里吉友を採用
９月　７日　第１５回北中城村長杯沖縄県選抜少年サッカー大会開催（～８日）
１０月　１日　社会教育委員（兼公民館運営審議委員）
宮城博、宮城永昌、饒辺永太郎、与儀真一、
安里和子、安里信美、新垣栄子、岩元清一、
安里幸男、比嘉和行を任命

１１月２１日　北中城村体育指導委員協議会が、体育指導委員優良団体として表彰される。
１２月１２日　「赤木名節」（字島袋）を村指定無形民俗文化財、「根所の火の神」（字安谷屋）を村指定有形民俗文化財に指定する
第１回北中城村英語ストーリーコンテスト
１月　７日　北中城中学生徒（中学生１２名、引率者３名）葛巻町へ派遣（～１１日）
２月１３日　平成１４年度北中城村学力向上実践研究発表会
２月２３日　北中城村立北中城小学校創立１００周年記念式典挙行
３月３１日　教育委員仲村和子任期満了

平成１５年度

４月　１日　教育委員に豊永伊佐子が就任　教育委員長に比嘉幸吉、職務代理者に仲宗根鈴子を選任。体育指導委員上里幸春、与儀守、比嘉一郎、安和淳一再任、村吉政志を任命
４月　２日　村内小学校へ英語指導助手アン・ランタリーが着任
４月２９日　安里永誠氏春の叙勲で教育功労勲五等瑞宝章受賞
７月２９日　葛巻町中学生訪問研修団（生徒１１名、引率２名）を受入　８月１日まで
１１月　６日　村文化財保護審議会会長大城盛光氏、沖縄県文化功労者で表彰
１１月　７日　北中城村教育委員会ホームページ開設
１１月１３日　第４２回全国学校体育研究大会において、北中城中学校が全国体育優秀校として表彰される
１１月２８日　沖縄県教育委員会指定「空手道」指導推進発表会（北中城中学校）
１２月１１日　第２回北中城村英語ストーリーコンテスト
２月　４日　北中城村教育の目標を制定
２月１２日　北中城村学力向上実践発表会（北中城小学校）

平成１６年度

４月　１日　人事異動　安里吉友村長部局へ出向、生涯学習課に与儀光敏を採用
教育委員に仲宗根鈴子が再任。教育委員長に比嘉幸吉、職務代理者に仲宗根鈴子を再任
体育指導員に安里昌次郎、大田宏三、城間正雄、真栄城守彦、安慶名スミ子、喜納芳實、新垣剛、天久清子、比嘉邦子、与那覇栄司を任命
６月２４日　北中城村内教育用コンピュータ等整備事業
７月　９日　北中城村内小学校、中学校校内ＬＡＮ整備事業：（株）オキジム
７月２６日　外国青年招致事業の外国語指導助手ワトソン・ベッサニー着任
８月　５日　外国語指導助手クリンガー・エリック離任
「喜舎場のウフカー」「大城のイリヌカー」を村指定史跡として指定する
８月２２日　第３４回全国中学校バスケットボール大会において北中城中学校が全国優勝
１０月１４日　社会教育委員（兼公民館運営審議委員）宮城博、森田孟則、安里正一、比嘉守光、比嘉洋子、安里信美、新垣栄子、喜友名正子、安里幸男、比嘉和行を任命
１２月　８日　第３回北中城村英語ストーリーコンテスト開催
１月１１日　北中城中学校葛巻町訪問研修団（生徒１２名、引率３名）を派遣（１５日まで）
２月１５日　平成１６年度沖縄県児童生徒等表彰で北中城中学校男子バスケットボール部が表彰される
３月３１日　教育総務課長　比嘉英順退職

平成１７年度

４月　１日　人事異動　安里成徳　村長部局へ出向　教育総務課に中村功を採用　生涯学習課に比嘉孝則、稲福恭秀、与那城世代子を採用
喜納一巳、仲地直美、村長部局へ出向　教育総務課　大城美智子　生涯学習課へ配置換え
教育委員長に比嘉幸吉、同職務代理者に安里史子選任　学校教育指導主事久志栄徳コザ中学校教頭へ　学校教育指導主事に徳村永盛を採用　体育指導委員に上里幸春、比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司を委嘱。教育相談員に宮城永昌就任
５月１２日　体育指導委員補欠委員に城間智江美を委嘱
５月２３日　平成 22 年度全国高校総合体育大会の自転車競技（トラック）の開催を承諾
７月　１日　教育委員に比嘉幸吉を再任　教育委員長に比嘉幸吉を再任
７月　７日　体育指導委員補欠委員に大城隆行を委嘱
７月３１日　任期満了により比嘉勲教育長が退任
７月２９日　外国青年招致事業外国語指導助手ワトソン・ベッサニー離任
８月　１日　教育委員に川上辰雄が就任
教育長に川上辰雄を選任
文化財保護審議会委員に比嘉清文、仲田栄二、金城陸弘を委嘱
８月　２日　平成１７年度葛巻町青少年訪問研修団受入（８月２日～５日）
８月　３日　外国青年招致事業外国語指導助手ブテウリア・マーティン着任
９月　１日　文化財保護審議会委員に大城盛光、稲福みき子を委嘱
北中城村立小中学校事務の共同実施要項制定（同日施行）
９月３０日　学校給食配送車両２台購入

１２月１３日　第４回英語ストーリーコンテスト
１２月２６日　中城城跡管理協議会において中城城跡に係る歳入及び負担を両村折半から属地面積割合に変更決定（平成１８年４月１日から中城村９割の収入及び負担、北中城村１割の収入及び負担へ）
２月　８日　平成１７年度北中城村学力向上実践発表会（北中城中学校）
２月１８日　第６回生涯学習発表会（～１９日）
３月２４日　あやかりの杜野外活動広場竣工
３月３０日　北中城村私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則制定（４月１日施行）
北中城村教育振興長期計画策定委員会設置規程制定（４月１日施行）
３月３１日　教育委員安里史子任期満了により退任。教育相談員豊原佐内　任期満了
あやかりの杜軽トラック購入

平成１８年度

４月　１日　教育委員に安里正一が就任。教育委員長に比嘉幸吉を選出　教育委員長職務代理者に仲宗根鈴子を指定
北中城幼稚園園長に伊佐明美島袋小学校長
体育指導委員に安里昌次郎、大田宏三、城間智江美、真栄城守彦、安慶名スミ子、大城隆行、新垣剛、天久清子、比嘉邦子、玉那覇栄司を委嘱
規約改正により、学校給食共同調理場所長の課長職が廃され学校給食係を設け所長は教育総務課長中村功が兼務、生涯学習課に文化振興係（村史編纂と文化財、文化振興）、あやかりの杜準備係が設置され社会教育係、社会体育係とあわせて４係
喜舎場・熱田・島袋・安谷屋・大城の５公民館に指定管理者制度導入
人事異動　山内米広、城間理文、比嘉さよ子、大泊スエ子、仲村健二、大田宏好、比嘉直也村長部局へ出向。教育総務課に名幸芳徳、玉栄治を採用、高江洲啓子　島小より配置換え。生涯学習課に大田義弘、島袋輝子、山田英夫、金城智夏を採用。
教育相談員津嘉山るり子　就任
４月１７日　社会教育指導員に喜納綾子委嘱
７月２１日　第４回中・高校生海外短期留学（米国ミネソタ７／２１～８／１０）
８月２８日　教育振興長期計画策定委員を委嘱　委員長比嘉得正、副委員長濱元朝雄、委員大城賢、富川盛武、備瀬ヒロ子、金城雅貴、森田孟則、山城勝、比嘉春枝、金城明美
１０月　２日　あやかりの杜図書館棟躯体工事着工　町田組・浜元組・山内組ＪＶ
１２月１２日　第５回村英語ストーリーコンテスト
１月１０日　北中城中学校葛巻町訪問研修団（～１３日　生徒１２名、引率４名）
２月　８日　平成１８年度村学対実践発表会（北中城小学校）
３月３１日　教育委員豊永伊佐子任期満了により退任
北中城幼稚園園長伊佐明美島袋小学校長退任
教育総務課長中村功定年退職

平成１９年度

４月　１日　教育委員に山川美奈子就任
教育委員長に比嘉幸吉、教育委員長職務代理者に安里正一を選出。北中城幼稚園園長に森田孟則北中城小学校長就任
人事異動　教育総務課長に新垣健雄を採用、併せて共同調理場所長を発令
教育総務課に生涯学習課から金城智夏、幼稚園から與嶺美智子、具志堅径子配置換。
高江洲啓子村長部局へ出向。生涯学習課に砂川正幸を採用
４月１６日　海外短期留学実行委員会結成（北中城村、南城市、中城村、伊平屋村）
４月２７日　中城公園公有化事業に係る裁判調停（情報開示と高良氏の所有権に係る調停）（国際産業代表取締役の高良氏から起こされたもの）不調に終わる。
５月　２日　社会教育指導員 城間智江美を委嘱
５月３０日　和仁屋公民館の建設計画の変更協議（県・総合事務局）２５０㎡を３２０㎡に
６月２０日　安全・安心な村づくり村民大会
７月１１日　第５回　中学生、高校生海外短期留学（～７月３１日）
７月３１日　葛巻町青少年訪問研修団受入（～８月３日）
８月１４日　和仁屋公民館建設契約
建築：（株）新栄組、山内組建設工事共同企業体　電気：（有）嘉電気　機械：金秀工業　設計管理：アゲナ建築設計事務所
９月１４日　あやかりの杜内外装工事着工　町田組・山内組ＪＶ　あやかりの杜備品　ネットワーク機器：プロスタッフ　地域・館内情報システム機器：NEC ｿﾌﾄ株
９月２０日　図書館システム機器：㈱オーシーシー、図書館家具：㈱ももやま
９月２６日　村子どもの安全・安心を守る連絡会発足
１１月　９日　渡口地区公民館設計業務：アゲナ建築設計事務所
１１月２８日　英語ストリートコンテスト
１２月　８日　中城若松の墓清め式　前原建設
１２月１７日　あやかりの杜マスコット審査
１２月１８日　村学力向上対策発表会
１２月２３日　わかてだ祭

１２月２７日　こども演劇「武士仲村」子どもアカデミー発表会
１月　６日　中頭郡駅伝大会において北中城中学校１年新屋萌子さん区間賞
２月２８日　北中城小学校増築工事（２教室）竣工
３月２４日　スクールバス購入
３月３１日　あやかりの杜竣工（図書館棟、廃食用油再処理施設、駐車場、バス、物品等）
教育委員仲宗根鈴子　任期満了により退任
教育相談員宮城永昌　任期満了
北中城幼稚園長・北中城小学校長森田孟則退任
幼稚園教頭比嘉ヨシエ退職、幼稚園教諭宮里悦子、山城和子、石川信子退職

平成２０年度

４月　１日　教育委員に玉城真由美就任
教育委員長に比嘉幸吉、教育委員長職務代理者に安里正一を選出
北中城幼稚園園長に真栄城隆北中城小学校長就任
教育相談員に兼城賢吉就任
体育指導委員に安里昌次郎、大田宏三、城間智江美、比嘉穂高、安慶名スミ子、大城隆行、
新垣剛、比嘉邦子、玉那覇栄司を委嘱
あやかりの杜の指定管理者にNPOおきなわ文化ネット（３年間）
和仁屋公民館の指定管理者に和仁屋自治会
人事異動　村長部局へ仲泊瑠美子、與儀光敏、玉栄治出向、生涯学習課に大城博を採用。教育総務課に安次富規昭、学校給食共同調理場に米須清喜を採用。教育総務課に生涯学習課から與那城世代子、幼稚園へ與嶺美智子配置換。幼稚園教頭に山田晴美を任命
４月１８日　第２次北中城村教育振興長期計画策定委員会（北中城教育ビジョン２１）発足
４月２１日　第１回北中城村立学校教職員統括安全衛生委員会
５月１３日　宜野湾地区安全なまちづくり推進協議会（大城自治会、ゆうなタクシー表彰）
５月１８日　和仁屋公民館落成祝賀会
５月２１日　大城立裕氏宅訪問（あやかりの杜図書館への図書寄贈依頼）
５月３１日　護佐丸展（中央公民館ホール、～６月１日）
６月２７日　あやかりの杜落成式典
７月　１日　あやかりの杜　スコーレ、ドミトリー、野外施設、キャンプ場供用開始
幼稚園教諭　宮城静香採用
体育指導委員に与儀依子を委嘱
７月１１日　海外短期留学出発（～７月３１日）
７月１７日　渡口公民館建設契約
建築：（有）明城建設・沖プライ商事株式会社共同企業体　電気：三協電設株式会社
機械：（株）喜納一工業　設計管理：アゲナ建築設計事務所
８月　１日　あやかりの杜図書館オープニングセレモニー
あやかりの杜巡回バス運行（無料）
８月　５日　渡口公民館地鎮祭
８月２０日　海外短期留学報告会
９月１３日　北中城村長杯サッカー大会（～１４日、閉会式トルシェ氏来賓）
１０月２８日　平成22年度全国高等学校総合体育大会北中城村実行委員会立ち上げ
１１月２２日　第９回生涯学習発表会（～２３日）
１１月２８日　英語ストーリーコンテスト
１２月１４日　北中城村子ども会育成会結成20周年記念式典
１２月１８日　村学推協実践研究発表会
１２月２１日　わかてだ祭
１月　７日　北中城中学校葛巻町訪問研修団（～１０日生徒１２名、引率４名）
２月２１日　島袋小創立２０周年記念式典
３月１３日　大城盛光氏　平成20年度地域文化功労者文部科学大臣賞表彰祝賀会
３月１９日　渡口公民館竣工
３月３１日　新垣幸枝島袋小学校長退任、幼稚園教頭山田春美　退職

平成２１年度

４月　１日　教育委員長比嘉幸吉、職務代理者安里正一を指定
玉城正彦島袋小学校長就任。教育相談員に宮城るり子就任
体育指導委員に上里幸春、比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司を委嘱
人事異動　村長部局へ比嘉孝則、稲福恭秀、山田英夫、大田義弘出向、生涯学習課長安里吉友採用、生涯学習課に玉栄幸徳、安里道広を採用、幼稚園教諭新里陽を採用、幼稚園副園長に大城敬子を任命　徳村永盛、安謝小学校長として転出、 学校教育指導主事に宮城彰夫を採用
４月　７日　体育指導委員に比嘉一郎、上里幸春、安和淳一、村吉政志、與儀司を委嘱
４月２１日　米国大学視察調査、社会教育係長大城博が参加（～３０日）
４月２６日　渡口公民館落成祝賀会
５月２９日　アワセゴルフ場内立ち入り踏査実施（埋蔵文化財関連）
６月３１日　比嘉幸吉、任期満了により教育委員を退任
７月　１日　教育委員に宮城永昌が就任、教育委員長に

宮城永昌を選任

７月１６日　第７回中学生、高校生海外短期留学（～８月５日）

７月２２日　北中城村教育振興計画（教育ビジョン２１）答申

７月２８日　葛巻町青少年訪問研修団受入（～３１日）

７月３０日　全国高等学校総合体育大会自転車競技視察調査団出発（奈良県、三重県）

７月３１日　任期満了により川上辰雄教育長が退任

８月　１日　教育委員に兼城賢吉が就任、
教育長に兼城賢吉を選任

８月　６日　北中城幼稚園実施設計契約有限会社ライズ設計

８月２４日　海外短期留学生帰国報告会

９月１２日　北中城村長杯サッカー大会（～１３日）

１０月　１日　島袋自治会通学バスを道路運送法改訂により村教育委員会で直営運行開始

１１月１４日　生涯学習発表会（～１５日）

１１月１７日　村学対実践発表会　会場　北中城小学校

１１月２６日　第１回北中城村教育事務点検評価委員会を開催し、委員長に比嘉英順氏を選任

１１月２８日　健康保険課、福祉課、給食共同調理場合同展を開催し、そのなかで給食展を開催

１１月２０日　北中城中学校　アンテナ工事（ICT）契約（有）ダイデン工業

１２月　１日　文化財保護審議会委員に金城睦弘、仲田栄二、大城逸朗、比嘉榮吉、比嘉政樹を委嘱

１２月　２日　ICT（北中城小学校、島袋小学校）契約沖縄コンピュータ販売株式会社

１２月１０日　英語ストーリーコンテスト

１２月２４日　あやかりの杜図書館協議会委員に森田孟則、金城明美、安里恵、玉城若子、大城寿子、喜納綾子、花城清長を委嘱

２０１０年　１月２４日　新春村民健康マラソン

１月２８日　第２回教育事務点検評価委員会　開催

１月３１日　北中城村史第四巻戦争編発刊

２月　２日　第３回教育事務点検評価委員会　開催

２月２２日　平成２０年度北中城村教育事務点検評価報告書答申

３月　９日　幼稚園・小学校プール改築工事にかかる公聴会

３月１６日　民俗文化財（有形）荻道のﾋｰｼﾞｬｰｶﾞｰを村指定

３月１９日　幼稚園・小学校プール改築工事契約
建築　仲本建設（株）・（有）美工開発　建設工事共同企業体　　電気　東洋電気工事（株）・（有）嘉電設建設工事共同企業体
機械　不二宮工業（株）・金秀工業建設工事共同企業体

３月２６日　村内遺跡発掘調査報告書Ⅰ　発刊

３月３１日　真栄城隆北中城小学校長退任
幼稚園副園長大城敬子定年退職

平成２２年度

４月　１日　教育委員に森田孟則が就任、教育委員長に宮城永昌を選任、職務代理者に森田孟則を指定　平田清美北中城小学校長就任、北中城村幼稚園園長を併任
人事異動　村長部局へ安次富規昭出向、教育総務課長新垣健雄、学校給食共同理場所長兼任を解く。同所長楚南兼二を発令。北中城幼稚園副園長に金城典子を任命
教育相談員に宮平きみ子就任
体育指導委員に安里昌次郎、大田宏三、城間智江美、比嘉穂高、安慶名スミ子、大城隆行、比嘉邦子、宮城聡、与儀依子、比嘉武裕を委嘱
幼稚園・小学校プール改築工事平成２２年度へ繰越

４月３０日　平成２２年度全国高等学校総合体育大会北中城村実行委員会第３回総会

５月　１日　ミニ企画展「わした村の文化財～パネルでみる指定文化財」（～５月30日）

５月２４日　小学校３・４年生の副読本編纂のため、第１回副読本編集委員会を開催。委員長平田清美、副委員長與座衛、委員前田郁子、松崎さとみ、佐藤靖男、糸数佐百合、多和田一美、
仲井間郁子、監修委員宮城永昌、仲泊兼康

６月１８日　北中城村史第四巻戦争編発刊報告展開催（～７月31日）

７月１５日　第８回中学生・高校生海外短期留学（～８月４日）

７月２８日　平成２２年度全国高等学校総合体育大会（美ら島沖縄総体）自転車競技開会式（名護市）

７月３０日　美ら島沖縄総体自転車競技「トラックレース」開幕及び閉会式（～８月１日）沖縄県総合運動公園自転車競技場（北中城村）

８月１０日　アワセゴルフ場跡地試掘調査支援業務委託契約締結（文化財）

８月１２日　あやかりの杜図書館協議会委員に仲泊兼康委嘱（森田孟則退任により）

８月１４日　「琉球王国グスク及び関連遺産群」世界遺産登録記念事業開催：出土品巡回展・リレー講座 in 北中城（14 日・15 日）

８月１５日　第２、３回小学生球技大会・第３１回中学生球技大会

９月　９日　最上広域交流団が島袋小学校と交流

９月１０日　第２２回北中城村長杯県選抜少年サッカー大会（～１１日）

９月１１日　北中城村長杯サッカー大会（～１２日）

１０月　２日　第１２回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～３日）

１０月　２日　第１６回ふれあいグランドゴルフ大会
１１月１３日　生涯学習発表会（～１４日）
１１月１６日　村学力向上推進実践研究発表会
１２月　８日　英語ストーリーコンテスト
１２月２０日　あやかりの杜指定管理者（平成２３年度より３年間）「有志企画」に決定
１月　６日　岩手県葛巻町へ北中城中学校生徒１２名引率３名出発
３月１１日　東北地方を中心とする東日本で午後２時４６分頃大地震（東日本大震災）が発生し沖縄県にも津波警報が発令され学校及び教育関係者が児童生徒の安全確保のため緊急対応する
３月２８日　３月２８から２９日まで北中城幼稚園、北中城小学校プールの完成検査を行い完成を確認
３月３１日　教育委員山川美奈子任期満了により退任
教育総務課長新垣健雄定年退職、幼稚園教諭安里律子退職
教育相談員宮平きみ子退任
３月　　日　安谷屋地区学習等供用施設防音機能復旧工事完了（空調機器取替工事）

平成２３年度

１月１６日　第３２回新春村民健康マラソン
３月１６日　平成２２年度全国高等学校総合体育大会北中城村実行委員会第４回総会・解散総会
４月　１日　教育委員に上里幸春就任
教育委員長に宮城永昌を選任、教育委員長職務代理者に森田孟則を選任
公民館運営審議会委員及び社会教育委員に比嘉邦子を任命、体育指導員に比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司、新里智紀を委嘱、社会教育指導員に喜納綾子を任命
人事異動
村長部局へ安里吉友、野路智夏出向
社会教育係長大城博が生涯学習課長に昇格、社会教育係長に学校給食共同調理場係長米須清喜を配置換、共同調理場所長楚南兼二が係長を兼任、調理士上里幸太を採用
村長部局から教育総務課長大田繁、教育総務係長名幸真理、仲本香を採用、生涯学習課に仲村静香を採用
学校教育指導主事宮城彰夫が村立島袋小学校教頭として転出
学校教育指導主事に與座衛を採用
教育相談員に伊佐明美が就任
４月　１日　あやかりの杜指定管理者「ＮＰＯ法人友志企画」による管理運営開始
４月　１日　体育指導委員に比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司、新里智紀を委嘱
４月１８日　北中城幼稚園、北中城小学校プール施設の鍵がプロジェクト推進課から引渡される
６月１３日　ミニ写真展「北中城村の戦後」（～７月２９日）
６月２７日　アワセゴルフ場跡地試掘調査支援業務委託契約締結
７月１５日　第９回中・高校生夏休み海外短期留学派遣（～８月５日）
７月２３日　第１３回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～２４日）
７月２５日　学校開放プール事業実施（～８月１９日）
７月２７日　岩手県葛巻町から青少年研修訪問団中学生１２名引率３名が来村
８月　１日　北中城幼稚園教諭豊里優香採用
８月　８日　北中城幼稚園新園舎へ引っ越し（預かり保育は旧園舎で８月中行う）
８月１１日　学校給食共同調理場調理士棚原菜津子採用
８月２２日　ミニ写真展「道具から見る昔のくらし」（～９月２日）
９月　１日　北中城幼稚園の位置を喜舎場２５５番地１に改め、同日開園式を行う
１１月　２日　学力向上推進実践研究発表会
１２月１４日　英語ストーリーコンテスト
３月３１日　教育委員玉城真由美任期満了により退任
平田清美北中城小学校長退任、玉城正彦島袋小学校長退任
教育総務課長大田繁勧奨退職、
島袋輝子、大城美智子定年退職

平成２４年度

４月　１日　教育委員に与儀幸子就任
伊敷ひろみ北中城小学校長就任、北中城幼稚園園長を併任
宇都宮幸雄島袋小学校長就任
人事異動
村長部局へ具志堅径子出向
社会教育係長米須清喜が教育総務課長に昇格、村長部局から教育総務課に大泊スエ子、大城健太、生田拓也を採用
生涯学習課社会教育係長に與那城世代子、喜舎場雅也、文化振興係長に大城直哉を採用
スポーツ推進委員に安里昌次郎、安慶名スミ子、大田宏三、城間智江美、大城隆行、与儀依子、比嘉武裕、宮城聡を委嘱
４月　２日　教育委員長に宮城永昌を選任、教育委員長職務代理者の森田孟則を選任
５月　１日　スポーツ推進委員に比嘉亮太、宮城達樹を委嘱
７月　９日　文化財ミニ企画展「さぐってみよう昔のくらし」開催（～８月３１日）
７月１３日　第１０回中学生・高校生夏休み海外短期留学派遣（～８月２日）
８月　７日　第５回北中城村英語キャンプ・プログラム

（ＥＣＰ）事業（～８月１３日）
８月１８日　第１４回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～８月１９日）
９月　８日　北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～９月９日）
９月１９日　北中城村歴史風到資産調査業務委託契約締結
１１月　２日　村学力向上対策公開事業
１２月　１日　北中城村DOTEプログラム講座開始
１２月１９日　英語ストーリーコンテスト
１月　９日　岩手県葛巻町へ北中城中学校生徒１２名、引率４名出発（～１月１２日）
１月２０日　第３４回新春村民健康マラソン
２月１０日　第１３回生涯学習発表会
２月２０日　第１回ひまわりノルディックウォーキング
３月２６日　村内遺跡発掘調査報告書Ⅱ発刊
３月３１日　幼稚園教諭與嶺美智子定年退職

平成２５年度

４月　１日　人事異動
村長部局へ楚南兼二、大城直哉、玉栄幸憲、仲本香出向、砂川正幸が文化振興係長に昇格
生涯学習課社会体育係長に玉栄治、学校給食共同調理場所長に名幸芳徳、教育総務課に新垣沙織、生涯学習課に安里尚、幼稚園教諭高良カンナを採用。スポーツ推進委員に比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司、新里智紀を委嘱
７月　１日　宮城永昌が教育委員に再任、教育委員長に選任
７月１２日　第１１回中学生・高校生夏休み海外短期留学派遣（～８月１日）
７月３０日　岩手県葛巻町から青少年研修訪問団中学生１２名、引率４名が来村（～８月２日）
７月３１日　任期満了により兼城賢吉教育長が退任
８月　１日　森田孟則教育長職務代理が教育長に選任、教育長職務代理者に上里幸春指定、教育委員に玉城若子が就任
８月　４日　第２６回小学生球技大会、第３４回中学生球技大会
８月　４日　第６回北中城村英語キャンプ・プログラム（ＥＣＰ）事業（～８月１１日）
８月２４日　第１５回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～８月２５日）
９月　７日　海邦国体記念第２５回北中城村長杯沖縄県選抜少年サッカー大会（～９月８日）
１１月　１日　村学力向上推進公開授業
１１月　３日　第１８回北中城村ふれあいグラウンドゴルフ大会
１１月２７日　英語ストーリーコンテスト
１月１９日　第１回ちびっ子マラソン
２月　８日　第14回生涯学習発表会／ひまわりノルディックウォーキング
３月３１日　伊敷ひろみ北中城小学校長退任、下地宏邦北中城中学校長退任
教育総務課大泊スエ子定年退職
宇都宮幸雄島袋小学校長が宜野湾市教育委員会へ転出
学校教育指導主事與座衛が宜野湾市立宜野湾小学校教頭として転出

平成２６年度

４月　１日　岩本利章北中城小学校長就任、北中城幼稚園長を併任。新里誠島袋小学校長就任。徳村永盛北中城中学校長就任。
規約改正により、学校給食共同調理場所長の課長職が廃され所長は教育総務課長米須清喜が兼務、生涯学習課社会体育係が廃され社会教育係長に玉栄治配置換。
人事異動
村長部局へ名幸芳徳、與那城世代子が出向
村長部局から学校給食共同調理場給食係長に仲地直美、教育総務課に知花碧、生涯学習課に津久井誠、山内昌史を採用。
学校教育指導主事に多和田勝を採用
７月　１日　宮城永昌教育委員を教育委員長に選任
７月　８日　第１２回中学生・高校生夏休み海外短期留学派遣（～７月29日）
８月　２日　第７回北中城村英語キャンプ・プログラム（ＥＣＰ）事業（～８月９日）
８月　３日　第２７回小学生球技大会、第３５回中学生球技大会
８月２４日　第１６回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～８月２５日）
９月　６日　海邦国体記念第２６回北中城村長杯沖縄県選抜少年サッカー大会（～９月７日）
１１月　２日　第１９回北中城村ふれあいグラウンドゴルフ大会
１１月　５日　村学力向上推進公開授業
１１月２７日　英語ストーリーコンテスト
１月　６日　岩手県葛巻町へ北中城中学校生徒１２名、引率４名出発（～１月１２日）
２月　７日　第１５回生涯学習フェスティバル
３月３１日　生涯学習課長 大城博 定年退職

平成２７年度

４月　１日　教育委員に安里恵 就任
教育委員長職務代理者に与儀幸子を選任
スポーツ推進委員に比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司、新里智紀を委嘱
社会教育指導員に喜納綾子、安和園子を任命
人事異動
村長部局へ米須清喜、生田拓也が出向
村長部局から生涯学習課長に名幸芳徳、教育

総務課長兼学校給食共同調理場所長に喜納克彦、教育総務課に山田航を採用
６月１０日　公民館運営審議会委員及び社会教育委員に大泊スエ子を委嘱
７月　１日　教育委員長に宮城永昌を選任
７月　８日　第１３回中学生・高校生夏休み海外短期留学派遣（～３０日）
８月　２日　第２８回小学生球技大会、第３６回中学生球技大会
第８回北中城村英語キャンプ・プログラム（ＥＣＰ）事業（～８月９日）
８月　４日　岩手県葛巻町から青少年研修訪問団中学生１２名、引率４名が来村（～８月７日）
８月１５日　第１７回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～８月１６日）
９月　５日　海邦国体記念第２７回北中城村長杯沖縄県選抜少年サッカー大会（～９月６日）
１０月３０日　村学力向上推進公開授業
１１月　１日　第２０回北中城村ふれあいグラウンドゴルフ大会
１１月３０日　英語ストーリーコンテスト
２月　７日　第１５回生涯学習発表会
３月３１日　岩本利章北中城小学校長退任、徳村永盛北中城中学校長退任、学校教育指導主事多和田勝が沖縄県教育庁義務教育課へ転出

平成２８年度

４月　１日　知念良和北中城小学校長就任、北中城幼稚園長を併任。照喜名朝盛北中城中学校長就任
学校教育指導主事に伊波寛仁を採用
教育委員長職務代理者に与儀幸子を選任
スポーツ推進委員に安里昌次郎、安慶名スミ子、大田宏三、大城隆行、宮城聡、比嘉亮太、宮城達樹、山田晃、與儀俊一、知念成名美を委嘱
社会教育指導員に喜納綾子、安和園子を任命
人事異動
村長部局へ名幸真理、仲村静香、喜舎場雅也、山田奈津子が出向、仲皿陽が人事交流派遣
村長部局から生涯学習課に小橋川剛、教育総務係長に新垣理衣子、教育総務課に新城はづき、学校給食共同調理場に真栄城守彦を採用、北中城幼稚園に大田淳子を人事交流派遣
６月１０日　公民館運営審議会委員及び社会教育委員に大泊スエ子を委嘱
７月　８日　第１４回中学生・高校生夏休み海外短期留学派遣（～３０日）
８月　２日　第９回北中城村英語キャンプ・プログラム（ＥＣＰ）事業（～８月９日）
８月　３日　第２９回小学生球技大会、第３７回中学生球技大会
８月２４日　第１８回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～８月２５日）
９月　６日　海邦国体記念第２８回北中城村長杯沖縄県選抜少年サッカー大会（～９月７日）
１０月　１日　公民館運営審議会委員及び社会教育委員に照喜名朝盛を委嘱
１１月　１日　村学力向上推進公開授業
１１月　２日　第１９回北中城村ふれあいグラウンドゴルフ大会
１１月１６日　英語ストーリーコンテスト
１月１０日　岩手県葛巻町へ北中城中学校生徒１２名、引率４名出発（～１月１３日）
１月２１日　第１６回生涯学習発表会
２月１６日　北中城村「教育の日」

平成２９年度

４月　１日　スポーツ推進委員に比嘉一郎、安和淳一、村吉政志、与儀司、新里智紀を委嘱。社会教育指導員に喜納綾子、安和園子を任命
人事異動
村長部局へ仲地直美が出向
村長部局から学校給食共同調理場給食係長に比嘉さよ子を採用、北中城幼稚園副園長に大田淳子を任命、北中城幼稚園に與儀春菜、山内このみを採用
６月３０日　任期満了により宮城永昌教育委員長が退任
７月　１日　教育委員に砂川惠重が就任、
教育委員長に砂川惠重を選任
７月３１日　任期満了により玉城若子教育委員が退任
８月　１日　教育委員に安和淳一が就任
岩手県葛巻町から青少年研修訪問団中学生１２名、引率４名が来村（～８月４日）
８月　６日　第３０回小学生球技大会、第３８回中学生球技大会
８月１２日　第１９回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会（～８月１３日）
８月１４日　第１０回北中城村英語キャンプ・プログラム（ＥＣＰ）事業（～８月２０日）
９月　２日　海邦国体記念第２９回北中城村長杯沖縄県選抜少年サッカー大会（～９月３日）
９月１０日　第3回ふるさと芸能まつり
１１月　２日　村学力向上推進授業研究会
１２月　７日　英語ストーリーコンテスト
１月１８日　北中城中学校校舎改築工事竣工
１月２０日　第１７回生涯学習フェスティバル
２月１５日　北中城村「教育の日」
２月２３日　生徒会主催：北中城中学校創立７０周年記念式典
２月２４日　期成会主催：北中城中学校創立７０周年記念式典・祝賀会
３月２６日　北中城中学校新校舎落成記念式典及び祝賀会

３月３１日　任期満了により森田孟則教育長が退任。上里幸太退職。
知念良和北中城小学校長退任、新里誠島袋小学校長退任、照喜名朝盛北中城中学校長退任、学校教育指導主事伊波寛仁が西原東中学校長として転出

平成３０年度

４月　１日　教育長に砂川惠重を任命、制度改正により教育委員の委員長職が廃止
教育委員に徳村永盛が就任、教育長職務代理者に徳村永盛を選任
目取真康司北中城小学校長就任、北中城幼稚園長を併任
徳村直美島袋小学校長就任。友寄ゆかり北中城中学校長就任
学校教育指導主事に玉城有を採用
人事異動
村長部局へ名幸芳徳、比嘉さよ子、比嘉英雅、津久井誠、大城健太が出向
村長部局から生涯学習課長に與儀光敏、学校給食共同調理場給食係長に比嘉利彦、生涯学習課に金城徹、教育総務課に与儀清太、学校給食共同調理場に喜屋武修を採用
１１月　１日　村学力向上推進授業研究会
１２月　５日　英語ストーリーコンテスト
１月　８日　岩手県葛巻町へ北中城中学校生徒１２名、引率４名出発（～１月１１日）
１月１９日　第１８回生涯学習フェスティバル
２月１２日　北中城村「教育の日」
３月３１日　任期満了により安里恵教育委員が退任
北中城幼稚園副園長大田淳子が定年退職

令和元年度

４月　１日　教育委員に大屋みゆきが就任
学校教育指導主事に比嘉孝徳を採用
人事異動
村長部局へ玉栄治、知花碧、山内昌史、安里尚が出向、與儀春菜が人事交流派遣
村長部局から社会教育係長に喜納政史、生涯学習課に仲村健二、仲田幸康、河野美咲、教育総務課に浦崎千穂を採用
北中城幼稚園副園長に宮城静香を任命、学校給食共同調理場に赤嶺能文を採用、北中城幼稚園に仲田小巻を人事交流派遣、仲皿陽の人事交流派遣を解除
８月　６日　岩手県葛巻町から青少年研修訪問団中学生１４名、引率４名が来村（～８月９日）
１０月２９日　村学力向上推進授業研究会
１２月　９日　英語ストーリーコンテスト
１月１９日　生涯学習フェスティバル
２月２５日　北中城村「教育の日」
３月３１日　任期満了により与儀幸子教育委員が退任
学校給食共同調理場城間爲宏退職

令和２年度

４月　１日　教育委員に知念絹代が就任
甲斐達二北中城小学校長就任、北中城幼稚園長を併任
人事異動
村長部局へ山田航が出向
村長部局から教育総務課に津久井誠を採用
学校給食共同調理場に安里弘都を採用
１２月　１日　村学力向上推進授業研究会
２月１０日　北中城村「教育の日」
３月３１日　任期満了により砂川惠重教育長が退任
徳村直美島袋小学校長退任、友寄ゆかり北中城中学校長退任、学校教育指導主事玉城有が中城南小学校長として転出

令和３年度

４月　１日　教育長に徳村永盛を任命
與儀里未島袋小学校長就任、照屋心一郎北中城中学校長就任
学校教育指導主事に島袋淳を採用
人事異動
村長部局へ喜納克彦、比嘉利彦、新垣沙織、眞榮城守彦が出向
村長部局から教育総務課長兼学校給食共同調理場所長に玉栄治、教育総務課に野路智夏、生涯学習課に新垣沙織を採用
学校給食共同調理場給食係長に新城はづき、学校給食共同調理場に山田菜津子を採用
１２月　３日　村学力向上推進授業研究会
３月３１日　任期満了により富永一也教育委員が退任
甲斐達二北中城小学校長退任、学校教育指導主事比嘉孝徳が嘉数中学校教頭として転出
生涯学習課長與儀光敏退職、学校給食共同調理場喜屋武修退職

令和４年度

４月　１日　教育委員に城間健二が就任
崎濱陽子北中城小学校長就任、北中城幼稚園園長を併任
学校教育指導主事に狩俣英樹を採用
人事異動
村長部局へ砂川正幸、赤嶺能文が出向、仲田小巻の人事交流派遣を解除
村長部局から生涯学習課長に比嘉利彦、文化振興係長に比嘉くらら、学校給食共同調理場に比嘉英雅、安次嶺匡貴を採用、比嘉春菜の人事交流派遣を解除
１０月１日　人事異動
村長部局へ与儀清太が出向
村長部局から教育総務課に山口かすみを採用

２月　３日　北中城村「教育の日」
３月３１日　任期満了により大屋みゆき教育委員が退任
與儀里未島袋小学校長退任
学校給食共同調理場山内実定年退職

令和５年度

４月　１日　教育委員に安谷屋建が就任
宮城政光島袋小学校長就任
人事異動
村長部局へ玉栄治、仲田幸康、新城はづきが出向
村長部局から教育総務課長兼学校給食共同調理場所長に平田清徳、生涯学習課に山城駿、学校給食共同調理場給食係長に仲宗根聡、学校給食共同調理場に瑞慶覧瞬を採用
３月２２日　第２２回生涯学習フェスティバル
３月３１日　任期満了により知念絹代教育委員退任
崎濱陽子北中城小学校長退職、照屋心一郎北中城中学校長退任、
学校教育指導主事島袋淳が田場小学校校長として転出

令和6年度

４月　１日　教育長に德村永盛が再任
教育委員に翁長麻紀子が就任
塩川真弓北中城小学校長就任、北中城幼稚園園長を併任
石原昌英北中城中学校長就任
学校教育指導主事に兼島栄を採用
人事異動
村長部局へ比嘉利彦、野路智夏が出向
生涯学習課長に新垣理衣子が昇任
村長部局から教育総務係長に比屋根元、文化振興係長に砂川正幸、生涯学習課に新垣昌也、名幸芳徳を採用
生涯学習課から教育総務課へ山城駿を配置換え
１２月２６日　上原充北中城中学校長就任
３月３１日　宮城政光島袋小学校長が勝連小学校校長として転出、学校教育指導主事狩俣英樹が中頭教育事務所主任指導主事として転出
北中城幼稚園が閉園し、「北中城村立北中城こども園」となる。

令和7年度

４月　１日　榮葉子島袋小学校長が就任
学校教育指導主事に比嘉一寿を採用
人事異動
村長部局へ喜納政史、仲宗根聡、津久井誠、浦崎千穂、金城徹が出向
村長部局から教育総務課へ大城盛太、齋藤美穂、仲本恵梨加
社会教育係長に金城忠、生涯学習課へ諸見里結衣を採用
教育総務課から生涯学習課へ山口かすみを配置換え
給食共同調理場に眞榮城守彦、赤嶺能文を採用、北中城こども園へ人事交流派遣
７月３１日　任期満了により教育委員の安和淳一が退任
８月　１日　新教育委員に崎濱陽子が就任
２月１０日　北中城村「教育の日」
２月１５日　第２３回生涯学習フェスティバル
３月３１日　任期満了により教育委員の城間健二が退任
塩川真弓北中城小学校長が古堅小学校校長として転出、学校教育指導主事兼島栄が美東小学校校長として転出

令和8年度

４月　１日　新教育委員に玉城勝一が就任
前原博光北中城小学校長が就任
学校教育指導主事に眞境名兼彦を採用
人事異動
村長部局へ新垣理衣子が出向
村長部局から生涯学習課長に玉栄幸憲を採用
北中城こども園に安里弘都を人事交流派遣、眞榮城守彦の人事交流派遣を解除

教育長並びに教育委員



教育長
徳村　永盛



教育長職務代理者
崎濱　陽子



委員
安谷屋　建



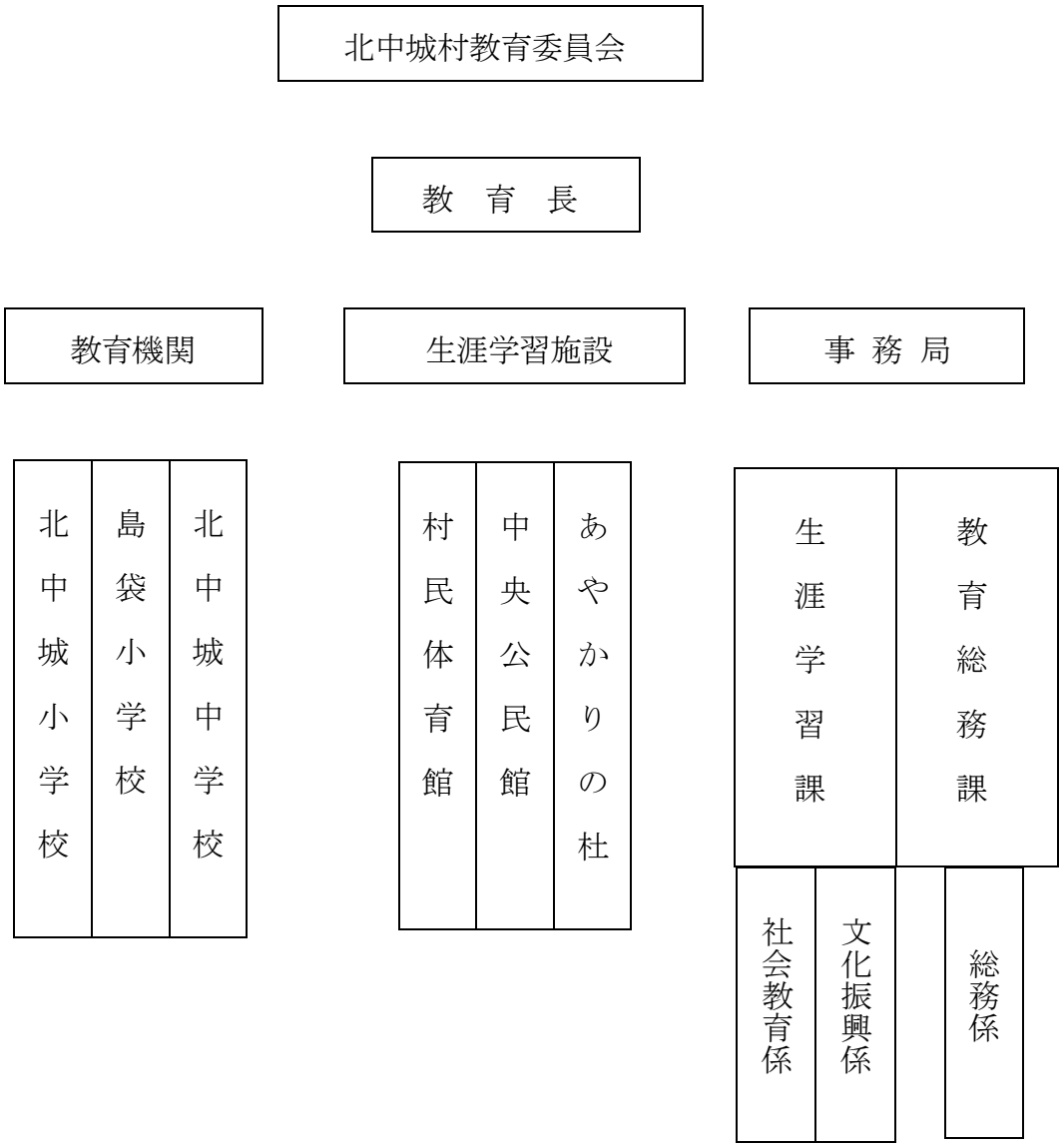
委員
翁長　麻紀子



委員
玉城　勝一

委員の別	氏　　名	任　　期
教育長	徳村　永盛	令和　６年　４月　１日から 令和　９年　３月３１日まで
教育長 職務代理者	崎濱　陽子	令和　７年　８月　１日から 令和１１年　７月３１日まで
委員	安谷屋　建	令和　５年　４月　１日から 令和　９年　３月３１日まで
委員	翁長　麻紀子	令和　６年　４月　１日から 令和１０年　３月３１日まで
委員	玉城　勝一	令和　８年　４月　１日から 令和１２年　３月３１日まで

北中城村教育委員会機構図



附属機関

① 北中城村教育支援委員会
② 北中城村立学校給食運営委員会
③ 北中城村社会教育委員会
④ 北中城村公民館運営審議会
⑤ 北中城村文化財保護審議会
⑥ 北中城村スポーツ推進委員協議会
⑦ 北中城村学力向上推進委員会
⑧ 北中城村育英会
⑨ 北中城村教育委員会事務点検評価委員会

歴 代 教 育 委 員

（1）教育委員

Ｎｏ	氏　　名	就任年月日	退任年月日	出身	備　　考
１	与嶺永喜	昭２７．　５．１１	昭３２．　３	仲順	
２	伊佐常喜	〃２７．　５．１１	〃３２．　３	石平	
３	与儀繁雄	〃２７．　５．１１	〃３２．　３	島袋	委員長
４	比嘉秀盛	〃２７．　５．１１	〃３３．１２．２７	島袋	
５	中村　信	〃２７．　５．１１	〃３２．　３	大城	
６	安里栄繁	〃３２．　３．１８	〃４６．　３．　７	安谷屋	副委員長
７	中村栄俊	〃３２．　３．１８	〃４４．　３．　９	大城	
８	名幸正期	〃３２．　３．１８	〃４８．　３．３１	熱田	
９	仲本善徳	〃３２．　８．１８	〃４６．　３．　７	仲順	委員長
１０	仲村栄春	〃３３．１２．２７	〃４２．　３．　５	大城	委員長
１１	比嘉　浩	〃４２．　３．　５	〃４６．　３．　７	島袋	
１２	新垣進市	〃４４．　３．　９	〃６０．　３．３１	石平	委員長・教育長
１３	比嘉功助	〃４６．　３．　７	〃４８．　３．３１	渡口	副委員長
１４	比嘉武繁	〃４６．　３．　７	〃４８．　３．３１	安谷屋	委員長
１５	城間徳盛	〃４６．　３．　７	〃４８．　３．３１	熱田	
１６	比嘉永俊	〃４８．　４．　１	〃５６．　３．　５	島袋	委員長
１７	垣花良香	〃４８．　４．　１	〃５９．　３．３１	仲順	委員長職務代理者
１８	安里要江	〃４８．　４．　１	〃５４．　３．３１	喜舎場	
１９	安里永吉	〃４８．　４．　１	〃５７．　３．３１	熱田	
２０	仲村栄春	〃５４．　４．　１	〃５８．　３．３１	大城	委員長
２１	新垣良英	〃５６．　４．　１	〃６０．　３．３１	島袋	委員長職務代理者
２２	大田よし子	〃５７．　４．　１	〃６１．　３．３１	仲順	
２３	安里永誠	〃５８．　４．　１	平　７．　３．３１	荻道	委員長
２４	比嘉照男	〃５９．　４．　１	昭６３．　３．３１	島袋	委員長職務代理者
２５	喜屋武　馨	〃６０．　４．　１	平　３．１１．３０	島袋	教育長
２６	比嘉盛徳	〃６０．　４．　１	〃　５．　３．３１	渡口	委員長職務代理者
２７	大城トヨ	〃６１．　４．　１	〃　６．　３．３１	屋宜原	

２８	安　里　一　三	〃６３．　４．　１	〃　４．　３．３１	喜舎場	
２９	伊　佐　眞　治	平　３．１２．　１	〃　５．　３．３１	屋宜原	教育長
３０	比　嘉　　昭	〃　４．　４．　１	〃１２．　３．３１	島　袋	委員長職務代理者
３１	新　垣　盛　孝	〃　５．　７．　１	〃１３．　６．３０	安谷屋	委員長
３２	比　嘉　　勲	〃　５．　８．　１	〃１７．　７．３１	和仁屋	教育長
３３	安　里　史　子	〃　６．　４．　１	〃１８．　３．３１	喜舎場	委員長職務代理者
３４	仲　村　和　子	〃　７．　４．　１	〃１５．　３．３１	瑞慶覧	委員長
３５	仲宗根　鈴　子	〃１２．　４．　１	〃２０．　３．３１	島　袋	委員長職務代理者
３６	比　嘉　幸　吉	〃１３．　７．　１	〃２１．　７．３１	仲　順	委員長
３７	豊　永　伊佐子	〃１５．　４．　１	〃１９．　３．３１	安谷屋	
３８	川　上　辰　雄	〃１７．　８．　１	〃２１．　７．３１	大　城	教育長
３９	安　里　正　一	〃１８．　４．　１	〃２２．　３．３１	喜舎場	委員長職務代理者
４０	山　川　美奈子	〃１９．　４．　１	〃２３．　３．３１	渡　口	
４１	玉　城　真由美	〃２０．　４．　１	〃２４．　３．３１	島　袋	
４２	兼　城　賢　吉	〃２１．　８．　１	〃２５．　７．３１	島　袋	教育長
４３	宮　城　永　昌	〃２１．　７．　１	〃２９．　６．３０	安谷屋	教育委員長
４４	森　田　孟　則	〃２２．　４．　１	〃３０．　３．３１	瑞慶覧	委員長職務代理者 (H24.4.1～H25.7.31) 教育長（H25.8.1～H30.3.31)
４５	上　里　幸　春	〃２３．　４．　１	平２７．　３．３１	屋宜原	委員長職務代理者 (H25.8.1～H27.3.31)
４６	与　儀　幸　子	〃２４．　４．　１	令　２．　３．３１	島　袋	委員長職務代理者 (H27.4.1～H30.3.31)
４７	玉　城　若　子	〃２５．　８．　１	平２９．　７．３１	仲　順	
４８	安　里　　恵	〃２７．　４．　１	〃３１．　３．３１	喜舎場	
４９	砂　川　惠　重	〃２９．　７．　１	〃３０．　３．３１	荻　道	【新教育委員会制度】 教育長 (H30.4.1～R3.3.31)
５０	安　和　淳　一	〃２９．　８．　１	令　７．　７．３１	荻　道	教育長職務代理者 (R3.4.1～R5.3.31)
５１	徳　村　永　盛	〃３０．　４．　１	令　３．　３．３１	屋宜原	教育長職務代理者 (H30.4.1～R3.3.31) 教育長 (R3.4.1～)
５２	大屋みゆき	〃３１．　４．　１	令　５．３．３１	仲　順	
５３	知　念　　絹　代	令　２．　４．　１	令　６．３．３１	島　袋	教育長職務代理者 (R5.4.1～R6.3.31)
５４	富　永　　一　也	令　３．　７．　１	令　４．３．３１	大　城	

５５	城 間　健 二	令　４．　４．　１	令　８．３．３１	荻　道	教育長職務代理者 (R6.4.1～R8.3.31)
５６	安 谷 屋　建	令　５．　４．　１		美　崎	
５７	翁 長　麻 紀 子	令　６．　４．　１		島　袋	
５８	崎 濱　陽 子	令　７．　８．　１		和仁屋	教育長職務代理者 (R8.4.1～
５９	玉 城　勝 一	令　８．　４．　１		仲　順	

（2）教育長

Ｎｏ	氏　名	就任年月日	退任年月日	出身	備　考
１	新 垣 進 市	昭４７．　５．１５	昭６０．　３．３１	石　平	
２	喜屋武　馨	昭６０．　４．　１	平　３．１１．３０	島　袋	
３	伊 佐 眞 治	平　３．１２．　１	〃　５．　３．３１	屋宜原	
４	比 嘉　勲	〃　５．　８．　１	〃１７．　７．３１	和仁屋	
５	川 上 辰 雄	〃１７．　８．　１	〃２１．　７．３１	大　城	
６	兼 城 賢 吉	〃２１．　８．　１	〃２５．　７．３１	島　袋	
７	森 田 孟 則	〃２５．　８．　１	〃３０．　３．３１	瑞慶覧	
８	砂 川 惠 重	〃３０．　４．　１	令　３．　３．３１	荻　道	
９	德 村 永 盛	令　３．　４．　１		屋宜原	

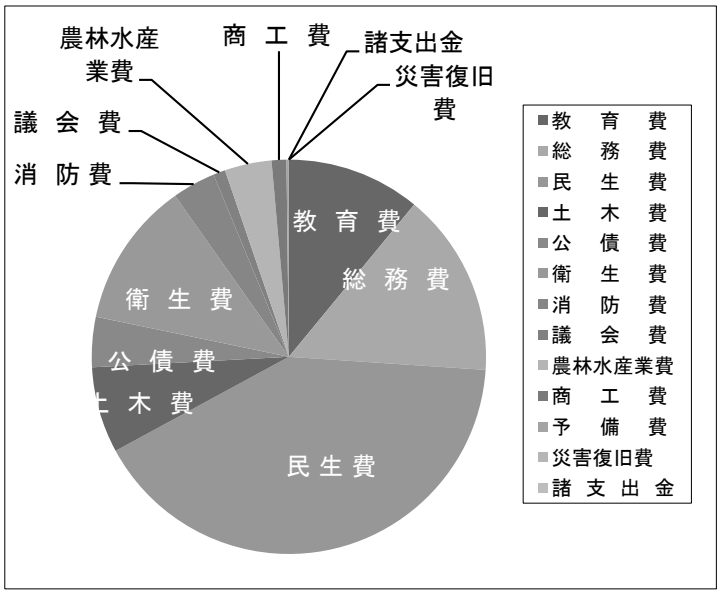
（3）教育長職務代理者

Ｎｏ	氏　名	就任年月日	退任年月日	出身	備　考
１	德 村 永 盛	平３０．　４．　１	令　３．　３．３１	屋宜原	
２	安 和 淳 一	令　３．　４．　１	令　５．　３．３１	荻　道	
３	知 念 絹 代	令　５．　４．　１	令　６．　３．３１	島　袋	
４	城 間 健 二	令　６．　４．　１	令　８．　３．３１	荻　道	
５	崎 濱 陽 子	令　８．　４．　１		和仁屋	

令和8年度　　教　育　予　算　の　概　要

令和8年度　一般会計歳出予算

9,824,000 千円



一般会計歳出予算　（単位：千円）

歳　出　区　分	当初予算額	構成比(%)
教　育　費	1,076,937	10.96%
総　務　費	1,482,906	15.09%
民　生　費	4,031,021	41.03%
土　木　費	693,462	7.06%
公　債　費	404,072	4.11%
衛　生　費	1,173,269	11.94%
消　防　費	349,066	3.55%
議　会　費	97,323	0.99%
農林水産業費	377,838	3.85%
商　工　費	118,806	1.21%
予　備　費	19,296	0.20%
災害復旧費	3	0.00%
諸　支　出　金	1	0.00%
合　計	9,824,000	100.00%

令和8年度　　教育予算増減比較表

単位：千円

項　　目		令和8年度	令和7年度	比　較
教育総務費		118,382	229,045	−110,663
	教育委員会費	2,064	2,057	7
	事務局費	116,318	226,988	−110,670
小学校費		286,908	208,712	78,196
	学校管理費	256,085	178,496	77,589
	教育振興費	30,823	30,216	607
	学校建設費	0	0	0
中学校費		106,635	133,906	−27,271
	学校管理費	80,360	108,935	−28,575
	教育振興費	26,275	24,971	1,304
	学校建設費	0	0	0
社会教育費		286,136	309,812	−23,676
	社会教育総務費	93,593	99,443	−5,850
	公民館費	29,709	32,442	−2,733
	文化財保護費	83,581	105,290	−21,709
	あやかりの杜運営費	79,253	72,637	6,616
保健体育費		278,876	259,372	19,504
	保健体育総務費	13,802	13,303	499
	体育施設費	68,467	67,429	1,038
	学校給食費	196,607	178,640	17,967
合　　計		1,076,937	1,140,847	−63,910

令和８年度　教育総務課職員 事務分掌

職　員　名	事　　務　　分　　掌
教育総務課長 平田清徳	1　条例、規則等の制定、改廃に関すること 2　教育委員会の公告式に関すること 3　公印の保守管理に関すること 4　教育予算、その他議会を経るべき議案に対する意見の申し出に関すること 5　教育行政に関する相談に関すること 6　要請・請願・陳情等の統括に関すること 7　儀式等に関すること 8　職員の事務分掌に関すること 9　教育委員会の沿革史の整理・保存に関すること 10　教育施設の全体計画に関すること 11　出勤簿及び休暇台帳に関すること 12　村育英会に関すること 13　事務点検評価に関すること 14　教育委員会の会議等に関すること 15　表彰、栄進、叙勲等に関すること 16　総合教育会議及び大綱に関すること 17　その他、教育委員会及び他課との連絡調整に関すること 18　中頭地区市町村教育委員会協議　担当者 19　次世代校務 DX 検討委員会　会議
主任指導主事 眞境名兼彦 指導主事 比嘉一寿	1　教育課程・学習指導・生徒指導及び進路指導に関すること 2　県費負担教職員の服務、任免、分限及び懲戒の内申に関すること 3　学校経営に関すること 4　教育支援に関すること 5　児童生徒の防災及び安全教育に関すること 6　学力向上推進事業に関すること 7　教職員等の研修・指導等に関すること 8　研究指定校に関すること 9　教育相談に関すること 10　村教育行政施策に関すること 11　認定こども園・小学校・中学校との連絡調整に関すること 12　校長会、教頭会及び校務研に関すること 13　副読本「わたしたちの北中城」に関すること 14　村議会に関すること 15　GIGA スクール構想の推進に関すること 16　その他、教育長の特命事項に関すること

職　員　名	事　　務　　分　　掌
教育総務係長 比屋根元	1　教員、臨時的任用職員等の任免、服務、給与、辞令簿等に関すること 2　教育委員会議に関すること 3　教育総務課の予算編成に関すること 4　事業計画の策定、教育振興計画及び教育施設の基本計画等に関すること 5　学校医、子どもと親の相談員等の委嘱に関すること 6　文科省、防衛省の補助事業に関すること 7　教育費の調査・統計に関すること 8　沖縄振興特別交付金（一括交付金）事業に関すること （特別支援員・学習支援員・ALT 配置） 9　学校用務兼事務員及び県費事務職員との事務連絡会に関すること 10　村費会計年度任用職員の任用、服務等に関すること 11　医療等が必要な児童・生徒（保護者）への対応、医療的ケア体制整備事業 12　沖縄県教育委員会連合会、沖縄県町村教育長会に関すること 13　部活動指導員配置（中学校）に関すること 14　スクールバスの運行に関すること 15　その他教育総務係の統括に関すること 16　係の予算管理 17　教職員のストレスチェックに関すること
総務係 山城駿	1　島袋小学校費の予算執行事務（伝票含む）に関すること 2　村学校の ICT 活用・処分、電子黒板導入（R10）検討に関すること 3　島袋小学校予防改修工事（屋上・外壁等） 4　北中城小学校体育館改修工事設計業務 5　中学校体育館改修の検討 6　教育施設等工事の入札及び契約事務等に関すること 7　学校等施設修繕等に関すること（副） 8　文科省、防衛省(空調)の補助事業(施設関連)に関すること 9　教育財産の取得、賃貸及び処分の申し出に関すること 10　島袋小学校校内自立支援事業沖縄県委託金 11　学校プールの民間委託に関する検討 12　課内文書の収受事務に関すること(7 月・8 月・9 月) 13　その他、教育委員会及び他課との連絡調整に関すること

職　員　名	事　　務　　分　　掌
総務係 大城盛太	1　中学校の予算執行（伝票含む）に関すること 2　学校等施設修繕等に関すること（正） 3　教育施設の調査・統計、資料収集等（企画の学校基本調査補助）に関すること 4　施設台帳の整備、保存に関すること 5　教育施設の維持管理に関すること　（諸契約事務含む） 6　スクールバス運営(バス購入含む)に関すること 7　教育機関の備品購入、廃棄及び備品台帳の整理・管理に関すること 8　ICT 活用・処分、電子黒板導入（R10）検討に関すること（副） 9　沖縄振興特別交付金（一括交付金）事業（児童の県外派遣）に関すること 10　姉妹町村岩手県葛巻町との交流事業に関すること（正） 11　地域間交流事業（山形県最上広域）に関すること（副） 12　教育支援体制整備事業費補助金 13　地域スポーツクラブ活動体制整備事業 補助金 14　課内文書の収受事務に関すること(4 月・5 月・6 月) 15　その他、庶務及び学校等への文書の事務連絡通知に関すること
総務係 齋藤美穂	1　北中城小学校の予算執行（伝票含む）に関すること 2　学力向上推進協議会（会計）に関すること 3　村育英会に関すること 4　安全衛生委員会に関すること 5　教職員のストレスチェック 6　要保護・準要保護援助費に関すること 7　特別支援を要する児童の援助費に関すること 8　沖縄県子どもの貧困対策推進事業に関すること 9　各種団体等の事業の後援に関すること 10　就学時健診に関すること（副） 11　沖縄県教育委員会体育指定校（北中城小学校） 12　課内文書の収受事務に関すること(1 月・2 月・3 月) 13　公印の管理に関すること 14　その他、教育総務課関係事務に関すること

職　員　名	事　　務　　分　　掌
総務係 仲本恵梨加	1　教育委員会費、事務局費の予算執行事務（係長の伝票含む）に関すること 2　児童生徒の就学、転入転出及び区域外就学に関すること 3　災害補償関係事務に関すること 4　就学時健診に関すること 5　教科書無償給与事務に関すること 6　教育支援に関すること 7　学齢簿の整理・保存に関すること 8　対米請求事業（ちむあぐみ塾、各種検定料補助）に関すること 9　姉妹町村岩手県葛巻町との交流事業に関すること（副） 10　地域間交流事業（山形県最上広域）に関すること（正） 11　「教育の指針」の発刊に関すること 12　「北中城村の教育」に関すること 13　公立学校共済組合関係事務に関すること 14　人事（係長の補助）に関すること 15　課内文書の収受事務に関すること(10 月・11 月・12 月) 16　その他、教育総務課関係事務に関すること 17　中頭地区市町村教育長会　事務局

令和８年度　生涯学習課職員 事務分掌

職　員　名	事　　務　　分　　掌	備　　考
生涯学習課長 玉栄　幸憲	1　生涯学習課業務統括 2　職員の業務管理、報告に関すること 3　職員の給与に関すること 4　予算管理に関すること 5　公民館等の社会教育施設の整備及び管理・運営に関すること 6　社会教育条例等の整備に関すること 7　社会教育主事に関すること 8　文化振興及び文化財保護・活用に関すること 9　村史編纂に関すること 10　あやかりの杜管理運営に関すること 11　生涯学習振興計画に関すること 12　児童・生徒の外国語教育事業に関すること 13　社会体育事業及びスポーツ協会に関すること 14　その他課内業務に関すること	予算 社会教育 総務費
主幹　兼 社会教育係長 金城　忠	1　生涯学習事業の推進に関すること 2　社会教育委員・公民館運営審議会・学校運営協議会の委員の委嘱及び会議に関すること 3　公民館事業の企画・立案及び運営指導に関すること 4　社会教育関係予算の執行管理に関すること 5　各種団体の育成・補助金に関すること 6　自治公民館との連絡調整に関すること 7　社会教育施設に関すること 8　スポーツ推進委員の委嘱及び会議に関すること 9　学力向上推進（家庭・地域教育部会）に関すること 10　あやかりの杜指定管理者等に関すること 11　あやかりの杜システム更改に関すること 12　生涯学習フェスティバルに関すること 13　職員出前講座に関すること 14　コミュニティスクールに関すること 15　村民体育館の管理・運営に関すること 16　学校部活動地域移行に関すること 17　生涯スポーツの推進に関すること 18　児童・生徒の外国語教育事業に関すること 19　多目的交流施設建設に関すること 20　その他社会教育係の全般に関すること	予算 社会教育 総務費

職　員　名	事　　務　　分　　掌	備　　考
主査　兼 社会教育主事 新垣　昌也	1　生涯学習推進計画に関すること 2　公民館等の社会教育施設の整備に関すること 3　中央公民館の維持・管理に関すること 4　公民館の予算に関すること 5　自治公民館長等の研修に関すること 6　自治公民館との連絡調整に関すること 7　公民館運営審議会に関すること 8　出前講座（公民館）に関すること 9　各種講座・教室に関すること 10　社会教育委員会議に関すること 11　社会教育指導員に関すること 12　中頭地区社会教育主事協会に関すること 13　生涯学習フェスティバルに関すること(副) 14　沖縄県内市町村海外短期留学実行委員会に関すること 15　児童・生徒の外国語教育事業に関すること 16　その他社会教育に関すること	予算 公民館費 補助 山口
技　査 山口　かすみ	1　社会教育予算に関すること 2　村子ども会育成会連絡協議会事務に関すること 3　学校・家庭・地域の連携協力推進事業に関すること 4　コミュニティスクールに関すること 5　あやかりの杜予算に関すること 6　図書館協議会に関すること 7　あやかりの杜指定管理及び運営に関すること 8　あやかりの杜システム更改に関すること 9　ブックスタートに関すること 10　生涯学習フェスティバルに関すること(副) 11　多目的交流施設建設に関すること 12　生涯学習の情報発信に関すること 13　その他社会教育に関すること	予算 社会教育 総務費 補助 新垣(昌)
主　査 名幸　芳徳	1　児童生徒の県外派遣費用補助金交付に関すること 2　地域学級補助金に関すること 3　各種団体補助金に関すること 4　学校部活動地域移行に関すること 5　総合型地域スポーツクラブに関すること 6　スポーツ少年団に関すること 7　青少年健全育成協議会に関すること 8　宝くじ助成金に関すること 9　マイクロバス管理・運用に関すること 10　施設予約に関すること 11　その他社会教育・社会体育事業に関すること 12　成人式に関すること	予算 公民館費 補助 新垣(昌)

職　員　名	事　　務　　分　　掌	備　　考
会計年度任用職員 祖納　盛晃	1　村スポーツ協会事業に関すること 2　社会体育施設の維持・管理に関すること 3　社会体育事業に関すること 4　社会体育事業の企画・立案に関すること 5　学校体育施設の開放に関すること 6　社会体育関連予算に関すること 7　中頭地区スポーツ協会事務に関すること 8　スポーツ推進委員に関すること 9　その他社会教育・社会体育事業に関すること	予算 保険体育 総務費 補助 山口 名幸
会計年度任用職員 大屋　菜々子	1　講座、サークルに関すること 2　備品借用に関すること 3　施設予約（中央公民館、しおさい公苑、若松公園、渡口多目的広場、学校）に関すること 4　学校施設リモートロックに関すること 5　各施設統計に関すること 6　各施設使用料徴収及び調定に関すること 7　マイクロバス管理・運営に関すること 8　その他社会教育に関すること	予算 公民館費 補助 新垣（昌） 名幸
会計年度任用職員 （社会教育） 我如古　恵子	1　社会教育関係団体の育成及び指導に関すること 2　社会教育事業の企画・立案及び運営に関すること 3　公民館事業の企画・立案及び運営に関すること 4　講座、サークルに関すること 5　放課後子ども教室に関すること 6　学校運営協議会に関すること 7　その他社会教育に関すること	予算 社会教育 総務費
玉城　若子	地域学校協働本部事業コーディネーター	
喜納　綾子	社会教育指導員、放課後子ども教室推進事業コーディネーター	

職　員　名	事　　務　　分　　掌	備　　考
主幹兼文化振興係長 砂川　正幸	1　文化財の保護・調査・指定・保存・整備・活用に関すること 2　歴史的風致維持向上計画に関すること 3　歴史資料・民俗行事の調査、資料収集に関すること 4　埋蔵文化財の発掘調査に関すること 5　文化振興係の予算執行に関すること 6　村史編纂委員会に関すること 7　村史編纂及び地域史に関すること 8　文化振興事業に関すること 9　文化協会に関すること 10　沖縄振興特別推進交付金事業に関すること 11　駐留軍用地跡地利用推進事業に関すること 12　その他文化振興に関すること	予算 社会教育 総務費
主　査 仲村　健二	1　歴史資料の収集に関すること 2　歴史誌資料の整理に関すること 3　生涯学習課の情報発信に関すること 4　中央公民館内文書引継・廃棄に関すること 5　その他生涯学習課に関すること	予算 社会教育 総務費
主　査 小橋川　剛	1　文化財の保護・普及・整備活用に関すること 2　埋蔵文化財の発掘調査に関すること 3　文化財保護審議会に関すること 4　文化財保護関係予算に関すること 5　文化財関係の補助金事業等に関すること 6　村文化財保存団体に関すること 7　歴史資料の収集に関すること 8　中城城跡共同管理協議会に関すること 9　文化財関係の委託契約に関すること 10　文化財関係の備品に関すること 11　その他文化振興に関すること	駐留軍用地等文化財調査推進事業
主　事 諸見里　結衣	1　文化財の保護・普及・整備活用に関すること 2　埋蔵文化財の発掘調査に関すること 3　文化財保護審議会に関すること 4　文化財保護関係予算に関すること 5　文化財関係の補助金事業等に関すること 6　村文化財保存団体に関すること 7　歴史資料の収集に関すること 8　中城城跡共同管理協議会に関すること 9　文化財関係の委託契約に関すること 10　文化財関係の備品に関すること 11　その他文化振興に関すること	駐留軍用地等文化財調査推進事業 補助 小橋川

職　員　名	事　　務　　分　　掌	備　　考
会計年度任用職員 （村史） 城間　義勝 山内　優希 比嘉　大地	1　村史に関すること 2　村史編纂委員会及び専門部会に関すること 3　民俗行事等の調査及び資料収集に関すること 4　地域誌に関すること 5　その他文化振興に関すること	予算 村史編纂費
会計年度任用職員 （米国統治下調査） 島田　みさき	1　文化財調査に関すること 2　収蔵文化財等に関すること 3　歴史資料の収集及び資料整理に関すること 4　民俗行事等の調査及び資料収集に関すること 5　その他文化振興に関すること	予算 村史編纂費
会計年度任用職員 （文化財/基地内文化財調査） 與那嶺　豊 巴山　由美子	1　基地内の文化財調査に関すること 2　基地内の文化財の資料整理に関すること 3　その他文化振興に関すること	予算 文化財保護費
会計年度任用職員 （中城城跡） 幸喜　磯美	1　中城城跡共同管理運営協議会の事務局に関すること 2　その他文化振興に関すること	予算 文化財保護費
会計年度任用職員 （資料整理） 伊芸　勉	1　歴史資料の収集及び資料整理に関すること 2　その他文化振興に関すること	予算 教育総務費

令和８年度　北中城村立中央公民館職員　事務分掌

職　名	担当者	補助者	事　　務　　分　　掌
教育長	教育長	生涯学習課長	職務を掌理し、所属職員の指揮・監督に関すること 公民館運営審議会委員の委嘱に関すること
公民館長	生涯学習課長	社会教育係長	公印の管理に関すること 職員会議に関すること 出張・超勤・休暇等の事務に関すること カギの保管に関すること 企画会議及び職員の研修・研究会の企画実施に関すること 公民館沿革史の整理・管理等に関すること 防火管理に関すること 防火管理に関すること 公民館施設・設備等の使用許可に関すること 他の係の主管に属さない業務の処理に関すること 条例・規則等の制定及び改廃に関すること
公民館事務職	社会教育係長	社会教育係	公民間事業の企画調整に関すること 公民館行事予定に関すること 公民館運営審議会委員会の運営に関すること 各種団体・機関等との連絡調整に関すること 公民館事業の広報・宣伝に関すること 公民館の視聴覚教育に関すること 公民館事業の学習相談に関すること 視聴覚教材に関すること 社会教育関係予算要求資料作成に関すること 多目的ホール、談話室、事務室の管理に関すること 公民館施設の使用に関すること 生涯学習事業年報に関すること 各種サークル活動の支援に関すること 生涯学習ニーズ調査に関すること 安心・安全なまちづくりに関すること 青少年健全育成に関すること 国・県の補助金等に関すること

職　名	担当者	補助者	事　　務　　分　　掌
公民館 事務職	公民館 担当職員	会計年度 任用職員	公民館事業の企画・運営に関すること 自治公民館建設に関すること 研修室、会議室、便所、浴室の維持管理に関すること 各種団体・機関等との連絡調整に関すること 公民館事業の広報・宣伝に関すること 社会教育関係予算要求資料作成に関すること 発電室、機械室、便所の維持管理について 公民館事業の広報・宣伝に関すること 幸齢者学級の運営に関すること 子どもの居場所作りに関すること 冷房装置及び機械室の管理に関すること 公民館沿革史の整理・管理等に関すること
公民館 事務職	公民館 担当職員	会計年度 任用職員	国庫・県費補助の事務に関すること 写真記録・テープ等の整理・保管に関すること 施設・設備の使用許可に関する事務及び使用料の納付に関すること 図書の選定及び発注に関すること 資料室、暗室、便所の維持管理に関すること 視聴覚室の管理運営に関すること 冷房装置の取扱い及び機械室の管理に関すること 他の係の主管に属さない業務の処理に関すること 備品購入及び台帳整理・管理等に関すること 公民館の視聴覚教育に関すること
公民館 事務職	社会教育 係長	社会教育 主事	自治公民館講座に関すること 自治公民館の育成指導に関すること 自治公民館連絡協議会に関すること 自治公民館長の研修に関すること 各種公民館施設利用の指導に関すること 充電室・変電室の管理に関すること その他公民館運営の補助に関すること 定期講座に関すること 講演会・展示会・講習会等の開催に関すること 生涯学習発表会に関すること 公民館出前講座に関すること
公民館事 務職	文化振興 係長	会計年度 任用職員	村関係資料の収集に関すること 資料の管理に関すること 資料の展示に関すること 防火管理に関すること 公民館沿革史の整理・管理等に関すること 備品購入及び台帳整理・管理等に関すること 他の係の主管に属さない業務の処理に関すること

学校教育

学校教育主要施策 …… 36
北中城村「学校教育」表彰実施要項 …… 58
葛巻町これまでの青少年交流の経過 …… 60
北中城小学校 …… 63
島袋小学校 …… 79
北中城中学校 …… 90
学校給食 …… 97

Ⅰ　令和８年度「学校教育における指導の努力点」の体系

北中城村教育委員会

教育の目標

創造性・国際性に富み自立する人材の育成と生涯学習の振興

・主体的に学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ、自立した幼児児童生徒を育成する。
・平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際・情報社会など時代の変化に対応し得る能力の育成を円座し、心身共に健全な村民の育成を図る。
・学校・家庭・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追求し、生涯学習社会の実現を図る。

沖縄県教育振興基本計画

努力点

学校教育における指導の努力点

○確かな学力の育成　○豊かな心の育成　○健やかな体の

生涯学習・社会教育推進の努力点

北中城村努力事項

幼児教育

1　幼児教育の基本の重視
（1）幼児期にふさわしい生活の展開(自己肯定感の育成)
（2）遊びを通しての総合的な指導(主体的・対話的で深い学び)
（3）一人一人の発達の特性に応じた指導(幼児理解)

2　生きる力の基礎を育む資質・能力
（1）幼児期において育みたい資質・能力
（2）「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した指導

3　全体的な計画の作成と評価・改善
（1）全体的な計画の作成
（2）指導計画の作成と充実を図る
（3）評価・改善を図る

4　園内研修の充実
（1）研修体制の充実を図る(同僚性による振り返る時間の確保)
（2）実践的な研修の充実を図る(学び続ける姿)
（3）幼児理解に基づいた評価の実施

5　幼児教育と小学校教育の円滑な接続
（1）幼児教育と小学校教育との円滑な接続
（2）小学校との連携体制の推進を図る

6　子育て支援体制の充実
（1）地域における子育て家庭の保護者に対する支援
（2）地域の実態に応じた子育て支援の充実を図る

7　健康及び安全の確保
（1）幼児の健康保持及び増進
（2）幼児の安全・衛生管理及び災害への備え

小・中学校

1　教育課程の効果的な推進
（1）教育課程の原則を踏まえる
（2）教育課程編成・実施に係る指導計画の充実を図る
（3）教育課程の評価・改善の充実を図る

2　学習指導の工夫・改善・充実
（1）指導体制の改善・充実を図る
（2）指導方法の改善・充実を図る
（3）指導と評価の一体化を図る
（4）自立した学習者の育成を図る

3　道徳教育の充実
（1）指導体制と全体計画作成を通じて道徳教育の実践を図る
（2）指導内容の重点化を図る
（3）豊かな体験活動の充実といじめの防止を図る
（4）家庭・地域社会と緊密な連携を図る

4　総合的な学習の時間の充実
（1）各学校において定める目標及び内容の見直し
（2）探求プロセスを意識した指導のポイント
（3）指導と評価の一体化

5　健やかな心と体を育む教育の充実
（1）学校・家庭・地域社会と連携して学校保健の充実を図る
（2）体育・スポーツ活動の指導の充実を図る
（3）県教育委員会研究指定校「体育」の推進

6　生徒指導の充実
（1）児童生徒個々への対応の充実を図る
（2）学校全体としての取組の充実を図る
（3）家庭・地域社会、関係機関・団体との連携の強化を図る

7　キャリア教育の充実
（1）キャリア教育で身に付けさせたい力の育成
（2）教育活動全体を通じたキャリア教育の取組の充実
（3）村グッジョブ地域連携推進協議会との連携

8　特別活動の充実
（1）特別活動で育成を目指す資質・能力と３つの視点
（2）特別活動における各活動の指導の充実
（3）学級経営の充実と生徒指導との関連・魅力ある学校づくりの柱等

9　特別支援教育の充実
（1）指導体制の改善・充実を図る
（2）通常の学級における特別支援教育の充実
（3）特別支援学級・通級指導教室の教育課程の充実

10　校内教育支援の充実
（1）校内教育支援委員会の充実を図る
（2）教育相談・支援の充実及び関係機関との連携を図る

11　交流及び共同学習の推進
（1）交流及び共同学習の目的
（2）交流及び共同学習の展開
（3）家庭や地域社会との連携及び協働、世代を超えた交流

12　食育の推進
（1）学校における食育推進体制の確立及び充実
（2）学校給食の充実を図る
（3）家庭・地域・関係機関との連携

13　学校安全・防災教育の推進
（1）生活安全
（2）交通安全
（3）災害安全

14　人権教育の充実
（1）人権感覚の涵養のために全教育活動で育成を目指す力と技能
（2）学校の教育活動全体を通じて人権教育の充実を図る
（3）あらゆる他者を価値ある存在として尊重していく人権教育の推進

15　平和教育の充実
（1）学校の教育活動全体を通じて平和教育の充実を図る
（2）沖縄戦の実相や教訓の継承を図る平和教育の充実
（3）児童生徒が「問い」を持って主体的に考えていける平和教育の推進

16　国際理解教育・外国語教育の推進
（1）学校の教育活動全体を通じて国際理解教育の推進を図る
（2）小学校における外国語活動と外国語科の充実を図る
（3）中学校の外国語（英語）教育の充実を図る

17　情報教育の充実
（1）学校教育全体を通した情報教育の取組の充実
（2）指導内容や指導方法の取組の充実
（3）各教科等の特質に応じた学習活動の計画的な実施
（4）情報モラル指導や情報安全管理の取組の充実

18　環境教育の充実
（1）学校の教育活動全体を通した環境教育の実施を図る
（2）環境に関する指導内容や指導方法を工夫する
（3）家庭・地域社会との連携を図る
（4）持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成を図る(SDGｓの視点)

19　学校間（保幼こ小中）連携の推進
（1）学び続ける児童生徒の育成に向けた取組
（2）児童生徒一人一人が安心して学校生活を過ごすために
（3）家庭や地域への発信

20　こどもの貧困対策の推進
（1）学校教育による自己肯定感を育む支援と学力の保障
（2）学校を窓口とした関係各課との連携推進
（3）経済的支援へのつなぎ

○生涯学習の充実
・生涯学習推進体制の充実
・村民のニーズに応える学習機会の充実

○青少年健全育成
・健やかな青少年を育む地域活動や体験活動の充実
・ユイマールの心でつなぐ学校、家庭、地域社会の相互連携及び協力

○社会教育の充実
・ニーズに応えた活動を支える社会教育基盤の整備と充実
・時代のニーズに応える社会教育活動の充実
・心の触れ合いのある家庭教育機能の充実

【関連施策等】

□新沖縄２１世紀ビジョン基本計画
□北中城村教育大綱
□沖縄県教育大綱
□沖縄県教育振興基本計画
□生涯学習・社会教育推進の努力点
□「自立した学習者」育成プロジェクト
□沖縄県学力向上推進本部会議からの提言



Ⅱ　北中城村教育の目標

北中城村教育委員会は、個性の尊重を基本とし、郷土の自然と文化に誇りをもち、創造性・国際性を備えた自立的精神に富む人材の育成と生涯学習の振興を期して、次のことを目標に教育施策を推進する。

北　中　城　村　教　育　の　目　標
主体性・創造性に富む人材の育成と生涯学習の振興
（１）主体的に学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ、自立した幼児児童生徒をめざし、新たな教育の方法を追究する。 （２）平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際・情報社会など時代の変化に対応し得る能力の育成をめざし、心身共に健全な村民を育成する。 （３）家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会を推進する。

Ⅲ　主要施策

1　幼児児童生徒一人一人の発達や学びの連続性を保障し、主体的で対話的な学びの充実。
2　豊かな心や多様性を意識した道徳・人権・平和教育の充実と強化。
3　健康で安全な生活を自ら営む知識や態度の育成。
4　国際理解を深めるための ICT 活用等による個別最適な学びと協働的な学びの充実。
5　生涯学習の視点に立った、学校や地域の実態に即した社会に開かれた教育計画の策定と実践。
6　郷土の文化と伝統を尊重し、自然を大切にする心と態度を育む取組の充実。

Ⅳ　学校教育の努力点・努力事項

＜幼児教育＞

1　幼児教育の基本の重視

幼児期の教育と保育は、子供の人格形成においておも大切なものである。そのため、一人一人の特性や成長の過程に合わせた指導を行い、こどもの力を伸ばしていくことが基本である。

幼児教育は、こどもが身の回りの環境や遊びを通して学ぶものであり、保育教諭等はこどもと信頼関係を築きながら、子どもが積極的に関われる環境を整え、より良い教育や保育を目指すことが求められる。

また、教材や遊びを工夫し、こどもが人や者と触れ合う機会を大切にしながら、主体的に活動できるようにすることが必要であり、そのため幼児教育をより充実させるよう努める。

（１）幼児教育にふさわしい生活の展開（自己肯定感の育成）
　① 幼児が見守られているという安心感と信頼感をもった活動展開の充実を図る。
　② 幼児が主体的に環境と関わり、充実感や満足感を味わえる環境構成を工夫する。
　③ 幼児が友達と十分に関わり、集団への参加意識や自立性が身に付く活動を工夫する。
（２）遊びを通しての総合的な指導（主体的・対話的で深い学び）
　① 園生活全体を通して、自発的な遊びを中心とした指導展開を工夫する。
　② 遊びを展開する過程で、発達していく姿を総合的に捉え、発達に必要な経験が得られるよう意図的な環境構成の工夫と援助を行う。
（３）一人一人の発達の特性に応じた指導（幼児理解）
　① 幼児一人一人の発達の特性（見え方、考え方、感じ方、関わり方など）を理解し、個々の特性（個性）を生かした指導の充実を図る。
　② 幼児の内面の動き（具体的な要求、行動の背景）を察知し、幼児個々の必要な経験が得られる援助を工夫する。
　③ 幼児一人一人に応じた適切な関わりを行うための幼児理解に関する研修の充実を図る。

2　生きる力の基礎を育む資質・能力

（１）幼児期において育みたい資質・能力
　①「知識及び技能の基礎」は、豊かな体験を通して育む。

② 「思考力・判断力・表現力等の基礎」は、自発的な遊びや生活の中で育む。
③ 「学びに向かう力、人間性等」は、園生活全般において育む。

～ キーワード ～
・自ら感じる ・自ら気付く ・分かる ・できる ・考える ・試す ・工夫する ・自ら表現する ・心情 ・意欲 ・態度
資質・能力は個別に取り出して身に付けさせるものではなく、５つの領域である「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」のねらいや内容、遊びを通して総合的に指導する中で一体的に育むこと。

（２）「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した指導

＜育ってほしい１０の姿＞
①健康な心と体 ②自立心 ③協働性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり
⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

① 幼児教育は環境を通し、自発的な活動としての遊びを通して指導する。
② 幼児一人一人の発達の特性や生活年齢等に応じて指導する。
③ 幼児の実態に応じて、発達（生育）時期にふさわしい指導をする。

３ 全体的な計画の作成と評価・改善

（１）全体的な計画の作成
① 長期的な視野を持って充実した生活が展開できるようにする。
② 全体計画作成にあたっては、全職員で話し合い、共通理解と協力体制のもと創意工夫して園長の責任において作成する。

（２）指導計画の作成と充実を図る
① 幼児の発達に即し、必要な体験が得られるよう作成する。
② ねらい及び内容は、幼児期の生活における幼児の実態や実情に応じて作成する。
③ ねらいを達成するための環境構成や幼児が主体的に環境に関われる活動を展開させ、幼児個々が必要な体験を得られる活動の工夫を行う。
④ 具体的な活動は、幼児が望ましい方向に向かって自ら活動展開できるように援助する。

（３）評価・改善を図る
① これまで実施してきた全体的な計画を評価する PDCA サイクルを確立する。
② 自己評価を実施し、第三者による評価体制を確立する。
③ 評価の結果は、公表及び報告を行う。

４ 園内研修の充実

（１）研修体制の充実を図る
① 計画的かつ組織的な研修体制を確立する。
② 園内研修を充実させ、実践を共有できる体制を構築する。
③ 同僚性による協力体制の構築と全職員での振り返りを行う時間を確保する。
④ 近隣の幼児教育施設との合同研修等を行うなど、研修体制を構築する。

（２）実践的な研修の充実を図る
① 保育者間で日常的な振り返りを行い、幼児一人一人の適切に援助する。
② 保育者個々の「学ぼう」という意欲の醸成を図る。
③ 障害のある幼児の支援について、家庭及び関係機関と連携しながら、研修による正しい理解と必要な支援について学び、指導の改善を図る。
④ 実践事例研究や保育実践記録を活用するなど、効果的な研修を実践する。
⑤ 指導主事や幼児教育アドバイザーを招聘した研究保育を実践し、保育者の資質向上を図る。

（３）幼児理解に基づいた評価の実施
① 指導の過程を振り返りながら幼児理解を推進し、一人一人の良さや可能性を把握しながら、指導改善を図る。
② 評価の妥当性や信頼性が高められるような創意工夫を行い、組織的かつ計画的な取組の推進と評価内容の適切な引継ぎ及び連携を図る。

5　幼児教育と小学校教育の円滑な接続

（１）幼児教育と小学校教育の円滑な接続

① 幼児期のふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度の基礎を培う活動の充実を図る。

②『保幼こ小の育ちをつなぐ黄金っ子架け橋サポートガイド』を活用し、幼児の発達段階を見通したアプローチカリキュラムとスタートカリキュラムの見直しを図り、架け橋期カリキュラム作成に努め、情報提供及び情報共有を行い、教育課程編成、指導計画作成、実施、評価・改善する組織体制の構築を推進する。

③　幼児教育施設の教育に対する理解を深めるために、保育参観や教育活動の交流、合同研修会などの様々な取組を推進する。

④　「沖縄型幼児教育」として推進してきた保幼こ小の連携体制を基盤として、「幼保小の架け橋プログラム」を推進するために、『保幼こ小の育ちをつなぐ　沖縄県　黄金っ子架け橋サポートガイド』の活用を図る。

（２）小学校との連携体制の推進

① 発達段階に応じた教育及び保育を共通理解し、「幼児期までに育ってほしい姿」について、小学校教員と共有する。

② 小学校との連絡協議会を設置し、合同研修会での意見交換や幼児児童の交流活動を通して小学校教育との円滑な接続を図る。（保幼こ小連携の充実）

6　子育ての支援体制の充実

（１）地域における子育て家庭の保護者等に対する支援

① 子育て支援は、こどもの最善の利益が優先され、保護者との信頼関係や相互理解のもと、保護者が自ら選択されることを支援する。

② 園の特徴を生かし、地域や関係機関等との連携体制の構築に努める。

③ 特別な支援や配慮を要する幼児や保護者に対し、関係機関と連携し、特別支援教育や支援の充実に努める。

（２）地域の実態に応じた子育て支援の充実を図る

① 幼児の社会性や人間性を育むため、地域の人材を積極的に活用する。

② 本村への親しみや興味・関心を高めるため、地域の行事、伝統芸能や文化活用等への関わりを工夫し、伝承の活動を推進する。

③ 村立認定こども園は、村内の幼児教育施設と連携して、地域の幼児教育の向上にむけて率先して取組む。

7　健康及び安全の確保

（１）幼児の健康保持及び増進

① 保護者に対し感染症や疾病の発生予防について協力を求める。

② 感染症や疾病の発生等に備え、救急用の薬品や材料等を適切な管理のもと常備し、対応する。

③ 障害が認められた場合には、保護者へ連絡し、学校医等と相談し適切な対応を図る。

④ 食育の計画を指導計画に位置付ける。

⑤ 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働で、食に関する取組の推進を図る。

（２）幼児の安全・衛生管理及び災害の備え

① 施設内外の設備、用具等の衛生管理や幼児及び全職員が清潔を保つ環境維持を図る。

② 施設内外の危険個所の点検や訓練等を行い、事故防止及び安全対策を図る。

③ 水難や交通事故を含む様々な事故に関する安全管理・対応マニュアルを作成する。

④ 火災や地震・津波等の災害に備え、施設や備品等の保管について定期的に点検を行い日頃から安全環境の整備を図る。

⑤ 災害発生時の避難・対応マニュアルを作成し、保護者等への連絡及び幼児の引き渡し方法について確認する。

⑥ 避難訓練については、地域の関係機関や保護者との連携を図る。

＜小・中学校＞

１　教育課程の効果的な推進

～　生きる力を育み、創意工夫を生かした教育課程の編成・実施　～

学校教育の目的や目標を達成するため、創意工夫を図り、地域や学校及び幼児児童生徒の実態に即した教育課程を、責任をもって効果的に推進する。

（１）教育課程の原則を踏まえる

① 主体的に学習に取り組む自立的な態度を養う。

② 各教科等の年間授業時数を確保する。

③ 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力、その他の能力が育まれる教育の充実を図る。

④ 幼児児童生徒の発達段階を考慮し、言語活動の充実を図るとともに家庭との連携を図りながら自立的な学習習慣を確立する。

⑤「社会に開かれた教育課程」を実現するため、学校の教育目標や教育内容を学校と地域が共有し、連携・協働して学校運営の充実を図る。（学校運営協議会の充実）

⑥ 教育課程に基づき、組織的・計画的に全校体制で各学校の特色を活かしたカリキュラム・マネジメントの構築を図る。

（２）教育課程編成・実施に係る指導計画(学校経営計画書・各教科等年間指導計画)の充実を図る

① 学校教育目標及び年度重点目標の実現を目指す。

② 教育課程の「質」「量」「数」の確保を充実させる。（週案の活用）

（３）教育課程の評価・改善の充実を図る

① 自己点検・自己評価を実施し、常に教育課程の改善を充実させる。

② 学校経営計画書や各教科等年間指導計画の見直しを計画的に行う。

③ 学校評価の結果を通して、指導方法等の改善を図り、学校教育の質の向上を図る。

④ 学校運営協議会委員による評価を行う。

２　学習指導の工夫・改善・充実

～「自立した学習者」の育成に向けた指導体制や指導方法の確立　～

児童生徒一人一人の実態等を十分把握し、個に応じた指導体制や指導方法、評価方法の工夫及び改善を図る。また、「自立した学習者」育成プロジェクトを指針とし、全校体制で「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、児童生徒の学びに対する主体性や協働性を高めるための「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を推進、「学習基盤としてのＩＣＴ」の活用、「指導と評価の一体化」の実現を図り、「自学自習力」を育む取組の充実に向けて推進していく等、学習意欲を自ら引き出して学習できるような児童生徒の育成を図る。

（１）指導体制の改善・充実を図る

① 指導案作成や授業研究等を学校全体で行うなど、より効果的な指導が行えるよう体制を整える。

② 学年、同一教科、異教科間の教師の連携・充実を図る。

③ 学習指導について校長や教頭、経験豊かな教師が授業を支援するなど様々な工夫を行う。

④ 様々な分野の専門家の参加・協力を得るなどの工夫を行い、指導の効果を高める。

⑤ 情報機器端末、デジタル教材を活用した主体的・自立的な授業の研究を行う。

（２）指導方法の改善・充実を図る　（ＩＣＴの積極的な活用）

①「授業における基本事項」を土台として基礎を固めながら『「自立した学習者」育成プロジェクト』等を活用して日常的に授業を見直し、質的授業改善の日常化を図る。

② 学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いのよさを生かして解決方法等を合意形成したり、目標とすることや努力すべきことを一人一人が意思決定したりすることができるような指導を行う。

③ 課題（問い）を設定したり、様々な知識や情報を収集したり、整理・分析・考察、まとめ・表現したり、学びを振り返って次につなげたりするなど「主体的・対話的で深い学び」の視点で児童生徒の姿に基づく授業改善を行い、目的意識や見通しを持って粘り強く学ぶよう工夫する。

④　児童生徒の発言や活動の時間を確保して授業を進める。

⑤　授業と家庭学習が往還する「自立した学習者」としての育成を図る。学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、教員の指導改善や生徒の学習改善に生かす。

（３）指導と評価の一体化を図る

① 観点別評価規準を明確にした上で、評価方法や評価時期を工夫した単元指導計画を作成し、指導と評価の一体化（指導→評価→指導）による授業改善のサイクルを行う。

② 目標に準拠した評価及び個人内評価を充実させるため、評価資料や評価場面を適切に設定し、統計データなど客観的な評価に努めるとともに、児童生徒の進歩の状況を認め・褒め・励ます等の自己評価・個人内評価を適切に取り入れる。

③ 学習評価について理解を図るため、保護者や児童生徒に向けて、年度や学期の始め等に説明する機会を設ける。

④ 児童生徒が主体的に取り組んだ作品などの掲示及び展示を行い、自立的な学習意欲を高め家庭学習などの充実を図る。

（４）「自立した学習者」（目的や状況に応じて、自分に合った学び方を工夫したり、学習意欲を自ら引き出したりして学習できるような児童生徒）の育成を図る。

① 「自立した学習者」育成のための授業改善４つの取組

ア 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

イ 「学習基盤としての ICT」の活用

ウ 「指導と評価の一体化」の実現

エ 「自学自習力」を育む取組の充実

② 「自立した学習者」育成を支える４つのポイント

ア 自己存在感の感受

イ 共感的な人間関係の育成

ウ 自己決定の場の提供

エ 安全・安心な風土の醸成

＜具体的な児童生徒のイメージ＞
・自分の行動を振り返り、次に生かす事ができる
・状況に応じて学び方を決める事ができる
・「問い」をもち、探究的な学びができる
・自分で計画的に学習を進める事ができる
・新しく学んだ事や理解が深まった事を喜ぶ
・わからない事や関心がある事を他者に聞く事
・すぐに諦めるのではなく、どうしたら分かるようになるかを考える事ができる
・意欲が湧かないときも、学習する事の意義や価値、楽しみをうまく見出す事ができる 等

（５）一人一台の情報機器端末を積極的に活用した授業の改善・充実を図る

① 一人一台の情報機器端末を積極的に活用し、多様な子どもたち一人一人に個別最適化された授業が展開され、資質能力が一層確実に育成できる ICT 環境を活用した授業改善を図る。

② 情報機器端末の活用によって調べ学習、表現・制作、遠隔教育、情報モラル教育等の学習を充実させる。

③ それぞれの授業のねらいに合わせて活用方法を工夫し、日常的・計画的に児童生徒の ICT 活用能力を育成する。

３　道徳教育の充実

～　自他の生命を尊重する心を基盤に「豊かな心」を育む　～

豊かな人間関係を築き、自らの人生をよりよく生きるために、自他の生命を尊重する心を基盤として、生命尊重、健康・安全、規則正しい生活、礼儀作法等基本的な生活習慣の形成や自立心自己責任、善悪の判断などの基本的なモラルの育成を図る。

（１）指導体制と全体計画作成を通じて道徳教育の実践を図る

① 学校や地域の実態に応じた全体計画及び年間指導計画（別葉を含む）を作成し実施する。

② 学校の重点目標等に他人を尊重する心や態度の育成を位置付け、効果的な指導の充実を図る。

③ 教科並びに他領域との連携を図り、自らの生き方に直接かかわることを実感させる。

④ 授業研究を中心とした校内研修会を行い、教員の資質・能力を高める。

⑤ 年間指導計画、指導案、資料等について学年会等で定期的な検討及び評価の場を設定する。

⑥ 郷土に関わる適切な資料活用を通し、人との関わりや郷土への愛着を高める指導の充実を図る。

（２）指導内容の重点化を図る

① 発達の段階に応じ、考えたくなる、議論したくなる授業を目指した指導内容の重点化を図る。

② 全教師が道徳教育の方向性を共有し、一層効果的な指導を充実させる。

③ 小学校において、自立心や自律性、生命を尊重する心や思いやりの心、多様性を意識した言動など、各学年の発達段階に応じ、留意して指導する。

小学校の各学年段階においては、次の事項に留意する。

○ １、２学年においては、基本的な生活習慣、善悪の判断、社会のきまりを守ること。

○ ３、４学年においては、善悪の判断、協力、集団の社会のきまりを守ること。

○ ５、６学年においては、相手の立場を理解する、法やきまりの意義理解、集団生活の充実、伝統文化の尊重、我が国と郷土を愛する心、他国を尊重すること。

④ 中学校において、小学校における指導内容を発展させながら、自らの弱さを克服して気高く生きようとする心、法や決まりの意義理解と遵守、社会参画への意欲、伝統文化の尊重と継承、我が国と郷土を愛する心、国際理解等を身に付けさせる指導を充実させる。

（３）豊かな体験活動の充実といじめの防止を図る

① 学級内での人間関係を整え、集団宿泊活動、職場体験やボランティア、支援体験活動、地域行事への参加等の充実に努め、体験活動等で得た思いや考えを生かし、自他の人権を尊重する態度を培う。

② 内容項目を児童生徒自らの課題としてとらえさせ、道徳教育の指導や体験活動を日常生活に生かされるようにし、特にいじめの防止や安全確保といった課題についても児童生徒が主体的に関わる指導や活動を充実させる。

（４）家庭・地域社会との緊密な連携を図る

① 学校運営協議会（コミュニティスクール）を活用し、学校・家庭・地域の願い等を教師と家庭や地域の方々の参加・協力を得て、豊かな体験活動を一層活発にする。

② ゲストティーチャーとして、家庭・地域の人材活用を図り、開かれた道徳教育の充実を図る。

③ 道 徳の授業を保護者や地域住民に公開し、教師や保護者の意識の高揚を図る。

④ 地域のゆいまーる文化を生かし、あいさつや声かけ運動等、地域ぐるみで凡事徹底を推進する。

４ 総合的な学習の時間の充実

～ 各学校において定める目標及び内容や探求的な学習指導のポイント ～

地域や児童生徒の実態に応じて教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習とすることと同時に探求的な学習や協働的な学習を大切にした目標及び内容を設定し、「探求的な見方・考え方」を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成を図る。

（１）各学校において定める目標及び内容の見直し

① 目標設定において、教科横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるよう、教育目標を踏まえて設定し、育成することを目指す資質・能力の三つの柱ごとに設定する。

② 目標を実現するにふさわしい探求課題を設定する。

③ 探求課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を設定する。

④ 他教科で育成する資質・能力を相互に関連付ける。

⑤ 全ての学習の基盤となる言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力などの資質能力の育成に配慮する。

⑥ 体験活動、地域の教材や学習環境を積極的に取り入れる。

（２）探求プロセスを意識した指導のポイント

① ４つの学習過程が繰り返させる中で学習過程を探求的にすること。

４つの学習過程	1	課題の設定	体験などを通して、課題を設定し課題意識を持つ
	2	情報の収集	必要な情報を取り出したり収集したりする
	3	整理・分析	収集した情報を整理したり分析したりして思考する
	4	まとめ・表現	気付きや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現すること

② 他者と協働して、多様な情報の収集や異なる視点からの検討、地域の人との交流、友達と一緒に学習する等、児童生徒が主体的に取り組む学習活動にする。

（３）指導と評価の一体化

① 探求課題ごとに目標及び評価基準を設定して、評価方法や評価時期を工夫する。

② 単元計画を作成し、指導と評価の一体化（指導→評価→指導）による授業改善を行う。

③ 評価資料や評価場面を適切に設定し、目標に準拠した評価及び個人内評価を充実させる。

④ 自己評価や個人内評価を適切に取り入れ、客観的な評価を行う。

5　健やかな心と体を育む教育の充実

～　心と体を一体として捉えた、健康の保持増進と体力の向上～

豊かなスポーツライフを実現することを重視し、生涯を通じて自らの健康を保持増進していく資質や能力を育成するため、保健、安全及び食に関する指導や発達の段階に応じた指導の充実に努める。また、積極的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、運動部活動の発達段階に応じた科学的な部活動の活性化を促進し、基礎的な体力の向上を図る。

（１）学校・家庭・地域社会と連携して学校保健の充実を図る

① 児童生徒の健康課題を解決するために保健主事を中核として、学校三師、保護者及び専門機関等と十分な連携のもと、学校保健委員会を年３回開催し、組織的・計画的に指導に取り組む。

② 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育やがん教育及び性に関する指導においては、児童生徒の発達段階や学校・地域社会の実態を考慮し、学校教育全体を通した指導の工夫・改善を図る。

③ 保健室経営を充実させ、学校教育全体を通した健康教育の工夫改善を図る。

④ 健康な生活習慣を形成するため、保護者、学校医等と連携し家庭・地域と一体となった支援体制の充実を図る。

⑤ 養護教諭は、校内・関係機関等と連携を図るコーディネーター的役割として、児童生徒の保健教育・保健管理の充実に努める。

⑥ 学校環境衛生活動について、教職員がそれぞれの職務の特殊性を生かし、「学校環境衛生基準」に基づいて、組織的かつ計画的に取り組む。

⑦ 学校保健安全計画に基づいた、日常的な健康の保持・増進の取り組みや「命の教育」を行う。

（２）体育・スポーツ活動の指導の充実を図る

① 小中９ヵ年を見通し、体育的行事のねらいの一貫性と年間指導計画の見直しを図る。

② 指導や学習形態の工夫・改善並びに目標に準拠した評価の工夫・改善を図り、指導と評価の一体化を推進し、評価計画（評価規準）を作成する。

③ 郷土の踊りや空手等を教科体育や学校行事等に積極的に取り入れ、指導者の育成及び外部指導者の活用を図る。

④ 保健分野では健康・安全に関する理解を図るため、個に応じた指導方法等を実施する。

⑤ 校内体力向上推進委員会等を設置して、新体力テスト及び泳力調査を計画的に実施し、結果の分析及び活用を図る。

⑥ 体力向上のための「一校一運動」を展開するなど、学校教育活動全体を通じて、体力・泳力の向上を図る。

⑦ 県および村の部活動指導方針に基づき、安全・安心・人権を尊重した児童生徒が参加しやすい実施形態の工夫を行う。

⑧ 部活動指導員の積極的な活用と地域部活動への展開に向けた取組を推進する。

⑨ 休養日や練習時間を適切に設定し、児童生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮する。

⑩ 小学校におけるスポーツ少年団は、社会体育活動として位置付けられており、児童の成長や発達を阻害することが無いように学校と指導者との連携を密にし、学校経営方針に沿った適切な活動を推進すること。

（３）県教育委員会研究指定校「体育」の推進

① 県教育委員会研究指定校として、北中城小学校の取り組みの成果を効果的に波及する。

6　生徒指導の充実

～　信頼関係を基盤とした生徒指導・教育相談体制の充実　～

全職員共通理解による生徒指導体制を確立し、生徒指導上の学校課題を明確にし、~~幼児~~→児童生徒理解を図り、自己理解を援助する指導を充実させ、自ら考え主体的に判断し、行動できる自立的能力の育成を図ることで、キャリア発達に資する。

指導・支援の効率化を図るために、警察、児童相談所等の関係機関との連携の充実・強化を図る。

（１）児童生徒個々への対応の充実を図る

① 児童生徒間、児童生徒と教師間の共感的人間関係を築くとともに、児童生徒理解を図る。

② 自発的、自律的、かつ他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断し、実行する力、自己指導能力の育成を図る。

③ 対話と活動を重視し、ぶれず、見捨てず、関わり続けることを念頭に、将来を見据えた粘り強い段階的指導・支援を行う。

（２）学校全体としての取組の充実を図る

① 「チームとしての学校」の視点から、教職員と専門知識等を持つスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどとの連携協働を図る。

② 教職員・各種支援員等における生徒指導観の統一のもと、日常的に「報告・連絡・相談・確認」の情報連携・行動連携を行い、安全・安心な魅力ある学校づくりを推進する。

③ 主体的・対話的で深い学びの基礎となる支持的風土のある学級経営の充実を図る。

④ 特別支援教育の視点を踏まえ、児童生徒の自己指導能力の育成を図る。

⑤ 学びに向かう集団作りを進めるために、学級活動や児童会・生徒会活動等の充実を図る。

⑥ 「学校いじめ防止基本方針」を軸として、教育相談の実施等、いじめに関するアンケートを実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応の取組の充実を図る。（いじめに関するアンケートは５カ年間保存する）

⑦ 警察や児童相談所等の外部関係機関と連携し、事件・事故・虐待等の未然防止や虐待の早期発見、早期対応に向けた取組の充実を図る。

⑧ 生徒指導年間 PDCA サイクル× ２の取組に努め、人間関係の構築・維持・改善を図る能力を、全ての教育活動を通して向上させる。

⑨ 児童生徒の良さを価値づけ、勇気づける（ボイスシャワーの充実）

（３）家庭・地域社会、関係機関・団体との連携の強化を図る

① 保護者との信頼関係を築き、共通した課題意識を基盤とした指導・支援の充実を図る。

② 中学校区生徒指導連絡協議会を機能化し、家庭や地域、関係機関・団体等との情報・行動連携を充実させ、諸問題への対応の充実を図る。

③ 村教育委員会及び社会教育団体等と連携し、児童生徒のよさを伸ばし、心の拠り所となるような「居場所づくり、活躍の場づくり」のための指導・支援体制の確立を図る。

７ キャリア教育の充実

～ 自立的習慣・態度・目的意識を持って、社会を支える自立した人材の育成 ～

児童生徒に夢や希望を育むために、村グッジョブ地域連携協議会との連携を図り、発達段階に応じたキャリア教育を推進し、望ましい勤労観・職業観の育成を図り、主体的に人生を生きることができる自立した社会人・職業人の育成を目指す。

（１）キャリア教育で身に付けさせたい力

① 『沖縄県キャリア教育推進プラン』や『北中城村キャリア教育の概念図』を活用した校内研修を充実させ、共通理解実践的取組の充実を図る。

② 自立的習慣・態度の育成など全校体制で取り組むため、キャリア教育担当者を校務分掌に位置づけてキャリア教育推進委員会等を組織する。

③ 県や村のキャリア教育施策を参考にキャリア教育学習プログラムを作成し、その活用を行う。

④ 身につけさせたい４つの資質能力を各教科、領域の指導目標等との関連性を踏まえ、年間指導計画に明確に位置づけ、それを意識した教育活動を行う。

＜ 身につけさせたい力 ＞ （か・ふ・や・み）	
人間関係形成・社会形成能力（「**か**」かわる力） ・多様な集団の中で他者とかかわる力 ・進んで考えや気持ちを伝え合う力	自己理解・自己管理能力（「**ふ**」り返る力） ・行動を振り返り、改善につなげる力
課題対応能力（「**や**」りぬく力） ・問いを立てる力 ・最後までねばり強くやり通す力	キャリアプランニング能力（「**み**」とおす力） ・自分の目標を設定する力 ・目標設定のために、計画を立てる力

（２）教育活動全体を通じたキャリア教育の取組の充実

① 進路指導はキャリア教育の一環であり、計画的、継続的な進路指導の充実を図る。

② 進路相談が出来る場を整備し、ガイダンス機能を生かす。また、将来の自立をめざした進路指導の充実を図る。

③ 将来の自立について、親子で語り合う家庭環境をつくるよう働きかけるとともに、進路情報・進路資料等の提

供に努め、児童生徒や保護者の進路についての理解が深まる取組の充実を図る。

（３）村グッジョブ地域連携協議会と連携し取組の充実を図る

① 小学校においては、発達段階に応じて職場見学、体験等の機会を計画的に設ける。

② 中学校においては、職場見学、職場体験学習を学習意欲の向上等の啓発的経験の充実を図る。

③ 職場見学・体験は、キャリア教育の取組の一場面として位置づけ、ねらいを明確にし、村グッジョブ地域連携協議会との連携を図り、家庭地域と連携し安全かつ円滑に実施する。

８ 特別活動の充実

～ 多様な他者と協働し、課題の解決を通し、自己実現を目指す力の育成 ～

集団や社会の形成者としての見方や考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育むことを目指す教育活動の推進及び実践を行う。

（１）特別活動で育成を目指す資質・能力と３つの視点

① 他者と協働する多様な集団活動の意義について理解し、行動の仕方を身に付ける活動内容の工夫を図る。

② 児童生徒自ら課題を見出し、解決するための話し合いや合意形成を図ったり意思決定したりすることのできる活動の工夫を行う。

③ 自主的、実践的な集団活動を通し、人間関係をよりよく形成するとともに、自己実現を図ろうとする態度を養う活動の工夫を行う。

④ ３つの視点を生かした学習過程の工夫に努める。

特別活動３つの視点 … 「人間形関係形成」「社会参画」「自己実現」

（２）特別活動における各活動の指導の充実

① 学級活動において、学校や学級生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合って合意成し、役割分担し協力して実践するなど、望ましい集団活動を通してよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育むことを目指す。

② 児童会・生徒会活動において、異年齢の児童生徒同士で協力し、よりよい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育むことを目指す。

③ 学校行事において、全校又は学年の児童生徒で協力し、体験的な活動を通して、集団の所属間や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、よりよい人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育むことを目指す。

④ 小学校のクラブ活動においては、異年齢の児童同士で協力し合って、集団活動の計画を立てて運営することに自主的、実践的に取り組むことを通して個性の伸長を図り、よりよい活動や人間関係を築こうとする態度の育成を目指す。

⑤ 中学校においては、三町村(北中城村・中城村・西原町)中学生フォーラム活動の充実を図る。

⑥ 小中合同のリーダー研修会を通して絆を深め、連携しながら課題解決の充実を図る。

（３）学級経営の充実と生徒指導との関連・魅力ある学校づくりの柱等

① 学級活動において、いじめの未然防止等を含めた生徒指導との関連を図り、児童生徒の自発的、自治的な活動を中心とした学級経営の充実を図る。

② 学級経営は、魅力ある学校づくりの柱として重視し、各教科で身に付けた資質能力を統合発展させ、「汎用的な力」を育成するための交流及び共同学習の機会を通し、協働することや社会に役に立ったり社会に貢献したりすることの喜びを得られる活動の充実を図る。

９ 特別支援教育の充実

～ 個々の教育的ニーズの把握と全校体制による教育的支援 ～

特別な支援を必要とする幼児児童生徒一人一人の持つ能力や可能性を最大限に伸ばすために、教育的なニーズを把握し、的確な教育的支援を行い、積極的な社会参加及び自立できる教育を推進する。

（１）指導体制の改善・充実を図る

① 学校の重点目標、経営方針等へ特別支援学級における教育に係る項目を設定し、校長のリーダーシップの

下、全職員の協力体制づくりを図り、組織的、計画的に推進する。
② 特別支援学級担当教員の適切な配置やその資質の向上を図る。
③ 校務運営組織に教育支援委員会等の特別支援教育に関する組織を設置する。
④ 特別支援教育コーディネーターを中心に、校内教育支援委員会等を機能化し、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒の支援体制の充実を図る。
⑤ 校内研修等を通して、特別な支援を必要とする児童生徒への具体的な指導方法、指導上の留意点等について理解を深め、専門性の向上を図る。
⑥ 特別支援学級の弾力的運用として、通常学級に在籍する児童生徒が、特別支援学級での支援が必要な場合は、校内委員会や保護者との相談等をもって対応できるよう校内支援体制の条件整備を図る。
⑦ 特別支援教育支援員の活用は、特別支援教育コーディネーターが中心となって、担任や学年職員などとの連携を密にし、児童生徒の支援が円滑に行われるようにする。

（２）通常の学級における特別支援教育の充実
① 通常の学級において、教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対して、合理的配慮の提供、適切な指導や支援を行う。
② 特別な支援を必要とする児童生徒のつまずきや行動の背景を理解し、温かい学級経営及び全ての児童生徒にとって分かりやすい授業づくりを推進する。

（３）特別支援学級・通級指導教室の教育課程の充実
① 児童生徒の障害の状態及び特性等や学級の実態に即した教育課程を編成する。
② 教育課程編成に当たっては、小・中学校学習指導要領を踏まえ、必要に応じて特別支援学校の小・中学部学習指導要領を参考にする。
③ 児童生徒個々の障害の状態や発達段階及び特性を的確に把握し、個別の教育支援計画と指導計画を作成する。
④ 交流及び共同学習は、学校全体の教育計画に位置付けて推進し、あわせて地域の人々と活動を共にする交流及び共同学習も推進する。
⑤ 「通級指導教室」の指導計画の充実を図る。
⑥ 通常の学級担任と通級の指導担当者は、児童生徒の様子や変化について情報交換を行い、指導の充実を図る。
⑦ 特別支援学級及び通級指導教室における自立活動は、特別支援学校の指導要領を参考にし、児童生徒の障害の状態を踏まえて必要とされる項目を選定し、一人一人に応じた指導を行う。
⑧ 特別支援教育コーディネーター等の研修の充実に努める。

１０ 校内教育支援の充実

～ 子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実 ～

就学に関する手続きは、本人及び保護者への十分な情報提供を行うことが重要で、関係者の総合的な判断や保護者との合意形成等、丁寧な対応を行う必要がある。また、就学先となる学校や学びの場の判断・決定にあたっては、障害の状態のみに着目して画一的に検討を行うのではなく幼児児童生徒の教育的ニーズ、学校や地域の状況、保護者や専門家の意見等を総合的に勘案して個別に判断・決定することが重要。

（１）校内教育支援委員会の充実を図る
① 校内教育支援委員会の機能化に努め、適正かつ適切な教育支援を推進する。
② 校内教育支援委員会は、適切な就学に関することについて要項等を定め、就学指導や教育相談等を日常的かつ適切に行うとともに、村教育支援委員会と緊密に連携する。
③ 児童生徒一人一人の発達の程度、適応の状況、各教科等の学習の習得状況、自立活動の指導の状況、交流及び共同学習の実施時間数の状況等を勘案しながら、保護者を含めた全ての関係者で共通確認を行い、教育的ニーズの変化に応じた学びの場の柔軟な見直しに努める。

（２）教育相談・支援の充実及び関係機関との連携を図る
① 特別支援教育コーディネーターを中心に、教職員は校内外の研修に積極的に参加し、教育相談の方法や取り組む姿勢等の専門性の向上を図る。
② 各関係機関と連携し、障害のある幼児児童生徒の教育相談、就学相談の充実を図る。
③ 障害のある幼児児童生徒及び保護者に特別支援教育の共通理解のため、特別支援学級と通級指導

教室の違いや自立活動と教科指導の違いに関する説明に加え、体験入学(学校・学級参観、教育活動への参加、就学相談等）を実施できるような体制づくりを推進し、教育支援の充実を図る。

④ 教育的ニーズと必要な支援については、保護者と学校が合意形成を図りながら、必要な情報を各関係機関と共有しながら、該当幼児児童生徒に必要な支援の在り方が、切れ目なく確実に引き継がれるようにする。

１１ 交流及び共同学習の推進

～ 幼児児童生徒の豊かな人間性と社会性の育成 ～

交流及び共同学習は、障害の有無にかかわらず、だれもが相互に人格と個性を尊重し合える共生社会の実現を目指して行われるものであり、幼児児童生徒の社会性や豊かな人間性を育てる重要な学習活動である。幼児児童生徒と地域の人々とが共に活動する機会を積極的に設け、同じ社会に生きる人間として、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むよう計画的かつ組織的に実施することが必要である。また、校内において特別支援学級在籍の児童生徒との交流や共同学習は、日常の様々な場面で活動することが可能であるので、双方の教育的ニーズを十分把握した上で、校内の協力体制を構築し、効果的な活動を設定する。

（１）交流及び共同学習の目的

① 交流及び共同学習は、相互の触れ合いを通じて豊かな人間性を育む機会として行う。

② 教科等のねらいの達成を目的とすることを踏まえ、共同学習を計画し実施する。

（２）交流及び共同学習の展開

① 関係者は、交流及び共同学習の意義やねらい等を十分理解したうえ、共通理解を持って進める。

② 個々の教職員に任せるのではなく、学校長のリーダーシップのもと、学校全体で組織的に継続して取り組む。

③ 指導計画は、教育課程上に位置付け、無理なく継続的に行える活動を計画し、年間指導計画に位置付ける。その際、単発的なイベントやその場限りの活動はこれにあたらない。

④ 活動を実施する際には、幼児児童生徒が事前にめあてや内容等について理解を深め、幼児児童生徒が主体的に取り組む活動として実施する。

⑤ 活動については、活動のねらいの達成状況や幼児児童生徒の意識や行動の変容を評価し、今後の取組に活かし、活動状況だけでなく、その後の日常生活における幼児児童生徒の変容も評価する。

（３）家庭や地域社会との連携及び協働、世代を超えた交流

① 保護者や地域の人々と共に幼児児童生徒を育てていくという視点に立ち、家庭と地域社会との連携を深め、学校内外での幼児児童生徒の生活の充実と活性化を図る。

② 家庭や地域社会に積極的に働きかけ、それぞれが持つ本来の教育機能が総合的に発揮されるよう、学校運営協議会（コミュニティスクール）を積極的に活用する。

③ 高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け、高齢者に対する尊敬と感謝の気持ちや思いやりの心を育み、異年齢や幼児児童生徒の居住していない地域の様々な人々との世代を超えた交流を図る。

１２ 食育の推進

～ 基本的生活習慣の確立と健全な食生活を実践することのできる能力の育成 ～

学校教育活動全体を通した食育の推進に努め、家庭や地域関係機関と連携し、幼児児童生徒に様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得させ、健全な食生活を実践することができる能力を育成する。

（１）学校における食育推進体制の確立と充実

① 栄養教諭等の学校給食栄養管理者を中心に食育の年間指導計画を作成し、栄養教諭や学校栄養職員等を積極的に活用し、家庭や地域社会との連携を図りながら、望ましい食習慣を形成するよう指導の工夫・改善を図る。

② 栄養教諭等の学校給食栄養管理者を活用した TT 授業を、全体計画構想や年間指導計画に位置づける。

③ 学校給食等を活用した栄養指導等、学校教育全体で推進するとともに毎日朝食を食べる児童生徒の実態把握を行い、食育を推進する。

（２）学校給食の充実を図る

① 栄養教諭等の学校給食栄養管理者と学校との連携を通して、食育に関する全体計画構想や年間指導計

画の工夫を図る。
② 関係機関との連携を図り、地産地消や食育と農業を融合した食農教育の推進を図る。
③ 給食食材と地元農家の関わりや、作り手と受け手の交流を図りながら食育を実施する。

（３）家庭・地域・関係機関との連携
① 学校給食関係機関と連携し、食の安全、栄養摂取、日本型食生活など食に関する情報の把握及び発信を行う。
② 家庭・地域社会との連携を強化し、基本的生活習慣に係る課題解決を図る。
③ 保護者、学校医等及び関係機関と連携し、食物アレルギー、健康課題等について共通理解を図り、課題解決を図る。

１３ 学校安全・防災教育の推進

～ 児童生徒の危険回避能力の育成 ～

学校における安全教育と適切な安全管理と安全教育の充実を図り、安全で安心な学校づくりを推進する。

（１）生活安全
①『学校防災マニュアル』『学校危機管理マニュアルの手引き』を参考に「危機管理マニュアル」の見直しを常に行い、防災・防犯教育の充実を図る。
② 不審者侵入に対する避難訓練などの取り組みを通して、幼児児童生徒の危険回避能力の育成を図る。
③ 不審者等の情報に対しては、地域巡回や情報発信を行い、注意喚起を行う。
④ 通学路安全点検を行い、地域の危険個所について把握し、地域安全マップ（通学路安全マップ）を作成する。

（２）交通安全
①『学校防災マニュアル』『学校危機管理マニュアルの手引き』を参考に作成した「危機管理マニュアル」等を効果的に活用し、交通安全教室（自転車教室含む）や校内研修等を通して、交通安全教育の充実を図る。
② 児童生徒による地域安全マップの作成を通して、危険回避能力の育成を図る。
③ 各校で行われた通学路安全点検を基に、村教育委員会や関係機関と連携し、通学路合同安全点検を行い、危険個所の改善を図る。

（３）災害安全
① 学校保健安全法第２９条及び『学校防災マニュアル』『学校危機管理マニュアルの手引き』に基づき、学校の実情に応じた独自の「危機管理マニニュアル」を作成する。
② 自ら安全を確保するための行動ができるよう指導の充実を図る。
③ 保護者や地域の関係者等を加えた「危機管理マニニュアル」検討委員会を設置し、必要に応じて見直しを行う。

１４ 人権教育の充実

～ 自分の大切さと他の人の大切さを認める心を育む ～

一人一人の児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義や内容の重要性について理解し、自他の大切さを認めることができ、それが様々な場面や状況下において態度や行動に表れるようにし、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるように育成を図る。

（１）人権感覚の涵養のために全教育活動で育成を目指す力と技能
① 相手の立場に立って必要なことや考え、気持ちを想像しようとする力と、互いに共感し理解しようとする力を育む。
② 考えや気持ちを適切かつ豊かに表現し、的確に理解できるよう伝え合い、わかり合うためのコミュニケーションの能力や技能を育む。
③ 自己主張するのではなく、建設的な手法により他との人間関係を調整する能力や自他の要求を共に満たし解決方法を見出してそれを実現させる能力やそのための技能を育む。

（２）学校の教育活動全体を通じて人権教育の充実を図る
① 各教科等の年間指導計画に位置付け人権教育に関する授業の充実を図る。
② 人権を考える日を設け、活動の点検・評価を行い、指導の改善に生かす。
③ 全教職員が人権教育について明確に理解し、研修の機会を持ち、組織的・計画的な全職員による指導体制を確立する。

④ 人権感覚を身に付けるため、学級及び学校生活全体の中で、児童生徒自身が自他の大切さを認め合うことが実感できるような教育活動の充実を図るため、児童生徒の良さを価値づけ、勇気づけるボイスシャワーの取り組みを充実させる。

（３）あらゆる他者を価値ある存在として尊重していく人権教育の推進

① いかなる場面や状況下において、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重していく支持的風土の醸成に努める。

② 「人権を考える日」の取組の充実を図る。

③ 地域人材を含む外部講師等を活用した体験活動の充実を図る。

１５ 平和教育の充実

～ 生命の尊重や個人の尊厳及び平和を希求する心を育む ～

本県の歴史や地域の特性も考慮し、平和教育を教育計画に位置づけ、学校教育全体を通じて、計画的・組織的・継続的に推進し、幼児児童生徒の国際性を培い、生命を尊重し、世界の平和を愛し希求する幼児児童生徒の育成を図る。

（１）学校の教育活動全体を通じて平和教育の充実を図る

① 各教科等の年間計画に位置付けるとともに、平和教育月間等を設け、活動の点検・評価を行い、指導改善を行う。

② 校内研修計画に平和教育を位置付け、外部関係団体等を活用するなどして、全職員での協働体制を確立し、指導の充実を図る。

③ 推進にあたっては、心身ともに発達の過程にある児童生徒の判断力や社会的経験を配慮する。

（２）沖縄戦の実相や教訓の継承を図る平和教育の充実

① 沖縄戦の諸相を正しく理解させ、戦争が人類全体に惨禍を及ぼしたことや平和の尊さに対する認識を深める指導を行う。

② 沖縄戦の教訓を大事にしつつ、「学びたい」という主体性を引き出し、学びに寄り添いコーディネートする教員の指導力の向上を図る。

③ 沖縄戦の歴史的特性に基づき、沖縄戦の実相や教訓を継承し、平和の大切さを自ら発信し、平和を構築できる児童生徒の育成を図る。

④ 戦争体験者等から思いや考えを継承し、沖縄戦の記憶や記録を学び、次世代に伝えていくためにも、各教科や総合的な学習の時間及び特別活動等を活用し、まとめたことを発信する等、平和教育の指導の充実を図る。

（３）児童生徒が「問い」を持って主体的に考えていける平和教育の推進

① 教職員の経年研修や校内研修等において、平和教育を位置付け、教師の指導力向上を図る。

② 児童生徒の発達段階に応じた教材を開発し、平和学習ポータルサイトを活用し、地域の戦跡や資料館、証言などの文献等を調べたり、実地調査を行ったりする等、体験的な学習を行う。

③ 家庭や地域との連携を図り、地域の人材活用など指導の充実を図る。

１６ 国際理解教育・外国語教育の推進

～ 国際社会に対応できるコミュニケーションを図る資質・能力の育成 ～

広い視野を持ち、異なる文化を持った人々と共に協調して生きていく資質と能力を育成するとともに、コミュニケーションの手段としての英語に慣れ親しませ、小中学校の学びの連続性を踏まえた英語による実践的コミュニケーション能力の育成を図る。

（１）学校の教育活動全体を通じて国際理解教育の推進を図る

① 異なる考えや意見を受け入れるなど、相手を思いやる心の育成を基盤として取り組む。

② 各教科等の目標や内容との関連を踏まえた全体計画を作成し、学校の教育活動全体を通じて国際理解教育の実践を図る。

③ 特別活動や総合的な学習の時間等において、地域の外国人の活用及び交流等を進め、自国や外国の文化に対する理解を深め、協調して生きていく態度を育成する。

④ 日本語通級指導教室では、当該児童の各教科指導に支障が出ない程度の日本語の指導の充実を図る。

（２）小学校における外国語活動と外国語科の充実を図る

① 外国語活動や外国語科は、学習指導要領や地域、学校及び児童の実態を踏まえた年間指導計画を作成し、指導方法を工夫する。

② 教科としての外国語を充実させつつ、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。

③ 担任が中心となり、村ＡＬＴと連携を図りながら、コミュニケーション活動を重視した指導方法の研究や教材作成等に係る校内研修等を充実させる。

④ 積極的に英語検定（英検ジュニア含む）を実施し、学習意欲を高める指導の工夫を行う。

（３）中学校の外国語（英語）教育の充実を図る

① 小学校での活動・学習内容を理解し、小学校との連携を図り、中学校入学時期の指導が充実するよう系統的な指導に努める。

② コミュニケーション活動を重視した村ＡＬＴとのティームティーチングやグループワーク等の指導形態及び指導方法の工夫・改善を積極的に行い、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けさせる。

③ 国際化社会における英語の重要性と必要性を理解させ、英語検定試験へのチャレンジや外国人との交流会等を積極的に実施するなど、学習意欲を高める指導の工夫を行う。

１７ 情報教育の充実

～ 情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実 ～

デジタル機器を活用した学習指導の改善・充実に努め、時代に対応して児童生徒が情報を適切に活用する基礎的な能力を育成するとともに、情報手段の仕組み、情報モラル教育等を推進するまた、ＩＣＴ機器を活用した授業方法を計画的かつ継続的に研修・研究し授業の改善を図る。

（１）学校の教育全体を通した情報教育の取組の充実

① 教育情報化推進リーダーを校務分掌に位置づけ、校内教育情報化推進委員会の実質的な機能化を図り、GIGA スクール構想の充実に向けた校内情報化推進計画を見直し、学校全体の組織体制を構築する。

② 教職員のICTを活用した指導力の向上を図るために、県立総合教育センターでの研修に積極的に参加する等、情報教育に係る校内外研修を充実させる。

③ 「個人情報保護方針」などの情報安全管理に関するガイドラインを策定し、個人情報を適正に取り扱う。

④ 情報モラル教育は年間指導計画に位置づけ、学校の実態に合わせた情報モラル指導カリキュラムを作成し、発達段階に応じて、系統的、継続的に指導する。

⑤ 教育情報共有システム等にあるデジタル教材や教育実践事例等を効果的に活用する。

⑥ 学校のホームページの作成による学校情報の公開と定期的な更新を図る。

（２）指導内容や指導方法の取組の充実

① 情報活用能力を育成するため、資質・能力の３つの柱に沿って達成目標を設定し、全校体制での取り組みを充実させる。

② 学習指導要領に基づいて ICT 環境を最大限に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。

③ 端末の入れ替えに伴い、指導の工夫改善等、校内で研修を深め、取り組みの充実を図る。

（３）各教科等の特質に応じた学習活動の計画的な実施

① 各教科等の特質に応じて、児童生徒が効果的に情報端末機器を活用しながら、情報の収集・発信・共有等を行う学習活動を年間計画に位置付け、計画的に実施する。

② 小学校においてプログラミング体験のできる活動等を取り入れ、論理的思考力を身に付けるための学習活動を年間指導計画に位置付け、計画的に実施する。

（４）情報モラル指導や情報安全管理の取組の充実

① 有害情報やメール・掲示板上での誹謗・中傷などの情報化の「影」の部分への対応、個人情報の保護等について教職員自ら理解を深め、情報モラル指導を充実させる。

② 事件事故を防止するため、ネット社会に潜む危険性に気づかせ、不適切な情報に的確に対応できる判断力、危険を回避する態度を育成する。

③ 有害情報のフィルタリングなどの必要性と普及について、父母教師会研修会や家庭への文書等を通して啓発を図る。

１８　環境教育の充実

～　環境の保全やよりよい環境の創造のために、主体的に行動する能力、態度の育成　～

地球規模の視野に立ち、身近な環境や環境問題に関心を持ち、人間と環境との関わりについて理解を深め、環境に対する主体的な行動と実践的な資質や能力、態度を育成する。

このため環境教育を全教職員の共通理解のもと、地域の特色を生かし、学校の教育活動全体を通じて実践的に推進し、持続可能な社会づくりに貢献できる人材の育成に努める。

（１）学校の教育活動全体を通した環境教育の実施を図る

① ESD(持続可能な開発のための教育)と SDGs の視点で「環境に親しむ活動」「環境のしくみを学ぶ活動」及び「環境を保全・創造する活動」の環境教育の３つの視点をふまえて学校独自の全体計画を作成する。

② 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間の目標との関連を明確にし、教科横断的な視点で年間指導計画を作成する。

③ 児童会・生徒会活動等の活動計画に、環境保全に関する内容と身近な環境問題と開発問題について考える場を設定し、主体的に取り組めるよう、主に環境保全に関する内容を位置付ける。

④ 日常的な取組を継続させるとともに、世界環境デー等を生かした取組を展開する。

⑤ 環境教育のねらいを踏まえ、全職員の共通理解のもと、学校の教育活動全体を通して地域の特色を生かした環境教育の充実を図る。

環境教育のねらい　…　持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成

（２）環境に関する指導内容や指導方法を工夫する

① 各教科等との関連を図るとともに、身近な素材や題材を扱う体験的、問題解決的な学習を重視する。

② 小学校の低・中学年においては、身近な環境の自然や文化により多く触れる機会を設定し、自然の美しさや大切さなどに気付かせる。

③ 小学校の高学年や中学校においては、環境問題に関する具体的な事象を通して、様々な課題を地球規模で考え、自らの問題としてとらえさせる。

（３）家庭・地域社会との連携を図る

① 地域の環境や環境問題等を把握し、児童生徒の発達段階に即した地域素材の教材化を図り、地域の人材や企業、消費者センター、リサイクル施設など、環境学習施設及び社会教育施設等の積極的な活用を図る。

② 地域で行われる自然探索やクリーン活動、３R（リデュース・リユース・リサイクル）活動等への参加を促すなど、実生活との関連を重視した環境教育の充実に努める。

（４）持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成を図る(SDG s の視点)

～ ESD と SDGs の関係 ～

ESD とは、これらの現代社会の問題を自らの問題として主体的に捉え、人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、身近なところから取り組むことで、問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。

2015 年の国連サミットにおいては、先進国を含む国際社会全体の目標として、「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）が採択されたが、SDGs は、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、2030 年を期限とする包括的な 17 の目標及び 169 のターゲットにより構成されている。



ESD は、このうち、目標 4「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯教育の機会を促進する」のターゲット 4.7 に位置付けられ、ターゲットの 1 つとして位置付けられているだけでなく、SDGs の 17 全ての目標の実現に寄与するものであることが第 74 回国連総会において確認されています。持続可能な社会の創り手を育成する ESD は、持続可能な開発目標を達成するために不可欠である質の高い教育の実現に貢献するものとされている。

これは、2019 年の第 40 回ユネスコ総会で採択された ESD の新たな国際枠組み「持続可能な開発のため

の教育：SDGs 実現に向けて（ESD for 2030）」（2020-2030 年）においても明確となっている。
（引用 文部科学省ＨＰ https://www.mext.go.jp/unesco/004/1339970.htm）

１９ 学校間（保幼こ小中）連携の推進

～「学びの自立」に向けた幼児教育から小学校教育、小学校教育から中学校教育への円滑な接続 ～

地域や幼児児童生徒の実態を踏まえ、幼小中学校の１１年間を通じて育てたい子どもの姿（資質・能力）を明確にし、幼小中学校間の連携強化を図る。

（１）学び続ける児童生徒の育成に向けた取組

① １１年間を見通して必要な資質・能力の育成を目指す。

② 連携を強化するための研修会や連絡会等を計画的に開催する。

③ 連携活動の中で、発達段階に応じて系統的な学習指導やキャリア教育を推進するための計画を立て実践する。

④ 教職員間で交流及び情報交換を行い、相互に学び合い、全職員が１１年間を通して幼児児童生徒を育てる発想を持ち、指導や支援にあたる。

（２）児童生徒一人一人が安心して学校生活を過ごすために

① 生徒指導主任、養護教諭、教育相談担当、特別支援教育コーディネーター等が定期的に情報交換・意見交換する機会を設ける。

② 児童会・生徒会が一体となって、学校活性化に向けたリーダー研修会や交流会を含む取組を行い、児童生徒の支持的風土の醸成を図る。

③ 気になる児童生徒の支援の在り方について役割を明確にし、関係機関と連携して合同ケース会議を開催する等、子ども及び家庭への支援を行う。

（３）家庭や地域への発信

① 園・学校の各行事の様子や日々の学習活動の様子等、園・学校だよりやホームページ等で発信し、家庭や地域の理解を求め、保幼こ小中の滑らかな接続を図る。

② 家庭教育においても系統的な取組について理解・協力を求め、家庭学習の習慣化や基本的生活習慣の確立を図る。

２０ こどもの貧困対策の推進

～ 学校をプラットフォームとした総合的な支援の推進 ～

関係各課と連携し、支援を必要とする児童生徒の家庭の実情理解に努め、幼児児童生徒のライフステージに即した切れ目のない総合的な支援体制を構築する。

（１）学校教育による自己肯定感を育む支援と学力保障

① 支持的風土のある学級づくりに努め、生徒指導の４つのポイント（「安心」「所属」「承認」「自立」）を生かした授業実践を行う。

② 学びに向かう集団作りを図るための学級活動および児童会・生徒会活動の取組を充実させる。

③ 児童生徒の良さを価値づけ、勇気づける（ボイスシャワーの充実）

（２）学校を窓口とした関係各課との連携推進

① 学校をプラットフォームとして、福祉関係機関や民間団体等との協働による支援体制の構築を図る。

② SSW（スクールソーシャルワーカー）等の活用を図り、児童生徒のライフステージに応じ、支援を要する子育て家庭を適切な支援機関等へつなげる。

③ ヤングケアラーと思われる児童生徒について、学校・家庭と連携し関係機関へつなげる。

（３）経済的支援へのつなぎ

援助を必要とする児童生徒へ支援が行き届くように、保護者等に対する就学援助制度の周知に努める。

Ⅴ 令和８年度 北中城村指導行政の基本方針

主体性・創造性に富む人材の育成と生涯学習の振興

国・県・地区の主な施策

○教育基本法、学校教育法、学校教育法施行規則
○各教科等学習指導要領
○沖縄２１世紀ビジョン基本計画
○沖縄県教育大綱
○沖縄県教育振興基本計画
○学校教育における指導の努力点
○「自立した学習者」育成プロジェクト
○中頭指導行政の基本方針
○北中城村教育大綱
○北中城村第１次生涯学習推進計画

重点事項

1「子どもの成長」の保障
（1）「豊かな心」の育成
（2）「確かな学力」の向上
（3）「健やかな体」の育成
（4）教師の豊かな関わり
2「カリキュラム・マネジメント」による社会に開かれた教育課程の推進・充実と「子供の姿」に基づく授業改善の推進」
3「教職員の資質能力」の向上
4 国際化・情報化教育の推進

令和７年度の状況

【成果】
○校長会を始め、各研修会において資質・能力を推進することにより、児童生徒を主体とした授業改善が見られた。
○児童会活動、生徒会活動の自治的な活動や学校間の連携が図られ、自治意識の高まりが見られた。
○「友達関係に満足していますか」と回答した児童生徒の割合が全国を上回る。
【課題】
・不登校（小16人中25人）の中が増加。
・教職員の質向上とさらなる授業改善。
・「困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる職員にいつでも相談できますか」の問いで、県・全国の平均を大きく下回る。

学校連携・地域連携 ： 関わり宣言 「わった～わらば～た～ わった～学校」

1 「子どもの成長」の保障

（1）「豊かな心」の育成	（2）「確かな学力」の向上	（3）「健やかな体」の育成	（4）教師の豊かな関わり
①教育活動全体で取り組む道徳教育の充実 ②組織的な教材活用と心に響く道徳教育の推進 (道徳の時間を要とした取組充実) ③人権尊重の精神に立つ学級経営 ④人間関係づくりを重視した特別活動の充実 ⑤豊かな体験活動の充実 ⑥キャリア教育プログラムの充実 (教科横断的な取組) ⑦村ｶﾞｯｼｮﾌﾞ地域連携事業との連携 ⑧学校家族休暇による心身の成長	①「子どもを主語にした授業へ」学びを変える・学び育ちの実感 ②キャリア発達・教育活動全体で推進 （かふやみ） ③組織的・協働的な教材研究の充実 ④ICT機器を積極的に活用した授業の質的改善 環境の整備と推進 （NEXT GIGA） ⑤学習を支える力の育成 ⑥集団づくり・自主性を高める取組 ⑦個別最適で協働的な学びの充実 ⑧相手のことを大切にしてきく指導	①学校安全・防災教育の充実 ②学校・地域社会と連携した健康教育の充実(がん教育の工夫) ③食生活や生活習慣に関する指導の充実 ④全校体制による体力向上の推進 （一校一運動の推進） ⑤地域と連携した適切な部活動 （計画的な部活動指導地域展開の推進） ⑥徒歩登校の奨励	①学びの姿をていねいに見取り関わる ②支持的風土（認め合い支え合う集団作り） ③学びの相似形による対話的な深い学び ④生徒指導の４つのポイントの充実 ⑤i-check 活用に基づく意図的な関わり ⑥児童生徒の良さを認めるドリーム７の活用 ⑦ボイスシャワーによる愛着再形成 安心と信頼の勇気づけ教育

発達の支援

たっぷり価値づける（自己肯定感の高まり） じっくり、考えさせてみる（学び・育ちの実感） しっかり教える（組織的なかかわり）

＜基本的な生活習慣の確立＞
①児童生徒理解と生徒指導体制の改善充実 ②生活リズムの確立（早寝・早起き・朝ごはん、学習時間の確保）
③命や人権を大切にする指導の充実（特に「いじめと暴力をしない」「させない」「見逃さない」の指導の充実） ④読書活動の充実
④家庭学習の方法指導 ⑤規範意識の育成（きまりを守る、公共物を大切にする）

質的授業改善

2 「ｶﾘｷｭﾗﾑ・ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ」による教育課程と子の姿に基づく授業改善の推進

①「めざす子ども像」等、教育理念の共有 ②育成すべき「資質・能力」の可視化 ③カリキュラムを支える組織マネジメントの推進
④ポジティブな組織文化づくりの推進 ⑤目標と関連させた教育活動の展開 ⑥リーダーシップの発揮
⑦「チームとしての学校」の推進と地域社会との連携・協働 学校運営協議会：コミュニティスクールとの連携

共通取組
①信頼関係を基盤にした生徒指導の充実 ②子どもの「居場所づくり」と「絆づくり」 ③児童生徒の発達の段階に応じた学習規律の徹底
④適切な指導・支援による特別支援教育の推進 ⑤要望・苦情対応等における危機管理体制の確立

組織的共通実践

学校組織マネジメント

3 「教職員の資質能力」の向上

①教職員評価システムの活用と改善充実 ②授業研究会を中心とした校内研修の充実
③幼小中連携部会の充実（学び高め合う姿勢） ④諸調査を生かした学校改善プラン作成と共有化
⑤各主任を中心とした校内組織の機能化 ⑥授業・学校評価の充実（公約・評価・公表）
⑦学びの質を高める児童生徒視点の授業改善 ⑧勇気づけのボイスシャワー
⑨スクールプランシートの作成と全職員での共通理解による学校改善・授業改善の段階的推進
⑩児童生徒の学びや育ちを支える組織的な関り

4 国際化・情報化教育の推進

国際理解教育の推進	外国語活動及び外国語科（英語）の充実	情報教育の推進
①各教科等の目標や内容との関連を踏まえた全体計画の作成 ②多様な考えや意見を受け入れたり相手を思いやったりする心の育成	①小中学校との接続を意識した外国語活動及び英語教育の充実 ②担任が主として指導できる指導法の研究及び教材作成 ③積極的な検定試験の実施	①ICTを活用した個別最適な授業の工夫改善と充実 ②個別最適な学びを保障する教職員の資質向上 ③情報ﾓﾗﾙ指導ｶﾘｷｭﾗﾑの作成と指導の徹底

多様性 公正性 包摂性

社会に開かれた学校づくり 魅力ある学校づくり

指導行政の推進の５つの視点

保幼こ小中連携の推進・強化

学力向上推進の充実	研修事業の充実	命を大切にする教育の充実	教育課程の充実	関係機関との連携
○主体的・対話的で深い学びの具体化 ○育成すべき「資質・能力」の明確化 ○確かな児童生徒理解に基づく支援 ①「自立した学習者」育成プロジェクトの推進と充実 ②推進の視点に基づいたマネジメントサイクルの確立 ③村学力推進委員会の充実 ④各校担当者会等での連携推進 ⑤学年・学校のたすきをつなぐ取組の充実 ⑥学校の主体性の確立	①村校長会教頭会の充実 ②村担当者会の充実 ③保幼こ小中交流、連携の改善充実 ④経年研修会の充実 ⑤臨任職員等研修充実 ⑥学校訪問等による学校授業改善への支援 ⑦村特別支援員研修会 ⑧村学習支援員研修会 ⑨i-check等研修会 ⑩学推県外視察研修	①カウンセリングマインドによる教育相談体制確認 ②生徒指導主任教育相談合同連絡協議会の改善充実 ③小中学校への教育相談員の配置事業 ④学校安全ﾏｯﾌﾟの改善と学校区安全点検の実施 ⑤危機管理ﾏﾆｭｱﾙの活用の改善充実（特に「地震と津波」を想定した対応策→安全教育での取組） ⑥いじめ防止対策基本方針に基づくいじめに対する積極的な認知と迅速な解消に向けた取組の充実	①カリマネによる社会に開かれた教育課程の推進・充実 ②学校評価の効果的な活用 ③特別支援教育の充実（特別教育支援員配置） ④幼小中校種間連携や交流学習の充実 ⑤小中全校へのＡＬＴ等の村派遣事業 ⑥ICT支援員等村派遣事業 ⑦地域教材の活用充実 ⑧教師がこどもと向き合う時間の改善充実 ⑨働き方改革の改善充実	①学校、教育事務所等の連携強化 ②児童民生委員、村福祉課との連携協力 ③自治会長との連携協力 ④子ども育成会や学推協との連携と支援 ⑤放課後子どもプランの充実 （生涯学習課） ⑥学校支援ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ派遣の充実 （生涯学習課） ⑦幼児教育理解・発展推進事業の推進(福祉課と連携) ⑧学校運営協議会との連携強化 ⑨こども未来課との連携

Ⅵ　北中城村「幼・小・中学校の連携」構想

～　多様な児童生徒の自立に向けた学びをつなぐ魅力ある学校づくり～

１　連携方針

（１）幼児児童生徒の多様な状況等に対応した学校間の円滑な接続を図る。
（２）学びの質的転換〈学びの深化・学びの転換〉、**授業改善・学校改善を中心**とした幼小中学校の連携を推進する。
（３）子どもと教師の相似形の学び「研修観の転換」の視点による取り組みの充実を図る。
（４）幼小中の全職員が**協働的な組織体制**で推進する。

２　めざす子ども像　「生涯にわたって能動的に学び続ける幼児児童生徒」

３　「生きる力」の基盤となる資質・能力の育成

実際の社会や生活で生きて働く「知識・技能」の習得	未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

４　研究部会(６部会)

共通研究テーマ：主体的・対話的で深い学びによる３つの資質・能力の育成

（１）学習指導部会(英・国・数)
「自立した学習者」育成プロジェクト推進
○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
○「学習基盤としてのＩＣＴ」の活用
○「指導と評価の一体化」の実現
○「自学自習力」を育む取組の充実
※学推担当、研究主任など

（２）道徳教育部会
○自他の生命を尊重する心の育成
○豊かな体験活動の充実と人権尊重
（いじめ防止や安全確保、多様性の尊重）
○平和教育の充実
※道徳教育推進教師、各学年道徳教育担当など

（３）生徒指導・教育相談部会
○「自立した学習者」育成を支える４つのポイントの推進（生徒指導の４つのポイント）
○不登校の児童生徒全ての学びの場を確保
○心の小さなSOSを見逃さない「チーム学校」の推進
※ 生徒指導主任、教育相談担当、養護教諭など

（４）特別支援教育部会
○校内教育支援委員会の充実
（就学相談や学びの場の検討）
○個別の教育支援計画・指導計画等の作成、活用
○自立活動の充実
○特別支援教育研究会の充実
※特支コーディネーター、支援学級担任など

（５）特別活動・キャリア教育部会
○学級活動と連動した児童会・生徒会活動の充実
○学校課題解決等を含む、生徒指導と連携した児童生徒の自発的・自治的な活動の推進
○「か・ふ・や・み」力の育成
○キャリア形成を促す自学自習力の取り組み充実
※特別活動主任、児童会・生徒会担当
キャリア教育担当など

（６）教育ＤＸ推進部会
○授業∽校務∽研修を意識した日常的なＩＣＴ活用
○クラウドツールを活用した業務改善・授業改善
○情報モラル指導や情報安全管理の取り組み充実
○働き方改革の推進する校務ＤＸの充実
※教務主任、情報教育担当教諭など

Ⅶ　基本的な授業スタイル

授業スタンダード「北中っ子、夢・実現ドリーム7」

～　幼児児童生徒の連続的な学びを通した魅力ある学校づくり　～

＊**めざす子ども像**　：自分の考え（問い）を持ち、他者を尊重し（傾聴）伝え合い、**学びを振り返り、新たな「問い」をもつ**子
＊**めざす教 師 像**　：カリキュラムマネジメントによる**チーム北中城**で、**授業改善**をすすめ、**子どもと共に学ぶ**教師
＊**めざす授 業 像**　：すべての子が主体となり、**つながり・安心できる学びの集団**による授業

沖縄県　めざす授業像；他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」がうまれる授業

基本的な授業スタイル：「ドリーム７」

＊	No	ドリーム７項目　＊**揃える**活動	視　点
規律	1	互いに認め合い、支え合う風土の醸成	支持的風土の醸成 学習規律（始業ベルスタート、黙想） 言語環境（適切な言葉遣い） 教室環境（机,イス,学習用具を整える）
授業	2	タイムマネジメント	授業開始・終了時刻の徹底 １単位時間「完結型」の授業展開
	3	めあてと正対したまとめと振り返り	身に付けさせたい力 見通しと予測、「振り返り」の実施
	4	問いが生まれ思考を促す発問	意図的・計画的な発問 思考を広げ、深める発問の工夫
	5	考え・表現・交流時間（場面）の設定	自分自身の考えを持つ時間の確保 ペア・グループなど対話の充実
	6	思考を整理し、考えを深める 構造的な板書とノート指導	子どもの思考の流れが見える構造的板書 授業のねらいに即したノートの活用 タブレットの日常的・効果的な活用
	7	授業の展開に生かす評価	学習状況の見取り 資質・能力を伸ばす評価

＜ 学びの「振り返り」三箇条 ＞

□ 課題解決に向かい、主体的に自分の考え（問い）を持てたか
　（比較・分類するなど、思考が動き根拠を持てたか）
□ 仲間と関わり、対話し、自分の考えを広げ深めることができたか
　（対話することで問いが生まれ、その問いをもとに更に関わり合えたか）
□ 今日のめあてをもとに、学びを振り返ることができたか
　（新たな問いを持つことができたか）

〈　話し合いのルール　〉

＊「話す・聞く」学びの態度を育む

（１）　グループは４人以内
（２）　対話を通して解決を図りたいと思う課題を設定する（目的の確認）
（３）　共に学び、共に育つ「全員発言」を促す
（４）　相手意識をもって話したり、質問したりする（話し手の態度）
（５）　相手の話をじっくり聞いて共感する（聞き手の態度）＊うなずく、返事をするなど
（６）　順序よく、理由（根拠）を明確に、考えをつなぎながら話す
　＊「まず・次に・最後に、なぜなら、〇〇さんにつけたして、くわしく言うと」など

令和８年度　学力向上推進活動計画

１　各部会と主催事業

部 会 名 等	開　催　事　業（研究内容）
北中城村学力向上推進協議会 （全体）	（１）北中城村学力向上推進協議会総会 （２）北中城村学力向上推進協議会授業研究会
北中城村教育委員会 （事務局）	（１）標準学力調査、i-check 検査 （２）北中城村学推計画学校訪問 （３）北中城村小中連携６部会代表者研修会 （４）北中城村小中連携授業参観、交流研修会 （５）北中城村イングリッシュコンテスト （６）各種担当者会・研修会 （７）北中城村教育の日
学校教育部会 （教育総務課担当）	（１）各学校にて、村小中学校における具体的共通実践の推進 （２）学校経営説明会、学校報告会の実施
家庭地域教育部会 （生涯学習課担当）	（１）わった～わらば～会（地域教育懇談会） （２）各支部における学推取組事項

２　学力向上推進年間活動計画

月	日	曜	研　究　内　容	備　考
4	2	木	教育長講話、村主要施策説明、小中連携全体会①	村教育施策
	20	月	全国学力学習状況調査〔英：中 3〕※聞く、読む、書く	
	23	木	全国学力学習状況調査〔国・算/数：小 6,中 3〕	県・村教委・各学校
			学校経営説明会（４～５月）	各学校
5	1	金	村標準学力調査～31 日 〔国：小２～小５、中１,２〕〔算/数：小２,3〕 〔英：中１～３〕 i-check 検査①（総合質問紙調査）〔小 2~中 3〕～31 日	村教委・各学校
	12	火	全国学力学習状況調査〔英：中 3〕※話す	県・村教委・各学校
	19	火	学びのたしかめ（県学力調査）〔算：小 4,5〕	県・村教委・各学校
	20	水	学びのたしかめ（県学力調査）〔数：中 1,2〕	県・村教委・各学校
	22	金	村学力向上推進協議会総会	村教委・学推協
	26	火	村学校計画訪問（北中城中学校）	村教委・校長
	28	木	村学校計画訪問（北中城小学校）	村教委・校長
6	2	火	村学校計画訪問（島袋小学校）	村教委・校長
	5	金	第１回学校教育部会	村教委・校長・学推主任
7	22	水	村幼小中連携部会②、教職員研修会①	村教委・村教職員
	23	木	教職員研修会②	村教委・村教職員
	23	木	わった～わらば～会（地域教育懇談会）第２回学校教育部会、第１回家庭地域教育部会(合同)	校長・教頭・学推・地域連携
8			村標準学力調査・ i-check 検査活用研修会	村教委・各学校
9	9	水	村学力向上推進授業研究大会（島袋小学校）	学校教育部会・村教職員

10	1	木	i-check 検査②（総合質問紙調査）〔小 2~中 3〕～31 日	村教委・各学校
	14	水	中学３年生向け学力調査〔国・理・英・〕	村教委・各学校
	15	木	中学３年生向け学力調査〔社・数〕	
	28	水	北中城村イングリッシュコンテスト（小・中・高）	村教委
11			県外視察（調整中）	村教委・各学校
	12	木	県学力到達度調査（～12／10）〔小 5,6:国・算〕	県・村教委・各学校
	13	金	〔中 1:数・英、中 2:国・数・英、中 3:国・社・数・理・英〕	
	27	金	中頭地区学力向上実践推進大会	中頭学推・村教職員
1			学校報告会	各学校
			英検ジュニア実施（小６・小５）	各学校
2	10	水	北中城村「教育の日」式典	村教委・村教職員
3	2	火	第３回学校教育部会	校長・学推主任

北中城村「学校教育」表彰実施要項

平成１９年１１月　８日　教育長決裁
平成２３年　２月　３日　一 部 改 訂
平成２６年　２月　６日　一 部 改 訂
平成２６年１２月１６日　一 部 改 訂
令和　３年１１月３０日　一 部 改 訂
令和　４年１２月　１日　一 部 改 訂
令和　５年１２月　１日　一 部 改 訂

１　趣旨

基礎学力・確かな学力の向上は、教職員の日々の教育実践の積み上げ、児童生徒の日頃の学習活動が相俟って達成できるものである。そこで、学習や生き方に勤勉である児童生徒と教育実践に精励している教職員を表彰することは、基礎学力の向上はもとより本村教育の振興に大きく貢献するものである。

他の模範となる児童生徒を激励するとともに、北中城村在勤中の教職員の顕著な教育実践や功績及び一般の方々の顕著な学校への功績等を称え、教育表彰を実施し「ほめる教育」を推進する。

２　表彰の種類

（１）学習優秀賞（児童生徒の部）
①芸術部門（音楽、作文、絵画等の芸術分野）
②科学部門（科学、理科分野）
③スポーツ部門（学校体育及び社会体育分野）
④学習・善行部門（学習成績優秀、ボランティア活動等）

（２）教育実践賞（教職員の部）

（３）学校教育支援賞（一般の部）

３　推薦対象者及び人員（推薦基準合致する者を推薦すること）

（１）学習優秀賞（児童生徒の部）
①村立の各小・中学校に在学する児童生徒で、推薦基準に合致する児童生徒
②村立の各学校とも数名（数団体）以内とする。

（２）教育実践賞（教職員の部）
①村立の各幼稚園・小学校・中学校に勤務する教職員から各校数名以内とする。
②本校勤務２年を超える教職員とし、校長、教頭は対象外とする。

（３）学校教育支援賞（一般の部）
①本村の教育に功績のあった者及び団体とする。
②各幼・小・中学校数名（数団体）以内とする。

4　推薦基準

（１）学習優秀賞（児童生徒の部）

当該学年度の学習活動等で次の各号の一つに該当する児童生徒及び団体

①学校全体の代表として顕著にふさわしい者及び団体

②本村の誇りある子どもとして学校及び地域に認められた者及び団体

③日々学業に励みながら他の子どもの模範となり学習、スポーツ、文化活動、各種資格、各種検定等（２級以上）において顕著な成果を修めた者及び団体

（２）教育実践賞（教職員の部）

各学校の教職員・保護者・地域から評価が高く、次の各号の一つに該当する教職員

①教職員としての人格・識見・指導力に優れている者

②幼児児童生徒を全県・九州・全国的な場で、顕著な成績を修めた指導力優秀な者

③教職員としての使命感に燃え、その職務に精励し且つ顕著な功績のある者

（３）学校教育支援賞（一般の部）

長年（３年以上）にわたり学校教育にボランティア等として協力し、本村の教育に功績のあった者及び団体

（４）その他（補足）

教職員及び一般の被表彰は本村内にて１回のみとする。また児童生徒は本村内各小・中学校において、各部門１回ずつのみとする。

5　推薦書の提出と審査

（１）園長・学校長、教育委員会は、所定の期日までに推薦書を審査委員会へ提出する。

①様式１：学習優秀賞（児童生徒の部）推薦書

②様式２：教育実践賞（教職員の部）推薦書

③様式３：学校教育支援賞（一般の部）推薦書

（２）審査委員会は審査基準に基づき審査する。

（３）審査委員会は、教育長、教育総務課長、生涯学習課長、指導主事等で構成する。

6　表彰の決定及び表彰期日等

（１）表彰の決定は審査委員会の審査を経て教育委員会議で行う。

（２）表彰は賞状を授与し、副賞を添えることもできる。

（３）表彰の時期は教育長が別に定める。

（４）この要項に定めるものの他、必要な事項は教育長が別に定める。

これまでの青少年交流の経過

期間	内容
昭和 60 年 8 月 23 日 ～8 月 26 日	北中城村少年野球チーム（安谷屋ライオンズ）が葛巻町を訪問葛巻タイガースと交流試合及び交流会
昭和 61 年 1 月 10 日 ～1 月 13 日	葛巻町少年野球チーム（葛巻タイガース）が来村 安谷屋ライオンズ、村選抜チームと交流試合及び交流会
昭和 63 年 3 月 23 日	北中城村青少年交流基金条例制定
平成元年 1 月 10 日 ～1 月 12 日	葛巻町中学校バレーボールチームが来村、北中城中学校バレーボール部と交流試合及び交流会
平成元年 8 月 24 日	葛巻町との姉妹町村盟約調印式典（於 北中城村）
平成元年 10 月 4 日	葛巻町との姉妹町村盟約披露式（於 葛巻町）
平成 2 年 7 月 22 日 ～7 月 25 日	北中城小・中学校代表１１名（青少年６名・引率５名） 葛巻町を訪問・町内施設・三陸海岸・八幡平を見学
平成 3 年 7 月 29 年 ～8 月 1 日	葛巻町小・中学校代表１７名（青少年１２名・引率５名）が来村、史跡見学・学校訪問・交流会
平成 4 年 12 月 20 日 ～12 月 23 日	北中城村小・中学校スキー体験教室に向けた事前調査（職員２名）が葛巻町を訪問
平成 5 年 1 月 5 日 ～1 月 9 日	北中城小・中学校スキー体験教室へ１６名（青少年１２名・引率４名） 葛巻町を訪問、八幡平スキー場でスキー体験及び交流会
平成 5 年 7 月 26 日 ～7 月 30 日	葛巻町小・中・高校生１７名（青少年１２名・引率５名）が来村、史跡等見学、海水浴体験及び交流会
平成 7 年 1 月 4 日 ～1 月 9 日	北中城中学校生徒会１５名（中学生１２名、引率３名）葛巻町を訪問、八幡平スキー場でスキー体験、土谷川で雪国体験、交流会
平成 7 年 7 月 25 日 ～7 月 29 日	葛巻町内スポーツ少年団１５名（青少年１１名、引率４名）が来村、史跡等見学、スポーツ交流及び交流会
平成 9 年 1 月 6 日 ～1 月 10 日	北中城中学校生徒会１６名（中学生１２名、引率４名）葛巻町を訪問、平庭高原スキー場でスキー体験、葛巻町中学生との交流会
平成 9 年 7 月 25 日 ～7 月 29 日	葛巻町スポーツ少年団１４名（小学生１０名、引率４名）が来村、村内小学生とのミニバスケットボール交流試合及び交流会
平成 11 年 1 月 5 日 ～1 月 9 日	北中城中学校生徒１５名（生徒１２名、引率３名）葛巻町を訪問、スキー体験、町内施設見学、及び町内中学生との交流
平成 11 年 7 月 25 日 ～7 月 29 日	葛巻町内の中学生１３名（生徒１０名、引率３名）が来村、南国で海水浴体験及び陶芸教室（シーサー作り）等で北中城中学生との交流会
平成 13 年 1 月 9 日 ～1 月 13 日	北中城中学校生徒会１５名（中学生１２名、引率３名）葛巻町を訪問、スキー体験、町内施設見学、町内中学生との交歓会
平成 13 年 7 月 30 日 ～8 月 1 日	葛巻町中学生１５名（中学生１２名、引率３名）が来村、南国での海水浴体験及び今回初めてホームステイを実施し、ホストファミリーとの交流会

平成 15 年 1 月 7 日 ～1 月 11 日	北中城中学校生徒１５名（中学生１２名、引率３名）葛巻町を訪問、平庭高原スキー場でスキー体験及びそば作り体験、葛巻町内中学生との交流会
平成 15 年 7 月 29 日 ～8 月 1 日	葛巻町中学生１３名（中学生１１名、引率２名）が来村、南国での海水浴体験及び戦争の実態を肌で「命の尊さ」「平和の大切さ」を確認する。又北中城村内の中学生との交流を行う。
平成 17 年 1 月 11 日 ～1 月 15 日	北中城中学校生徒１５名（中学生１２名、引率３名）葛巻町を訪問、平庭高原スキー場でスキー体験、土谷川にて雪国体験、葛巻町内中学生との交流会
平成 17 年 8 月 2 日 ～8 月 5 日	葛巻町中学生１５名（中学生１２名、引率３名）が来村、南国での海水浴体験及び北中城村の文化及び首里城等の 沖縄の文化を見聞し、また戦争の実態を肌で「命の尊さ」「平和の大切さ」を確認する。又北中城村内の中学生との交流を行う。
平成 19 年 1 月 10 日 ～1 月 13 日	北中城中学校生徒１５名（中学生１２名、引率３名）葛巻町を訪問
平成 19 年 7 月 31 日 ～8 月 3 日	葛巻町より１５名（中学生１２名、引率３名）が来村、南国での海水浴体験及び北中城村の文化を見聞し、また平和学習、北中城村内の中学生との交流を行う。
平成 21 年 1 月 7 日 ～1 月 10 日	北中城中学校交流団１６名（中学生１２名、引率４名）葛巻町を訪問
平成 21 年 7 月 28 日 ～7 月 31 日	葛巻町より（中学生１２名、引率３名）が来村。村内外の文化・平和を学習し、北中城中学校との交流を行う。
平成 22 年 1 月 6 日 ～1 月 9 日	北中城村より１５名（中学生１２名、引率３名）が葛巻町を訪問
平成 23 年 7 月 27 日 ～7 月 30 日	葛巻町より（中学生１２名、引率３名）が来村。平和学習、史跡見学等、北中城中学生との交流
平成 25 年 1 月 9 日 ～1 月 12 日	北中城村より１６名（中学生１２名、引率４人）が葛巻町を訪問
平成 25 年 7 月 30 日 ～8 月 2 日	葛巻町より（中学生１２名、引率４名）が来村。平和学習や史跡見学等、沖縄の自然や文化に触れ、北中城中学生との交流を行う。
平成 27 年 1 月 6 日 ～1 月 9 日	北中城村より１６名（中学生１２名、引率４名）が葛巻町を訪問。
平成 27 年 8 月 4 日 ～8 月 7 日	葛巻町より中学生１２名、引率４名が来村。村内の観光資源を体感。海水浴や BBQ で北中城中学生と交流する。
平成 29 年 1 月 10 日 ～1 月 14 日	北中城村より１６名（中学生１２名、引率４名）が葛巻町を訪問。
平成 29 年 8 月 1 日 ～8 月 4 日	葛巻町より中学生１２名、引率４名が来村。村内観光資源を体感。平和学習や海水浴・BBQ で北中城中学生と交流する。
平成 31 年 1 月 8 日 ～1 月 11 日	北中城村より１６名（中学生１２名、引率４名）が葛巻町を訪問。

令和元年８月１日 ～8 月 4 日	葛巻町より中学生１４名、引率４名が来村。村内観光資源を体感。平和学習や史跡見学、BBQ で北中城中学生と交流する。
令和 4 年 2 月 18 日	コロナ禍で行き来ができないことから、映像によるリモートでの交流事業を実施。
令和 5 年 1 月 5 日 ～1 月 8 日	北中城村より１６名（中学生１２名、引率４名）が葛巻町を訪問。
令和 5 年 8 月 7 日 ～8 月 10 日	葛巻町より中学生１４名、引率４名が来村。村内観光資源を体感。平和学習や史跡見学、BBQ で北中城中学生と交流する。
令和 7 年 1 月 8 日 ～1 月 11 日	北中城村より１６名（中学生１２名、引率４名）が葛巻町を訪問。
令和 7 年 8 月 5 日 ～8 月 8 日	葛巻町より中学生１４名、引率４名が来村。村内観光資源を体感。平和学習や史跡見学、BBQ で北中城中学生と交流する。

北中城村立　北中城小学校



〒901-2311
沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場１番地
電話：（098）935-3980
FAX：（098）935-4500

校歌

作詞　喜屋武　真栄
作曲　田場　盛徳

一、あけぼの清い　東の
太平洋を　見下ろして
ゆかりの古城　中城
はるかに仰ぐ　聖い地に
そびえて立つよ　学びの舎
ああ　わが母校に　平和あり
ああ　わが母校に　栄あれ

二、友よ互いに　手を取って
学びの道に　励もうよ
あふれる希望　胸に秘め
明るく清く　すこやかに
理想の彼岸に　進もうよ
ああ　わが母校に　平和あり
ああ　わが母校に　栄あれ

三、ゆるがぬ歴史　受けついで
校風永久に　輝いて
いや栄えゆく　北中小
文化の香りも　ほのぼのと
ひろがる郷里の　豊かさよ
ああ　わが母校に　平和あり
ああ　わが母校に　栄あれ

令和８年度　学校経営方針

【本校の教育理念】

人間尊重の精神を基盤に、変化の激しいこれからの社会に自らの「夢」をもち、主体的に対応できる資質・能力の育成を目指す。また、他者と「共生」でき、よりよい平和的な社会の発展を希求する、創造性に富んだ心豊かで「じりつ（自立、自律）する児童を育成していくことを基本理念とする。

※めざす人格像キーワード　　夢・じりつ（自立・自律）・共生

1　学校教育目標

〇思いやりのある子　　〇よく考える子　　〇じょうぶな子

2　経営目標

(1) 子ども主体の学びと成長の保障

① 児童の良さや可能性を最大限に伸ばし、生きる力を身につけさせる教育活動を展開する。

② 児童理解に基づいた適切な指導及び支援を充実させ、一人一人の学びと育ちを保障する。（特別支援教育の充実・生徒指導４つのポイントを生かした授業実践）

(2) 「質の高い教育」を支える教師集団の育成

① 全職員が使命感を持ち、相互に学び合い（校内研の充実）質の高い授業を実践する。

② 教職員一人一人の専門性とチーム力を高め、組織的・機能的に職務を遂行する。

(3) 保護者・地域に信頼される「チーム学校」の推進

① 安全・安心な学校づくりを最優先し、危機管理体制を機能化する。

② 保護者・地域や関係機関と連携・協働し、地域に開かれた教育を推進する。

3　目標達成のための教育像

(1) めざす学校像

① 一人一人の児童が、安全・安心でき、明るいあいさつと笑顔があふれる学校

② 一人一人の児童が、授業がわかり、学ぶことの意義を実感し、夢や希望をもって「じりつ（自立・自律」に向かう力を育む学校

③ 一人一人の児童の夢実現に向け、保護者・地域との連携及び信頼関係を構築し、地域に開かれた学校

(2) めざす児童像

① **き**づく力（共生）：違いや良さに気づき、認め合う心優しい子

② **た**かめあう力（夢・自律）：めあてを持ち、自ら学び、考え、表現できる子

③ **なか**まと協力しやりぬく力（共生・自立）：仲間と協力し、粘り強く最後までやりとげる心身ともに丈夫な子

(3) めざす教職員像

① 児童の安全・成長を第一に考え、良さを認め伸ばす教職員

② 使命感と情熱を持ち、率先垂範して活動する教職員

③ 同僚と学び合い、高め合い、保護者・地域から信頼される教職員

4　教育目標具現化の指標

(1) 思いやりのある子　【共生】

① 自他の生命を大切にし、助け合うことができる。
② 感謝の気持ちを忘れず、進んで働くことができる。
③ 互いの良さや違いを認め合うことができる。

(2) よく考える子【じりつ（自立・自律）】

① 自ら学び、考え、判断し、表現することができる。
② めあてを持ち、進んで学習することができる。
③ 課題解決に向け、粘り強く取り組むことができる。

(3) じょうぶな子【夢】

① 「早寝・早起き・朝ご飯・家庭学習」の規則正しい生活を送ることができる。
② 「夢」実現に向けて、計画的にねばり強く努力することができる。
③ 自らの健康に気をつけて、安全に行動できる。

5　経営方針

教職員が自らの使命と責任を自覚し、組織的、計画的、継続的、効果的な教育課程を編成し、以下の経営を行う。

(1) 「徳」「知」「体」の調和のとれた教育活動の推進

① 子どものための学校経営

「学校は子どものためにある」を基本理念とし、多様性に配慮した環境づくりと、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。

② 資質・能力の育成

学習の基盤となる「知識・技能」を確実に身につけさせ、「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力・人間性」を育む

③ 教育目標具現化の取り組み

豊かな心（思いやりのある子）、確かな学力（よく考える子）、健やかな体（じょうぶな子）の３領域における具体的な取り組みを全職員で推進する。

(2) 「チーム学校」の組織体制の確立と働き方改革

① 教職員の職能成長

学び合う同僚性を構築し、校内研修や学校 OJT を充実させ、教職員一人一人の能力（強み）を活かし、資質向上を目指す

② 組織的運営

「チーム学校」として PDCA サイクルによる組織的・計画的・効果的な教育活動を推進する。

③ 働きやすい学校風土

互いに信頼し、協働し、支え合える組織づくりに努め、働き方改革を推進し、教職員の健康保持に努める。

(3) 安全・安心・信頼を基盤とした地域連携の強化

① 危機管理体制の徹底

「安全で安心な学校づくり」を最優先し、施設・設備の安全管理を徹底する。

② 保護者・地域との連携

学校運営協議会、父母教師会との連携を充実させ、地域教育資源の積極的な活用、地域に開かれた教育課程を推進する。

③ 安全・安心な風土の醸成

児童理解に基づいた指導及び支援、授業づくりに努め、児童一人一人の成長を大切にした

学年・学級経営の充実を図る。（特別支援教育・発達支持的生徒指導の充実）

6　重点目標

(1) 不登校・いじめ等の対応の充実
(2) 確かな学力の定着
(3) 安全・安心な環境づくりの推進

7 重点目標に基づく具体的取り組み

(1) 不登校・いじめ等の対応の充実（豊かな心の育成）
① 学級経営の充実（居場所づくり）
ア 児童が「ここにいてもいい」と思える安心感のある学級・学年経営
イ 「アクティブ7」の実践を通した、共に支え高め合える児童の育成
② 人権意識と道徳的価値の自覚（人権教育・道徳教育）
ア 生命の尊厳と人権を尊重する心の醸成及び互いの良さを認め合い、高め合う態度の育成
③ 特別活動の充実と児童の主体性の向上（自治的活動）
ア 児童会・委員会活動を柱とした、学校生活を自ら創造する自治的活動の推進
イ 特別活動を通じた、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする態度の育成
④ キャリア教育との連動（か・ふ・や・み）
ア 「か・ふ・や・み」の力の育成を通じた、自己肯定感の醸成と将来への夢や希望を育む心の育成
⑤ 組織的な校内支援体制の確立（チーム学校）
ア 各種部会等（プロジェクト、校内支援委員会等）の機能強化、特別支援教育・生徒指導・教育相談の充実及び連携
イ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー及び関係機関との有機的な連携による「チーム学校」での支援の充実

(2) 確かな学力の定着
①「自立した学習者育成プロジェクト」の推進
ア 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実による資質・能力の育成
イ 学習基盤としてのICT活用能力の向上と効果的な学習活動への支援
ウ 客観的なデータに基づく「指導と評価の一体化」の推進と授業改善のサイクル化
エ 自らの学びを調整し、「自学自習力」を育む日常的な取り組みの定着
② 北中城村「ドリーム7」の実践
ア 互いに認め合い、支え合いながら高め合う学習風土の醸成
イ 時間の管理（タイムマネジメント）を意識した授業実践による思考を深める学習時間の確保と充実
ウ 本時の「めあて」と正対した「まとめ」と「振り返り」の充実による学びの質の保障
エ 児童の問いを引き出し、深い思考を促す発問の工夫と展開
オ 表現・交流を促す場面の意図的な設定と、対話的な学びの活性化
カ 思考を可視化し、整理する「構造的な板書」と学びの足跡を残すノート指導の徹底
キ 児童の変容を的確に捉え、次の指導に繋げる「指導と評価の一体化」の推進
③ 生徒指導４つのポイントを生かした授業実践
ア 自己存在感の感受を促進する授業づくり
イ 感受的な人間関係を育成する授業

ウ 自己決定の場を提供する授業づくり
エ 安全・安心な風土の醸成に配慮した授業
④ 基礎学力と資質・能力の保障
ア 「きたもんタイム」の意図的・計画的な活用による学習の土台となる基礎・基本の定着
イ 自分の考えを論理的に構築し、他者に伝える「思考力・表現力」の育成
ウ 図書館教育の推進による、豊かな感性と語彙力の向上
エ 外国語教育の充実による、コミュニケーション能力の素地・基礎の育成

(3) 安全・安心な環境づくりの推進
① 基本的生活習慣と規律の定着
ア 「あいさつ・返事・返礼」の習慣化と清掃・係活動の徹底
イ 学習規律の確立による、落ち着いた学習環境の維持
② 安全意識の確立と体力の向上
ア 「自分の命は自分で守る」態度の育成と、健康安全意識の定着
イ 体育の授業を核とした、体力向上と心身の健やかな成長の促進
③ 学校保健安全の推進
ア 危機管理マニュアルに基づいた組織的対応の徹底
イ 保護者・地域と連携した安全点検の徹底
④ 食育の推進
ア 栄養バランスへの関心向上と望ましい食習慣の形成
イ 「食」への感謝と生涯にわたる健康な体づくりの推進
⑤ 保幼こ小の円滑な接続
ア 架け橋プログラムの推進による、入学時の安心感の醸成と円滑な接続
イ 保幼こ小連携連絡協議会の充実と、組織的な連携体制の構築

8 重点目標と取組みの対応マップ

重点目標	該当する具体的取組みの柱
（1）不登校・いじめ対応	学級経営（居場所）・人権教育・平和教育・児童理解・児童会活動・特別支援教育・生徒指導・教育相談・児童支援部会・校内就学支援委員会・アクティブ７
（2）確かな学力	自立した学習者育成プロジェクト･生徒指導４つのポイントを生かした授業実践・北中城村ドリーム７・キャリア教育・情報教育・環境教育・図書館教育
（3）安全・安心な環境	基本的生活習慣・道徳・特別活動・国際理解教育・環境教育・掲示教育・学校保健安全・体力向上・食育・保幼こ小連携・

令和８年度 学校経営グランドデザイン 学校教育理念

北中城村立北中城小学校

〈本校の概要〉
○ 本校は、沖縄県本島中部北中城村にある創立124年目の学校である。児童数772名、普通学級24学級、特別支援学級10学級、職員数68名の大規模校である。
○ 保護者や地域は教育に関心が高く、父母教師会の活動も盛んで、13ある各自治会では、古くからの伝統行事や祭りがさかんで、子ども達の参加も多く、地域ぐるみで健全育成を図っており、地域の学校教育へ協力が活発である。

◎一人間尊重の精神を基盤に、一変化の激しいこれからの社会に自らの一「夢」一をもち、一主体的に対応できる資質・・能力の育成を目指す。また、他者と「共生」でき、よりよい平和的な社会の発展を希求する、創造性に富んだ心豊かで「じりつ（自立、自律）する児童を育成していくこと

学校教育目標〔目指す児童像〕
○【徳】思いやりのある子（共生）
○【知】よく考える子（じりつ 自立/自律）
○【体】じょうぶな子（ 夢 ）

〈保護者・地域の実態〉
○ 教育に関する関心が高い保護者が多いが、二極化傾向。
○ 地域の教育活動支援やボランティア活動が活発である。

〈本校の実態 〔R7年度より〕〉
〔強み〕
○体育研究に取り組み、体力面で優れている児童が多い。
○教師間の温かな風土が醸成されている。
○地域の協力体制が構築されている。
〔課題〕
●自己肯定感が低く、集団へ適応できない児童が増加
●ICT環境整備が遅れている〔電子黒板設置、体育館のWi-Fi設置等〕
●学習習慣、目標意識（よりよい自分づくり）、計画的に学ぶ態度
●不登校や特別な支援を要する児童等が増加傾向

本校のキャッチフレーズ
『楽しく・仲良く・元気よく』

学校経営方針
1「徳」「知」「体」の調和のとれた教育活動の推進
(1) 子どものための学校経営　(2) 資質・能力の育成　(3) 教育目標具現化の取り組み
2「チーム学校」の組織体制の確立と働き方改革
(1) 教職員の職能成長　(2) 円滑で効果的な組織的運営　(3) 働きやすい学校風土づくり
3 安全・安心・信頼を基盤とした地域連携の強化
(1) 危機管理体制の構築　(2) 保護者・地域との連携強化　(3) 安全・安心な風土の醸成

『夢』『じりつ（自立/自律）』『共生』

めざす教師像
◇児童の安全・成長を第一に考え、「和顔愛語」で、良さを認め伸ばす教職員〔先意承問〕
◇ 使命感と情熱を持ち、「率先垂範」して活動する教職員
◇ 同僚と「和衷共済」の精神で学び合い、高め合い、保護者・地域から信頼される教職員

めざす学校像
(1) 一人一人の児童が、安全・安心でき、明るいあいさつと笑顔があふれる学校
(2) 一人一人の児童が、授業がわかり、学ぶことの意義を実感し、夢や希望をもって「じりつ（自立・自律）」に向かう力を育む学校
(3) 一人一人の児童の夢実現に向け、保護者・地域との連携及び信頼関係を構築し、地域に開かれた学校

『そろえる』『ささえる』『つながる』

育成をめざす資質・能力
きづき、考え、実践する力（ふりかえる力 ・ みとおす力）
たくましい心と体をつくる力（やりぬく力）
なかまと協力し合い高め合う力（かかわる力）

育成の指標：〔評価項目〕

思いやりのある子 【共生】	よく考える子【じりつ（自立・自律）】	じょうぶな子【夢】
(1) 自他の生命を大切にする【生命尊重】	(1) 自ら考え、判断し、実践する【考える力】	(1) 規則正しい生活を送る【望ましい生活習慣】
(2) 仲間と助け合う【協力する力】	(2) めあてを持って活動する【見通す力】	(2) 夢や目標を描く【目標を設定する力】
(3) 感謝の気持ちをもつ【感謝の心】	(3) 進んで学習する【課題を解決する力】	(3) 目標達成に向け、計画的に粘り強く努力する【課題に対応する力】
(4) 進んで働く【勤労精神】	(4) 実践をふりかえり、次に生かす【振り返る力】	(4) 自らの健康に気をつけて、生活する【健康を管理する力】
(5) 互いの良さや違いを認め合う【承認の心】	(5) 自分の言動に責任を持つ【責任を果たす力】	(5) 安全に行動する【危険を回避する力】

教師による包括的支援（支える）

保護者地域と連携協力した包括的支援（支える）

〈方策〉～学力向上推進・校内研究～
○家庭と連携した教育活動の推進〔生活習慣の確立・自主学習など〕
○諸学力調査を生かした教育実践〔授業改善の推進〕
○学力を高める指導の充実 ※授業における基本事項の徹底
〔質的授業改善の推進、一人一授業、相互授業参観の推進〕
○校内研究の充実
『つながる・楽しむ・学び合う みんなで創る体育学習を目指して』
～個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指した授業づくりを通して～
○各種研修会への参加と研修成果の共有
○『対話』を通した教師間の学び合い
○個別最適な学びを実現する『ICT環境』の充実
〔ICTを効果的に活用した学びを推進＋業務改善〕

〈方策〉～子ども支援～
○朝のあいさつ指導〔安心〕・安全指導〔安全〕
○支持的風土醸成のための道徳・特別活動の充実
〔居場所づくり、課題予防的生徒指導、いじめを生まない集団づくり〕
○教育相談アンケートやi-checkなどの調査及び児童の関わりから実態を把握し、迅速かつ適切な対応へつなぐ
○校内研修、校外各種研修会での研修成果の共有と実践化
○諸学力調査の結果分析と共通理解⇒実践へ
○学校便り・学年便り等の各便り通信、スクリレHP等による情報発信の充実
○困り感を抱える児童への対応の「質の向上」を図る
○支援、専門職員などを生かした組織的な対応

〈方策〉～組織体制～
○授業公開の日常化と一人1公開授業による授業改善、授業力向上
○服務規律の徹底と教育公務員としての自覚の確認
○教職員評価システムを活用した取組事項の確認と実践
○週案コメントやたより、講話を通した校長のビジョンの周知・徹底
○児童と共に学び成長する教師として、率先垂範、師弟同行の推進
○「アクティブ7」「ドリーム7」等の全校体制での実践『統一・徹底』

〈方策〉
◎学校運営協議会の充実を図り、児童・教師・保護者にとって『Wellbing』な学校づくりを推進する。
○学校便り・学年便り等の各便り通信、スクリレ、HP等による日々の教育活動の様子などの情報発信
○家庭と連携した教育活動の推進
〔学校教育と連動した家庭教育への協力体制の構築〕
○生活リズム確立、あいさつ運動、交通安全指導等への協力
○父母教師会・自治会との連携協力及び人材の活用
○北中城中学校ブロックとの連携した教育活動の実施
○保幼こ小連携の強化〔就学前と就学時の学びの接続〕
○教育行政及び関係機関との連携

〈方策〉～説明と公表～
◎学校運営説明会の開催〔公約の説明〕
○保護者懇談会、保護者面談、授業参観等の実施
○学校便り・学年便り等の各便り通信、スクリレ、HP等による情報発信
◎学校評価の実施・公表・改善
〔三位一体となった教育活動への変換〕
○学校運営協議会による関係者評価及び外部評価の実施
○成果報告会などによる公約に対する評価の説明（公表）

今年度の一時徹底
目標を持ち、行動しよう ～マネジメントサイクルを身につける～

誰一人取り残さない！『しっかり』『たっぷり』『じっくり』
北中っ子 笑顔プロジェクト
Well-beinng の向上

【徳】
〈具体目標〉『仲間と協力し合い高め合う力』の育成
〈方策〉
(1) 生命の尊さを学ぶ指導
＊平和教育の充実を図る取組
＊飼育、栽培活動の推進
(2) あいさつ・返事・後始末の徹底
＊日常的な指導
＊あいさつ運動など
(3) 自他を尊重する心の育成
＊人権教育の充実を図る取組
＊「アクティブ7」の取組充実と居場所づくり
(4) 仲良く協働する態度の育成
＊支持的風土のある学級づくり（学級経営）
＊特別活動（学級活動等）の充実
＊児童会活動、異学年交流等の充実
(5) 感謝の心の育成
＊感謝の場の設定〔感謝集会など〕
＊人的かかわりを通した豊かな体験活動等の実施
(6) 働く意義の理解を深める指導
＊勤労生産・奉仕的な行事指導の充実
＊体験活動・ボランティア活動の推進

【知】
〈具体目標〉『気づき、考え、実践する力』の育成
〈方策〉
(1) 聞く態度の育成
＊聞くことの指導の徹底
(2) 学習規律の確立
＊「ドリーム7」の指導徹底
(3) 活動の目標を明確にした実践
＊「ねらい」「まとめ」の質的向上
＊授業と連動した自主学習の推進
(4) 言語活動の充実
＊対話を通した学習活動の実施
＊話合い活動を重視した授業実践
(5) ICTの効果的な活用
＊日常的なICTの効果的な指導実践
＊ICTスキルの向上を図る取組
＊個別最適な学びづくりの工夫
(6) 思考力・判断力・表現力の育成
＊「気づき、考え、行動する」の指導の推進
＊「自立した学習者育成プロジェクト」に係る取組の推進
(7) 読書活動の充実
＊読書活動を推進する取組

【体】
〈具体目標〉『思いやりの心』『認め合う心』『協力し合う心』の育成
〈方策〉
(1) 基本的生活習慣の確立
＊生活リズムの構築を図る取組
＊「早寝・早起き・朝ごはん・家庭学習」の定着
(2) 健康教育の充実
＊保健指導/性教育/薬物乱用防止教育等の充実
(3) 食育の充実
＊給食指導/食育指導の充実を図る取組
(4) 安全教育の充実
＊日常的な安全指導の充実
＊避難訓練の実施
＊交通安全教室の実施
(5) 体力向上を図る取組
＊体育授業の質的改善
＊『一校一運動』の奨励 〔R8：縄跳び運動〕
＊日常的に運動に親しめる環境の整備
(6) ストレスマネジメントの力の育成
＊社会性を高め、情動コントロールスキルを身につける指導
＊健康観察の充実と日常的な教育相談の実施
＊保健センターとしての機能強化
（児童のメンタルヘルス・ケア）

◎児童会活動〔児童会、委員会の取組〕 ◎学校活動〔学級活動(1)、(2)、(3)の実践〕 ◎異年齢集団活動の実践
子どもたちが生活上の課題を自分事として捉え、考え、話し合い、取り組んでいく

重点取組事項
(1)不登校・いじめ等の対応の充実
(2)確かな学力の定着
(3)安全・安心な環境づくりの推進

【働き方改革の推進】 □教師の『やりがい感』の向上 □会議運営の見直しとICT活用による効率化 □チーム学校の推進〔教科担任制など〕 □校務DX化の推進 □「対話」による『つながり感』の高揚

令和８年度　学力向上推進計画

北中城村立北中城小学校

１　目標

「生きる力」の基盤となる資質・能力を育み、社会の変化に対応できる「自立した学習者」の育成
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図る取り組みの工夫を通して～

２　方針

県の「沖縄県学力向上推進施策『自立した学習者』育成プロジェクト」や「北中城村学力向上推進目標」等に基づき、全職員で共通理解しながら組織的な取り組みを推進する。

３　推進の視点

（１）本校児童の実態や課題を明らかにしたうえで、目標を設定し、課題解決に向けた取り組みを推進する。

（２）「わかる授業」を構築するため、上記施策及び「授業スタンダード『北中っ子、夢・実現ドリーム７』」やこれまでの実践「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた『主体的、対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善」及び校内研修研究テーマを意識した授業実践を通して、教師の授業力向上に取り組む。

（３）本校における学力向上の方向性を、キャリア教育の視点も踏まえた身につけさせたい力「かふやみの力（かかわる力・ふり返る力・やりぬく力・みとおす力)」を見据えて取り組む。

（４）学校教育目標や教育課程、課題などを、学校・家庭・地域間で共有しながら、緊密な連携による組織的な取り組みを推進する。

（５）PDCA サイクルに基づいた、定期的な振り返り（毎学期１回）と改善を行う。

４　主な取り組み

（１）「授業スタンダード『北中っ子、夢・実現ドリーム７』」を意識した授業づくり

○「ドリーム７」の項目

・互いに認め合い、支え合う風土の醸成
・タイムマネジメント
・めあてと正対したまとめとふり返り
・問いが生まれ思考を促す発問
・考え・表現・交流時間（場面）の設定
・思考を整理し、考えを深める構造的な板書とノート指導
・授業の展開に生かす評価

○学びに向かう力の育成（学習規律・言語環境・教室環境）

・「北中っ子アクティブ７」の取り組みの充実

①チャイムスタート
②考えを持つ（ノートに書く・発言する）
③ふり返り

④計画的な家庭学習

⑤学習用具の準備

⑥当番活動や係活動

⑦学習への意欲

・漢字指導の統一（モジュール学習）

・授業と連動した家庭学習、自学自習

（２）諸学力調査の分析・考察の活用

（３）朝の読書の活性化

（４）学力強化（既習のふり返り）旬間の取り組み（5月⇒4月・9月・1月⇒11月）

（５）諸活動の充実及び目標値の設定

令和８年度　校内研修計画概要

１　研究主題

つながる・楽しむ・学び合う　みんなで創る体育学習を目指して
～対話と協働を通して、運動の楽しさと学びを深める授業づくり～

２　主題設定の理由

本校は令和７年度より、体育を軸とした校内研究に取り組み始めた。初年度は、体育授業における「対話と協働」に着目し、児童同士が関わり合いながら運動の楽しさを感じられる授業づくりや、安心して参加できる集団づくりを目指して研究を進めてきた。その中で、体育授業における対話や協働の場面が少しずつ見られるようになるなど、学校としての取組は着実に広がりを見せている。一方で、体育の授業づくりに対する関わり方や捉え方は、教員それぞれの立場や役割によって違いがある。

初年度は、体育専科を中心とした支援体制のもと、資料提供や助言を通して研究を進めてきたため、実際の授業場面を共有しながら共に考える機会には限りがあった。こうした進め方は、研究をスタートさせる上では有効であった一方で、「実際に一緒にやってみる」「場面を見ながら考える」といった学びを、全体で十分に積み重ねることが難しい側面もあった。

そこで令和８年度は、研究主題や方向性を大きく変えるのではなく、初年度の取組を土台としながら、体育授業の場を共有し、共に考え、共に実践する機会を増やすことを重視する。対話と協働の意味や価値を改めて確認し、学校全体で同じ目線に立ちながら、無理のない形で体育授業の改善を進めていく。また、本年度より体育コーディネーターを配置し、学級担任と共に授業を行いながら支援する体制へと移行する。これにより、これまでの資料提供や助言に加え、授業の場面を通した実践的な学び合いを実現し、体育授業への理解と安心感を学校全体で高めていくことを目指す。

これらの児童の実態や学校の状況を踏まえ、令和８年度の研究では、初年度に大切にしてきた視点を継承しつつ、次の３つを柱として研究を進めていくこととする。

（１）対話と協働を支える集団づくりと人間関係の育成

体育の授業において、児童が安心して関わり合い、互いの違いを認めながら挑戦できる学級・集団づくりを引き続き大切にする。対話や協働が自然に生まれるためには、児童一人一人が「ここにいてよい」「自分の考えや動きを出してよい」と感じられる関係性の土台が不可欠である。そのため、学級担任と体育コーディネーターが連携し、授業場面を共有しながら、児童同士の関わりを支える声かけや場づくりについて共に考え、実践を積み重ねていく。

（２）運動の楽しさと学びを味わう授業づくりと活動構成の工夫

運動の本質的な楽しさを大切にしながら、児童の気づきや工夫が生まれる授業づくりを行う。初年度に取り組んできた、選べるルールや作戦タイム、ふり返りといった要素を生かしつつ、誰もが取り組みやすい授業構成を学校全体で共有していく。また、体育コーディネーターが学級担任と共に授業を行うことで、活動のねらいや対話の位置づけをその場で確認し合いながら、無理のない形で授業改善を進める。児童が「体育が楽しい」「またやりたい」と感じられる授業を積み重ねていくことを通して、体育に対する前向きな意識の醸成を目指す。

（3）学校全体で支え合う体育授業推進体制の構築

体育授業の改善を学校全体で進めていくために、体育コーディネーターを中心とした支援体制に加え、学年ごとに体育授業をつなぐ役割を担う教員を配置する。これにより、授業づくりや実践の工夫を学年内で共有しやすくし、困り感や悩みを抱え込まずに相談できる体制を整える。

体育コーディネーターは、学級担任や学年担当と共に授業に入りながら支援を行い、学年の体育担当教員と連携することで、学校全体の授業改善を進めていく。この体制を通して、体育授業を「任せる」「任される」関係ではなく、「一緒に考え、支え合う」関係へと広げていくことを目指していきたい。

3　研究目標

対話と協働を通して運動の楽しさを実感し、仲間と関わりながら学ぶ体育授業を、学校全体で共通理解のもと実践できるようにする。そのために、体育コーディネーターや学年担当教員が連携し、授業の場を共有しながら支え合う体制を構築することで、教員一人一人が無理なく体育授業に取り組める環境を整える。こうした取組を通して、児童が「できた」「分かった」「またやりたい」と感じられる学びを積み重ねるとともに、体育授業に対する肯定的な意識を育み、生涯にわたって運動に親しもうとする態度の基盤を育成する。

4　研究仮説

体育コーディネーターと学級担任、学年の体育担当教員が連携し、授業の場を共有しながら対話と協働を取り入れた体育授業を実践することで、教員の授業づくりに対する理解と安心感が高まり、学校全体として体育授業への取組が広がっていくだろう。また、児童同士が関わり合いながら運動に取り組む場面を意図的に設定し、活動後の簡単なふり返りを通して学びを共有することで、運動に対する前向きな気持ちや参加意欲が高まり、誰もが安心して体育学習に参加できるようになると考える。これらの取組を積み重ねることで、体育授業を「一部の実践」ではなく「学校全体の取組」として位置づけることができ、無理のない形で体育授業の質の向上につながっていくだろう。

5　研究内容と取り組み

（1）研究内容

本研究では、対話と協働を基盤とした体育授業の実践を通して、児童が運動の楽しさを味わいながら学ぶことができる学習の在り方を探る。そのために、体育コーディネーターと学級担任、学年の体育担当教員が連携し、授業の場を共有しながら支え合う体制を整える。授業づくりを一部の教員に任せるのではなく、学校全体で取り組む研究として位置づけ、無理のない形で授業改善を積み重ねていく。

（2）具体的な取組

① 実態把握（Plan）

・体育に関する児童アンケートや日常の授業観察を通して、運動への意識や関わり方の実態を把握する。
・学年や学級の状況、教員の困り感を共有し、支援の方向性を整理する。
・体育コーディネーターおよび学年体育担当教員を中心に、年間を通した取組の見通しを確認する。

② 授業づくり（Do）

・体育コーディネーターが学級担任と共に授業に入り、活動のねらいや流れを共有しながら授業を行う。
・対話や協働が生まれやすいよう、ペアやグループ活動、作戦タイムなどを取り入れた授業構成を工夫する。
・学年体育担当教員を中心に、授業の工夫や活動内容を学年内で共有し、実践の広がりを図る。

・ICT や視覚教材を必要に応じて活用し、児童が見通しをもって活動できるよう支援する。

③ ふり返り・改善（Check・Action）

・授業後の短時間のふり返りを通して、児童の様子や手応えを共有する。

・学年や全体での情報共有の場を活用し、実践の良さや工夫を蓄積する。

・ふり返りを次の授業づくりに生かし、PDCA サイクルを意識した継続的な改善を行う。

（3）研究の進め方

・体育コーディネーターを中心に、学年体育担当教員と連携した支援体制を構築する。

・「一緒に授業をする」「一緒に考える」場を大切にし、実践を通した学び合いを促進する。

・できることから取り組み、各学級・学年の状況に応じた無理のない実践を積み重ねる。

6　研究仮説の検証方法

（1）アンケート

体育に関する意識調査や授業後の簡単なふり返りを通して、児童の運動に対する意識や参加意欲の変化を量的・質的に把握する。

（2）授業観察

授業中の児童の様子（声かけ、表情、動き、関わり方など）を観察・記録し、対話や協働の場面における行動の変化を捉える。

（3）記録の共有と分析

児童の感想やつぶやき、ふり返りカード、教師の実践記録を基に、児童の変容の兆しを総合的に分析する。

あわせて、授業を共に行った教員同士のふり返りを通して、授業づくりに対する理解や安心感の変化についても整理し、次の実践に生かす。

7　研究方針

（1）研究主題の共通理解を図り、校内全体で体育に対する指導観を共有する。

初年度に確認してきた「目的・価値・手立て」の視点を大切にしながら、改めて体育授業のねらいや大切にしたい考え方を職員間で確認し合い、学校全体として共通の土台を整える。

（2）体育授業における対話・協働のあり方を軸に、学年を単位とした実践と共有を進める。

体育コーディネーターと学年の体育担当教員が連携し、授業構成や声かけ、活動の進め方について共に考えながら、無理のない形で授業改善を図る。

（3）授業研究や OJT の機会を生かし、実践を通した学び合いを大切にする。

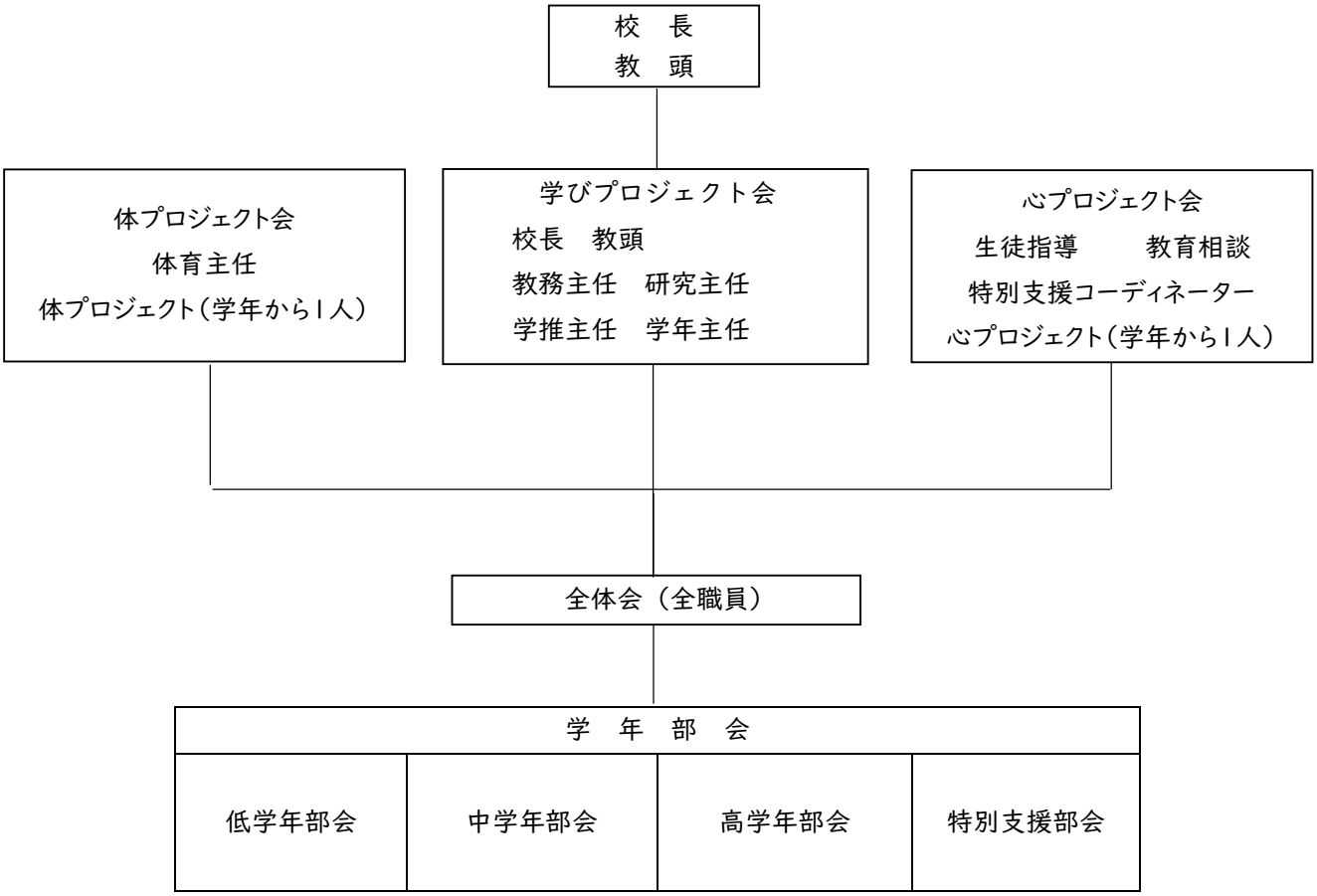
授業を「見て学ぶ」「一緒にやって学ぶ」場を積み重ねることで、教材や用具の工夫、環境構成、指導技術についての気づきを共有し、チームとしての実践力を高めていく。

（4）一人一人の立場や経験を尊重しながら、学校全体で支え合う研究を進める。

固定観念にとらわれることなく、できることから取り組む姿勢を大切にし、子ども・教師・環境がつながる体育授業の在り方を継続的に探っていく。

8　研究組織と役割

（１）研究組織と役割



その他多様な部会・・・主任部会や経験年数による部会、専科部会（理科や音楽のある学級と専科担任）等

各　　部　　会	研　究　活　動　・　内　容
全　　体　　会	・体育研究に関する全職員の共通理解の促進 ・検証授業 ・実践研究会への参加および研究協議 ・実践活動のふり返りと成果の共有
学びプロジェクト会	・体育研究の年間推進計画の立案と見直し ・各学年部会との連絡調整・研究内容の統一
体プロジェクト会	・体育コーディネーターとの短時間の打合せ・学年への共有 ・ICTや視覚教材の活用を通じた運動の見通しづくりと 理解支援 ・教材・用具・学習環境などの整備と活用方法の検討
心プロジェクト会	・体育における心理的安全性の土台となる関係性の構築支援 ・各学級担任と連携した「関わり合う力」の育成支援 時期に応じた集団づくりの提案 ・エンカウンター的手法の普及
学　年　部　会 低・中・高・特支部会	・対話、協働を意識した体育授業の実践 ・実践後の研究会の実施と授業改善のためのふり返り ・実践記録および研究報告の作成と共有

9　研究の全体構想図

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領
・県の施策

学校教育目標
〇思いやりのある子
〇よく考える子
〇じょうぶな子

〈児童のよさ〉
〇明るく素直で優しい児童が多い
〇元気に走り回って遊ぶ姿がよく見られる
〇よく働く

めざす学校像
〇安全・安心で明日も行きたくなる学校
〇明るい挨拶が交わされ、笑顔あふれる学校
〇授業がわかる、学ぶことの意義を実感できる学校
〇地域に開かれ、相互に信頼されている学校

めざす児童像
〇互いの違いを認め合い、喜びや悲しみを共感できる心優しい子
〇めあてを持ち、自ら学び考え表現できる子
〇ねばり強く最後までやりとげ健康や安全に気をつける子

めざす教師像
〇子どもを深く理解し、よさを認め伸ばす教師
〇子どもの生命、健康、安全を第一に、気配りできる教師
〇使命感と情熱を持ち自らを高める教師
〇児童・保護者・地域から信頼される教師

研究主題

つながる･楽しむ･学び合う みんなで創る体育学習を目指して
～対話と協働を通して､運動の楽しさと学びを深める授業づくり～

研究目標

対話と協働を通して運動の楽しさを実感し、仲間と関わりながら学ぶ体育授業を、学校全体で共通理解のもと実践できるようにする。そのために、体育コーディネーターや体プロジェクト担当が連携し授業を共有する体制を整え、児童が「できた」「分かった」「またやりたい」と感じられる学びを積み重ね、体育に対する肯定的な意識を育成する。

研究仮説

体育コーディネーターと各学年の体プロジェクト担当が学級担任と連携し授業を共有することで、教員の安心感が高まる。また、児童同士が関わり合いながら運動に取り組むことで、運動への前向きな気持ちや参加意欲が高まり、誰もが安心して体育学習に参加できるようになると考える。

研究内容と取り組み

対話と協働を基盤とした体育授業の創造

〇 体育コーディネーターと学級担任による共同授業
〇 体育推進担当を中心とした学年内での共有
〇 対話と協働を促す授業づくり
〇 児童の実態把握
〇 ICT・視覚教材の活用
〇 ふり返りと改善の積み重ね

10　研究実践　（★は外部も関わるもの）

月	日	曜	研究組織	研修　・　研究内容	取り組み
4	4	金	全　体　研	○本年度の研究概要についての共通理解と確認	・学校全体での共有 ・体育環境の整備 ・児童の実態把握 ・アンケート実施 ・学年での共有 ・集団づくり ・授業づくり ・実技研修 ・理論研修
	２３	水	全　体　研	○救急救命法「AEDとエピペンの使い方」	
	１５	水	職員会議	○嘉「体力テスト提案」「ビンゴチャレンジ」	
	２２	水	職員連絡会	○嘉「体力テストALPHAの使い方」	
	２４	金	全　体　研	**○校内公開授業　「ネット型ゲーム」　６年** **※当日は４校時授業　５校時実践　６校時研究会**	
5	8	金	プロジェクト	○公開授業の学年と授業研の日時決定	
	１５	金	全　体　研	**○校内公開授業　「短距離走リレー」　４年** **※当日は４校時授業　５校時実践　６校時研究会**	
6	4	水	全　体　研	○村学校計画訪問（北小）	
	１３	**金**	理　論　研	★廣瀬先生「学級経営」	
7	２３	水	理　論　研	★JFA「サッカー実技講習」 ★嘉数先生「評価について」	
	２４	木	全　体　研	○嘉「Kahoot!! Padlet Canvaの使い方」 ★村研修	
	３０	水	校　外　研	○小学校体育実技指導者講習会　任意	
	３１	木	校　外　研	○小学校体育実技指導者講習会　任意	
8	１３	水	全　体　研	○体力つくり・体育指導改善講習会　任意	
9		金	**授　業　研**	**★第１回公開授業（４学年）ネット型　体育館** **※当日は４校時授業　５校時実践　６校時研究会**	・学年での共有 ・校内 OJT ・公開授業
１０		水	職員連絡会	○校内OJT（行事指導）	
１２		金	**授　業　研**	**★第２回公開授業（１学年）宝運び鬼　体育館** **※当日は４校時授業　５校時実践　６校時研究会**	
1		金	全　体　研	★村学推公開授業	・学校用アンケート実施 ・今年度の反省 ・次年度の計画、検討
		金	プロジェクト	○次年度の計画・検討（案１）	
2		金	全　体　研	○アンケート実施	
		金	学び プロジェクト	○次年度の計画・検討（修正案２） ○研究集録について	
		火	教育課程 編成会議	○次年度の計画・検討 ○研究集録作成	
		金	**授　業　研**	**○第３回検証授業（６学年）ハンドボール　運動場** **※雨天時は教室での体育を実施　運動すごろく** **※当日は４校時授業　５校時実践　６校時研究会**	
3	6	金	教育課程 編成会議	○次年度の計画の方向性報告 ○研究集録完成	

曜日別日課表及び下校時刻表（令和8年度）※1学期版

	月		火		水		木		金	
朝の会	08:15-08:20									
朝会 読み聞かせ	08:20-08:30 読書		08:20-08:30 読み聞かせ		08:20-08:30 読書		08:20-08:30 各種朝会・読書		08:20-08:30 読書	
1校時	08:35-09:20				08:35-09:15		08:35-09:20			
2校時	09:30-10:15				09:25-10:05		09:30-10:15			
3校時	10:25-11:10				10:15-10:55		10:25-11:10			
4校時	11:20-12:05				11:05-11:45		11:20-12:05			
給食	12:05-12:50				11:45-12:30		12:05-12:50			
清掃	12:50-13:05						12:50-13:05			
お昼の会 （清掃振返）	13:05-13:10				12:30-12:35		13:05-13:10			
きたもんタイム （10分×5日）	13:10-13:20				12:35-12:45		13:10-13:20			
お昼休み （職員休憩）	13:20-13:45 （予鈴13:35）				学習準備 12:45-12:55		13:20-13:45 （予鈴13:35）			
5校時	13:45-14:30				12:55-13:35		13:45-14:30			
6校時			14:40-15:25		13:45-14:25		14:40-15:25			
下校時刻	1年	13:30	1～3年	14:40	1・2年	13:45	1・2年	14:40	全学年	14:40
	2～6年	14:40	4～6年	15:35	3～6年	14:35	3～6年	15:35	クラブ 委員会	15:35
下校バス	1年	13:50	1～3年	15:00	1～2年	14:05	1・2年	15:00	全学年	15:00
	2～6年	15:00	4～6年	15:55	3～6年	14:55	3～6年	15:55	クラブ 委員会	15:55

休憩	15:35-15:55	15:35-15:55	会議等 14:55-15:55 休憩① 14:35-14:55 休憩② 15:55-16:20	15:35-15:55	15:35-15:55	
放課後 15:50開始 （※水曜除く）	教材研究	教材研究	プロジェクト（45分） 職員連絡会（15分）	学年会	教材研究（委員会） 企画（学年主任）	
	教材研究	教材研究	校内研修（45分） 職員連絡会（15分）	学年会	教材研究	
	教材研究	教材研究	職員会議（45分） 職員連絡会（15分）	学年会	教材研究（クラブ）	
	教材研究	教材研究	児童支援全体会（45分） 職員連絡会（15分）	学年会	教材研究	

令和8年度　北中城小学校　学級編制表

学年	学級	担任名	在籍 男	フリー	特支	女	フリー	特支	計
一年	1	平田　みつの	11	2	0	15	0	0	28
	2	仲松　実耶	12	0	1	14	0	1	28
	3	仲村　清子	11	0	3	15	0	0	29
	4	本山　美和	12	0	2	14	0	0	28
			0	0	0	0	0	0	0
	計		**46**	**2**	**6**	**58**	**0**	**1**	**113**
二年	1	ゴンザレズ　由美子	13	1	1	13	0	0	28
	2	上江洲　飛太	13	0	1	12	1	0	27
	3	セイチュウ　愛乃	12	1	1	13	0	1	28
	4	東江　華那	12	0	2	13	1	0	28
	計		**50**	**2**	**5**	**51**	**2**	**1**	**111**
三年	1	比嘉　ゆかり	16	1	2	14	0	2	35
	2	宮城　綾乃	16	1	2	14	1	2	36
	3	幸地　さゆり	15	2	4	14	0	0	35
	4	大城　幹也	15	1	3	15	1	0	35
	計		**62**	**5**	**11**	**57**	**2**	**4**	**141**
四年	1	多和田　すみれ	17	0	1	13	1	2	34
	2	浜里　清楓	16	0	3	13	1	1	34
	3	平良　直	16	0	3	13	2	1	35
	4	真栄城　啓太	16	0	2	14	1	1	34
	計		**65**	**0**	**9**	**53**	**5**	**5**	**137**
五年	1	新垣　政志	16	0	3	15	1	1	36
	2	垣花　礼旺	15	1	3	14	1	1	35
	3	下門　千慧	16	0	2	16	0	1	35
	4	比嘉　ゆきな	14	0	2	16	1	1	34
	計		**61**	**1**	**10**	**61**	**3**	**4**	**140**
六年	1	又吉　和華	16	0	0	15	0	2	33
	2	名幸　大志	15	0	0	14	1	3	33
	3	當眞　太雄	15	1	3	14	0	0	33
	4	儀間　陽気	14	1	2	15	0	1	33
	計		**60**	**2**	**5**	**58**	**1**	**6**	**132**
総計			男子 **344**	男子フリー **12**	特支 **46**	女子 **338**	女子フリー **13**	特支 **21**	
			402			**372**			**774**

初任者非常勤	我謝　勝美（月・火）
スクールカウンセラー	新垣　真梨子　・　玉那覇　静子
子供と親の相談員	仲村　美幸（月・水・金）
校長	前原　博光
教頭	浜川　直樹

特別支援学級在籍

学級	担任名	男	女	計
ひまわり1(知)	**津嘉山　尚子**	3	3	6
ひまわり2(知)	**榮門　真由美**	4	2	6
ひまわり3(知)	**前山　愛**	5	1	6
ひまわり4(情)	**松田　光浩**	1	0	1
ひまわり5(情)	**比嘉　育子**	6	2	8
ひまわり6(情)	**浦崎　直樹**	6	2	8
ひまわり7(情)	**城間　由紀子**	5	3	8
ひまわり8(情)	**塩川　倫世**	8	0	8
ひまわり9(情)	**幸喜　隆九**	**4**	**4**	**8**
ひまわり10(情)	**前田　健**	4	4	8
計		**46**	**21**	**67**

主幹教諭（教務）（理科専科）	仲間　芳幸
理科専科２	古謝　政彦
音楽専科	上原　泉
通級指導教室(ことば)	福地　智秋
日本語指導教室	大津　薫
発達通級	名護　扇子
養護教諭	外間　愛花
栄養教諭 （栄養職員）	仲宗根　育美
拠点校指導教諭	山城　亨 （月・火）
事務主幹	安里　滝子
事務主事	下里　空海
図書館司書	新垣　さつき
学習相談支援員	武島　栄子
ＡＬＴ	マリアン
特別支援員（１年）	當眞　鈴花
特別支援員（２年）	金城　琴恵
特別支援員（３年）	ヒル　初音
特別支援員（４年）	島袋　彩子
特別支援員（５年）	平安山　一三
特別支援員（６年）	林　和希
特別支援員（特支）	加藤　淳子
体育専科	嘉　未来人
英語専科	加藤　真理子 （島袋小拠点）
用務員兼事務員	安和　園子
父母教師会　事務	大城　葉津希
スクールサポートスタッフ	安里　梓
ＳＳＷ	喜友名　妃菜乃（木）
プール管理人	大城　忠博

2026年度 行事予定表　（20260409現在　※行事予定が変更となる場合があります）

北中城小学校

4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	水	職員顔合わせ	1	金	1年生を迎える会 委員会活動	1	月	教育相談①	1	水	KITASHOSTYLE	1	土		1	火	【給食清掃後下校】 読み聞かせ 教育相談⑤ 宿泊学習事前説明会（1600 5年担任）	1	木	校長講話	1	日		1	火	読み聞かせ	1	金	元旦	1	月		1	月	
2	木		2	土		2	火	教育相談② 読み聞かせ	2	木	【5校時終了後下校】 学年朝会	2	日	リフレッシュ・ウィーク（～8/8）	2	水	KITASHOSTYLE CAPワークショップ（5年）	2	金	宿泊学習（10/2-10/3） 委員会活動	2	月		2	水	KITASHOSTYLE 中学生フォーラム報告会（西原町役場）	2	土		2	火	読み聞かせ	2	火	読み聞かせ
3	金		3	日	憲法記念日 憲法記念日	3	水	教育相談③ KITASHOSTYLE 尿検査②	3	金	【5校時終了後下校】 自転車の安全な乗り方教室（4年生）	3	月		3	木	学年朝会	3	土	宿泊学習（10/2-10/3）	3	火	文化の日	3	木	学年朝会	3	日		3	水	KITASHOSTYLE	3	水	KITASHOSTYLE
4	土		4	月	みどりの日 みどりの日	4	木	教育相談④ 学年朝会	4	土		4	火		4	金	避難訓練（地震・火災） 委員会活動	4	日		4	水	KITASHOSTYLE	4	金	委員会活動	4	月	仕事始め	4	木	学年朝会 北中っ子発表会児童鑑賞	4	木	学年朝会
5	日		5	火	こどもの日 こどもの日	5	金	教育相談⑤ 避難訓練（不審者）	5	日		5	水	学校閉庁日（～8/7）	5	土		5	月	宿泊学習振替休（5年生）	5	木	学年朝会	5	土		5	火		5	金		5	金		5	金	
6	月		6	水	振替休日 振替休日	6	土		6	月	【5校時終了後下校】 非行防止教室（5・6年）	6	木		6	日		6	火	読み聞かせ	6	金	委員会活動	6	日		6	水	【給食清掃後下校】 始業式	6	土	北中っ子発表会	6	土		6	土	
7	火		7	木	学年朝会 心電図検査（1年 09:00）	7	日		7	火	【5校時終了後下校】 読み聞かせ	7	金		7	月		7	水	KITASHOSTYLE	7	土		7	月		7	木	【5校時終了後下校】 学年朝会	7	日		7	日		7	日	
8	水		8	金	内科検診（2年 08:40） 校内研修(教命講習)15:00～16:30	8	月		8	水	【5校時終了後下校】 非行防止教室（ 1・2年、3・4年）	8	土		8	火	読み聞かせ	8	木	学年朝会	8	日		8	火	【小】沖縄県学力到達度調査 読み聞かせ	8	金	委員会活動（引継内容確認）	8	月	北中っ子発表会振替休 日	8	月	
9	木	【4校時終了後下校】 1学期始業式 入学式式場設営	9	土		9	火	読み聞かせ 心電図・視力・聴力もれ検査	9	木	【給食清掃後下校】 個人面談①	9	日		9	水	村学推授業研究会（島小）	9	金		9	月		9	水		9	土		9	火	読み聞かせ	9	火	【5校時終了後下校】 卒業読み聞かせ
10	金	【給食清掃後下校】 入学式	10	日		10	水		10	金	【給食清掃後下校】 個人面談②	10	月		10	木	学びの朝会	10	土		10	火	読み聞かせ	10	木	【5校時終了後下校】 感謝集会	10	日		10	水	北中城村教育の日式典(午後 中央公民館)	10	水	【5校時終了後下校】
11	土		11	月		11	木		11	土		11	火	山の日	11	金	クラブ活動④	11	日		11	水		11	金	【5校時終了後下校】	11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	【きたもんタイム終了後下校】 卒業式式場設営（1校時）
12	日		12	火	読み聞かせ 内科 検診（6年 08:40）	12	金	歯科検診（3・4年 08:40） 委員会活動（委員会紹介資料作成）	12	日		12	水		12	土		12	月	スポーツの 日 スポーツの 日	12	木		12	土		12	火	読み聞かせ	12	金		12	金	【きたもんタイム終了後下校】
13	月	図書室オリエンテーション開始	13	水	KITASHOSTYLE	13	土		13	月	【給食清掃後下校】 個人面談③	13	木		13	日		13	火	読み聞かせ	13	金		13	日		13	水	KITASHOSTYLE	13	土		13	土	
14	火	学年朝会	14	木		14	日		14	火	【給食清掃後下校】 読み聞かせ 個人面談④	14	金	第3金曜日「少年を守る日」	14	月		14	水		14	土		14	月	【5校時終了後下校】	14	木	学びの朝会 演劇鑑賞（午前中）	14	日		14	日	
15	水	発育測定（6年）	15	金	第3金曜日「少年を守る日」 視力 検査（全学年 09:00） クラブ活動②	15	月		15	水	【給食清掃後下校】 個人面談⑤	15	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	15	火	読み聞かせ	15	木	音楽 朝会	15	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	15	火	【5校時終了後下校】 読み聞かせ	15	金	第3金曜日「少年を守る日」	15	月		15	月	【きたもんタイム終了後下校】
16	木	学びの朝会 発育測定（5年）	16	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の 日」	16	火	読み聞かせ 尿 再検査（未 提出も含む）① 内科 検診（4 年生）	16	木	【5校時終了後下校】	16	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	16	水	CAPワークショップ（2 年）	16	金	第3金曜日「少年を守る日」 クラブ活動⑤	16	月	第2回 沖縄県学校質問調査・ 児童 生徒質 問調査（～ 12/4）	16	水	【5校時終了後下校】	16	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の 日」	16	火	読み聞かせ 児童会役員選挙（5校時）	16	火	【きたもんタイム終了後下校】 卒業式リハーサル
17	金	第3金曜日「少年を守る日」 委員会 発足式（6 校時） 発育測定（4年）	17	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	17	水	尿 再検査（未 提出も含む）②	17	金	【5校時終了後下校】 終業式 第3金曜日「少年を守る日」	17	月		17	木	生活朝会 CAPワークショップ（2 年）	17	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の 日」	17	火	読み聞かせ	17	木	【給食清掃後下校】 個人面談①	17	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	17	水		17	水	【きたもんタイム終了後下校】
18	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	18	月		18	木	音楽朝会	18	土	夏季休業（7/18-8/23） 第3土曜日「おきなわ地域教育の 日」	18	火		18	金	第3金曜日「少年を守る日」	18	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	18	水	体育 朝会	18	金	第3金曜日「少年を守る日」 【給食清掃後下校】 個人面談②	18	月		18	木	児童会役員認証式	18	木	学級の日 卒業式
19	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	19	火	読み聞かせ 内科 検診（5年 08:40）	19	金	第3金曜日「少年を守る日」 歯科検診（1・2年 08:40） クラブ活 動③	19	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	19	水		19	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	19	月	【地区】ブロック音楽発表会	19	木		19	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	19	火	読み聞かせ	19	金	第3金曜日「少年を守る日」 委員会 引継式（6 校時）	19	金	第3金曜日「少年を守る日」 修了式 修了 式・離任式
20	月	給食朝会 発育測定（3年）	20	水	交通安全教室（1年）	20	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	20	月	海の日 海の日	20	木		20	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	20	火	読み聞かせ	20	金	第3金曜日「少年を守る日」 運動 会前日 準備	20	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	20	水		20	土	第3土曜日「おきなわ地域教育の 日」	20	土	春季休業(3/20-4/7) 第3土曜日「おきなわ地域教育の 日」
21	火	読み聞かせ 発育測定（2年）	21	木	学びのたしかめ 調査（4・5年）	21	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	21	火	職員会議	21	金		21	月	敬老の日 敬老の日	21	水		21	土	学級の日 運動 会	21	月	【給食清掃後下校】 個人面談③	21	木	生活朝会	21	日	第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	21	日	春分の日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
22	水	KITASHOSTYLE 発育測定（1年） 校内研修	22	金	歯科 検診（5・6年 08:40）	22	月	平 和集会（案）	22	水	【村】小中合同リーダー研修②1000中央公 民館	22	土		22	火	国民の休日 国民の休日	22	木	修学旅行（10/22-10/23）	22	日	運動 会（予備日）	22	火	【給食清掃後下校】 個人面談④ 読み聞かせ	22	金	入学説明会	22	月		22	月	振替休日
23	木	生活朝会 全国学 力学習状況調査（国語・算数）	23	土		23	火	慰霊の日	23	木		23	日		23	水	秋分の日 秋分の日	23	金	修学旅行（10/22-10/23）	23	月	勤労感謝の日 勤労感謝の日	23	水	【給食清掃後下校】 個人面談⑤	23	土		23	火	天皇誕生日	23	火	
24	金	読書 全国学 調児童 質問調査	24	日	日曜参観	24	水	第1回 沖縄県 学校質問 調査・ 児童 生徒質 問調査（～7/10）	24	金		24	月	【給食清掃後下校】 始業式	24	木		24	土		24	火	運動会振替休日	24	木	【5校時終了後下校】	24	日		24	水		24	水	
25	土		25	月	日曜参観振替休	25	木		25	土		25	火	【給食清掃後下校】 読み聞かせ 教育相談①	25	金	修学旅行保護者説明会（5校時）	25	日		25	水		25	金	【5校時終了後下校】 終業式	25	月		25	木		25	木	
26	日		26	火	内科 検診（1年 08:40）	26	金	授業参観（午後）	26	日		26	水	【給食清掃後下校】 教育相談②	26	土		26	月	県立 中学校入 学者選 抜出願 期間（～10/30）	26	木		26	土	冬 季休業（12/26-1/5）	26	火	読み聞かせ	26	金		26	金	
27	月	【給食清 掃後下校】 学年懇 談会	27	水		27	土		27	月		27	木	旧盆のため休校 旧盆(ウークイ)	27	日		27	火	読み聞かせ	27	金	クラブ活動⑥	27	日		27	水		27	土		27	土	
28	火	春の遠足	28	木	村学校訪問(北小)	28	日		28	火		28	金	【給食清掃後下校】 教育相談③	28	月		28	水	【村】イングリッシュコンテスト 本選 14:00中央公 民館大ホール	28	土		28	月	仕事納め	28	木	校長講話	28	日		28	日	
29	水	昭和の 日 昭和の 日	29	金	【給食清 掃後下校】 聴力 検査（1・2・3・5年） 校内研修	29	月		29	水		29	土		29	火	読み聞かせ 授業参観（午前中）※高学年 学年合 唱発表会	29	木	授業参観（午後）	29	日		29	火		29	金					29	月	
30	木	校長講話	30	土		30	火	内科検診（3年 08:40） 平和学習（6年）	30	木		30	日		30	水		30	金	県立 中学校入 学者選 抜出願 締切	30	月		30	水		30	土					30	火	
			31	日					31	金	【村】職員健診(午前)	31	月	【給食清掃後下校】 教育相談④				31	土					31	木		31	日					31	水	

北中城村立　島袋小学校



〒901-2301
沖縄県中頭郡北中城村字島袋 1234 番地
電話：（098）933-9863
FAX：（098）933-9864

校歌

作詞　喜屋武　真栄
作曲　我那覇　隆三

一、白雲流れ　空青く
山は緑に　色映えて
ゆかりも深い　野比灘
学舎高く　そびえ建つ
われらの学園　永遠に栄える
島袋小学校

二、進取のこころ　燃えたたせ
共に学ぼう　鐘がなる
みんな仲よく　睦まじく
栄光の星　輝くよ
われらの学園　永遠に栄える
島袋小学校

三、心身を鍛え　知を磨き
強くやさしく　賢い子
平和の郷土を　創ろうよ
文化の華を　咲かそうよ
われらの学園　永遠に栄える
島袋小学校

学校経営

Ⅰ　学校経営の基本

学校の教育活動を進めるにあたっては、関係法令、法規、小学校学習指導要領、沖縄県教育委員会や北中城村教育委員会の教育施策等に則り、時代の教育的要請や社会の変化に主体的に対応できる子の育成を基本とする。

学校は子どもの命と可能性を預からせてもらっている。一人一人の子どもの幸せと健やかな成長を願って教育活動を行い、子どもの変容無くして保護者・地域の信頼は得られないことを本校教育の根底に置くものとする。本校経営にあたっては、人間尊重の精神に基づき、子ども一人一人を大切にし、知・徳・体の調和のとれた子の育成と生涯学習の基盤づくりを主流に経営を行う。

そのため、子ども一人一人に「確かな学力」を身につけさせ。「豊かな心」と「健やかな体」を育むため、全職員の英知と優れた実践力を結集し、家庭・地域との連携の下、特色ある教育活動を推進する。全ての教育活動の発想と判断の原点を子どもに置き、全教職員が教育公務員としての自己の使命と職責を自覚し、学校教育目標及び重点目標の達成を目指していく。

Ⅱ　学校教育目標

めざす児童像　**「豊かな知性と感性を持ち、たくましい心と体を持った島小っ子」の育成**

（知）めあてを持ち 進んで学習する子（よく考える子）
（徳）自他を大切にし 共に助け合う子（思いやりのある子）
（体）心身ともに健康でたくましい子（たくましい子）

育成をめざす資質能力

【知育】「知識・技能」の習得と活用＜何を理解しているか、何ができるか＞
　→　常に現状をよりよくしようと「**批判的に思考し判断する力**」
【徳育】「思考力・判断力・表現力等」の育成＜理解していることをどう使うか＞
　→　問題の解決や探求に「**多面的・総合的に考える力**」
【体育】「学びに向かう力・人間性等」の涵養＜どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか＞
　→　目的意識となる志・夢・目標に向かい「**他者と協働的に関わる態度**」
【島小独自】歴史・伝統の継承」への貢献
　⇒　歴史・文化に誇りを持ち「**つながりを尊重する態度**」

Ⅳ　学校経営の方針

全職員が教育者としての使命感と職責を自覚し、積極的に学校経営に参画し、協働して一人一人の「よさや可能性」を認め、励まし、伸ばし、育てる教育活動を推進する。そのために、学校経営における基本姿勢を次のように設定する。

⑴　教育目標（総括目標）の具現化をめざし、教務部を中心に積極的な職務遂行を重視
⑵　全教育活動の発想と判断基準を子どもに置いた学校・学年・学級経営を行う。
⑶　「校内学力向上・校内研修推進委員会」の組織を機能化し日常的に学力を向上させる。
⑷　特別支援教育（ｲﾝｸﾙｰｼﾌﾞ教育）の推進を図るため、「交流及び共同学習」の充実を図る。
⑸　「育てよう島小のこころ　７つの習慣の育成」を通し豊かな心を育てる。
⑹　安全・安心を守る取り組みを行い、子ども自身の危険予知能力、危険回避能力を高める。
⑺　保護者・地域・大学・村教委と連携を密にし、開かれた学校づくりをする。
⑻　働き方改革を推進し、より良い教育環境を構築して、質の高い学校教育を推進する

Ⅴ　本年度の重点目標

1　重点目標

全ての教育活動において**「豊かな知性と感性を持ち、たくましい心と体を持った島っ子」**の育成に努める

⑴　基礎基本の定着と言語能力の向上で確かな学力の向上を図る

・基礎学力の定着　・基礎的、基本的な知識技能の習得
・言語活動の充実　・ノートやタブレットの活用を通した思考力・判断力・表現力の育成
・読書活動の充実　・授業と連動した家庭学習の在り方

そのために　授業で「気づき・考え・行動する」場面を意図的に設定する

⑵　学習や生活を支える力の育成

・学習の構え（あいさつ、言葉遣い、時間厳守、掃除と片付け、話を聴く、履き物を揃える）の徹底
・人権教育の推進　・家庭学習の習慣化（自立した学習者の育成）
・学習規律の定着（学習用具の事前準備、チャイムスタート、姿勢を正す、丁寧な学習記録、集団移動
・生活規律（島っ子のきまり）を守る　・「命を守る」行動の周知徹底

そのために　全校一貫して学習規律・生活規律を徹底して指導し「気づき・考え・行動する」意識を常に求める

⑶　豊かな心と健やかな体の育成を図る

・人間関係づくり　・思いやりのある心の育成　・自己の将来や生き方の育成（キャリア教育）
・自分事としての思考に発展する道徳教育の推進　・よさを認め合う学級経営
・健康づくりの推進（食育）　・体力づくり　・安全指導の徹底

そのために　相手の心に「気づき・考え・行動する」場面を捉え、みんなで考え、みんなで高め合う

⑷　教職員の授業力・実践力の向上と、教師の凡事徹底を図る

・小中連携事業の充実（村教委研修、北中、北小との連携）　・校内若手育成 OJT の推進
・琉大アドバイザリースタッフの活用と推進（総合教育センターの出前講座含む）
・教職員評価システムを活用して働き方改革を推進し、資質能力の向上及び学校組織の活性化を図る
・すべての教職員が「働きやすさ」「働きがい」「心身の健康」を十分に実感できる職場環境を構築するため、教師の凡事徹底（あいさつ、言葉遣い、声かけ・身だしなみ）を全職員で実践し、互いに支え合う組織風土の醸成を図る

そのために　全職員が自らの職能成長に向け「気づき・考え・行動する」質の高い教職員集団を目指す

⑸　どの子にも居場所があり、学び合える教育活動の充実

・児童会を活性化させ、連続性のある“学び合い”の場を意図的・計画的に実践
・支援を必要とする子と支援を必要としない子がともに学び合い、支える学級経営（ｲﾝｸﾙｰｼﾌﾞ教育）
・自立と社会参加を見据え、教育的ニーズに応える柔軟な指導の実践
・支援を必要とする子の、「学校の個別の支援（指導）計画」の作成（交流及び共同学習の充実）
・視覚化、焦点化・共有化するユニバーサルデザインの授業手法の実践

そのために　全児童・全職員による「気づき・考え・行動する」関わりを通したインクルーシブ教育の実践に努める

2　重点課題

学習指導要領完全実施や全国学調質問紙調査本校結果等から、以下の３点を重点課題として取り組む。

⑴ 島袋小学校の「学力保障」（学びのセーフティネットとしての学力保障）

① 学習指導要領に示された基礎的・基本的な内容、前年度までに学んだ内容、読み書き計算の徹底指導、学習規律の指導の徹底（学習の構えの構築）
② わかる授業・参加する授業と学年間の情報共有（一部教科担任制の導入）
③ 「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実
④ 「学習の基盤」としての ICT の活用
⑤ 外国語教育、国際交流の充実（村ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭｺﾝﾃｽﾄ、英検ジュニア、JICA、アミークス交流）
⑥ 授業と連動した家庭学習の充実

⑵ 島袋小学校の「心の成長支援」（育ちのセーフティネットとしての包括的支援）

① 児童の発達を支える指導の充実（道徳教育、特別活動、読書活動の充実）
② 特別な配慮を必要とする児童への指導（交流・共同学習の充実等）
③ 生活リズムの確立（早寝・早起き・朝ご飯・徒歩での登校を推奨）
④ 家庭学習の習慣化（家庭での静かな１時間の設定・充実）
⑤ 規範意識・マナーの育成
⑥ 道徳教育の充実・活性化を図る（文科省指定２年間「特別の教科　道徳」の継続）

⑶ 島袋小学校の「体の発達支援」（組織的な関わりを通した学校改善：チーム島小）

① 教育課程の改善と学校評価等
② 家庭や地域社会との連携及び協働と学校間（幼児教育施設）の連携
③ 安全指導の徹底（交通安全教室、不審者、災害時における避難等）
④ 体力向上のため「一校一運動」の展開（朝のなわとび、マラソン運動等）
⑤ 安全・安心に基づく「食の指導」「平和・人権教育」の充実（栄養教諭、村健康保険課）
⑥ 人権・平和教育の充実（平和集会、スマホ教室、薬物乱用防止教室等）

3　課題解決のための重点取組（「Ａ1～Ａ30」…Action,Attack,Approach）

学習指導要領や県学力向上推進施策５か年計画、過去実施の全国学調質問紙調査本校結果等から、以下の「Ⅰ」～「Ⅲ」を重点課題として取り組む。

	上位目標「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」と重点課題／重点取組（Ａ1～Ａ30）
学びのセーフティネットとしての学力保障	1　主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～ ⑴①単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した授業改善を行う。A1 ②問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図る。Ａ２ ⑵ 言語能力の育成を図るため、言語環境を整え、児童の言語活動を充実する。Ａ３ ⑶ 情報活用能力の育成を図るため、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用した学習活動の充実を図る。Ａ４ ⑷ 児童が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を取り入れる。Ａ５ ⑸ 各教科等の特質に応じた体験活動を重視する。Ａ６ ⑹ 児童の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習が促されるよう工夫する。Ａ７ ⑺ 学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、授業改善に生かす。　Ａ８

	2　学習評価の充実 (1)①児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。A９ ②単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫する。A10 ③学習の過程や成果を評価し、指導の改善に生かすとともに、学習意欲の向上を図る。A11 (2) 学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進する。A12
	～成果指標等～ ・全国学力学習状況調査「学力調査」「児童質問紙調査〔分類３・７関連〕」結果 ・沖縄県「県到達度調査」「児童質問紙調査」結果 ・学校評価「児童アンケート」「保護者アンケート」「教職員評価」「学校関係者評価」 ・単元テスト結果、読書冊数、自学自学習ノートの内容・冊数等
育ちのセーフティネットとしての包括的支援	1　児童の発達を支える指導の充実 (1)①教師と児童との信頼関係、児童相互のよりよい人間関係育てるため学級経営の充実を図るA13 ②集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により発達を支援する。A14 (2) 自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、自己実現を図っていけるように、児童理解を深め、生徒指導の充実を図る。A15 (3) 児童が社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要としたキャリア教育の充実を図る。A16 (4) 個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟度に応じた学習等の個に応じた学習の充実を図る。A17
	2　特別な配慮を必要とする児童への指導 (1)①障害のある児童などについては、個々の児童の障害に状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行う。A18 ②学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るための自立活動を取り入れる。 A19 ③通級指導の際には、各教科等と通級による指導との関連を図り、教師間の連携に努める。A20 ④児童の実態を的確に把握し、個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成と活用を行う。A21 (2) 海外から帰国した児童や外国人児童、日本語の習得に困難のある児童の指導の充実を図る。A22 (3) 不登校児童には社会的自立を目指す観点から、個々の児童の実態に応じた情報の提供その他の必要な支援を行う。A23
	～成果指標等～ ・全国学力学習状況調査「児童質問紙調査〔分類２関連〕」・沖縄県「児童質問紙調査」結果 ・文科省「問題行動等調査」等結果、村「i-Check」等分析結果 ・学校評価「児童アンケート」「保護者アンケート」「教職員評価」「学校関係者評価」

組織的な関わりを通した学校改善	1　カリキュラム・マネジメントと学校評価、各分野における全体計画等の充実 (1)①学校の特色を生かしたｶﾘｷｭﾗﾑ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄの実施と、それと関連付けた学校評価を実施する。A24 (1)②教育課程と各分野における学校の全体計画が関連付けられながら効果的な指導を展開する。A25 ③生命の尊重や個人の尊厳及び平和を希求する心を育む取り組みを推進する。　A26 ④「人権を考える日」の取り組みの充実を図る。A27 ⑤情報活用能力の育成と情報モラル指導の充実。A28 2　家庭や地域社会との連携及び協働と学校間の連携 (1)①家庭や地域社会との連携及び協働と交流の機会を設ける。A29 (1)②学校相互間の連携や交流の機会を設ける。A30
	～成果指標等～ ・全国学力学習状況調査「学力調査結果」「学校質問紙調査」結果 ・沖縄県「県到達度調査」「児童質問紙調査」結果 ・村「i-Check」「IN-Child」等分析結果 ・教育課程評価、学校評価「児童アンケート」「保護者アンケート」「教職員評価」「学校関係者評価」

１　学校経営全体構想

〈関係法令等〉
◇教育基本法　他
◇学習指導要領
◇学校教育における指導の努力点
◇学力向上推進ﾌﾟﾗﾝ･ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄⅡ
◇中頭指導行政の基本方針
◇北中城村「教育の指針」

学校教育目標

**『豊かな知性と感性を持ち、
たくましい心と体を持った島っ子』の育成**
○めあてを持ち 進んで学習する子（知）
○自他を大切にし 共に助け合う子（徳）
○心身ともに健康でたくましい子（体）

＜めざす学校像＞
【みんなの笑顔があふれる元気な学校】
＜めざす教師像＞
【使命感・情熱のある教師】
＜期待する保護者像＞
【共に学び共に歩む保護者】
＜つながる地域像＞
【学校を支え・連携する地域】

学校経営目標

みんなの笑顔があふれる元気な学校

学校経営重点目標８つの方針

長・中期経営目標

（１）教育目標（総括目標）の具現化をめざし、学校経営目標を構築し指導にあたる
（２）全教育活動の発想と判断基準を子供に置いた学校・学年・学級経営を行う
（３）「校内学力向上・校内研修推進委員会」の組織を機能化し、日常的に学力を向上させる
（４）特別支援教育（ｲﾝｸﾙｰｼﾌﾞ教育）の推進を図るため、「交流及び共同学習」の充実を図る。
（５）「育てよう島小のこころ　７つの習慣」を通し、豊かな心を育てる
（６）安全・安心を守る取組を行い、子供自身の危険予知能力、危険回避能力を高める
（７）保護者・地域・大学・村教委と連携し、開かれた学校づくりをする
（８）働き方改革を推進し、より良い教育環境の充実を図り、質の高い学校教育を構築する

村の具体的取組事項

◎「育てよう島小のこころ　７つの習慣」の育成



●６年間で育成し、中学校へ繋ぐ
**感謝・礼儀・規律・
生活リズム・自立、自律・
思いやり・責任感**

＜本校の教育活動を通じて育みたい**資質・能力**＞
◇「知識・技能」の習得と活用
⇒常に現状をよりよくしようと「**批判的に思考し判断する力**」
◇「思考力・判断力・表現力等」の育成
⇒問題の解決や探求に「**多面的・総合的に考える力**」
◇「学びに向かう力・人間性等」の涵養
⇒目的意識となる志・夢・目標に向かい「**他者と協働的に関わる態度**」
※「歴史・伝統の継承」への貢献
⇒歴史・文化に誇りを持ち「つながりを尊重する態度」

本年度の重点項目（３領域）※育成すべき「資質・能力」を踏まえた取組

＜島袋小学校の「心の成長支援」＞
◇他者との関わりを通して
心豊かに学び合う子(徳)
○命の大切さや思いやりの心の育成(道徳)
○個性を認め合い、良さや可能性の伸長
○特別支援教育の充実（校内支援体制）
○支持的な風土をつくる学級経営
（自己肯定感・自己存在感を高める）
○キャリア教育⇒村グッジョブ

＜島袋小学校の「学力保障」＞
◇自ら学び「確かな学習力」を
身につけた子（知）
○基礎的・基本的な知識・技能の習得
○主体的・対話的で深い学びの実践強化
○思考力・判断力・表現力等の育成
○学習を支えるカの定着（村ドリーム７）
○教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

＜島袋小学校の「体の発達支援」＞
◇目標に向かい最後までやり抜く
体力と気力を持った子(体)
○健康・安全に関する指導の充実
○食育指導の充実（栄養士、外部講師）
○体力の向上の推進（縄跳び・持久走）
○各種教室の実施（交通安全、薬物乱用
防止・スマホ活用、人権平和教室等）
○危険回避能力の育成（命を守る訓練の実施）

＜教職員の授業力・実践力の向上（学び合う教職員の資質能力向上）＞　校内研修の充実・学力向上推進・OJT
□ 組織的（全校体制）な授業改善の取組。（学びの質を高める「授業改善・学校改善」）⇒日常化・そろえる・支える・見通す・つなぐ
□ 校内研修と学力向上推進の連動による授業改善の効果的な取組推進　（主体的・対話的で深い学び=「問い」を生み出す）
＜・教師エージェンシーの高まり・新しい研修観への転換・ウェルビーイングの追求＞
□ キャリア教育の視点を踏まえた授業の実践＜キャリア発達の支援、各教科の特質に応じたキャリア教育の実践展開＞

教育課程の管理
【量と質の適切な管理】
○教育課程の点検・評価・改善
○授業時数・学習状況の把握（週案点検）
○年間指導計画に沿った指導の展開
○学習の定着状況評価

安全・安心
【安全意識の向上】
○危険予知能力、危険回避能力の育成
○登下校の安全指導の徹底
○いじめ防止、早期発見・対応
○不登校、登校しぶりへの組織的対応

公約・評価・公表
【開かれた学校づくり】
○学校評価アンケートの実施・公表
○学校教育活動説明会・報告会の実施
○メール配信(学校だより等の発行)
○学校運営協議会の実施（年３回）

カリキュラムマネジメントを生かした自律的学校経営の推進

交流と連携―保護者・地域・大学・近隣諸施設・関係機関

一体化―学校の環境構成・開かれた教育課程・魅力的な授業

教育活動評価実施と結果の公表（「社会に開かれた教育課程」の推進、評価・改善）

児童在籍・学級担任一覧表令和

令和８年５月１日現在

	職　名	担任氏名	学　級	児童在籍		
				男子	女子	計
1	校　長	榮　葉子				
2	教　頭	小浜　康精				
3	教　諭	石川　優奈	１年１組	11	14	25
4	教　諭	比嘉　恵	１年２組	11	14	25
5	教　諭	知念　敦子	１年３組	10	16	26
			計	32	44	76
6	教　諭	玉那覇　瑞乃	２年１組	19	15	34
7	教　諭	前原　璃子	２年２組	18	16	34
			計	37	31	68
8	教　諭	森山　美由紀	３年１組	13	19	32
9	教　諭	島袋　佳菜子	３年２組	13	19	32
			計	26	38	64
10	教　諭	飯田　朋美	４年１組	17	12	29
11	教　諭	宮城　知史	４年２組	16	14	30
			計	33	26	59
12	教　諭	比嘉　伸彰	５年１組	21	12	33
13	教　諭	比嘉　貞二	５年２組	20	12	32
			計	41	24	65
14	教　諭	波照間　加奈枝	６年１組	8	17	25
15	教　諭	新崎　康陛	６年２組	7	17	24
16	教　諭	東浜　拓	６年３組	8	17	25
			計	23	51	74
17	教　諭	大村　こず江	コスモス	3	1	4
18	教　諭	稲嶺　孝紀	たんぽぽ	4	2	6
19	教　諭	佐渡山　安頼	ひまわり	0	1	1
			合計	200	218	418
20	教　諭	米須　強	理科専科　環境整備(主)			
21	教　諭	島袋　行子	音楽専科　食育(主)			
22	養護教諭	林　操	児童養護全般			
23	栄養職員	幸喜　萌寧	食育担当			
24	県費事務	照屋　雄孝	県費事務主査			
25	ＳＳＷ	喜友名　妃菜乃	全学年、週１回【水曜日】			
26	ＡＬＴ	ﾙﾋﾞｰ　ﾍﾞﾙﾐﾘｵ	週４回(火～金曜日)			
27	司書	松田　みずき	４年配置、図書館運営、図書館教育			
28	スクールサポート	徳村　瞬	教師支援､漢字検定			
29	自立支援室支援員	波平　麻弥	不登校支援､個別学習支援			
30	学習支援員	宮平　満紀子	全学年　　学習支援			
31	特別支援教育支援員	田口　ひとみ	全学年　　生活・学習支援			
32	特別支援教育支援員	柴崎　千秋	全学年　　生活・学習支援			
33	特別支援教育支援員	金城　巌樹	全学年　　生活・学習支援			
34	スクールカウンセラー	吉元　なるよ	全学年　週２回			
35	村事務員兼用務員	上間　理恵	学校用務兼村費事務員			
36	プール管理人	稲嶺　盛一郎	５月～１０月			

2 教育課程計画

(1) 各教科・道徳科・外国語活動(外国語)・総合的な学習の時間及び特別活動の年間授業時数(標準)

		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
教科	国語	306	315	245	245	175	175
	社会			70	90	100	105
	算数	136	175	175	175	175	175
	理科			90	105	105	105
	生活	102	105				
	音楽	68	70	60	60	50	50
	図画工作	68	70	60	60	50	50
	家庭					60	55
	体育	102	105	105	105	90	90
特別の教科道徳		34	35	35	35	35	35
外国語活動(5,6年は外国語)				35	35	70	70
総合的な学習の時間				70	70	70	70
特別活動		34	35	35	35	35	35
総授業時数		850	910	980	1015	1015	1015

※授業時数の1単位時間は,45分とする。

(2) 各教科・外国語活動（外国語）・総合的な活動の時間・特別活動の年間・学期別・週あたり授業時数

	学期	1学年		2学年		3学年		4学年		5学年		6学年	
国語	1	103	306	107	315	83	245	83	245	60	175	60	175
	2	125		128		100		100		71		71	
	3	78	9.0	80	9.0	62	7.0	62	7.0	44	5.0	44	5.0
社会	1					24	70	31	90	34	100	35	105
	2					28		36		40		43	
	3					18	2.0	23	2.6	26	2.9	27	3.0
算数	1	46	136	60	175	60	175	60	175	60	175	60	175
	2	56		71		71		71		71		71	
	3	34	4.0	44	5.0	44	5.0	44	5.0	44	5.0	44	5.0
理科	1					31	90	35	105	35	105	35	105
	2					36		43		43		43	
	3					23	2.6	27	3.0	27	3.0	27	3.0
生活	1	34	102	35	105								
	2	42		43									
	3	26	3.0	27	3.0								
音楽	1	23	68	24	70	20	60	20	60	17	50	17	50
	2	28		28		25		25		20		20	
	3	17	2.0	18	2.0	15	1.7	15	1.7	13	1.4	13	1.4
図画工作	1	23	68	24	70	20	60	20	60	17	50	17	50
	2	28		28		25		25		20		20	
	3	17	2.0	18	2.0	15	1.7	15	1.7	13	1.4	13	1.4
家庭	1									20	60	19	55
	2									25		22	
	3									15	1.7	14	1.6
体育	1	34	102	35	105	35	105	35	105	30	90	30	90
	2	42		43		43		43		37		37	
	3	26	3.0	27	3.0	27	3.0	27	3.0	23	2.6	23	2.6
特別の教科 道徳	1	11	34	12	35	12	35	12	35	12	35	12	35
	2	14		14		14		14		14		14	
	3	9	1.0	9	1.0	9	1.0	9	1.0	9	1.0	9	1.0
外国語活動 （5,6年外国語）	1					12	35	12	35	24	70	24	70
	2					14		14		28		28	
	3					9	1.0	9	1.0	18	2.0	18	2.0
総合的な 学習の時間	1					24	70	24	70	24	70	24	70
	2					28		28		28		28	
	3					18	2.0	18	2.0	18	2.0	18	2.0
特別活動	1	11	34	12	35	12	35	12	35	12	35	12	35
	2	14		14		14		14		14		14	
	3	9	1.0	9	1.0	9	1.0	9	1.0	9	1.0	9	1.0
合計	1	285		309		333		344		345		345	
	2	349	850	369	910	398	980	413	1015	411	1015	411	1015
	3	216		232		249		258		259		259	

○年間授業時数の下の数字が，週あたり時数を表しています。

○週あたり時数（1年25時間，2年26時間，3年27時間，4～6年28時間）とする。

令和8年度 島袋小 週時程表

北中城村立島袋小学校（保護者用）

月	火	水	木	金
登校・朝の活動（あいさつ運動、ボランティア活動）～8:05				
移 動 ・ 準 備（10）				
健康観察/朝の会 8:15~8:25	各種朝会（15） 8:15~8:30 朝の読み聞かせ　8:15~8:25 ※毎月第4週目	健康観察/朝の会 8:15~8:25	健康観察/朝の会 8:15~8:25	健康観察/朝の会 8:15~8:25
朝読書・ミニ学級会 各アンケート・学習計画作成 （10分）	移動・学習準備（10分）	島っこタイム（10分） モジュール	島っこタイム（10分） モジュール	島っこタイム（10分） モジュール
学習準備（5分）		学習準備（5分）	学習準備（5分）	学習準備（5分）
① 8:40~9:25	① 8:40~9:25	① 8:40~9:20 （40分）	① 8:40~9:25	① 8:40~9:25
学習準備（10）	学習準備（10）	学習準備（10）	学習準備（10）	学習準備（10）
② 9:35~10:20	② 9:35~10:20	② 9:30~10:10 （40分）	② 9:35~10:20	② 9:35~10:20
休み時間・教職員休憩（15）	**休み時間・教職員休憩（15）**	**休み時間・教職員休憩（15）**	**休み時間・教職員休憩（15）**	**休み時間・教職員休憩（15）**
③ 10:35~11:20	③ 10:35~11:20	③ 10:25~11:05 （40分）	③ 10:35~11:20	③ 10:35~11:20
学習準備（10）	学習準備（10）	学習準備（10）	学習準備（10）	学習準備（10）
④ 11:30~12:15	④ 11:30~12:15	④ 11:15~11:55 （40分）	④ 11:30~12:15	④ 11:30~12:15
給食準備・給食 **（40）** 12:15~12:55	**給食準備・給食** **（40）** 12:15~12:55	**給食準備・給食** **（40）** 11:55~12:35	**給食準備・給食** **（40）** 12:15~12:55	**給食準備・給食** **（40）** 12:15~12:55
片付け・清掃の時間（20） 12:55~13:15	片付け・清掃の時間（20） 12:55~13:15	片付け・清掃の時間（20） 12:35~12:55	片付け・清掃の時間（20） 12:55~13:15	片付け・清掃の時間（20） 12:55~13:15
昼の会（5）	**昼の会（5）**	**昼の会（5）**	**昼の会（5）**	**昼の会（5）**
学習準備（10） **13:20~13:35**	**学習準備（10）** **13:20~13:35**	**学習準備（10）** **13:00~13:10**	**学習準備（10）** **13:20~13:35**	**学習準備（10）** **13:15~13:25**
⑤ 13:35~14:20 5校時 14:30下校	⑤ 13:35~14:20 5校時 14:30下校	⑤ 13:10~13:50 （40分） 5校時 14:00 下校	⑤ 13:35~14:20 5校時 14:30下校	⑤ 13:35~14:20 5校時 14:30下校
帰りの会/下校指導/準備（10）	帰りの会/下校指導/準備（10）	帰りの会/下校指導/準備（10）	帰りの会/下校指導/準備（10）	帰りの会/下校指導/準備（10）
⑥ 14:30~15:15	⑥ 14:30~15:15	⑥ パワーアップタイム （25分） ⑥14:00ー14:25 補習指導や、教材研究、職員研修などに活用する時間です。	⑥ 14:30~15:15	⑥ 14:30ー15:15 委員会 クラブ活動 補習指導
帰りの会・安全指導（10） （完全下校15:30）	帰りの会・安全指導（10） （完全下校15:30）	帰りの会・安全指導（10） （完全下校14:45）	帰りの会・安全指導（10） （完全下校15:30）	帰りの会・安全指導（10） （完全下校15:30）
16:45	16:45	16:45	16:45	16:45

	月	火	水	木	金	計
1年	5	5	5	5	5	25
2年	5	5	5	5	5	25
3年	6	5	5	6	5	27
4年	6	6	5	6	5	28
5年	6	6	5	6	5	28
6年	6	6	5	6	5	28

R8 島袋小学校 年間行事計画（保護者用）

日	4月		5月		6月		7月		8月		9月		日	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	水		金	春の遠足（こどもの国）	月	・教育相談週間（～５日） 平和月間スタート	水	校医検診（2・4・6年）	土		火	授業参観 CAP(保護者向け) 教育相談②	1	木		日		火	**校長講話** ・宿泊学習保護者説明会（５年）	金	**元日**	月		月	
2	木		土		火	尿検査① 教育相談②	木		日		水	教育相談③	2	金	委員会活動	月		水		土		火		火	校長講話 ・卒業を祝う会
3	金		日	**憲法記念日**	水	尿検査② 教育相談③	金	幼稚園七夕交流会（１年） **委員会活動（６年）**	月		木	教育相談④	3	土		火	**文化の日**	木	性教育講演会（全学年）	日		水		水	
4	土		月	**みどりの日**	木	3年生人権教室 教育相談④	土		火		金	教育相談⑤	4	日		水		金	島っ子清掃の日②（地域） 代表委員会・委員会	月	**仕事始め**	木		木	
5	日		火	**こどもの日**	金	教育相談⑤	日		水		土		5	月		木		土		火	**安全点検**	金		金	
6	月		水	振替休日	土		月		木		日		6	火		金	地震避難訓練 代表委員会 委員会	日		水	３学期始業式	土	島っこ発表会 （学校説明会）	土	
7	火		木	プール清掃（５年）	日		火		金		月		7	水		土		月	読書旬間（-24日） 教育相談週間①	木		日		日	
8	水		金	プール清掃（６年） 委員会活動（6年）	月		水		土		火		8	木		日	環境美化作業① （運動会へ向けて）	火	教育相談週間②	金	委員会活動・代表委員会	月	代休	月	
9	木	**1学期就任・始業式** 特支学級開級式	土		火	平和朝会	木		日		水	村学推公開授業	9	金		月		水	教育相談週間③	土		火	環境美化朝会	火	卒業式式場設営（５年）
10	金	**入学式（１年・６年）**	日	日曜授業参観 （学校説明会） 児童引き渡し訓練	水		金		月		木	非行防止教室 （低：3校時、高：4校時）	10	土		火	校長講話	木	教育相談週間④	日		水	北中教育の日	水	
11	土		月	代休	木	薬物乱用防止教室 （３－６年）	土		火	山の日	金	代表委員会・委員会活動	11	日	北中城村まつり	水		金	教育相談週間⑤	月	成人の日	木	**建国記念日**	木	
12	日		火		金	代表委員会・委員会活動	日		水		土		12	月	スポーツの日	木	到達度テスト	土		火	児童会活動②	金		金	
13	月	身体測定（６年）	水	基礎学力強化月間（～６月１０日） 村学力標準検査 交通安全教室（１年）	土		月		木		日		13	火	基礎基本強化月間① ～１１月６日	金		日		水	授業参観	土		土	
14	火	学推朝会 身体測定（５年）	木	歯科検診（1.3.5年）	日		火	放送朝会	金		月		14	水		土		月	親子キャリア面談①	木	北中入学説明会	日		日	
15	水	身体測定（４年） 委員会活動結成式	金		月		水		土		火		15	木	村ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭｺﾝﾃｽﾄ（小） 学年会	日		火	親子キャリア面談②	金	クラブ活動③	月	６年　身体測定	月	
16	木	身体測定（３年）	土		火	尿検査（未・再）	木		日		水		16	金	クラブ活動②	月		水	親子キャリア面談③	土		火	縄跳朝会	火	
17	金	身体測定（２年）	日		水	尿検査（未・再）	金	１学期終業式 **夏季休業（～8/23）**	月		木		17	土		火	感謝集会	木	親子キャリア面談④	日		水	特別支援保護者面談①	水	
18	土		月	**プール開き**	木		土		火		金	修学旅行１日目	18	日		水		金	親子キャリア面談⑤	月		木	特別支援保護者面談②	木	☆卒業式
19	日		火	学びのたしかめテスト（４年・５年）	金	平和集会（２・３校時）	日		水		土	修学旅行２日目	19	月		木		土		火		金	特別支援保護者面談 代表・委員会活動	金	☆修了式・離任式
20	月	身体測定（１年）	水		土	6.4(木)振替休（音の運会翌）9：30～11：00	月	海の日	木		日		20	火	音楽朝会	金	運動会練習準備　（１～４学年　４校時授業） ５校時（会場設営）　５年　６年）	日		水	５年　宿泊学習１日目	土		土	
21	火		木	心電図検査（１年） １年生を迎える会（５校時）	日		火	**夏休み個人面談①**	金		月		21	水		土	運動会	月	親子キャリア面談⑥	木	５年　宿泊学習２日目	日		日	
22	水	特支入級式	金	４年人権教室	月	授業参観	水	**夏休み個人面談②**	土		火		22	木		日	運動会予備日①	火		金		月		月	
23	木	全国学力学習状況調査（６年）	土		火	**憲法の日**	木		日		水		23	金	ブロック音楽発表会（予） （北中城、中城、西原）	月	**勤労感謝の日**	水		土		火	**建国記念日**	火	
24	金	学年・学級懇談会	日		水	６校時授業 校医検診（１・３・５）	金		月	２学期始業式	木	修学旅行代休（６年）	24	土		火	**運動会代休**	木		日		水		水	
25	土		月	**・視力検査（１・２・３・５年）** ・視力（全学年）	木	５時間授業	土		火		金	クラブ活動①	25	日		水		金	**２学期終業式**	月		木	・校内ＯＪＴ研修	木	
26	日		火		金		日		水	旧盆（うんけー） **島っこ清掃①**	土		26	月		木	演劇鑑賞会 学年会	土	**冬期休業（仕事納め）** 年末年始休（１／４まで）	火		金	・特支学級校外学習① クラブ③（反省）	金	
27	月	体力テスト①	水		土		月		木	旧盆（特休）休校	日		27	火	授業参観 サイバー防止教室	金	中頭地区小学校音楽発表会	日		水		土		土	
28	火	体力テスト②	木	歯科検診（２・４・６）	日		火		金	修学旅行保護者説明会 （６年）	月		28	水	村イングリッシュコンテスト本選	土		月		木	新１年生　入学説明会	日	環境美化作業② （卒業式へ向けて）	日	
29	水	**昭和の日**	金	6年生人権教室	月		水		土		火		29	木		日	運動会予備日②	火		金				月	
30	木	不審者避難訓練（２校時）	土		火		木		日		水		30	金	児童会活動① クラブ活動③	月		水		土				火	
31			日				金		月	教育相談週間①（～９月４日）			31	土				木		日				水	
授日	15		18		21		13	１学期授業時数67(１年66)	5		19			21		19		19	２学期授業日数83	17		18		15	3学期授業日数

北中城村立　北中城中学校



〒901-2311
沖縄県中頭郡北中城村字喜舎場 306 番地
電話：（098）935-3979
FAX：（098）935-3663

校歌

作詞 比嘉亀盛
作曲 嶺井政美

一、明けゆく空の　朝風に
青葉ゆたかに　そよぐとこ
ここ丘の上に　高々と
わが学びやは　そびえ立つ
あかねにそまる　あや雲に
われらの希望　みちあふる

二、いさおしかおる　ふるさとに
めぐみゆたかに　生い立ちて
ここ丘の上に　ゆるぎなく
わが学びやは　気負い立つ
松吹く風も　音さえて
われらの意気は　もえあがる

三、台上はるかに　見はるかす
澄めるひとみに　はてしなく
ちえの海原　いざさらば
自主のおかじを　とりもちて
朝な夕なの　いそしみに
あしたの幸を　始めなむ

四、いざ立て友よ　諸共に
固き誓いを　交わしつつ
新しき世の　先駆けと
嵐に耐えて　南の
子らの掲げた　旗の色
見よ　はためきて　ひるがえる

令和８年度 北中城中学校グランドデザイン

【北中城村教育の目標】
主体性・創造性に富む人材の育成と生涯学習の振興

【北中城中学校の教育目標】
〇進んで学ぶ生徒 〇心豊かな生徒 〇健康な生徒

【北中城村関わり宣言】
わったーわらばーたー
わったー学校

【学校教育総括目標】
「学びに向かう生徒の育成」
自己を調整し、学び・考え・行動できる生徒

【北中城中スローガン】
みんなで創る　みんなの
北中城中学校　心一つに

【育成すべき資質・能力】
〇自己調整力　〇課題協働解決力　〇思考力・表現力　〇貢献力

傾　聴

【　職員一人一人を大切に　】
〇職員の職務能力が発揮できる学校
尊敬・信頼・共感を大事にする
同僚性と協働性を重視する
校内研修の充実と働き方改革

【 生徒一人一人を大切に 】
〇子どもの成長を中心に据えた学校
子どもの学力保障
子どもの成長保障
社会の形成に参画できる人材育成

【 保護者一人一人を大切に 】
〇保護者の理解と協働に支えられた学校
社会に開かれた教育課程
地域と共にある学校

【学校経営の重点方針】

キャリア教育の視点（か·ふ·や·み）を活用した教育活動の推進
共感的な人間関係の育成を推進する

学習指導の充実	生徒指導・不登校対策の充実	開かれた学校
〇「キャリア教育の視点」を踏まえた授業づくり 〇「自学自習」をめざした教科課題、単元テストの実施、KNG マイプランシートの活用 〇「村ドリーム７」の日常的実践	〇生徒会と学級係活動の連携・連動による自治的活動の推進と、学校行事等を通した絆・支持的風土づくり 〇キャリアパスポートの効果的活用による自己肯定感の育成 〇凡事徹底「時を守り、場を清め、礼を正す」 〇教育相談室の運営	〇地域人材・教材の積極的活用 〇ホームページ及び連絡アプリによる教育活動の積極的公開 〇学校運営協議会との連携 〇学校評価の公開 〇生徒の地域行事への参加促進

傾　聴

学校経営のポイント

キャリア教育の視点・村ドリーム７

≪授業の充実≫	≪校内研修の充実≫	≪キャリア教育の充実・目的意識の高揚≫	
〇学習規律の確立（姿勢・傾聴） 〇自力解決の時間の確保 〇授業と家庭学習の連動	〇教科部会を核とした同僚性による授業力の向上 〇校内 OJT の充実 〇村学推公開授業への取組	〇将来の夢や目標の形成・実現に向けた教育活動の推進（外部機関・人材を活用した職業観・勤労観・進路観の育成） 〇キャリアパスポートの活用 〇KNG マイプランシートの活用	
≪特別活動の充実≫	≪心の教育の充実≫	≪不登校生徒への対応≫	≪情報教育の推進≫
〇生徒会・専門委員会と学級の連携・連動による自治的活動 〇話し合い活動の推進	〇道徳の授業を基盤とした豊かな人間関係づくり 〇道徳ローテーション授業	〇不登校対策プログラムの徹底(早期対応)と継続的関わり 〇関係機関の活用・連携	〇授業へのタブレット活用 〇情報モラル指導の充実
≪保護者・地域・小中連携の推進≫			
〇学校教育活動の積極的公開（授業参観、学校行事、その他） 〇生徒の地域行事への参加促進（生徒による地域貢献）		〇地域学校協働本部事業の活用（地域人材の活用） 〇村学推授業研究会への取組み（小中の連携・統一）	

タブレットの活用（学習・校務）

凡事徹底（時を守り・場を清め・礼を正す）

北中６Ｓ（整理·整頓·清掃·清潔·躾·安全）

見取り：諸テスト結果、沖縄県生徒質問紙、学校評価（生徒・保護者・職員アンケート）及び生徒の実態

令和８年度「学校経営」

教育基本法の精神に則り、沖縄県及び北中城村の教育目標・方針に準拠し、本校の教育目標を設定する。生徒はその目標を目指して励み、教職員は教育目標具現化のために努力し、保護者はその目標を理解して本校生徒の教育・夢実現のために協働することで生徒に知・徳・体の調和のとれた人格の形成を図り、生徒一人一人に「生きる力」と新しい時代に求められる資質・能力を育成する。その目標達成のため「社会に開かれた教育課程」を以下実践する。

１　学校教育目標

＜教育目標＞　進んで学ぶ生徒（知育）　心豊かな生徒（徳育）　健康な生徒（体育）
＜総括目標＞　**「学びに向かう生徒の育成」　自己を調整し、学び・考え・行動できる生徒**

２　教育目標の指標

目標	指　標	価値要素	具現化の方策
進んで学ぶ生徒	○課題や疑問を見つけ、自主的・**計画的**に学習する生徒 ○自己を調整し家庭等での学習に取り組むことができる生徒 ○物事を深く考え筋道を立てて発表や表現ができる生徒 ○他人の話を最後までしっかり聞き正しく判断し行動できる生徒 ○どの教科にも興味や関心を持ち、学習したことを生活に役立てようとする生徒	自主性 計画性 自学力 思考力 表現力 判断力 関心・意欲・態度	○学習の仕方、そのねらい等を理解させ、「分かる授業」「参加する授業」を展開し学ぶ意欲を育て、日々の学習活動に取り組ませる。 ○**授業と連動した宿題（予習・復習）を課し**、KNG マイプランノートの活用により見通しを持った学習に取り組ませる。 ○キャリア教育の視点生かした授業の充実を図り、主体的で対話的、深い学びを推進する。 ○授業や集会の場で聞く態度等の授業規律を徹底し物事を深く考え正しく判断する力や態度を育成する ○生活と関連した身近な素材の教材化に積極的に取り組む。
心豊かな生徒	○出会いを大切に、心のこもったあいさつができる生徒 ○時と場に応じて服装、言葉、動作など適切で真心をもって人と接することができる生徒 ○正義を愛しいじめや暴力不正を憎み誘惑に負けない生徒 ○心情豊かで誰とでも仲良く親切に助け合い励まし合える生徒 ○公共物を大切にし公衆道徳を守ることができる生徒 ○勤労の喜びを知り社会奉仕活動に積極的に参加する生徒	豊かな心 感謝 礼儀 誠実 正義感 生命尊重 誠実 協調 思いやり 公徳心 勤労意欲 社会貢献	○生徒会や学級、部活動等による朝のあいさつ運動の実施 ○時と場相応の言動等は教育課程全般で培われるものであり、普段の生徒と教師の会話等を大切にする。**（豊かな人間関係づくり）** ○道徳の授業で事例をもとに内面化を図るとともに学級活動等で実践目標を作成するなど実践力を高める ○特別な教科道徳を中心に全ての教育活動において意図的計画的に指導する**（新しい道徳）** ○環境整備や美化活動・清掃活動等の実践 ○学校緑化、花いっぱい運動、地域ボランティア活動等への参加奨励
健康な生徒	○自分の身体の状態を把握し、健康管理、疾病予防を含めて自己管理ができる生徒 ○自分の目標実現のために困難に耐えて最後まで粘り強く頑張ることができる生徒 ○体力づくりの大切さを理解し進んでスポーツに親しみフェアプレイの精神を生活に生かすことができる生徒 ○保健安全に関心を持ち健康安全な生活を心がけ事故防止に努める生徒	健康な体 実践力 向上心 忍耐力 体育 スポーツ 公正 生命安全	○「早寝・早起き・朝ごはん」を周知徹底させるとともに保健行事を充実させ生徒自らの健康・体力を十分理解させその保持増進に努める。 ○教育活動の充実で夢と希望を与え目的意識の高揚を図り各教科、領域等の学習活動や部活動、趣味活動で達成感・成就感を体感できる指導の工夫 ○教科体育・学校体育（行事）ならびに部活動等の実践を通してルールやマナー等の規律指導を徹底し、スポーツマンシップの育成を図る。 ○健康安全、生命の尊重などの保健指導や道徳、学級活動と連携した指導の強化及び日々の安全指導に努める。

3　本校の目指す理想像

(1)　めざす学校像　：　「保護者や地域から信頼される魅力ある学校」

①　達成感・成就感がある授業が楽しい学校
②　生徒の存在感があり安心して学べる学校
③　清潔で整理整頓の行き届いたきれいな学校
④　花や緑に包まれた明るい挨拶がある学校
⑤　「文武両道」生徒の活躍が見える学校

(2)　めざす生徒像　：　「夢や目標を持ち、自己表現ができる生徒」

①　めあてをもち、自ら考えて学習する生徒
②　他者を思いやり支えあって活動できる生徒
③　可能性を信じ、粘り強くﾁｬﾚﾝｼﾞする生徒
④　郷土の自然や文化に誇りを持つ生徒
⑤　健康安全に心がけ、自分をきたえる生徒

(3)　めざす教師像　：　「生徒に開き・関わり・育む姿勢を持つ教師」

①　生徒の個性や能力を見つけ伸ばす教師
②　生徒と丁寧に関わり、夢を育てる教師
③　生徒とともに授業を創り共に楽しむ教師
④　悪いことはしっかりと注意できる教師
⑤　生徒・保護者・地域から信頼される教師

(4)　めざす授業像　：　「北中授業のスタンダード(学び合い)と村ドリーム7＋αの充実」

①　問いが生まれ、教科等の本質を楽しむ授業
②　めあてと振り返りをしっかり行う授業
③　学びのルールが徹底された授業

(5)　めざす家庭像　：　「心安らぐ家庭・規範意識の基盤づくり」

①　親子のコミュニケーションあふれる家庭
②　親が模範となりマナーや生活習慣を形成する家庭
③　学校と協力して子育てを行う家庭

(6)　めざす地域像　：　「体験活動や学習の場となる地域」

①　公衆道徳や規範を教える地域
②　子供の成長や安全を見守る地域
③　学校を支える地域

4　学校経営の重点方針　：　「学びに向かう生徒の育成」

○キャリア教育の視点(か・ふ・や・み)を活用し共感的な人間関係の育成を推進する

5　学校経営の重点と具体的実践事項

(1)　学習指導の充実　：　学習規律の徹底と学び合う集団の形成により、確かな学力と学ぶ意欲を育成する

①　学校課題と解決に向けたビジョンの共有の下、校内研修・校内学推の共通実践を図る。
○学校経営目標と教職員評価システム自己申告書との目標連鎖を図り、自己の資質能力の向上を図る。
○指導案の作成や授業研究等を学年会や教科部会等で行い，より効果的な指導体制を構築する。
○県立教育センター等の専門性を高めるための研修への参加を推進する。

②　生徒の知的好奇心を高める教材や教具、学習課題を活用し、自ら学ぶ意欲と態度を育てる。
○地域の素材や人材等の教育資源を積極的に活用し、達成感・成就感がもてる授業を展開する。
○タブレットﾊﾟｿｺﾝを効果的に活用し、自ら学ぶ意欲や思考力、表現力等を高める授業を展開する。

③　習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成する。
○生徒一人一人が互いに教え合い学び合える授業を創造し「できる喜び」「分かる喜び」の体得に努める。
○めあてや課題・発問等の工夫により問いが生まれる授業を展開し、思考力を深める学習指導に努める。
○校内研研究テーマのもと、研究授業や校内 OJT 公開授業に取り組み、指導法改善に努める。

④　生徒個々の現状を把握して個に応じた指導を展開し、基礎的・基本な知識・技能の確実な習得を図る。
○各時間において身に付けさせたい力を明確にし、評価問題や自己評価(ふりかえり)を通して達成状況を把握し、補習等の繰り返し指導に取り組む。
○指導過程における形成的評価と支援の充実を図り、「分かる・できる授業」に努める。
○宿題や自学自習等への取組、連動を推進し、目標達成・夢実現に向けた自学力の育成を目指す。

(2) **発達支持的生徒指導の充実** ： 全教育活動において豊かな人間関係を形成し、支持的風土を育成する。

① 凡事徹底を基盤に基本的な生活習慣を確立し、安全・安心な教育環境を整える
○集会等、日頃の教育活動で聞く態度の徹底や発表の仕方等の問題解決能力を身につける。
○当たり前のことが当たり前にできるよう継続指導し、**けじめのある学校生活ができる実践力を育てる。**
※凡事徹底「時を守り・場を清め・礼を正す」」
○清掃活動や美化活動を充実させ、清潔で花や緑がいっぱいある豊かな教育環境づくりを推進する。

② 自らの役割や将来や進路、生き方について考える機会をつくり目的意識の高揚を図る。
○各学年における進路指導・キャリア教育を計画的に実施し、KNGマイプランノートやキャリアパスポートを活用して夢実現のために目的意識を持たせる。
○地域の夢実現を成し遂げた先輩を講師に招いたり、高校の先輩等による進路学習会を開催する。

③ 学級経営の充実を図り、豊かな人間関係の形成と主体的・自治的な活動を推進する。
○生徒会・専門委員会・学級の連携・連動による自治的活動を推進し、生徒自身の自己肯定感の育成と支持的風土の醸成を図る
○各行事を活用し、生徒相互の絆づくりを推進する。
○考え議論する道徳の時間の充実を図り、全教育活動を通して道徳的実践力の育成に努める。
○師弟同行による朝読書や清掃活動等の実践により教師と生徒、生徒同士の人間関係づくりに努める
○生徒会や部活動を積極的に推進し、何事にも目標を持って意欲的にチャレンジする態度を育てる。

(3) **開かれた学校づくり** ： 保護者や地域連携による生徒の「自立・貢献」を推進し、信頼される学校づくりを目指す

① 学校の教育活動の様子を保護者や地域に積極的に公開する。
○学校教育説明会や学校便り、ﾎｰﾑﾍﾟｰｼ、学校連絡アプリ等により学校情報を発信する。
○授業や学校行事等の学校参観日を定期的に開催して子どもたちの頑張りを激励してもらう。

② 学校教育活動へ地域人材・教材等を積極的に活用する。
○教科、道徳、総合的な学習の時間において、地域人材等の活用を年間指導計画に位置づける。
○地域コーディネーター（地域本部事業）を積極的に活用する。
○地域自治会等との連携を図り、生徒の地域行事・ボランティアへの積極的参加を促す。

③ 学校評価を公開し、課題に対しては学校運営協議会の助言を基に改善を図る。
○学校評価の工夫改善を図る。
○教師、生徒、保護者による学校教育活動の評価を実施し、課題には改善策をたて実践する。
○学校評価の結果及びその改善策を保護者や地域・学校関係者等に公開し、学校経営改善に生かす。

6 今年度の学校経営のポイント（その他）

(1)心の教育の充実
○全教育活動を通して教師と生徒および生徒同士の豊かな人間関係づくりを構築し、生命を尊重する心や態度の育成、他者を思いやる心の育成を目指す。
○「新しい道徳」を活用し、特別な教科道徳の時間を充実させ豊かな心や道徳的実践力の育成を図る。
○全職員で道徳ローテーション授業を実施し授業力の向上に努めると共に、資料等の共有と蓄積を図る。

(2)情報教育の推進
○一人一台端末を効果的に活用し、情報機器活用能力の育成・向上及び工夫ある授業実践に努める。
○有害情報やメール・ライン・SNS等の情報モラル指導に努め、不適切な情報を適切に処理できる判断力、危険回避能力の育成を推進する。
○授業におけるタブレット使用に際しては、使用に関する基本的な注意事項を確認すると共に、定期的にタブレットの保守・点検を各学年で行う。

３　令和8年度　生徒在籍及び学級担任等一覧　5月1日現在　※(　)外数

学年	学級	男	女	計	学級担任	副担任
一学年	1年1組	18	14(1)	32(1)	阿波根　美佐恵	城間　一城
	1年2組	17	15(1)	32(1)	宮城　真梨乃	宮城　千恵子
	1年3組	16(1)	16	32(1)	当山　直	城間　一城
	1年4組	17(1)	15	32(1)	照喜名　陽太	榮口　清乃
	1年5組	17	15	33	松田　さくら	仲宗根　一優
	1年6組	16(1)	15	31(1)	松田　久美子	宮城　千恵子
	7組(知的)	2	0	2	佐久本　博美	
	10組(情緒)	1	2	3	島袋　愁己	
	小計	101(3)	90(2)	191(5)	※特別支援学級生徒を含む人数	
二学年	2年1組	12(1)	18	30(1)	平良　徳彦	ジョンソンみゆき
	2年2組	12(1)	18	30(1)	仲宗根　りん	大沼　正行
	2年3組	13(1)	17(1)	30(2)	仲松　一紀	川村　貴志
	2年4組	12(2)	16(1)	28(3)	久場川　麗愛	大沼　正行
	2年5組	14(1)	18	32(1)	城間　夏子	川村　貴志
	2年6組	12(2)	17	29(2)	赤嶺　諒亮	安里　恵
	7組(知的)	3	1	4	佐久本　博美	
	8組(情緒)	0	1	1	平安名　翔太	
	9組(情緒)	3	1	4	友寄　香代子	
	11組(病弱)	1	0	1	城間　亜紀子	
	小計	75(8)	104(2)	179(10)	※特別支援学級生徒を含む人数	
三学年	3年1組	16(1)	19(1)	35(2)	名城　磨男	兼本　政治
	3年2組	16(2)	19(1)	35(3)	上地　みこと	大城　盛公
	3年3組	17(1)	19	36(1)	仲地　綾子	金城　愛里
	3年4組	14(3)	19(1)	33(4)	松元　英勇輝	伊差川　幸江
	3年5組	15(2)	19(1)	34(3)	宮里　貴史	玉那覇　秀樹
	7組(知的)	1	0	1	佐久本　博美	
	8組(情緒)	3	2	5	平安名　翔太	
	9組(情緒)	1	2	3	友寄　香代子	
	10組(情緒)	4	0	4	島袋　愁己	
	小計	78(9)	95(4)	173(13)	※特別支援学級生徒を含む人数	
	総計	254(20)	289(8)	543(28)	※特別支援学級生徒を含む人数	

令和 8 年度　週　時　程　表

※出席点検は8:15　各種朝会の日は体育館(各集合場所)で出席点検を行います。＜凡例＞◎平常授業 ○学級活動 ◇学校裁量

区分 / 校時	A 日課 始	A 日課 終	月 A 日課	火 A 日課	水 B 日課	木 A 日課 (B日課)	金 A 日課	B 日課(45分) 始	B 日課(45分) 終
朝の活動 (健康観察)					○	○ (1週目)		8:15	8:30
朝の会	8:15	8:25	○	○	○	○	○	8:30	8:40
準備活動	8:25	8:35	授業準備					8:40	8:50
1 校 時	8:35	9:25	◎四者会	◎	◎	◎	◎	8:50	9:35
2 校 時	9:35	10:25	◎	◎	◎	◎	◎	9:45	10:30
3 校 時	10:40	11:30	◎	◎	◎	◎	◎教相委員会	10:45	11:30
4 校 時	11:40	12:30	◎	◎企画委員会	◎生徒指委員会	◎	◎	11:40	12:25
給食準備	12:30	12:45	みんなで仲良くおいしい給食 バランスの良い食事は健康の源 好き嫌いをなくしいっぱい食べよう					12:25	12:40
給 食	12:45	13:05						12:40	13:00
片 付 け	13:05	13:10						13:00	13:05
清 掃	13:10	13:25	みんなで協力、 きれいな学校						
休 憩	13:25	13:45	趣味を生かして、 充実生活					13:05	13:25
5 校 時	13:45	14:35	◎	◎	◎	◎	◎特支委員会	13:25	14:10
帰りの会	14:40	14:50					○	14:15	14:25
6 校 時	14:45	15:35	◎	◎	◎	◎	◇	14:20	15:05
帰りの会	15:40	15:50	○	○	○	○	○	15:10	15:20
学校裁量					◇		◇	15:30	16:15
休　憩	16:15	16:40	休　憩　時　間					16:15	16:40
学校裁量					1 週目 生徒会専門委員会 2 週目以降、適宜 学年会 校内研修 教科部会		各会議は輪番制で実施 職員会議 学年会 校内研修 学推会議 毎週、終礼*	※部活動 原則として週1日は完全休日とする。また、定期テスト最終日7日前から活動停止とする。	

令和８年度　年間行事計画（各家庭に配布）

2026/5/11　北中城村立北中城中学校

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 水	1 金 フレフェス［新入生歓迎会］	1 月 ★平和学習月間	1 水 読み聞かせ③（2・3年） 生徒会専門委員会④	1 土	1 火 文化芸術体験・推進事業（1学年 3日まで）	1 木	1 日 美化作業（2学年）	1 火	1 金 **●公休「元日」**	1 月 ○県立高校願書受付①	1 月 県立高校卒業式
2 木	2 土	2 火 尿検査1日目	2 木 生徒会専門委員会クラス伝達④	2 日	2 水	2 金 学年会⑨	2 月	2 水 中学生フォーラム報告会（西原町役場）	2 土	2 火 ○県立高校願書受付② 企画委員会 ○県立特支高等部・高支一般入学願書受付② ★初回志願状況発表	2 火
3 金 春季休業	3 日 ●公休「憲法記念日」	3 水 尿検査2日目 生徒会専門委員会③	3 金	3 月	3 木	3 土	3 火 **●公休「文化の日」**	3 木 県到達度調査①（全学年）午後採点処理（1.2年） 1学年（数英）2学年（国数英）3学年（国数理）	3 日 冬季休業	3 水 定期テストⅢ①（1・2年）社会理	3 水 ○県立高校入学者選抜学力検査1日目 ○県立特支高等部・高支入学者選抜検査1日目 北小・島小6年生交流会（本校体育館）
4 土	4 月 ●公休「みどりの日」	4 木 生徒会専門委員会クラス伝達③	4 土 県総体先行開催（陸上）	4 火 九州総体3日～10日	4 金 学年会⑧	4 日	4 水 読み聞かせ⑥（1・2年） 生徒会専門委員会⑦	4 金 県到達度調査②（3学年）英社 人権教室（2学年）	4 月	4 木 定期テストⅢ②（1・2年）国英	4 木 ○県立高校入学者選抜学力検査2日目 卒業式会場準備（午後）
5 日	5 火 ●公休「こどもの日」	5 金 ☆定期テスト前部活動停止（16日まで）	5 日 県総体先行開催（陸上） 美化作業（3学年）	5 水 学校閉庁日①	5 土	5 月	5 木 避難訓練	5 土 スポフェス（予備日）	5 火	5 金	5 金 ○県立高校志願変更申し出① ○県立特支高等部・高支志願変更申し出① 進学検定②☆定期テスト前群活動停止（11日まで） 卒業式試演
6 月	6 水 振替休日（子どもの日）	6 土 第53回地区中体連総体③	6 月 三者面談Ⅰ①（3学年スタート）	6 水 学校閉庁日②	6 火	6 金	6 火 進路説明会（3学年 56校時）	6 金 定期テストⅡ（技能教科）	6 日	6 水 3学期始業式 葛巻町交流研修事業～1／9（岩手県）	6 土	6 土 第79回　卒業式
7 火	7 木	7 日 第53回地区中体連総体④	7 火 三者面談Ⅰ②（全学年）	7 金 学校閉庁日③ 馬崎平和学習派遣事業（～10日 職員・生徒4名）	7 月 教育相談旬間Ⅱ①	7 水 読み聞かせ⑤（1・3年） 生徒会専門委員会⑥ ☆定期テスト前部活動停止（10／14まで）	7 土	7 月	7 木	7 日 美化作業（1学年）	7 日
8 水 **令和8年度就任式**	8 金 非行防止教室（23学年）	8 月	8 水 三者面談Ⅰ③（全学年）	8 土	8 火 生徒会専門委員会クラス伝達⑤ 教育相談旬間Ⅱ②	8 木 生徒会専門委員会クラス伝達⑥	8 日	8 月	8 金 人権の日・アンケート⑧	8 月 ○県立高校志願変更申し出② ○県立特支高等部・高支志願変更申し出② 生徒会専門委員会⑨	8 月 卒業式代休
9 木 **始業式、入学式**	9 土	9 火 もれ検査（視力・聴力・心電図）	9 木 三者面談Ⅰ④（全学年）	9 日	9 水 ☆村学推公開授業（島袋小）	9 金	9 月	9 水 読み聞かせ⑦（1・3年）	9 土	9 火	9 火 生徒会専門委員会クラス伝達⑨
10 金 身体測定（全学年）ジャージ登校	10 日	10 水	10 金 三者面談Ⅰ⑤（全学年） 三町村中学生フォーラム/西原町役場大ホール）	10 月	10 木 教育相談旬間Ⅱ③	10 土	10 火 定期テストⅡ（3学年）数理国	10 木	10 日 ☆はたちを祝う記念式典（中央公民館）	10 水 ☆北中城村教育の日式典（午後）	10 水
11 土	11 月 地区総体監督会・抽選会①（15:30） 教育相談旬間Ⅰ① i-check検査(4校時 1学年)	11 木 歯科検診②	11 土 県総体先行開催（来定）	11 火 **●公休「山の日」** 夏季休業	11 金 ろう学校交流会（午前中）	11 日	11 水 定期テストⅡ（3学年）社英	11 金 生徒会長選挙	11 月 ●公休「成人の日」	11 木 **●公休「建国記念の日」**	11 木
12 日	12 火 地区総体監督会・抽選会②（15:30） 全国学力・学習状況調査（中3英（話す）/午前） 教育相談旬間Ⅰ②	12 金 定期テストⅠ①（技能教科）	12 日 県総体先行開催（来定）	12 水	12 土	12 月 **●公休「スポーツの日」**	12 木	12 土 県総合文化祭（てだこホール）	12 火 生徒会朝会（生徒会引き継ぎ式）	12 金 定期テストⅢ（1・2年）技能教科	12 金 大清掃（1・2年）
13 月	13 水 読み聞かせ①（1・3年） 生徒会専門委員会②	13 土 第53回地区中体連総体（予備日）	13 月	13 木	13 日	13 火 ☆Ⅱ期時間割スタート（2/12まで）	13 金	13 日	13 水 読み聞かせ⑧（1・2年） 生徒会専門委員会⑧	13 土	13 土
14 火	14 木 歯科検診①i-check検査(6校時 3学年) 生徒会専門委員会クラス伝達② 教育相談旬間Ⅰ③	14 日	14 火	14 金 第3金曜日「少年を守る日」	14 月 教育相談旬間Ⅱ④	14 水 村学力調査（中3）国理英 定期テストⅡ（12学年）数理英	14 土 第32回中頭地区中学校総合文化祭 県中体連駅伝大会（中頭）	14 月 三者面談Ⅱ①（3学年スタート）	14 木 生徒会専門委員会クラス伝達⑧ 令和9年度新入生説明会（14:30）	14 日	14 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」
15 水 生徒会入会式（1学年6校時）	15 金 学級総会　校内研④ 第3金曜日「少年を守る日」	15 月 定期テストⅠ②国英数	15 水	15 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	15 火 教育相談旬間Ⅱ⑤	15 木 村学力調査（中3）社数 定期テストⅡ（12学年）社国	15 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	15 火 三者面談Ⅱ②（全学年）	15 金 授業参観日④（午前中） ２年修学旅行出発式 第3金曜 日「少年を守る日」	15 月 ○県立高校願書取り下げ・再出願① ○県立特支高等部・高支願書取り下げ・再出願①	15 月
16 木 生徒会専門委員会結成式	16 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	16 火 尿検査再・1日目 定期テスト①社理	16 木 1学期末大清掃（56校時）	16 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	16 水 読み聞かせ④（2・3年） 教育相談旬間Ⅱ⑥	16 金 第3金曜日「少年を守る日」	16 月	16 水 三者面談Ⅱ③（全学年）	16 土 大学入学共通テスト① 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	16 火 ○県立高校願書取り下げ・再出願② ○県立特支高等部・高支願書取り下げ・再出願② ★最終志願状況発表	16 火
17 金 サイバー犯罪防止教室（1学年） 第3金曜日「少年を守る日」	17 日 日曜授業参観① 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	17 水 内科検診① 尿検査再・2日目 読み聞かせ②（1・2年）	17 金 1学期終業式　終礼 第3金曜日「少年を守る日」	17 月	17 木 教育相談旬間Ⅱ⑦ 生徒会朝会	17 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	17 火	17 木 三者面談Ⅱ④（全学年）	17 日 大学入学共通テスト② 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」 修学旅行荷物点検・搬入	17 水 読み聞かせ⑨（2・3年）	17 水 ★県立高校 合格発表 ★県立特支高 等部・高支合格発表
18 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	18 月 振替休日（日曜授業参観）	18 木	18 土 県総体先行開催（来定） 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	18 火	18 金 第3金曜日「少年を守る日」	18 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	18 水	18 金 三者面談Ⅱ⑤（全学年） 第3金曜日「少年を守る日」	18 月 ○県立高校特色選抜（一般選抜Web出願（～1/28）） 1年職場体験出発式 2学年代休 3年三者面談①	18 木	18 木 ○県立学校2次募集願書受付① 北小・島小、卒業式
19 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	19 月 教育相談旬間Ⅰ④ i-check検査(6校時 2学年)	19 金 内科検診② 第3金曜日「少年を守る日」	19 日 県総体先行開催（来定） 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	19 月	19 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	19 月	19 木	19 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	19 火 1年職場体験学習① 2年修学旅行① 3年三者面談② 修学旅行・職場体験	19 金	19 日
20 月 県学力定着状況調査（1・2年、数、CBT）	20 火 教育相談旬間Ⅰ⑤	20 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」	20 月 県総体先行開催（来定） ●公休「海の日」	20 木 漢字検定①	20 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	20 火	20 金 中頭地区中学校音楽発表会（鳳ホール） 第3金曜日「少年を守る日」	20 土 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	20 水 1年職場体験学習② 2年修学旅行② 3年三者面談③	20 木	20 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」
21 火 三者 面談①（全学年） 心電図検査（1年ジャージ登校）	21 木 教育相談旬間Ⅰ⑥ 全体朝会（民生委員の紹介）	21 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	21 火 第53回県総体競技開始（25日まで）	21 金	21 月 ●公休「敬老の日」	21 水 生徒会朝会（駅伝激励会）	21 土 第3土曜日「おきなわ地域教育の日」 運動会（北小、島小）北小駐車場借用	21 月	21 木 1年職場体験学習③ 2年修学旅行③ 3年三者面談④	21 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」	21 日 第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書」 ●公休「春分の日」
22 水 三者面 談②（全学年）	22 金 生徒総会	22 月 平和学習（フィールドワーク）（3学年）	22 水 第53回県総体（卓球 八重山開催）	22 土	22 火 ●公休「国民の休日」	22 木	22 日	22 火	22 金 総合学習まとめ（1学年） 回復休（2学年）	22 月 生徒会朝会（委員長報告）	22 月 振替休日（春分の日）
23 木 全国学力・学習状況調査（中3国・数） 三者 面 談③（全学年）	23 土	23 火 ●慰霊の日	23 木 第53回県総体（卓球 八重山開催） わったーわらば一会19:00～	23 日 県総体	23 水 ●公休「秋分の日」	23 金	23 月	23 水 ●公休「勤労感謝の日」	23 土	23 火 ●公休「天皇誕生日」	23 火 ○県立学校2次募集志願変更再出願 ★2次募集最終志願状況発表
24 金 三者 面 談④（全学年）	24 日	24 水 内科検診③人権の日・アンケート③	24 金	24 月 2学期始業式	24 木 教育相談旬間Ⅱ⑧	24 土 地区駅伝競走大会（9:00 与那嶺競）	24 火	24 木 聖華祭	24 日	24 水 人権の日・アンケート⑨	24 水
25 土	25 月 聴力・視力検査 教育相談旬間Ⅰ⑦	25 木 歯科検診（未検者:午後）	25 土	25 火 ●旧盆（ウンケー） 実力テスト（3年）（国理英）	25 金 教育相談委員会　終礼 授業参観日③（午前中）	25 日 地区駅伝競走大会（予備日）9:00 与那嶺競）	25 水 人権の日・アンケート⑦	25 金 2学期終業式	25 月	25 木	25 木
26 日	26 火 村学校訪問（北中）	26 金 授業参観日②（午前中）	26 日	26 水 ●旧盆（ナカビ） 実力テスト（3年）（社数）	26 土	26 月	26 木	26 土	26 火	26 金 全体朝会（表彰）	26 金
27 月	27 水 人権の日・アンケート② 教育相談旬間Ⅰ⑧	27 土 県総体先行開催（空手道）	27 月	27 木 ●特休 旧盆（ウークイ）	27 日	27 火	27 金 スポフェス準備	27 日	27 水 ☆定期テスト前部活動停止（2/3(水)まで）	27 土 春季休業	27 土
28 火 部結成（全体会16:00）	28 木 村標準学力調査（中1，2）	28 日	28 火 校内リーダー研修（午前中） 夏季休業	28 金 人権の日・アンケート④（＋教育相談Ⅱ）	28 月	28 水 人権の日・アンケート⑥	28 土	28 月	28 木 3年模擬テスト①	28 日	28 日
29 水 **●公休「昭和の日」**	29 金 中体連選手激励会	29 月 ☆Ⅱ期時間割スタート（10/9まで）	29 水 小中合同リーダー研修②10:00中央公	29 土	29 火	29 木 校内合唱コンクール（宜野湾）	29 日	29 火	29 金 3年模擬テスト②	29 月 ★県立学校第2次募集合格発表	
30 木	30 土 第53回地区中体連総体①	30 火 思春期プログラム（1学年 56校時）	30 木 玉川村交流事業（午前中）	30 日	30 水 人権の日・アンケート⑤	30 金 ☆定期テスト前部活動停止（11/5まで）	30 月 スポフェス振替休日	30 水	30 土	30 火	30 火
	31 日 第53回地区中体連総体②		31 金	31 月		31 土		31 木	31 日		31 水

北中城村学校給食共同調理場

～心と体を育む学校給食～



〒901-2313
沖縄県中頭郡北中城村字熱田 2070-8
電話：（098）935-3545
FAX：（098）935-3546

〇学校給食のあゆみ
〇学校給食の予算について
〇食育と地産地消
（地元食材を使用した献立、マンビカーの姿揚げなど）
〇学校給食共同調理場職員・運営委員一覧

北中城村立学校給食共同調理場

◎北中城村学校給食のあゆみ

昭和４２年　９月３０日　北中城村立学校給食センター、北中城小学校内に竣工（１８２㎡）
昭和４３年　２月　１日　給食主任・与那覇盛勇、栄養士・喜納初子、調理員・久場シゲ、比嘉キク、森田ヨシ子、山内初子、安里和子、比嘉美早子就任
（久場シゲは小学校用務員より人事異動）
２月　２日　北中城小、中学校完全給食開始（1,780 食）
給食費　小学校＄1.10　　中学校＄1.30（村補助金＄1.4000）
３月　１日　調理員・大城幸子就任
７月　１日　給食費改正　小学校＄1.20　　中学校＄1.40
昭和４５年　６月　２日　調理員・比嘉美早子退職
６月　３日　調理員・比嘉ヨシエ就任
７月　１日　給食費改正　小学校＄1.40　　中学校＄1.60
昭和４６年　３月３１日　調理員・大城幸子退職
７月　１日　給食費改正　小学校＄1.70　　中学校＄1.90
昭和４７年　５月１５日　復帰による１ドル 360 円換算し、給食費小学校 600 円、中学校 700 円となる
北中城村立学校給食共同調理場と改称される
昭和４８年　４月　１日　給食費改正　小学校 1,000 円　　中学校 1,200 円
４月　９日　ミルクを調理場調乳から委託乳へ切り替え
昭和４９年　４月　１日　給食費改正　小学校 1,700 円　　中学校 2,100 円
１２月２１日　栄養士県費移管（栄養職員となる）
昭和５０年　４月　１日　給食費改正　小学校 2,000 円　　中学校 2,500 円
８月２９日　地下貯水そう、高架水そう竣工
１２月３１日　栄養職員・喜納初子退職
昭和５１年　１月　１日　栄養職員・比嘉順子就任
４月　１日　米飯給食が学校給食に正式に導入された
８月２０日　牛乳（ミルク）保冷庫設置
昭和５２年　４月　１日　給食費改正　小学校 2,200 円　　中学校 2,700 円
昭和５３年　４月　１日　給食費改正　小学校 2,400 円　　中学校 2,800 円
給食費の納付を、北中城村農協で取り扱う
昭和５４年　３月３１日　栄養職員・比嘉順子退職
４月　１日　栄養職員・稲福順子就任
昭和５５年　４月　１日　給食費改正　小学校 2,600 円　　中学校 3,000 円
昭和５６年　４月２０日　栄養職員・稲福順子退職
４月２１日　栄養職員・神田栄子就任（定数内臨任）
昭和５７年　１月　１日　給食係長・与那覇盛勇は村長部局へ出向、給食係長に安里成徳が就任
３月３１日　栄養職員・神田栄子人事異動
調理員・久場シゲ退職
４月　１日　栄養職員・新垣ムツ子就任
給食費改正　小学校 2,900 円　　中学校 3,300 円
調理員・城間為宏就任
昭和５８年　３月３１日　調理員・比嘉キク退職
４月　１日　調理員・仲宗根ミエ子就任
８月３１日　調理員・森田ヨシ子退職
１１月２４日　調理員・楚南兼二就任
昭和６１年　３月３１日　栄養職員・新垣ムツ子人事異動
４月　１日　栄養職員・徳比嘉八重子就任
７月　１日　給食係長・安里成徳村長部局へ出向、給食係長に大城盛次郎が就任

昭和６２年　４月　１日　給食費改正　小学校 3,200 円　　中学校 3,600 円
昭和６３年　９月１２日　調理場拡張工事終了
　　１１月　５日　食器洗浄機改造完成
　　１２月　６日　ランチルーム用陶器食器完成、使用開始
平成　元年　４月　１日　栄養職員・徳比嘉八重子人事異動、栄養主任・嘉手苅英子が就任
　　４月　１日　調理員・安座間尚を採用
　　４月　５日　島袋小学校開校　給食開始
平成　３年　４月　１日　給食係長・大城盛次郎村長部局へ出向、給食係長に仲真静枝が就任
平成　４年　４月　１日　栄養主任・嘉手苅英子人事異動、栄養職員・武富悦子が就任
　　給食費改正　小学校 3,400 円　　中学校 4,000 円
　　６月２５日　学校給食共同調理場用地（熱田地区、埋立地）を土地開発公社より購入
　　（2,143 ㎡・35,110,912 円）
平成　５年　３月３１日　調理員・山内初子定年退職
　　４月　１日　給食係長・仲真静枝村長部局へ出向、給食調理場所長に与那覇盛勇が就任
　　安座間尚村長部局へ出向、調理員として安里光雄が就任
　　喜屋武修運転手兼調理員として就任（採用）
　　新しい学校給食調理場で業務開始
　　４月　８日　新しい調理場から給食配送を開始
　　４月１７日　新調理場の落成式及び祝賀会
平成　６年　４月　１日　調理員・宮城和子村長部局へ出向、調理員・名幸律子が就任
　　８月２０日　栄養職員・武富悦子退職
　　９月　２日　栄養職員・稲嶺律子就任（臨任）
平成　７年　３月２５日　栄養職員・稲嶺律子退職
　　４月　１日　栄養主任・新垣ムツ子就任
平成　８年　４月　１日　給食調理場所長与那覇盛勇村長部局へ出向、古堅トシ子が就任
平成　９年　３月３１日　調理員・比嘉ヨシエが退職
　　４月　１日　調理員・山内実就任（採用）
　　調理員・仲宗根ミエ子村長部局へ出向、調理員・宮城和子が就任
平成１０年　３月３１日　調理員・名幸律子退職、栄養職員・新垣ムツ子人事異動
　　４月　１日　栄養職員・又吉雛子が就任
　　５月　１日　調理員・真栄城守彦就任（採用）
平成１２年　３月３１日　調理員・安里光雄、宮城和子勧奨退職
　　４月　１日　給食調理場所長古堅トシ子村長部局へ出向、山内米廣が就任
　　調理員・喜納博乃、比嘉英雅就任（採用）
平成１３年　３月３１日　栄養職員・又吉雛子人事異動
　　４月　１日　栄養職員・奥平正子が就任
　　給食費改正　小学校 3,900 円　　中学校 4,500 円
平成１５年　３月３１日　栄養職員・奥平正子人事異動
　　４月　１日　栄養職員・井口直子が就任
平成１７年　２月２５日　空調、機械設備（外気処理ユニット、厨房用エアコン、食缶洗浄ポンプ）工事
　　（43,680,000 円＝saco 交付金 40,000,000 円＋村費 3,680,000 円）
　　９月３０日　学校給食配送車購入　２台
　　（9,817,500 円（２台）＝saco 交付金 9,760,000 円＋村費 57,500 円）
平成１８年　４月　１日　給食調理場所長山内米広村長部局へ出向、中村功教育総務課長給食調理場所長兼務
　　学校給食係長に仲泊瑠美子が就任
平成１８年　７月３１日　給食共同調理場門扉制作取付工事（388,500 円）
平成１９年　３月３１日　教育総務課長給食調理場所長兼務中村功勧奨退職
　　栄養職員・井口直子人事異動
平成１９年　４月　１日　教育総務課長給食調理場所長兼務に新垣健雄が就任
　　栄養職員に新垣ムツ子が就任

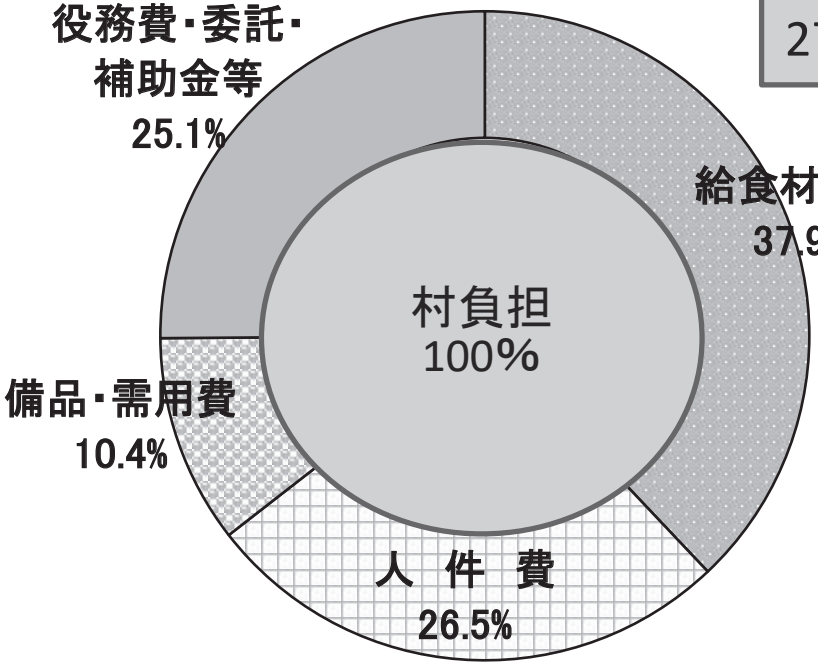
平成１９年１０月２５日　沖縄県へ平成１９年度沖縄県食の安全・安心の確保交付金交付申請
平成２０年　１月１０日　沖縄県へ平成１９年度沖縄県食の安全・安心の確保交付金事業遂行状況報告
平成２０年　３月２８日　沖縄県へ平成１９年度沖縄県食の安全・安心の確保交付金事業実績報告
平成２０年　４月　１日　学校給食共同調理場学校給食係長仲泊瑠美子、村長部局へ出向
学校給食共同調理場学校給食係長に米須清喜が就任
給食調理係長に楚南兼二が就任
平成２０年　８月　５日　沖縄県学校給食会の開催する学校給食調理実技発表会にて、最優秀賞を受賞
平成２１年　６月２５日　地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、保存食用冷凍冷蔵庫（672,000 円）を購入
平成２１年　８月２０日　地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、コンテナ（514,500 円）を購入
平成２１年　８月２０日　地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、蒸気ボイラー及び貯湯槽更新工事竣工（12,701,000 円）
平成２２年　４月　１日　学校給食共同調理場所長に楚南兼二が就任
平成２２年　７月　姉妹町村の岩手県葛町町との特産品交流を開始
平成２３年　２月１０日　第１０回沖縄県健康教育大会にて、学校給食優良調理場として表彰を受ける
平成２３年　３月３１日　栄養職員・新垣ムツ子退職
平成２３年　４月　１日　学校給食共同調理場給食係長米須清喜、生涯学習課へ
調理員・真栄城守彦村長部局へ出向
給食調理係長に山内実が就任
調理員・上里幸太就任（採用）
栄養職員・崎山真澄が就任
平成２３年　８月１１日　調理員・棚原菜津子就任（採用）
平成２３年１１月２５日　フードスライサー購入（2,699,450 円）
平成２４年　３月３１日　栄養職員・崎山真澄人事異動
平成２４年　４月　１日　栄養教諭・松田優子が就任
平成２４年　４月１３日　北中城村立北中城幼稚園預かり保育園児給食開始（園児５４食・職員１４食）
給食費　月額（2,000 円）
平成２５年　４月　１日　学校給食共同調理場所長楚南兼二、村長部局へ出向
学校給食共同調理場所長名幸芳徳が就任
平成２５年　８月３１日　冷蔵庫・冷凍庫ユニット取替工事（997,500 円）
平成２６年　４月　１日　学校給食共同調理場所長名幸芳徳、村長部局へ出向
教育総務課長給食調理場所長兼務に米須清喜が就任
学校給食共同調理場学校給食係長に仲地直美が就任
栄養職員・宮城理栄が就任
平成２７年　４月　１日　学校給食共同調理場所長米須清喜、村長部局へ出向
教育総務課長給食調理場所長兼務に喜納克彦が就任
調理員・喜屋武修村長部局へ出向
栄養教諭・松田優子人事異動
栄養教諭・儀保君枝が就任
平成２７年　９月２８日　スチームコンベクションオーブン購入（6,674,400 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
平成２７年１１月２２日　県民環境フェアにて、沖縄県環境保全功労者（団体）として表彰を受ける
平成２８年　４月　１日　調理員・山田菜津子村長部局へ出向
調理員・真栄城守彦が就任
平成２９年　１月　５日　ガス回転釜購入（2,689,200 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
平成２９年　４月　１日　学校給食共同調理場学校給食係長仲地直美、村長部局へ出向
学校給食共同調理場学校給食係長に比嘉さよ子が就任
平成２９年　８月　２日　ボイラー用燃料タンク取替工事（1,188,000 円）
平成３０年　３月　６日　高速度ミキサー購入（459,000 円）

平成３０年　３月　７日　学校給食用二重食缶購入事業（1,911,000 円）
平成３０年　３月３１日　調理員・上里幸太退職
平成３０年　４月　１日　学校給食共同調理場学校給食係長比嘉さよ子、村長部局へ出向
学校給食共同調理場学校給食係長に比嘉利彦が就任
調理員・比嘉英雅村長部局へ出向
調理員・喜屋武修が就任
栄養職員・儀保君枝人事異動
栄養職員・嘉数絢子が就任
平成３１年　３月２９日　食器洗浄機設備一式入替（46,494,000 円）
ボイラー更新工事（3,996,000 円）
天ぷらバット購入 112 個（647,136 円）
平成３１年　４月　１日　栄養職員・山口理栄人事異動
栄養職員・伊敷梨理が就任
調理員・赤嶺能文が就任（採用）
令和　元年　８月２３日　プレハブ冷凍冷蔵庫入替（5,356,800 円）
令和　２年　３月２７日　給食用配送車 2 台入替（10,257,900 円）
食缶洗浄機入替（19,580,000 円）
消毒保管機入替（17,600,000 円）
令和　２年　４月　１日　調理員・安里弘都が就任（採用）
令和　３年　１月１８日　空調機器改修工事実施設計（1,485,000 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
令和　３年　３月３０日　揚物機購入（11,408,650 円）
球根皮剥機購入（540,540 円）
野菜フードスライサー購入（1,778,480 円）
野菜受けシンク購入（393,250 円）
給食配送用コンテナ購入（7,900,200 円）
スタッキングカート購入（380,160 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
令和　３年　４月　１日　学校給食共同調理場学校給食係長比嘉利彦、村長部局へ出向
学校給食共同調理場学校給食係長に新城はづきが就任
調理員・真栄城守彦村長部局へ出向
調理員・山田菜津子が就任
令和　３年　９月１３日　空調機器改修工事（22,434,500 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
令和　４年　３月２３日　建具設置工事（750,000 円）
洗濯機・乾燥機購入（540,980 円）
汚水管接続工事（297,000 円）
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
令和　４年　４月　１日　調理員・赤嶺能文村長部局へ出向
調理員・比嘉英雅が就任
調理員・安次嶺匡貴が就任（採用）
栄養職員・嘉数絢子、伊敷梨理人事異動
栄養職員・仲宗根育美、幸地綾乃が就任
令和　４年　７月１２日　西側フェンス修繕（958,000 円）
令和　４年１０月　４日　ボイラー室環水タンク配管修繕工事（96,250 円）
令和　４年１２月１６日　屋上防水工事（一部）（127,050 円）
令和　４年１２月２８日　学校給食共同調理場改修工事実施設計（1,760,000 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
令和　５年　１月　６日　ボイラー室蒸気トラップ及び接続配管修繕工事（299,442 円）

令和　５年　１月１３日　２階外部給水管修繕工事（192,500 円）
令和　５年　１月３１日　学校給食共同調理場北側プラットホームガラス等修繕工事（3,857,038 円）
令和　５年　２月１０日　南側貯水槽内コンクリート剥離修繕工事（704,000 円）
令和　５年　３月３１日　屋外排気ファン修繕工事（1,859,000 円）
令和　５年　４月　１日　学校給食共同調理場所長玉栄治、学校給食係長新城はづき、村長部局へ出向
教育総務課長給食調理場所長兼務に平田清徳が就任
学校給食共同調理場学校給食係長に仲宗根聡が就任
調理員・瑞慶覧瞬が就任
令和　５年　６月３０日　食器供給装置(NAW-SU-G)部品取替修繕（381,458 円）
令和　５年　８月　１日　貯湯槽変更検査及び管板コイル取替工事（1,771,000 円）
令和　５年　９月２０日　学校給食共同調理場改修工事（25,641,000 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
令和　５年　９月２０日　学校給食共同調理場改修工事管理業務（1,078,000 円）
令和　５年１１月２８日　プレハブ冷凍庫修繕（54,890 円）
令和　６年　４月　１日　給食費改定　月額　小学校 4,200 円　中学校 4,800 円　幼稚園 2,200 円
小中学校の給食費補助金 1/2 から 3/4 へ拡充
令和　６年　８月３０日　学校給食共同調理場エアーカーテン購入（1,954,700 円）
令和　６年１１月　１日　学校給食調理場トレー購入（3,575,000 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
令和　７年　３月３１日　北中城村立北中城幼稚園の北中城こども園への移行に伴い、預かり保育園児給食提供終了
令和　７年　４月　１日　学校給食共同調理場学校給食係長仲宗根聡、村長部局へ出向
学校給食共同調理場学校給食係長に平良由佳梨が就任
栄養職員・幸地綾乃人事異動
栄養職員・儀保君枝が就任
令和　８年　１月１６日　学校給食調理場ボール２種（飯椀、汁椀）購入（5,500,000 円）
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業
令和　８年　３月３１日　栄養職員・儀保君枝退職
令和　８年　４月　１日　給食費改定　月額　小学校 5,200 円　中学校 6,200 円
小中学校の給食費補助金 3/4 から全額補助へ拡充（「給食費の無償化」開始）
調理員・安里弘都村長部局へ出向
調理員・眞榮城守彦が就任

令和8年度　学校給食費予算負担別構成比

総額
278,224千円



村 一 般 会 計

172,652 千円

給 食 特 別 会 計

児童生徒給食費	97,530 千円
職員給食費	7,275 千円
過年度収入	300 千円
雑　収　入	466 千円
繰　越　金	1 千円
計	105,572 千円

◇　令和８年４月より児童生徒の給食費無償化が開始されました。
　児童生徒の給食費は全額「北中城村学校給食費補助金」で賄われます。
　今後も給食献立の充実を図りながら、安全・安心でおいしい給食

食育と地産地消

村内の生産者と学校給食共同調理場の相互理解による地産地消の取り組みを通じて、村内で採れる新鮮で安心・安全な食材の利用促進を図り、学校給食をとおして子どもたち一人ひとりが健康で豊かな食生活を実現するとともに、地域の発掘や魅力を見つけ、地域愛を育てながら地場産物を多く取り入れ、食育と地産地消の推進に努めます。

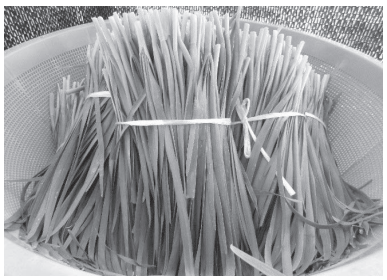
【地場産物食材】



アーサ（ヒトエグサ）



赤うり



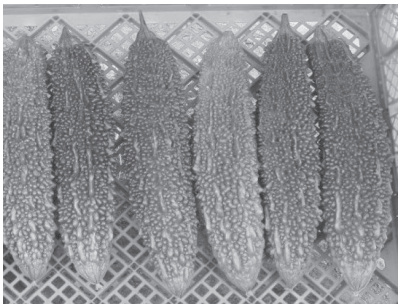
ニラ



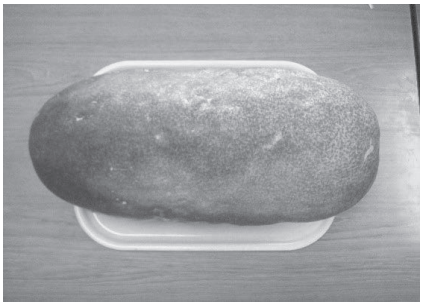
さやいんげん



人参



ゴーヤー



冬瓜



小松菜

【地場産物食材を使用した献立】



卵焼きのアーサあんかけ

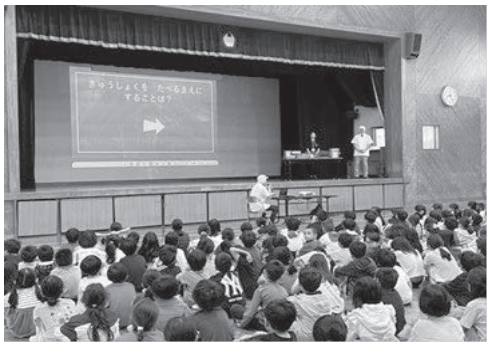


冬瓜の煮物、汁物

年間を通した取り組み

4月【給食朝会】

各小学校と連携し、給食朝会を実施。食器の片づけ方などについて、スライドと実際の食器を使って児童に説明します。





5月【マンビカーの姿揚げ】

平成10年から毎年5月に、各クラスに一尾ずつマンビカー（シイラ）の姿揚げを提供しています。

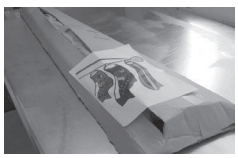
鯉のぼりにちなみ、「子どもたちに大きく元気に育ってほしい」という願いを込めた取り組みで、令和8年度は小学1、3、6年生と中学3年生にはマンビカー、その他の学年生にはマグロカツにマグロの頭としっぽを添えた「マグロの姿揚げ風」を提供しました。





・大きな釜で揚げるマンビカー



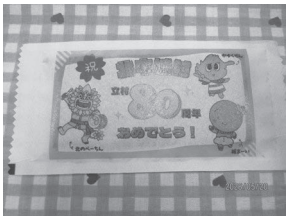




・マグロの姿揚げ風

【立村80周年記念献立】

令和8年5月20日の北中城村立村80周年記念にちなみ、記念日当日は村産の野菜やもずくをたっぷり使った記念献立を提供しました。



・献立内容は、
ごはん、麩イリチー、もずくみそ、じゃがいものみそ汁、味付けのり、くだもの、牛乳。のりは80周年記念のオリジナルパッケージです。

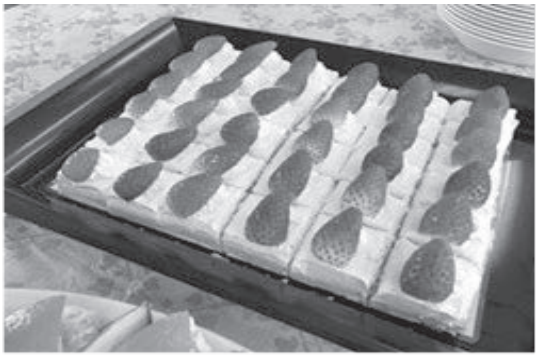


3月【プレミアム給食】

卒業を目前に控えた小学6年生と中学3年生に、いつもと違ったビュッフェ形式の給食を提供します。学校生活最後の思い出作りの場としてほしい。調理員と栄養士の腕の見せどころです。

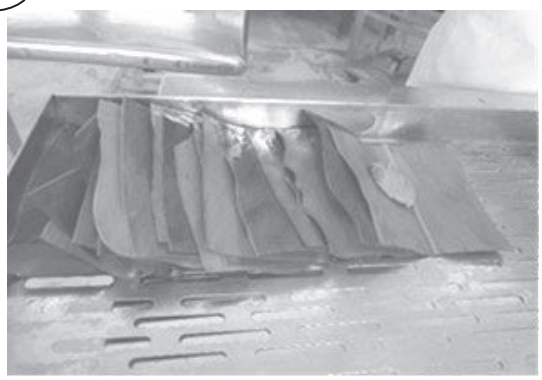


・手作りケーキとフルーツ盛り



・手作りのショートケーキは、県内でも珍しい

年間【手作りの郷土料理】





・一つ一つ手作りのムーチー。調理場敷地内で栽培した月桃の葉に包み、蒸します。





・サーターアンダギーも手作りします。村の給食は手作りのメニューが多いのが特徴です。

児童・生徒の健やかな成長を願い、安全・安心な学校給食の提供を目指して日々頑張っています！

職　員　一　覧　表

令和８年６月１日 現在

区　分	氏　名	職　名	就任年月日
1	平田　清徳	所長	令和　5年　4月　1日
2	平良　由佳梨	学校給食係長	令和　7年　4月　1日
3	喜納　博乃	調理係長	令和　4年　1月　1日
4	仲宗根　育美	栄養教諭	令和　4年　4月　1日
5	眞榮城　守彦	調理員兼運転手	令和　8年　4月　1日
6	比嘉　英雅	調理員兼運転手	令和　4年　4月　1日
7	山田　菜津子	調理員兼運転手	令和　3年　4月　1日
8	安次嶺　匡貴	調理員兼運転手	令和　4年　4月　1日
9	瑞慶覧　瞬	調理員兼運転手	令和　5年　4月　1日

学校給食共同調理場運営委員

令和８年６月１日 現在

区　分	氏　名	備　考
委員長	徳村　永盛	北中城村教育長
副委員長	上原　充	北中城村立北中城中学校 校長
委員	天久　朝誠	北中城中学校父母教師会 会長
委員	前原　博光	北中城村立北中城小学校 校長
委員	川満　隆雄	北中城小学校父母教師会 会長
委員	榮　葉子	北中城村立島袋小学校 校長

社会教育

生涯学習主要施策 …… 107
社会体育事業計画 …… 108
文化振興事業計画 …… 111
社会教育事業計画 …… 113
中央公民館事業計画 …… 115
生涯学習課関係委員名簿 …… 117
あやかりの杜 …… 118

令和８年度　生涯学習課主要施策

生涯学習・社会教育については、北中城村内の小・中学校において学校運営協議会の設置による、地域の力を活かした学びの充実を図り、これまでの学校支援に加え、学校と地域の協働による子供たちの安全で安心できる環境を整えて参ります。

地域活力の向上に向けて、各種団体との協議を進めながら、課題の整理と施策展開の方針を取りまとめ、協働と連携に努めてまいります。

計画的な生涯学習の振興を図るため「生涯学習推進計画」に基づき、村民の生涯にわたる多様なニーズに応じた学習活動展開取り組んでまいります。

公民館事業については、中央公民館サークルの新規設立を促しつつ、世代を超え学び合う多彩な講座・教室・学級等を開設し、地域に根ざした公民館事業に取り組んでいきます。公民館出張講座については、各自治公民館から要望を聞き、地域で必要な講座を開催できるよう取り組みを行います。地域と相互に協力し、また、継続して自治公民館機能の充実と公民館活動の活性化を図れるよう努めてまいります。

国際性に富む人材育成については、海外短期留学事業の充実を図るとともに、小学校高学年から中学生を対象とした「ESL キャンプ」事業も併せて開催し英語学習の機会の創出を図ります。

また中学生を対象とした「国際人材育成事業」については、英語検定の取得と学んだ英語をネイティブスピーカーとの交流を通して、活用する体験により、コミュニケーション力の強化と英語を話すときの苦手意識を払しょくする事業展開を図ってまいります。

あやかりの杜管理運営については、指定管理者と連携をとり、今後も利用者が足を運びやすい施設として、地域密着型の事業取り組みで利用者数の増加に努めてまいります。

村史編纂事業については、終戦から復帰までの本村の歴史的変遷の過程並びに固有の生活等、村勢を明らかにした『北中城村史 第５巻 戦後の歩み編』（仮）を発刊します。

文化財の保護・活用については、国から認定を受けた「歴史的風致維持向上計画」に基づき、重点区域の整備方針に関する基本構想の策定等に取り組み、歴史まちづくりを推進します。

また、移設先及び返還予定地となっている駐留軍用地内において埋蔵文化財調査を継続して実施し、返還跡地利用の推進と文化財保護との両立を図ります。

文化振興については、村文化協会や民俗芸防保存会への支援等により、文化活動の拡充に努めていきます。

社会体育事業については、村スポーツ推進委員協議会などの関係団体や関係機関と連携して、老若男女が日常的に楽しめるスポーツ活動を展開し、体力づくりと健康の維持・増進を図っていきます。

令和８年度　社会体育事業計画

実　施　日	事　業　名	趣　　旨	場　所	対　象
８月２日（日）	小中学生スポーツ大会	男女が仲良く・楽しく・気軽に参加できるスポーツを通じて、青少年の健全育成とスポーツをすることの楽しさを理解させる。	北中城村民体育館	村内小中学生
８月 ８日(土) ８月９日(日)	第 26 回北中城村教育長杯ミニバスケットボール大会	近隣市町村の小学生と対戦させることにより、技術力の向上と同時に健全育成及びスポーツの楽しさを理解させる。	北中城村民体育館	近隣市町村の小学生
９月５日（土) ９月６日（日）	第 37 回北中城村長杯県選抜少年サッカー大会	海邦国体サッカー競技開催記念事業として、本村のサッカー競技の普及に努めるとともに、県少年サッカーのレベル向上に寄与する。	沖縄県総合運動公園	県内少年サッカーチーム
11 月１日（日）	第 30 回ふれあいニュースポーツ大会	日頃の運動不足解消と心身をリフレッシュするのと同時に、健康づくりと仲間づくり等に寄与する。	しおさい公苑	村内
通　年	ニュースポーツ巡回指導	地域のニーズや要望に応えたニュースポーツを直接スポーツ推進委員が地域に出前をして、紹介・指導をする。 それによりスポーツ推進委員について、理解をしてもらうと同時に村民１人１スポーツの振興に役立てる。	各公民館・各団体	村内

令和8年度　北中城村スポーツ協会事業計画

期　日	事　業	場　所
令和8年　4　月　9　日（木）	総合運営委員会 理事会・総会	中央公民館
5　月　17　日（日）	テニス競技	吉の浦公園テニスコート
5　月　31　日（日）	ゴルフ競技	オーシャンキャッスルカントリーゴルフクラブ
6　月　7　日（日）	ソフトボール競技	しおさい公苑 北中城中学校
6　月　14　日（日）	バレーボール競技	北中城村民体育館
6　月　21　日（日）	バスケットボール競技	北中城村民体育館
7　月　5　日（日）	卓球競技	北中城村民体育館
7　月　12　日（日）	バドミントン競技	北中城村民体育館
7　月　19　日（日）	ボウリング競技	レーントゥセントラル
7　月　30　日（木）	村陸上競技大会監督会	中央公民館
8　月　7　日（金）	功労者・優秀競技者表彰〆切	中央公民館
8　月第3土・日	中頭郡夏季体育大会派遣	県内各会場
8　月　27　日（木）	第2回理事会 村陸上競技大会申込〆切	中央公民館
9　月　26　日（土） 27　日（日）	第79回北中城村陸上競技大会	ごさまる陸上競技場 （吉の浦公園）
10　月　11　日（日）	中頭郡陸上競技大会	嘉手納町陸上競技場
11　月　21　日（土） 22　日（日）	沖縄県民体育大会	北部地区
12　月　20　日（日）	中頭郡駅伝競走大会	読谷村残波岬公園
令和9年　1　月　31　日（日）	市郡対抗駅伝	名護～県総
3　月　7　日（日）	サッカー競技（令和9年度）	しおさい公苑
3　月　14　日（日）	軟式野球競技（令和9年度）	しおさい公苑 北中城中学校

令和８年度北中城村史編纂事業計画

令和８年度村史編纂事業については、調査執筆員及び事務局執筆の原稿校正・監修を行い、『北中城村史 第五巻 戦後の歩み編（仮）』を発刊します。

区分	事業名	事業内容	時期等
編纂委員会	■村史編纂委員会	□編纂委員会 ・令和８年度事業報告 ・令和８年度事業計画について	2027/3月
専門部会	■『戦後編』専門部会	□専門部会（論述原稿監修）	2026/6月～随時開催
調査執筆員	■調査執筆員	□論述原稿執筆・校正 □根拠資料等の収集	通年
事務局	■『北中城村史』発刊	『北中城村史 第五巻 戦後の歩み編（仮）』の発刊	2027/3月
	■基礎資料の収集、整理	□庁舎内資料及び県立図書館収蔵資料の収集・データ化等整理	
	■聞き取り調査	□聞き取り調査（個人） □聞き取り音声文字起こし	通年 通年
	■原稿編集	□聞き取り調査データの原稿化 □原稿の話者校正	通年 通年
	■論述部執筆	□原稿執筆使用写真・図面等検討整理	通年
	■字誌編纂支援 ・島袋、屋宜原	□情報提供 ・資料収集及び提供 ・調査に関する仲介等 ・字誌調査同行	随時
	■その他	□村政施行80周年立村パネル展（村役場第２庁舎）	2026/6/26～7/14

令和8年度文化振興事業計画

文化振興については、文化協会と連携して伝統芸能・芸術文化の鑑賞や発表の機会を確保し、文化活動の拡充に努めていきます。

区分	事業名	事業内容	時期
北中城村文化協会関連事業	■しまくとぅば語やびら大会	□北中城村内大会 （北中城村中央公民館） ・一般の部 ・幼稚園～高校生の部 □中部地区予選 （北中城村中央公民館） □沖縄県大会（場所未定）	2026/8/22 2026/10/24 未定
	■県立芸術大学との交流事業	□卒業・修了作品展優秀作品表彰 （県立博物館・美術館）	2027/2月
	■北中城小・中学生文芸大賞	□自由作文・詩・俳句・川柳・短歌の表彰式	2026/11/4
	■文化祭及び発表会	□文化活動の発信 ・420歳青春陶芸5人展（村役場第二庁舎ロビー） ・陶芸部作陶展（あやかりの杜） ・文化祭「展示部門」 ・文化祭「舞台部門」	 2026/5/25～29 2026/10月 2026/11/7～8 2027/3/7
	■その他	□わかてだを見る集い □祝賀会（県文化協会表彰等）	2026/12/22頃 2027/3/27
	■協会誌「しま」	□第17号発行	2026/5月

令和8年度北中城村文化財保護事業計画

令和8年度の文化財保護事業については、移設・返還予定の駐留軍用地における埋蔵文化財調査に関連部局と連携して取り組んでいきます。また、「認定歴史的風致維持向上計画」に基づき、歴史まちづくりを推進するとともに、村指定文化財の保全整備や文化財に関する普及活動に取り組んでいきます。

区分	事業名	事業内容	時期等
基本構想等策定	■歴史まちづくり推進事業	□認定歴史まちづくり計画にて設定した重点区域（荻道・大城地区）の、まちづくりの方向性を定めるため、基本構想及び実施設計を策定する。	通年
調査	■基地内埋蔵文化財発掘調査	□今後、移設・返還が予定される駐留軍用地内の文化財等の各種関連資料の収集や、喜舎場ハウジングエリア内所在の埋蔵文化財について、沖縄防衛局と連携して記録保存のための本発掘調査と出土遺物の資料整理を実施する。	通年
	■村内遺跡等詳細調査	□村内に所在するグスク等の詳細地形測量（レーザー測量）を実施し、遺構の構造を調査する。	通年
	■米国統治下の北中城村実態調査事業	□戦後米国統治下時代の本村の歴史的経過を明らかにするため、関連資料の調査・収集・整理を行い、報告書を発刊する。	通年
普及活動	■文化財研修	□村教委や各小中学校との連携により、村内児童生徒や教員等に対し、文化財等を活用した研修を計画的に行い、村の歴史に触れてもらう。	適宜実施
	■わかてだを見る集い	□冬至の日に、中城城跡から「わかてだ」を見て、両村の繁栄を祈念する。	2026/12/22頃 中城城跡
	■文化財防火訓練	□1月26日の「文化財防火ﾃﾞｰ」にちなみ、世界遺産「中城城跡」及び国指定重要文化財「中村家住宅」において、火災その他の災害から守るための防火訓練を実施する。	2027/1/26頃 中城城跡・中村家住宅
	■その他	□村広報誌や文化振興係SNS等を活用し、各種文化財・歴史関連イベント等に関する情報を発信する。	随時

令和８年度　社会教育事業実施計画

No.１

事　業　名	趣　　旨	対　象　等	実施時期	場　所
海外短期留学事業	アメリカ合衆国ワシントン州立大学での 21 日間の短期留学を実施し、国際性に富んだ人材の育成を図る。	村内在住の 中学生・高校生 （8 名）	令和 8 年 7 月 11 日～7 月 31 日	アメリカ合衆国
第 17 回北中城村英語キャンプ・プログラム（ESL）事業	米国大学への短期留学と同様のスタッフ及びカリキュラムによる英語教育を実施することにより、子ども達が楽しく英語を学び、英語力の向上を図るとともに、将来の米国留学への契機とする。	村内在住の 小学生・中学生 （8 名）	令和 8 年 8 月 9 日～15 日	名護青少年の家（名護市）
国際人材育成事業	英語検定取得と国際理解の醸成のため、英語講座と体験交流を実施する。	村内在住の中学生 （30 名）	令和 8 年 7 月～ 令和 8 年 11 月	北中城村地内

No.２

事　業　名	趣　　旨	対　象　等	実施時期	場　所
北中城村はたちを祝う記念式典	二十歳を迎える者の栄えある門出を祝い激励する。	二十歳を迎える者	令和 9 年 1 月 10 日	村立 中央公民館
放課後子ども教室推進事業	小学校施設等を活用し、地域の方々の協力を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ・文化活動、地域交流活動等の取り組みを実施することにより、子ども達が心豊かで健やかに育まれる居場所づくりを推進する。	小学生 （1 年生～6 年生）	通　年	北中城小学校 島袋小学校
地域学校協働活動推進事業	中学校区（北中城中学校・北中城小学校・島袋小学校）を対象とした地域の教育力向上のため、学校と地域との連携協力体制の構築と多様な形態の協働活動を推進する。	北中城小学校 島袋小学校 北中城中学校	通　年	北中城小学校 島袋小学校 北中城中学校

No.3

事　業　名	趣　　旨	対　象　等	実施時期	場　所
社会教育団体の活動拡大に向けた検討会	社会教育団体の活性化に向け、各団体の横断的協議を行う。	各社会教育団体	通　年	-
北中城村職員出前講座事業	北中城村の政策や行政手続き等わかりづらい内容について、住民団体からの要望に基づき出前講座を実施する。	村内団体	通　年	-

その他

◇リーダー研修会（中頭地区社会教育主事協会主催）

・中頭地区ジュニアリーダー研修会（開催場所未定、中学生 4 名派遣）

◇青少年健全育成

・中頭地区少年の主張大会

・ふれあいクリーンアップ大作戦（しおさい公苑・漁港を中心に実施、社協・青少協共催）

◇夜間街頭指導（指定月第 3 金曜日実施）

令和８年度　中央公民館事業実施計画

No.１

区分	事　業　名	新・継	趣　　旨	対　　象	参加者人　数	実　施時　期	回　数
一般・成人	ガールズキックボクササイズ教室	新規	女性の健康づくりと体力向上を目的に、楽しみながら継続できる運動習慣づくりを目指します。	一般村民	12名	令和８年６月～８月	10回
	テラリウム体験講座	新規	ガラス容器内に苔や植物で小さな自然の景色（ミニチュア空間）を制作し、苔の知識や育成方法を学びながら、忙しい日常の中で自然を感じ、リラックスする時間と癒しを提供する。	一般村民	10名	令和８年６月～８月	１回
親子	親子で楽しいお菓子の家作り	継続	親子で協力しながらものづくりの楽しさや達成感を味わうとともに、親子のふれあいを深めることを目的とします。	親子	10組	令和８年12月	１回

No.２

区分	事　業　名	新・継	趣　　旨	対　　象	参加者人　数	実　施時　期	回　数
高齢者	幸齢者学級	継続	集団学習をとおして多くの人々と交流し、健康の維持増進を図りつつ、さらなる生きがいを見いだす機会とする。	６５歳以上の村民	―	令和８年６月～11月（８月を除く）	５回
各字公民館	地域学級（補助金）	継続	各字地域住民の学習要求に応えるために、自治公民館を利用して開設される学級に補助を行い、自治公民館と連携のもと生涯学習及び社会教育活動の活性化を図る。	各字区民	―	令和８年６月～令和９年２月	―

発表会	生涯学習フェスティバル （第25回）	継続	中央公民館で実施されるサークル活動の発表及び紹介に加え、民間企業と協働により様々な体験コーナーを設置し、村民の生涯学習活動への参加のきっかけとなるよう開催する。	―	―	令和9年2月	―
その他	公民館職員等派遣事業及び自治公民館長等研修	継続	「地域住民の学習要求に応えるための公民館の在り方について」各種研究大会等に参加し研究討議を深め、生涯学習及び社会教育の振興発展に寄与する。	自治公民館長 生涯学習課職員		《派遣事業》 沖縄県公民館研究大会 中部地区公民館研究大会	

北中城村公民館運営審議会委員・社会教育委員

（任期　令和8年3月1日～令和10年2月29日）

◎宮城能彦　〇比嘉邦子　玉城若子　安里恵　上里幸春
安和園子　仲本大樹

◎公民館運営審議会委員長・社会教育委員会議長
〇公民館運営審議会副委員長・社会教育委員会副議長

北中城村史編纂委員会委員

（任期　令和6年3月11日～令和9年3月10日）

◎大城盛光　〇喜屋武馨　村上有慶　今郁儀　親川志奈子
比嘉榮吉　平良次子　北上田源　宮城能彦　仲本正一
名幸利積

◎村史編纂委員長・〇副委員長

北中城村文化財保護審議会委員

（任期　令和8年6月24日～令和10年6月23日）

◎稲福政斉　〇斎藤淳一　刀禰浩一　大城剛　幸喜邦恵

◎文化財保護審議会会長・〇副会長

北中城村スポーツ推進委員協議会

会長	大城隆行			
副会長	宮城聡			
書記・会計	安和淳一			
監事	比嘉亮太	知念成名美		
委員	大田宏三	大城隆行	比嘉成恭	當山華乃子
	比嘉亮太	安慶名スミ子	新里智紀	山下幸二
	與儀司	名幸幹紘	安和淳一	宮城聡
	知念勉	知念成名美	玉城勝海	

中頭地区スポーツ推進委員協議会副会長　大城隆行
中頭地区スポーツ推進委員協議会理事　安和淳一
沖縄県スポーツ推進委員協議会評議員　大城隆行

「あやかりの杜」設置の目的

「あやかりの杜」は、北中城村民の生涯にわたる学習活動を支援し、文化の振興及び人材の育成に資することを目的として設置されている。
「あやかりの杜」は様々な「あやかり（幸福や果報から学ぶこと）」をとおして、個性豊かな村・人づくり、伝統文化の継承・発展、地域の活性化へとつなげるための事業活動や拠点整備を展開する施設である。村では民間事業者の有するノウハウを活用することによって、公の施設の目的を効果的に達成するために、指定管理者制度を導入している。

先人にあやかり　異文化にあやかり
人間同士があやかる

令和７年度　あやかりの杜図書館利用状況

	開館日数	図書館入場者人数	貸出利用者人数	貸出冊数	カード新規登録者人数	カード更新者人数	催事（読みきかせ等）	
							回数	利用人数
4月	25	3,623	1,308	5,435	21	17	2	13
5月	26	3,926	1,403	5,631	29	21	2	13
6月	24	4,886	5,780	1,513	41	20	2	17
7月	15	3,765	900	4,920	43		2	17
8月	26	6,458	1,413	7,206	41		2	10
9月	24	4,128	1,032	5,151	21		2	9
10月	22	3,600	998	4,962	33		2	14
11月	12	1,795	488	2,454	12		1	3
12月	23	2,805	879	4,459	24		1	2
1月	23	3,422	1,029	4,833	19	0	2	7
2月	23	3,200	1,251	4,620	16	0	2	5
3月	25	3,607	1,007	4,796	23	7	1	3
合計	268	45,215	17,488	55,980	323	65	21	113

・図書館システム変更に伴い、７／１から７／１４まで休館
・蔵書点検及び図書館システム変更に伴うデータ調整のため、１０／２８から１１／１６まで休館。
※図書館システム変更に伴い、「カード更新者」抽出できず。但し、１月よりカウント可能となった。

令和8年度　あやかりの杜図書館　行事計画		
行事項目	日程	内容
定例お話し会	毎月第2日曜日 毎月第4日曜日	・ あやかりの杜職員によるお話し会 図書館内児童コーナーたたみ間「ライブラリーの森」にて開催 広報、図書館便り、児童コーナー掲示及び当日館内放送にて案内
赤ちゃんタイム	毎週水曜日 （第1水曜日除く） 午前10時～午後3時	・ 赤ちゃんタイム（小さなお子様連れの方も気兼ねなく図書館をご利用できる時間帯）
図書館行事 イベント	4月	・ こども読書週間「モリーをさがせ！」
	5月	・ こどもの日ワークショップ
	6月	・ 慰霊の日特別企画 「上映会」「パネル展示」
	7月	・ 夏休み宿題応援隊！
		・ 夏休みじんぶん貯金　本は知識の宝庫！たくさん読んで頭の中にじんぶん貯金しよう！
		・ 夏休み映画上映会
	8月	・ こども1日図書館員（小学校3年生～6年生対象の職場体験）
	9月	・「食欲の秋、スポーツの秋」
	10月	・ 秋の読書週間企画
		・ 譲渡会
	11月	・ 秋の古本市
	12月	・ 蔵書点検休館（1週間）
	12月	・ 北中城中学校職場体験
	1月	・「大掃除・整理整頓」「生活見直し」
	2月	・「夜の図書館」
	3月	・ 生涯学習発表会（パネル展示・古本市・ワークショップ）
		・ 図書館協議会（今年度報告・次年度計画）
本の展示	通年	・ 季節や行事に即した資料（一般書・郷土資料・児童書）特設展示 4月…入園・入学、5月…こどもの日、6月…慰霊の日・平和教育、7月…七夕、 8月…夏休み・アウトドア・自由研究、9月…お盆・エイサー、10月…読書週間、 11月…旅行、12月…クリスマス・大掃除、1月…年賀状・着物・インフルエンザ、 2月…節分・ムーチー・バレンタインデー、3月…ひなまつり　等 ・ 図書館の日、子ども読書週間、課題・指定図書、秋の読書週間　等 ・ 他、作家紹介、資料紹介、知的好奇心を探求するイベント企画・展示

令和8年度「北中城村あやかりの杜」年間事業　一覧

令和8年4月1日

8

※日程・講座等の変更もあります

No.	講　座（行事）　名	内　　容	対象	実施期間	回数	人数	総数	利用場所	備考
1	プラーナヨーガ（火朝・夜　水夜 木夜）	呼吸を深くし体を整え心を軽く伝統ヨーガの深い叡智を分かりやすく指導する	一般	4～6月	40	11	440	和室	第1期定期講座
3	おとなの三線教室 （入門・初級・中級・）	沖縄の伝統三線を歌い工工四をみて弾けるよまで指導する	一般	4～6月	30	12	360	ホール	第1期定期講座
4	自彊術教室	老化して萎縮下垂しがちな体を自らの力で整体する	一般	4～6月	10	8	80	和室	第1期定期講座
5	琉球かれん教室	金属弦で奏でる琉球かれんは幼児から高齢者まで、短時間の練習で歌いながら演奏できる	一般	4～6月	6	7	42	ボランティア室	第1期定期講座
6	美姿勢ヨガ	ヨガ・バレエ・ピラティスを取入れたエクササイズ	一般	4～6月	10	11	110	和室	第1期定期講座
7	水墨画教室	水墨画の基礎である竹梅菊蘭などを学び小作品を作成する	一般	4～6月	3	14	42	工芸室	第1期定期講座
8	季節の折り紙教室	頭を使う折り紙を楽しく学び季節ごとの素敵な作品を作る	一般	4～6月	3	12	36	和室	第1期定期講座
9	きもの着付教室	着物の着付、帯結びを基本からマスターし数種類の帯結びを学ぶ	女性	4～6月	10	8	80	和室	第1期定期講座
10	織物教室	グァテマラの原始ばたで織物を織る	一般	4～6月	6	12	72	工芸室	第1期定期講座
11	かな書道教室～百人一首～	百人一首で仮名の基本を学び作品を作る	一般	4～6月	6	14	84	工芸室	第1期定期講座
12	英会話教室	挨拶から始めようlet’s enjoy english	女性	4～6月	10	10	100	会議室	第1期定期講座
13	太極拳	心と体を健やかに自らの治癒力を高める	一般	4～6月	10	10	100	ホール	第1期定期講座
14	和紙ちぎり絵教室	指先を使うことで脳の活性化にもつながると言われている。今注目度「大」	一般	4～6月	6	5	30	工芸室	第1期定期講座
15	スローヨガ	呼吸に合わせてゆっくりと無理なく動き、自分の体のクセを知り体の中から整える	一般	4～6月	10	11	110	和室	第1期定期講座
16	おとなの陶芸教室 （水・木夜　土・朝）	ミニろくろを使い作品を仕上げ、窯入れも体験する	一般	4～6月	18	8	144	工芸室	第1期定期講座
	春をあつめて	あやかりの杜講師展示	一般	4月	15	15	225	ロビー	自主事業
20	こいのぼり展	こいのぼりに色を付けてロビーで飛ばそう。	一般	4～5月	15	20	300	ロビー	自主事業
23	第13回ぱぴぷぺぽ朗読会	朗読の会「ぱぴぷぺぽ」による朗読会	一般	6月	1	50	50	工芸室	自主事業
25	親子シーサー作り	沖縄の守り神シーサーを作る（夏休み自由研究2）	親子	7月	2	32	64	工芸室	自主事業
27	親子茶道教室	親子でお茶の所作を学ぶ（夏休み自由研究4）	親子	8月	1	20	20	和室	自主事業
29	プラーナヨーガ（火朝・夜　水・木夜）	呼吸を深くし体を整え心を軽く伝統ヨーガの深い叡智を分かりやすく指導する	一般	7～9月	30	11	330	和室	第2期定期講座
31	おとなの三線教室 （入門・初級・中級）	沖縄の伝統三線を歌い工工四をみて弾けるよまで指導する	一般	7～9月	40	10	400	ホール	第2期定期講座
32	自彊術教室	老化して萎縮下垂しがちな体を自らの力で整体する	一般	7～9月	10	8	80	和室	第2期定期講座
33	琉球かれん教室	金属弦で奏でる琉球かれんは幼児から高齢者まで、短時間の練習で歌いながら演奏できる	一般	7～9月	6	8	48	会議室・研修室	第2期定期講座
34	美姿勢ヨガ	ヨガ・バレエ・ピラティスを取入れたエクササイズ	一般	7～9月	10	11	110	和室	第2期定期講座
35	水墨画教室	水墨画の基礎である竹梅菊蘭などを学び小作品を作成する	一般	7～9月	3	14	42	工芸室	第2期定期講座
36	季節の折り紙教室	頭を使う折り紙を楽しく学び季節ごとの素敵な作品を作る	一般	7～9月	3	12	36	会議室	第2期定期講座

No.	講　座(行事)　名	内　　容	対象	実施期間	回数	人数	総数	利用場所	備考
37	きもの着付教室	着物の着付、帯結びを基本からマスターし数種類の帯結びを学ぶ	女性	7～9月	10	8	80	和室	第2期定期講座
38	織物教室	グァテマラの原始ばたで織物を織る	一般	7～9月	6	11	66	工芸室	第2期定期講座
39	かな書道教室～百人一首～	百人一首で仮名の基本を学び作品を作る	一般	7～9月	6	14	84	工芸室	第2期定期講座
40	英会話教室	挨拶から始めようlet's enjoy english	女性	7～9月	10	10	100	会議室	第2期定期講座
41	太極拳	心と体を健やかに自らの治癒力を高める	一般	7～9月	10	10	100	ホール	第2期定期講座
42	和紙ちぎり絵教室	指先を使うことで脳の活性化にもつながると言われている。今注目度「大」	一般	7～9月	6	5	30	工芸室	第2期定期講座
43	スローヨガ	呼吸に合わせてゆっくりと無理なく動き、自分の体のクセを知り体の中から整える	一般	7～9月	10	11	110	和室	第2期定期講座
44	きもの　浴衣展示	自主講座で練習した帯の結び方等の展示	一般	8月	9	20	180	ロビー	自主事業
45	あやかりの杜 かな書道教室作品展	受講生による作品展	一般	9月	12	20	240	ロビー	自主事業
46	第17回ぱぴぷぺぽ朗読会	朗読の会「ぱぴぷぺぽ」による朗読会	一般	9月	1	50	50	ロビー	自主事業
50	茶道教室(裏千家)	初心者向け茶道教室	一般	10, 11月	8	5	40	和室	自主講座
51	きもの着付教室振り袖展	帯と振り袖展	一般	11月～12月	12	20	240	ロビー	自主事業
52	第18回ぱぴぷぺぽロビー朗読会	あなたに届ける2つの物語	一般	12月	1	50	50	ロビー	自主事業
53	季節の折り紙教室	折り紙で生活に色を添えよう	一般	10～12月	3	12	36	会議室	第3期定期講座
54	プラーナヨーガ(火朝・夜　水・木夜)	呼吸を深くし体を整え心を軽く伝統ヨーガの深い叡智を分かりやすく指導する	一般	10～12月	30	11	330	和室	第3期定期講座
56	おとなの三線教室(入門・初級・中級)	沖縄の伝統三線を歌い工工四をみて弾けるよまで指導する	一般	10～12月	40	8	320	ホール	第3期定期講座
57	自彊術教室	老化して萎縮下垂しがちな体を自らの力で整体する	一般	10～12月	10	8	80	和室	第3期定期講座
58	琉球かれん教室	金属弦で奏でる琉球かれんは幼児から高齢者まで、短時間の練習で歌いながら演奏できる	一般	10～12月	6	8	48	ボランティア室	第3期定期講座
59	美姿勢ヨガ	ヨガ・バレエ・ピラティスを取入れたエクササイズ	一般	10～12月	10	11	110	和室	第3期定期講座
60	水墨画教室	水墨画の基礎である竹梅菊蘭などを学び小作品を作成する	一般	10～12月	3	14	42	工芸室	第3期定期講座
61	きもの着付教室	着物の着付、帯結びを基本からマスターし数種類の帯結びを学ぶ	女性	10～12月	10	8	80	和室	第3期定期講座
62	織物教室	グァテマラの原始ばたで織物を織る	一般	10～12月	6	11	66	工芸室	第3期定期講座
63	かな書道教室～百人一首～	百人一首で仮名の基本を学び作品を作る	一般	10～12月	6	14	84	工芸室	第3期定期講座
64	英会話教室	挨拶から始めようlet's enjoy english	女性	10～12月	10	10	100	和室	第3期定期講座
65	太極拳	心と体を健やかに自らの治癒力を高める	一般	10～12月	10	8	80	ホール	第3期定期講座
66	和紙ちぎり絵教室	指先を使うことで脳の活性化にもつながると言われている。今注目度「大」	一般	10～12月	6	5	30	工芸室	第3期定期講座
67	スローヨガ	呼吸に合わせてゆっくりと無理なく動き、自分の体のクセを知り体の中から整える	一般	10～12月	10	11	110	和室	第3期定期講座
68	おとなの陶芸教室 (水・木夜　土・朝)	ミニろくろを使い作品を仕上げ、窯入れも体験する	一般	10～12月	18	8	144	工芸室	第3期定期講座

No.	講 座(行事) 名	内 容	対象	実施期間	回数	人数	総数	利用場所	備考
70	ラン展示会	北中城村ラン同好会のラン展示会	一般	11，12月	3	30	90	ロビー	自主事業
71	北中城中学校生徒作品展	美術生徒作品展	一般	12月	16	20	320	ロビー	
72	あやかりの杜新春もちつき大会	もちつき大会	一般	1月	1	200	200	玄関前	自主事業
73	新春 水墨画展	水墨画教室受講者作品展	一般	1月	12	20	240	ロビー	自主事業
74	織物教室受講者作品展	織物教室受講者作品展	一般	2月	11	20	220	ロビー	自主事業
75	第19「回ぱぴぷぺぽロビー朗読会	あなたに届ける2つの物語	一般	3月	1	50	50	ロビー	自主事業
76	プラーナヨーガ(火朝・夜 水・木夜)	呼吸を深くし体を整え心を軽く伝統ヨーガの深い叡智を分かりやすく指導する	一般	1～3月	30	11	330	和室	第4期定期講座
78	おとなの三線教室 (入門・初級・中級)	沖縄の伝統三線を歌い工工四をみて弾けるよまで指導する	一般	1～3月	40	8	320	ホール	第4期定期講座
79	自彊術教室	老化して萎縮下垂しがちな体を自らの力で整体する	一般	1～3月	10	8	80	和室	第4期定期講座
80	琉球かれん教室	金属弦で奏でる琉球かれんは幼児から高齢者まで、短時間の練習で歌いながら演奏できる	一般	1～3月	6	8	48	会議室・研修室	第4期定期講座
81	美姿勢ヨガ	ヨガ・バレエ・ピラティスを取入れたエクササイズ	一般	1～3月	10	11	110	和室	第4期定期講座
82	水墨画教室	水墨画の基礎である竹梅菊蘭などを学び小作品を作成する	一般	1～3月	3	14	42	工芸室	第4期定期講座
83	きもの着付教室	着物の着付、帯結びを基本からマスターし数種類の帯結びを学ぶ	女性	1～3月	10	8	80	和室	第4期定期講座
84	織物教室	グァテマラの原始ばたで織物を織る	一般	1～3月	6	12	72	工芸室	第4期定期講座
85	かな書道教室～百人一首～	百人一首で仮名の基本を学び作品を作る	一般	1～3月	6	14	84	工芸室	第4期定期講座
86	英会話教室	挨拶から始めようlet's enjoy english	女性	1～3月	10	10	100	和室	第4期定期講座
87	太極拳	心と体を健やかに自らの治癒力を高める	一般	1～3月	10	8	80	ホール	第4期定期講座
88	和紙ちぎり絵教室	指先を使うことで脳の活性化にもつながると言われている。今注目度「大」	一般	1～3月	6	7	42	工芸室	第4期定期講座
89	スローヨガ	呼吸に合わせてゆっくりと無理なく動き、自分の体のクセを知り体の中から整える	一般	1～3月	10	11	110	ホール	第4期定期講座
90	季節の折り紙教室	折り紙で生活に色を添えよう	一般	1～3月	3	12	36	会議室	第4期定期講座
91	おとなの陶芸教室 (水・木夜 土・朝)	ミニろくろを使い作品を仕上げ、窯入れも体験する	一般	1～3月	18	8	144	工芸室	第4期定期講座

資料編

学校敷地面積 …… 123
各学校学年別人数推移 …… 124
生涯学習施設 …… 125
各種団体名簿 …… 126
文化財分布図 …… 132
村内文化財 …… 133
あやかりの杜案内図 …… 134
中央公民館概要 …… 136

学校敷地および屋内運動場等保有面積

	保有面積		借用面積	合計	屋内運動場面積		多目的教室	地域・学校連携施設	水泳プール
	敷地面積	運動場			必要面積	保有面積			
北中城小学校	11,562	12,898	0	24,460	1,215	1,076	1,361	200	400
島袋小学校	12,653	12,030	0	24,683	1,215	992	631	0	400
北中城中学校	19,017	16,734	0	35,751	1,476	1,055	843	252	400

校舎等保有面積

事項	児童生徒数	学級数		校舎														
		普通クラス	特別支援学級	必要面積（㎡）	保有面積			保有教室数										
					RC造	その他	計	普通	理科	音楽	美術	技術	家庭	視聴	コンピュータ	図書	相談	特活
北中城小学校	773	24	10	7,243	6,732	0	6,732	33	2	1	0	0	1	0	0	1	1	4
島袋小学校	418	14	3	5,087	4,376	0	4,376	17	1	1	0	0	1	0	1	1	0	1
北中城中学校	571	17	5	6,815	6,732	0	6,732	23	2	1	1	1	2	1	1	1	1	1
給食共調理場	—	—	—	420	527	0	527	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

各学校学年別年齢別人数推移

各年５月１日時点

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
北中城小学校	１学年	111	130	117	142	114	144	141	136	136	109	113
	２学年	115	106	132	141	144	114	144	143	135	140	110
	３学年	136	113	108	139	121	142	119	139	140	137	141
	４学年	123	135	112	106	141	125	140	120	138	141	136
	５学年	122	124	138	117	108	141	125	140	122	134	141
	６学年	127	123	127	141	114	110	141	125	139	118	132
	合計	734	731	734	786	742	776	810	803	810	779	773
島袋小学校	１学年	63	62	66	67	88	80	75	64	63	70	79
	２学年	53	62	62	67	68	88	77	71	62	64	70
	３学年	51	58	66	63	70	71	86	74	70	63	64
	４学年	67	55	58	65	61	71	72	84	79	69	60
	５学年	64	67	58	57	65	65	73	72	86	79	68
	６学年	61	67	65	58	59	66	63	69	72	83	77
	合計	359	371	375	377	411	441	446	434	432	428	418
北中城中学校	１学年	188	178	182	184	191	172	166	189	186	193	196
	２学年	172	189	180	182	186	191	170	168	190	185	189
	３学年	165	173	188	181	183	186	192	170	165	189	186
	合計	525	540	550	547	560	549	528	527	541	567	571

生涯学習施設

施設名	実施年度	所在地	連絡先	備考
村立中央公民館	昭和55～57年度	仲順435	TEL　935-3780 FAX　851-7712	年末年始、日曜日、祝祭日、慰霊の日休み
喜舎場公民館	平成2年度	喜舎場75	935-3923	
仲順公民館	昭和62年度	仲順60	935-5556	
熱田公民館	昭和58年度	熱田68-1	935-2350	
和仁屋公民館	平成19年度	和仁屋174	935-0139	
渡口公民館	平成20年度	渡口55		
島袋公民館	平成9～10年度	島袋102	932-6822	
屋宜原公民館	平成3年度	屋宜原601	930-0195	
瑞慶覧区民会館	昭和62年度	瑞慶覧416	932-0921	
石平公民館	平成8年度	安谷屋2151	935-2280	
安谷屋公民館	平成5年度	安谷屋223	935-3238	
荻道公民館	昭和57年度	荻道79		
大城公民館	平成14年度	大城86	935-1311	
美崎集会所	平成29年度	美崎266		
あやかりの杜	平成20年度	喜舎場1214	983-8060	月曜日、年末年始、慰霊の日休み

各 行 政 区 自 治 会 長 名 簿

令和8年4月1日

行政区	氏　名	公民館住所	公民館電話番号
喜舎場	渡口（トグチ） 正直（マサナオ）	喜舎場75	935－3923
仲　順	我如古（ガネコ） 誠（マコト）	仲順60	935－5556
熱　田	徳村（トクムラ） 昌厚（マサアツ）	熱田68－1	935－2350
和仁屋	比嘉（ヒガ） 隆夫（タカオ）	和仁屋174	935-0139
渡　口	田場（タバ） 梓（アズサ）	渡口55	988－7168
島　袋	喜納（キナ） 昌金（ショウキン）	島袋102	932－6822
屋宜原	饒辺（ヨヘン） 永志（エイシ）	屋宜原602	930－0195
瑞慶覧	喜納（キナ） 綾子（アヤコ）	瑞慶覧416	932－0921
石　平	村吉（ムラヨシ） 政和（マサカズ）	安谷屋2151	935－2280
安谷屋	棚原（タナハラ） 克也（カツヤ）	安谷屋223	935－3238
荻　道	平田（ヒラタ） 厚仁（アツジン）	荻道79	
大　城	比嘉（ヒガ） 辰成（タツナリ）	大城86	935－1311
県営北中城団地	渡嘉敷（トカシキ） 美那子（ミナコ）	熱田2070－15	935－4423
美　崎	山川（ヤマカワ） 章（アキラ）	美崎266	

令和８年度　北中城村父母教師連合会役員名簿

会　　長	辺野喜英史
副 会 長	天久朝誠　川満隆雄　喜納宏史　幸喜隆成　浜川直樹
事務局長	工藤都
顧　　問	上原充　前原博光　比嘉正志
監　　事	小林祥宏　安里智子　崎濱陽子
評 議 員	国富宏樹　比嘉穂高　花崎玲子　神田ふきこ 阿嘉彩乃　仲宗根みのり　比嘉亮太　前川杏梨沙 仲真貴子　大城真奈美　大城葉津希

＊北中城小学校父母教師会

会長	川満隆雄
副会長	比嘉亮太　前川杏梨沙　仲真貴子　大城真奈美
事務局長	浜川直樹
顧問	前原博光
監査	安里智子　安和淳一　北野希
事務員	大城葉津希

＊島袋小学校父母教師会

休止

＊北中城中学校父母教師会

会長	天久朝誠
副会長	国富宏樹　比嘉穂高　比嘉亮太　花崎玲子　阿嘉彩乃　神田蕗子
事務局長	幸喜隆成
書記会計	仲宗根みのり
顧問	上原充　小林祥宏
監事	翁長麻紀子　安里智子　我如古恵子

令和8年度　北中城村青年連合会役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	田場　弘樹	監事	與儀　勝也
副会長	喜納　美優		山口　かすみ
	喜屋武　繁貴	顧問	金城　孝弘
事務局長	比嘉　大優		我如古　彩夏
事務局員	喜納　秀雅		仲本　拓真
	比嘉　孝裕		
書記	安谷屋佳奈		
会計	久高　雅之		
組織部	比嘉成海　比嘉俊之介 大城竜二　宮城鈴菜 比嘉麻衣子　盛小禰太陽 大城友愛　棚原和大 與儀陽向太　玉城翔斗 諸見里結衣		

令和8年度　北中城村女性会役員名簿

役職名	氏名	役職名	氏名
会長	前田　郷美	喜舎場女性会	摩文仁　光枝
副会長	新里　和恵	仲順婦人会	比嘉　さよ子
	仲間　克代	顧問	與儀　利枝
事務局	玉城　若子		大城　幸子
文化部長	喜納　綾子		辺土名　美紗子
文化副部長	又吉　和美		大泊　スエ子
生活部長	田仲　和美	監事	仲本　恵子
生活副部長	安里　愛子		村吉　多美子
レク部長	比嘉　さとみ		
レク副部長	安里　恵		
広報部長	我如古　恵子		
広報副部長	平安山　和美		

令和8年度　北中城村子ども会育成連絡協議会役員名簿

役　職	氏　　名
会　長	荻　堂　盛　正
副会長	花　城　清　長
〃	安　里　智　子
〃	比　嘉　正　志
指導員	上　間　堅　治
〃	比　嘉　昭
〃	金　城　昌　芳
〃	我　如　古　恵　子
〃	渡　慶　次　郁　恵
〃	安　和　園　子
書記・会計	山　口　か　す　み
監事	比　嘉　義　彦
〃	玉　城　清　香
相談役	比　嘉　勲
〃	安　里　邦　夫
〃	山　内　道　雄
〃	安　里　信　美

令和８年度　学力向上推進協議会役員名簿

（任期：令和８年４月１日～令和10年３月３１日）

役　　職	氏　　名	所　　属
会　　長	徳村　永盛	教育長
副　会　長	上原　充	北中城中学校長
	榮　葉子	島袋小学校長
	前原　博光	北中城小学校長
	辺野喜英史	北中城村父母教師連合会長
	天久　朝誠	北中城中父母教師会長
	休会中	島袋小父母教師会長
	川満　隆雄	北中城小父母教師会長
	饒辺　永志	村自治会長会会長（屋宜原自治会長）
	前田　郷美	村女性会長
事　務　局　長	比嘉　一寿	教育委員会　指導主事
事務局次長	平田　清徳	教育委員会　教育総務課長
	玉栄　幸憲	教育委員会　生涯学習課長
	眞境名　兼彦	教育委員会　主任指導主事
	金城　忠	教育委員会　生涯学習課係長
監　　事	浜川　直樹	北中城小学校教頭
	小浜　康精	島袋小学校教頭
会　　計	齋藤　美穂	教育委員会教育総務課

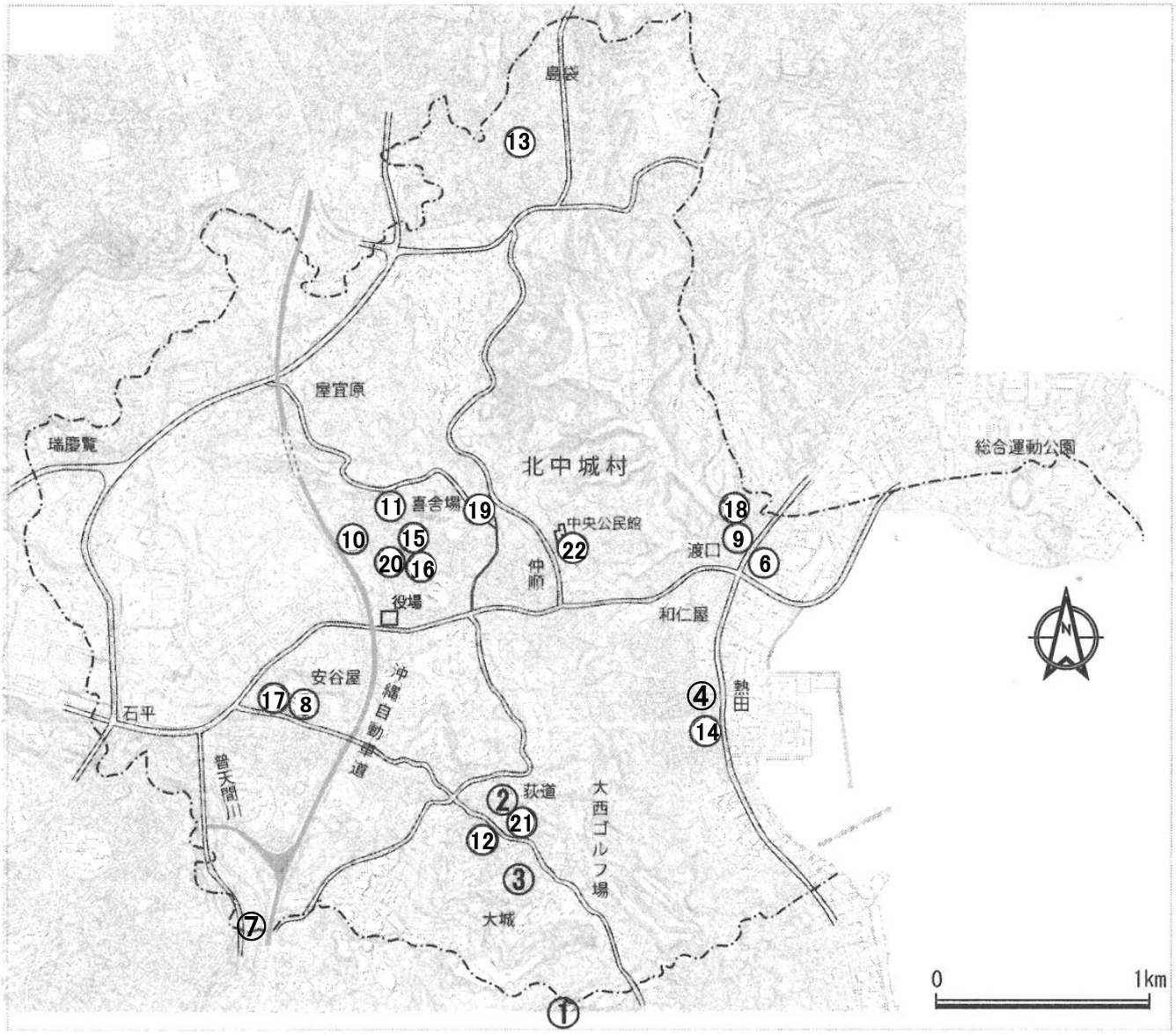
令和８年度　学力向上推進協議会顧問名簿

役　　職	氏　　名	所　　属
顧　問	比嘉　孝則	村　　長
	名幸　利積	議会議長
	崎濱　陽子	教育委員（職務代理者）
	安谷屋　建	教育委員
	翁長　麻紀子	教育委員
	玉城　勝一	教育委員

令和8年度　北中城村育英会役員名簿

	氏　　名	職　　名	備　　考
名誉会長	比 嘉　　孝 則	村長	
会　長	德 村　　永 盛	教育長	
副会長	前 原　　博 光	北中城小学校長	
理　事	名 幸　　利 積	村議会議長	
理　事	仲 本　　正 一	副村長	
理　事	榮　　葉　子	島袋小学校長	
理　事	上　原　　充	北中城中学校長	
理　事	翁長　麻紀子	村長が委嘱する理事	教育委員
理　事	池　間　　勝	村長が委嘱する理事	北中城村商工会長
理　事	涌 波　　淳 子	村長が委嘱する理事	北中城若松病院理事長
理　事	天 久　　朝 誠	村長が委嘱する理事	北中城中学校父母教師会長
理　事	辺野喜　英史	村長が委嘱する理事	北中城村父母教師連合会長
監　事	大 田　　宏 好	村長が委嘱する監事	元会計課長
監　事	米 須　　清 喜	村長が委嘱する監事	元会計課長
書　記	平 田　　清 德	教育総務課職員	
会　計	齋 藤　　美 穂	教育総務課職員	

村長が委嘱する理事・監事は任期２ヶ年（令和7年4月1日～令和9年3月31日）
職名による理事は在職期間



①中城城跡
②荻堂貝塚
③中村家住宅
④島根殿
⑥渡口のテラ
⑦野嵩スディバナビラ石畳道
⑧根所火の神
⑨渡口の梵字の碑「アビラウンケン」
⑩龕屋
⑪喜舎場の石獅子
⑫荻道のヒージャーガー
⑬赤木名節
⑭南島（フェーヌシマ）
⑮棒術
⑯獅子舞
⑰中城若松の墓
⑱渡口の印部土手石（ハル石）
⑲ナスの御嶽
⑳喜舎場のウフカー
㉑大城のイリヌカー
㉒島袋のろ殿内資料

北　中　城　村　の　指　定　等　文　化　財

（令和8年7月現在）

	No	種　　別	名　　称	指定等年月日	所　在　地	所　有　者　等
国指定	1	史跡	中城城跡	昭和47年5月15日	中城村～北中城村	中城村・北中城村
	2	史跡	荻堂貝塚	昭和47年5月15日	字荻道後原	―
	3	建造物	中村家住宅	昭和47年5月15日	字大城106番地	中村国宏
国登録	4	建造物	島根殿	令和8年7月9日	字熱田68番地１（熱田公民館内）	熱田自治会
県指定	5	工芸品	三線与那型	昭和33年8月15日	字喜舎場	久保田清光
	6	民俗文化財（有形）	渡口のテラ	昭和56年2月9日	字渡口下原453番地	渡口区
	7	史跡	野嵩スディバナビラ石畳道	令和7年7月1日	字安谷屋	宜野湾市・北中城村
村指定	8	民俗文化財（有形）	根所火の神	平成14年12月12日	字安谷屋126番地	安谷屋区
	9	民俗文化財（有形）	渡口の梵字の碑「アビラウンケン」	平成9年10月1日	字渡口渡口原7番地	渡口区
	10	民俗文化財（有形）	龕屋	平成7年6月16日	字喜舎場西原763番地	喜舎場区
	11	民俗文化財（有形）	喜舎場の石獅子	平成7年6月16日	字喜舎場上原192番地	喜舎場区
	12	民俗文化財（有形）	荻道のヒージャーガー	平成22年3月16日	字荻道26番地	荻道区
	13	民俗文化財（無形）	赤木名節	平成14年12月12日	字島袋102番地（島袋公民館内）	字島袋民俗芸能保存会
	14	民俗文化財（無形）	南島（フェーヌシマ）	昭和55年2月9日	字熱田68番地１（熱田公民館内）	熱田南島保存会
	15	民俗文化財（無形）	棒術	昭和57年3月12日	字喜舎場75番地（喜舎場公民館内）	字喜舎場民俗芸能保存会
	16	民俗文化財（無形）	獅子舞い	昭和57年3月12日	字喜舎場75番地（喜舎場公民館内）	字喜舎場民俗芸能保存会
	17	史跡	中城若松の墓	昭和57年3月18日	字安谷屋西後原1447番地	外間正甫
	18	史跡	渡口の印部土手石（ハル石）	平成9年10月1日	字渡口渡口原7番地	渡口区
	19	史跡	ナスの御嶽	平成7年6月16日	字仲順西原169番地	仲順区
	20	史跡	喜舎場のウフカー	平成16年8月5日	字喜舎場81番地	喜舎場区
	21	史跡	大城のイリヌカー	平成16年8月5日	字大城141-1番地	大城区
	22	有形文化財（歴史）	島袋のろ殿内資料	令和２年４月１５日	字仲順４３５番地（村立中央公民館内）	北中城村教育委員会

あやかりの杜図書館



あやかりの杜図書館は、北中城村内に、在住・在勤・通学している方ならどなたでも借りることができます。但し、館内においての資料の閲覧などはどなたでも利用することができます。一般書籍からグスク（城）に特化した資料、またCD・DVDなども揃えています。



① 新刊案内（一般・児童）



図書館に入ってきた新着本を展示するコーナーです。落ち着いた雰囲気の茶色の棚が一般書、緑色の小さな棚が児童書です。新着図書を先取りして読みたい方は、このコーナーをご利用下さい。

② AVコーナー

所蔵能力
5,000点



ＣＤ・ＤＶＤ・ビデオテープを備えており、２・３人用（4ブース）で、家族やお友達とＤＶＤの鑑賞ができます。また、ＣＤの館内視聴は、ポータブルプレイヤーの貸出で、好きな場所で音楽を聴きながら、雑誌などを読むこともできます。

③ YA（ヤングアダルト）コーナー

所蔵能力
3,585点



中学生・高校生に人気のある本や若いときに触れてほしい名作、生き方や進路に悩んだときに参考になる本、趣味の本やさまざまな分野の入門書等をそろえています。

④ くらしのコーナー

所蔵能力
3,585冊



皆さんの暮らしに役立つ、料理の本や手芸の本などを備えたくらしのコーナー、仕事や就職活動に役立つ本を備えたビジネス支援のコーナーです。

⑤ 一般書コーナー

所蔵能力
36,560冊



図書館の中心に並んだ棚が一般書コーナーです。利用者の資料要求に応えるために、あらゆるジャンルの資料を総合的に配架しています。

⑥ 郷土書コーナー



北中城村に関する資料や、沖縄県に関する資料のほか村内にある世界遺産の中城城跡にちなみ、城（グスク）のコーナーも設置しました。郷土を知り、郷土を理解し、郷土を研究する手掛かりとなる資料を備えています。

⑦ PCコーナー



パソコンを８台設置しています。インターネットなどを利用して様々な情報の収集が可能です。隣の書架にはパソコン関係の図書を備えました。

⑧ 新聞・雑誌コーナー

所蔵能力
雑誌　108誌
新聞　12紙



様々なジャンルの雑誌と、各種新聞を備えています。２台の新聞閲覧台と、11脚のソファーを設置し、ゆったりとした雰囲気で閲覧することができます。

⑨ 閲覧コーナー



誰もが気軽に訪れ、図書館のあちらこちらにゆったりと本を選んでもらえるようたくさんの椅子を用意しました。とくに窓の外の眺望はすばらしく、目に飛び込んでくる緑がこころを癒してくれます。

⑩ ライブラリーの森



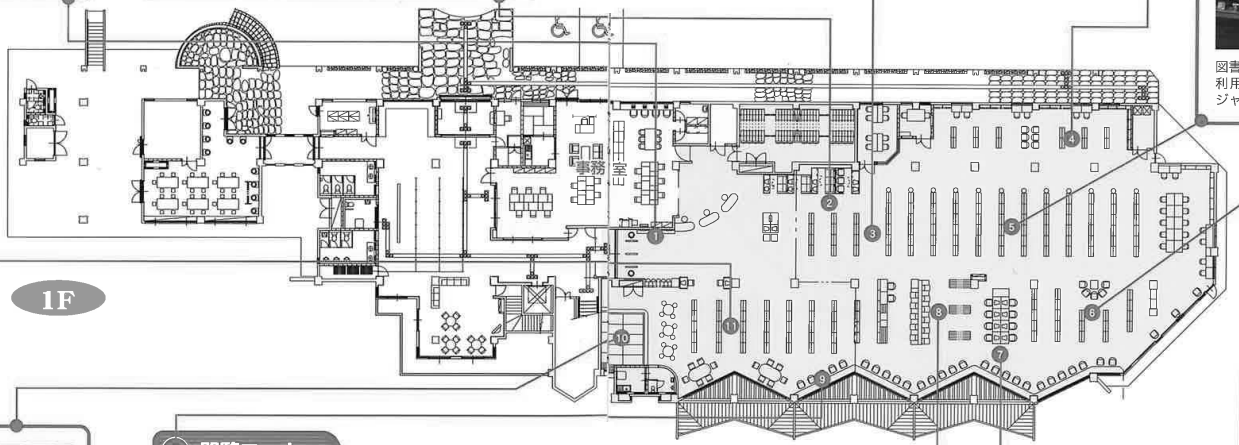
あやかりの杜図書館に住む楽しい動物たちが微笑んでむかえてくれる、ライブラリーの森は、子供たちに、本や紙芝居の読み聞かせを行うスペースです。タタミ10畳の広さがあり、親子で絵本を読んだり、友達どうしで本を楽しんだり、思い思いのスタイルで本を読むことができます。

⑪ 児童書コーナー

所蔵能力
13,270冊



入り口近くの一番明るい場所で、緑色の書架が並んでいるのが、児童書コーナーで、絵本や紙芝居などを備え、子供たちが手に取りやすいように、本棚を低くして好きな本が選べます。



あやかりドミトリー・野外施設・キャンプ場

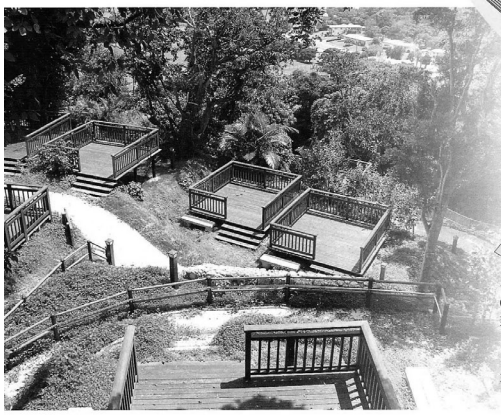
あやかりの杜・滞在交流室（ドミトリー）は芸術家や学生（青少年交流事業）の滞在宿泊、各種団体との交流、研修の場です。また、野外においても遊びながら学べる施設・環境を用意しています。豊かな自然環境の中で野外活動を十分に楽しめるよう15のテントサイト（キャンプスペース）を設けました。
キャンプ、炊事棟でのバーベキュー調理、自然観察、星空観察などがお楽しみ頂けます。



① 多目的広場（メインコート）



野外（キャンプ場）の一番広いデッキのスペースです。クラスの活動・子ども会・部活などのレクレーションに利用できます。仲間と森で元気に遊ぼう！





テントサイト

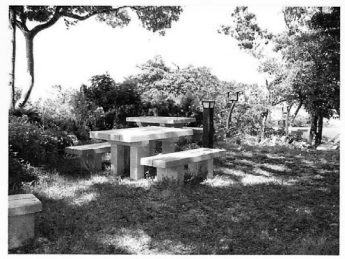
キャンプ場に15のテントサイト（キャンプができるスペース）があります。森の傾斜のあちらこちらにテントサイトがあるので、どこにテントを張るか選ぶ楽しさがあります。もちろん、テントの貸出しやバーベキューの注文も応じますので、キャンプ初心者のご家族にも安心してご利用いただけます。

② 炊事棟



キャンプ利用者の皆さんが、炊事（食事の準備）を行うところです。

③ ドミトリー広場



自然観察会、自然体験学習会等の場として利用できます。



④ 滞在交流室・離座（あしゃぎ）

芸術家、文化人を招いての交流活動や、海外移住者子弟研修生受入、姉妹町村交流等に供する宿泊施設で、沖縄の伝統的な住宅建築を参考にデザインしています。

⑤ 管理棟



野外活動広場や滞在交流施設等の管理。売店もあり、シャワー室も完備。

⑥ スコーレ広場



森の散歩の途中で疲れたらベンチで休みましょう！

あやかりの杜は 人・地域・地球にやさしい

太陽光発電システム



太陽光発電で電気を節電。

雨水利用



トイレなどに雨水を利用。

巡回バス　廃食用油をリサイクル！



当施設の巡回バスは、廃食用油でバイオディーゼルを精製できる「廃食用油代替燃料化装置」で作られた燃料使用。

東廻り、西回りで巡回。

北 中 城 村 立 中 央 公 民 館 概 要

位　　置	北中城村字仲順４３５番地
構　　造	鉄筋コンクリート２階建
規　　模	建築面積：１階 2,055 ㎡・２階 667 ㎡・合計 2,723 ㎡
用地面積	14,320 ㎡　　使用開始　１９８３年４月１日
駐 車 場	１２５台収容

施設あんない

■ １階

多目的ホール　…　講演会・演劇会・発表会・映画会に利用できます。　（395 ㎡・600 人収容）

ﾛﾋﾞｰ及びﾋﾟﾛﾃｨｰ・・・　交歓の場・いこいの場として自由に利用できます。ロビーとﾋﾟﾛﾃｨｰを利用して展示場として使えます。　（120 ㎡）

料理実習室　…　食文化の向上を役立てるための料理実習室です。
（100 ㎡・調理台 10 台設置）

和　　室　…　作法・茶道・生花・着付等の研修、将棋・囲碁各種集会に使えます。
（96 ㎡・39 畳）

■２階

研 修 室　…　各種の学習会・研修会に利用できます。又人員に応じて部屋を仕切って利用できます。　（147 ㎡・90 人収容）

会 議 室　…　少人数の各種会議に利用できます。
（42 ㎡・14 人収容）

◆　開館及び閉館時間

〇月曜日～土曜日　：　午前９時～午後１０時

※ただし、館長が必要と認めた場合は、時刻を変更することがあります。

◆　休館日

祝祭日・年末年始・6 月 23 日（沖縄県慰霊の日）

※ただし、館長が必要と認めたときは、開館して利用することができます。

◆　公民館を利用する方は、前もって公民館使用許可申請書を出して、許可を受けて下さい。

◆　使用する方は、次の事項を守って下さい。

① 建物、その他の施設及び設備等を汚損又はき損しないこと。
② 承認を得ないで使用場所の変更並びに備品の使用をしないこと。
③ 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
④ 所定の場所以外で喫煙しないこと。
⑤ 特に承認を受けたもののほかは、金品の寄附募集の行為をしないこと。
⑥ 使用後は原状に復し速やかに係員に連絡すること。
⑦ その他、人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。

◆　使用料やその他については、直接中央公民館又は教育委員会にお尋ね下さい。

☆　中央公民館施設使用料　☆

施設名	料金／１時間当
ホール	1,000 円
研修室等	500 円

冷房使用料については、１時間あたり下記料金を徴収する。

ホール：1,000 円／時間

研修室等：500 円／時間

施設使用料については村内在住者が申請し利用する場合、上記料金の半額で利用することができる。

